

平成25年の
和歌山県経済



和歌山県企画部企画政策局調査統計課

はじめに

『平成25年の和歌山県経済』は、和歌山県経済の一年間の動向を生産・雇用・消費などのさまざまな経済指標からとらえ、景気の方角性や量感などを明らかにするとともに、本県の景気局面を把握・分析することを目的に、グラフ等を用いて解説したものです。

本書によって和歌山県経済の現況について理解を深めていただき、また経済・産業の発展及び県民生活の向上を図るための各種行財政施策や企業経営等、各方面での基礎資料として幅広く活用していただければ幸いです。

終わりに、本書の作成にあたりご意見・ご協力を賜りました和歌山大学経済学部をはじめとする、各種関係機関の皆様方に厚く御礼申し上げます。

平成27年1月

和歌山県企画部長 **野田寛芳**

利用上の注意

1. 本書は平成25年(暦年)の和歌山県経済について、各種の主要経済指標を分析し、とりまとめたものであり、本文中の解説については分析結果を理解しやすくするための目安として掲載したもので、それ以上の意味をもつものではありません。
2. 統計表中の数値は、単位未満を四捨五入しているため総数と内訳項目の合計が一致しない場合があります。
3. 統計表中の符号の用法は次のとおりです。

「－」 該当数値が無いもの
「0」 「0.0」 掲載単位に満たないもの

4. 統計表の対前年(同月・期)比は次式により算出しています。

$$\text{対前年(同月・期)比} = (X1 - X0) \div |X0| \times 100$$

X1 : 当年の計数
X0 : 前年の計数
|X0| : X0の絶対値

〒640-8585

和歌山市小松原通一丁目1番地

和歌山県企画部企画政策局調査統計課分析班

電話： (073)441-2389 (直通)

2387・2396 (内線)

e-mail : e0203001@pref.wakayama.lg.jp

ホームページ : <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/020300/wtoukei.htm>

目 次

第1部 平成25年の和歌山県経済

| | |
|---------------------------------|----|
| 平成25年の和歌山県経済の概況・・・・・・・・・・・・・・・・ | 1 |
| Ⅰ 消費関連・・・・・・・・・・・・・・・・ | 3 |
| Ⅱ 投資関連・・・・・・・・・・・・・・・・ | 6 |
| Ⅲ 企業関連・・・・・・・・・・・・・・・・ | 9 |
| Ⅳ 労働・雇用関連・・・・・・・・・・・・・・・・ | 13 |

第2部 主要経済指標からみた和歌山県経済

| | |
|------------------------------|----|
| 和歌山県：経済動向の概要・・・・・・・・・・・・・・・・ | 22 |
| 過去3ヶ年の主要経済指標(和歌山県)・・・・・・・・ | 23 |
| 過去3ヶ年の主要経済指標(全国)・・・・・・・・ | 24 |
| ① 景気動向指数・・・・・・・・・・・・・・・・ | 25 |
| ② 消費・・・・・・・・・・・・・・・・ | 27 |
| ③ 設備投資・・・・・・・・・・・・・・・・ | 36 |
| ④ 住宅建設・・・・・・・・・・・・・・・・ | 41 |
| ⑤ 公共投資・・・・・・・・・・・・・・・・ | 44 |
| ⑥ 生産・・・・・・・・・・・・・・・・ | 48 |
| ⑦ 雇用情勢・・・・・・・・・・・・・・・・ | 56 |
| ⑧ 企業活動・・・・・・・・・・・・・・・・ | 70 |
| ⑨ 物価・・・・・・・・・・・・・・・・ | 74 |
| ⑩ その他・・・・・・・・・・・・・・・・ | 77 |

第3部 平成25年 その他の経済関連

| | |
|--------------------------|----|
| 和歌山県 経済関連主要事項年表・・・・・・・・ | 83 |
| 全国・国際 経済関連主要事項年表・・・・・・・・ | 84 |
| 経済クローズアップ'13・・・・・・・・ | 85 |

第1部

平成25年の 和歌山県経済

第1部は、平成25年の和歌山県経済の現況を4つの観点(消費関連、投資関連、企業関連、労働・雇用関連)から具体的に振り返り、総評したものである。

平成 25 年の和歌山県経済の概況

平成 25 年の日本経済は、年初から持ち直しに転じ景気回復への動きがみられた年となった。

年前半は、株価の上昇に伴う資産効果や消費マインドの改善に伴い、個人消費が景気回復をけん引した。輸出は日銀の「量的・質的金融緩和」による円安の定着とアメリカの景気回復や、尖閣諸島を巡る状況で落ち込んだ中国向け輸出の持ち直しなどを背景に成長を押し上げ、東日本大震災からの復旧・復興事業や「アベノミクス」(※1)と呼ばれる安倍内閣の経済政策の効果が発現してきたことによる公共投資も継続的に成長を支えた。

年後半には、企業収益の改善や好調な内需を背景に設備投資の増加がみられ、また翌年 4 月に控えた消費税の税率引き上げ(※2)を控え、耐久消費財や住宅等において駆け込み需要の動きがみられた。(図 1)

この年における全国状況を、国民経済計算の名目 GDP 増加率(季節調整系列：前期比)【内閣府『2014(平成 26)年 4-6 月期四半期別 GDP 速報(2 次速報値)』】から振り返ると、1-3 月(+1.1%)、4-6 月期(+0.3%)、7-9 月期(+0.4%)、10-12 月期(+0.2%)となり、平成 25 年暦年の前年比は+0.9%と 2 年連続の増加となった。

需要項目別寄与度でみると、1-3 月期は民間最終消費支出[+0.6%]が、4-6 月期は民間最終消費支出[+0.3%]、公的固定資本形成[+0.3%]の各項目が名目 GDP の増加に寄与した。しかし、7-9 月期は公的固定資本形成[+0.4%]、民間最終消費支出[+0.3%]は増加したが、財貨・サービスの純輸出[▲0.9%]が減少、10-12 月期は民間最終消費支出[+0.5%]、民間企業設備[+0.2%]は増加したが、財貨・サービスの純輸出[▲0.8%]が減少し、年間では低い増加にとどまった。(図 2)

実額でみると、財貨・サービスの純輸出額は平成 23 年からマイナスを続けている。貿易統計によると、平成 25 年暦年の貿易収支は 3 年連続で赤字となり、その額は 11.5 兆円と前年の 6.9 兆円から更に拡大し、過去最大額を更新した【財務省貿易統計平成 25 年分(確定)】。原因は、東日本大震災による原子力発電所の停止から火力発電用の LNG や原油および粗油等の燃料の需要が増加したことに加え、円安の影響で輸入額が増加したことが主な要因である。

日経平均株価の動きをみると、4 月の日銀による「量的・質的金融緩和」の効果で年初の 1 万 1 千円台から 5 月には 1 万 6 千円弱まで上昇した。その後しばらくは 1 万 3 千円弱から 1 万 4 千円台の間で横ばいの動きとなったが、秋頃から対米ドル円レートが 100 円台から 105 円台まで円安方向へ推移するに伴い再び上昇し、年末の株価終値は 16,291 円 31 銭と年内最高値を記録した。(図 3)

このような中で、和歌山県経済についてみると、製造業の生産活動については、全国の傾向から少し遅れる形で年後半から改善の動きがみられた。春先までは円高・株安による需要が完全に戻っていなかったことから、生産水準は横ばいで推移していたが、景気の回復が本格的にみえてきた年央から生産水準が回復し、全国の動きを後追いする形で、年後半にかけて徐々に回復基調がみられた。

企業の設備投資については、設備投資のマインドは引き続き高い水準を維持していたが、前年までみられていた投資規模の拡大傾向は落ち着いてきている状況であった。また、個人の住宅投資については、消費税率引き上げ前の駆け込み需要の影響により活発な動きがみられた。公共投資については、高規格道路の建設等により、前年に引き続き高い水準を維持した。

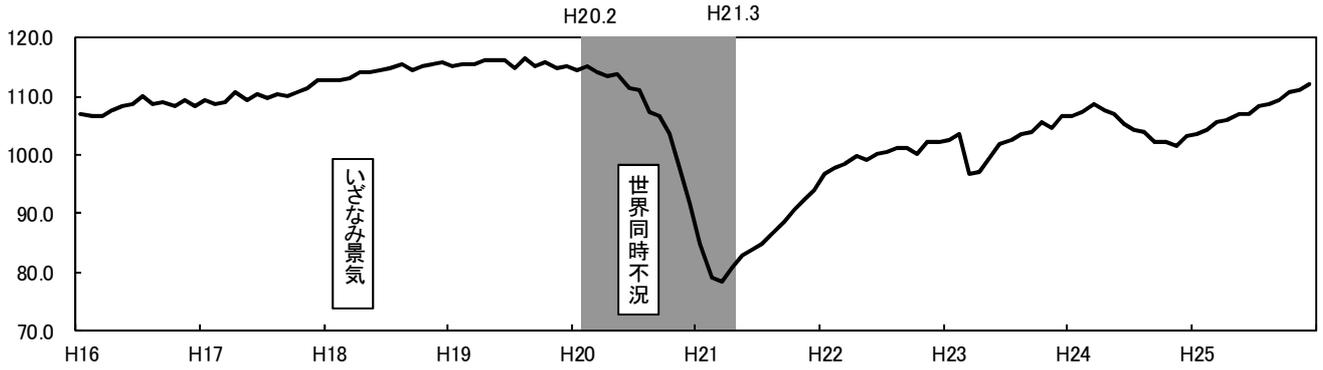
労働環境については、需要の回復により所定外労働時間の増加がみられたが、現金給与総額や賞与といった賃金面への改善にはまだ至っていない状況であった。また、雇用環境については、有効求人倍率が引き続き上昇傾向にあったものの、サービス系産業や建設系などへの求人の偏りがみられ、パートタイム労働者比率の高まりが引き続き続いた。

和歌山県の CI(※3、図 4)の動きをみると、平成 25 年は全国 CI や株価の動きに遅れて上向きの動きを見せ、年初に落ち込んだものの、その後春過ぎから夏にかけて上昇の動きを見せた。しかしその後秋頃には下降の動きをみせた時期もあったことから、全国の動きとは異なり景気回復への動きに弱さがみられる状況であった。

※1・※2 第 3 部『経済クローズアップ』を参照

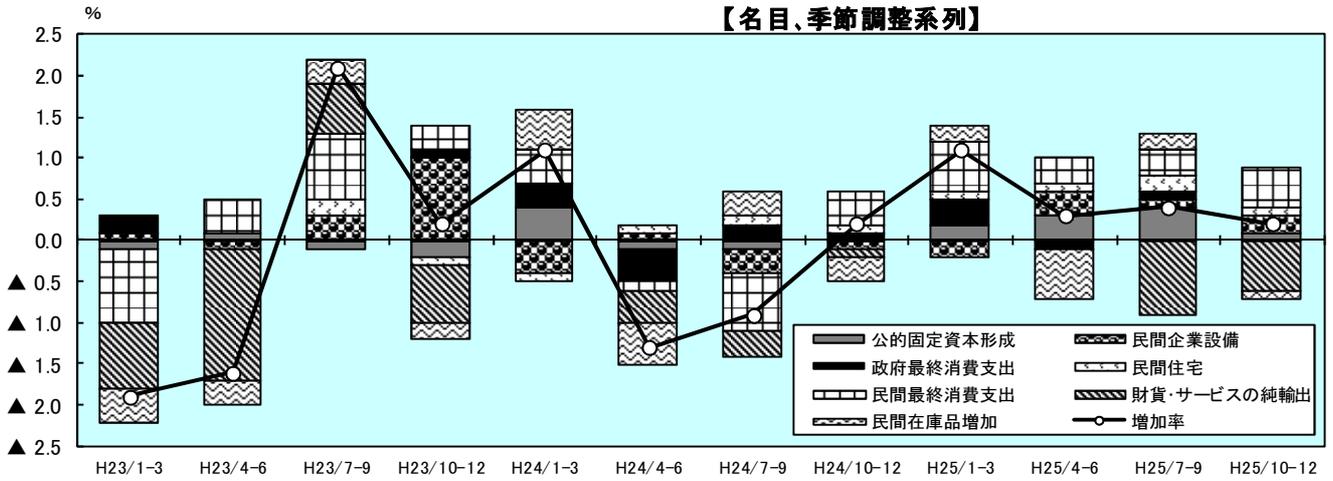
※3 第 2 部『①景気動向指数』を参照

図1 国のCIの推移



出典：内閣府経済社会総合研究所「景気動向指数」

図2 国内総生産(GDP)増加率と需要項目別寄与度
【名目、季節調整系列】



出典：内閣府経済社会総合研究所「四半別GDP時系列表」

図3 日経平均株価の推移

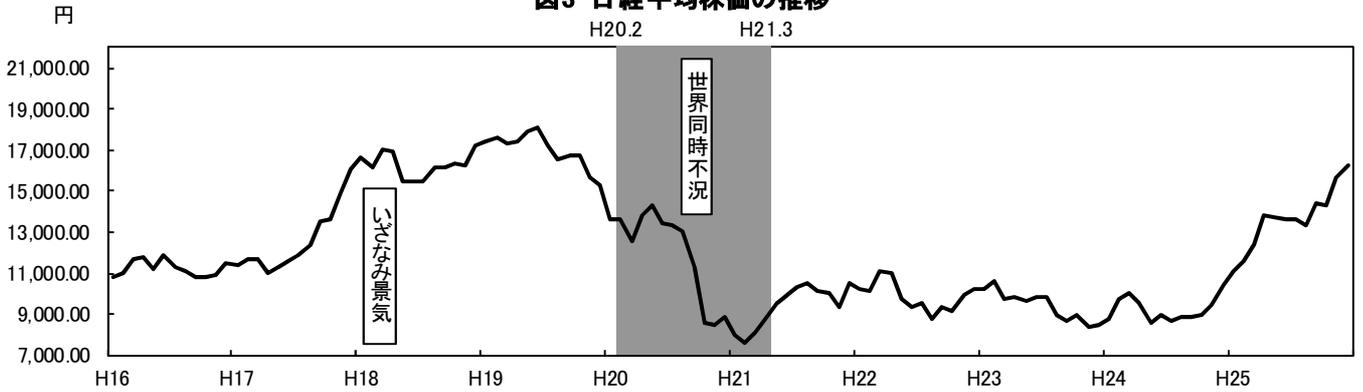
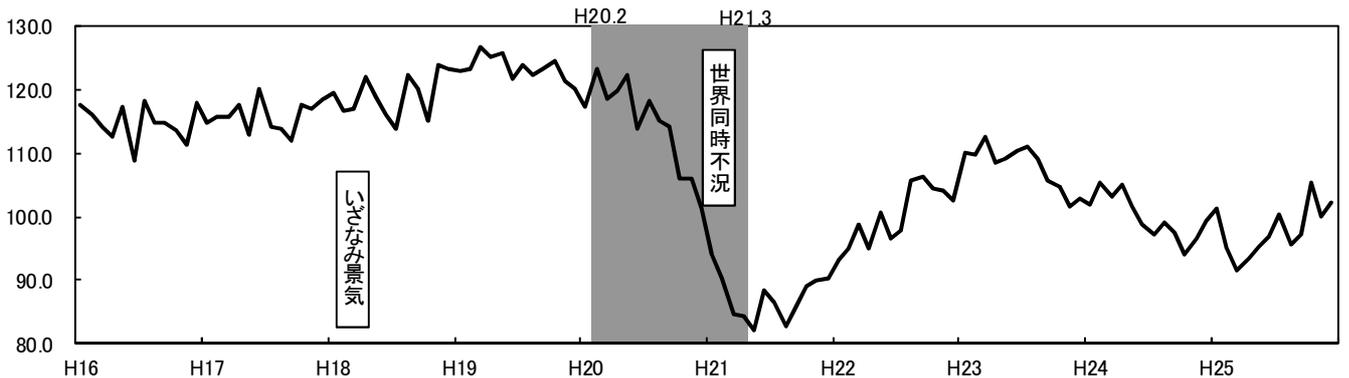


図4 和歌山県のCIの推移



出典：和歌山県調査統計課「景気動向指数」

【消費関連】 ～デフレ脱却の動きが見えつつあるものの、
本格的な回復傾向には至らず～

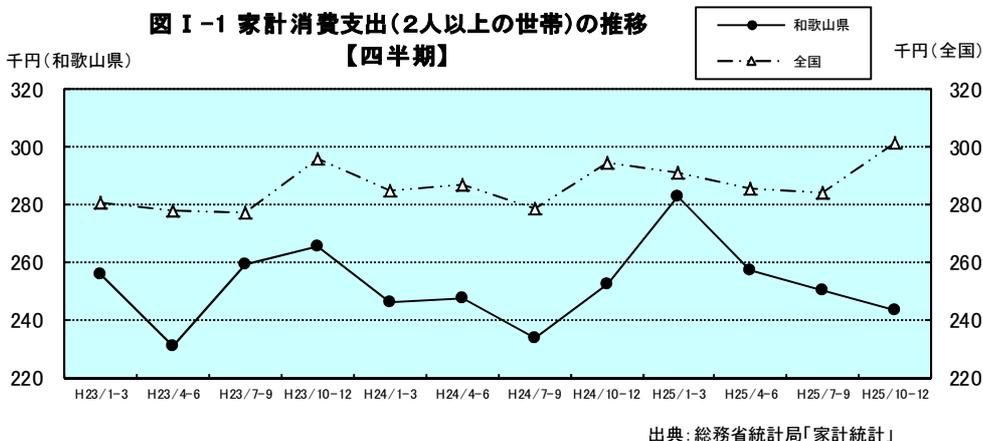
ここでは、平成25年の和歌山県経済を消費の観点から振り返る。
 まず全国の動きをみると、消費は、平成25年に入ってはっきりと持ち直してきた。
 平成21年の景気底入れ以降平成24年までは、リーマンショック後の各種政策対応や東日本大震災で先送りされた需要により底堅く推移していたが、平成25年に入って株価上昇による資産効果や政権交代後の消費マインドの上昇などで個人消費を押し上げた。
 小売業の販売動向を平成25年商業販売統計からみると、小売業販売額は、2年連続増加(前年比+1.0%)した。業種別では、飲食料品小売業が野菜の相場高や涼味商材の動きが速かったことにより増加(前年同月比+1.3%)、燃料小売業がガソリンなどの石油製品価格の上昇により増加(同+3.4%)、織物・衣服・身の回り品小売業が季節商材の好調により増加(同+2.2%)した。一方、自動車小売業は、前年のエコカー補助金制度終了の影響などにより減少(同▲1.4%)、機械機器小売業は、薄型テレビなど不調だったことなどにより減少(同▲1.3%)した。
 また、平成25年における家計消費支出額(2人以上世帯)は、前年に比べ実質+1.1%の増加(名目+1.5%)となり、2年連続の増加となった。10大費目別にみると、「食料」、「教養娯楽」、「交通・通信」、「住居」、「家具・家事用品」、「被服及び履き物」、交際費などの「その他の消費支出」及び「保健医療」の8費目が増加となった。一方、「光熱水費」及び「教育」の2費目が減少となった。

消費者物価指数(平成22年=100、暦年平均)は、総合指数では100.0(前年比+0.4%)、生鮮食品を除く総合指数では100.1(前年比+0.4%)といずれも5年ぶりに上昇した。しかし、食料・エネルギーを除く総合指数では98.3(前年比▲0.2%)と5年連続で下落した。

10大費目別に指数の動きをみると、光熱・水道費は電気代などにより+4.6%、交通・通信費は自動車関係費などにより+1.4%、諸雑費は+1.2%、教育は+0.5%、被服及び履き物は+0.3%の上昇となった。一方、教養娯楽費は教養娯楽耐久財などにより▲1.0%、住居は家賃などにより▲0.4%、家具・家事用品は家庭用耐久財などにより▲2.2%、食料は▲0.1%、保健医療は▲0.6%の下落となった。

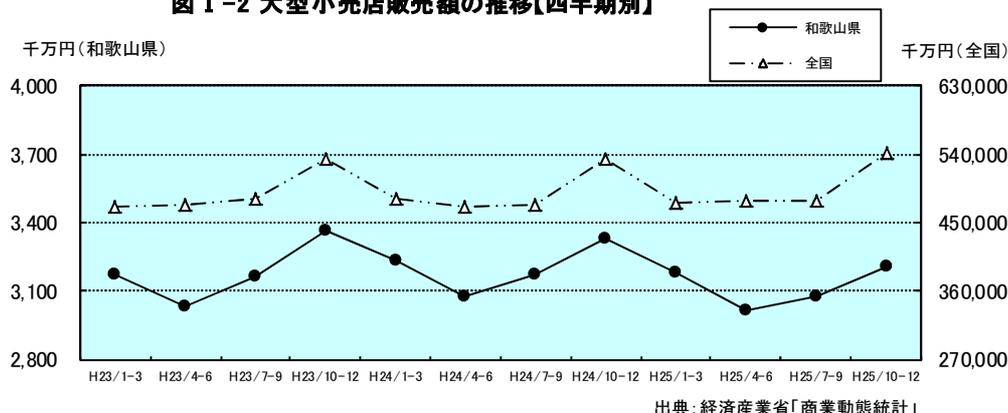
次に、和歌山県の消費動向についてみていく。

家計消費支出(2人以上の世帯)からみると、平成24年は低迷していたが、平成25年に入ると1-3月期から7-9月期にかけて対前年同期比を上回る状況となった。10-12月期は対前年同期比でマイナスとなったが、暦年では2年ぶりに増加(+5.5%)した。(図I-1)



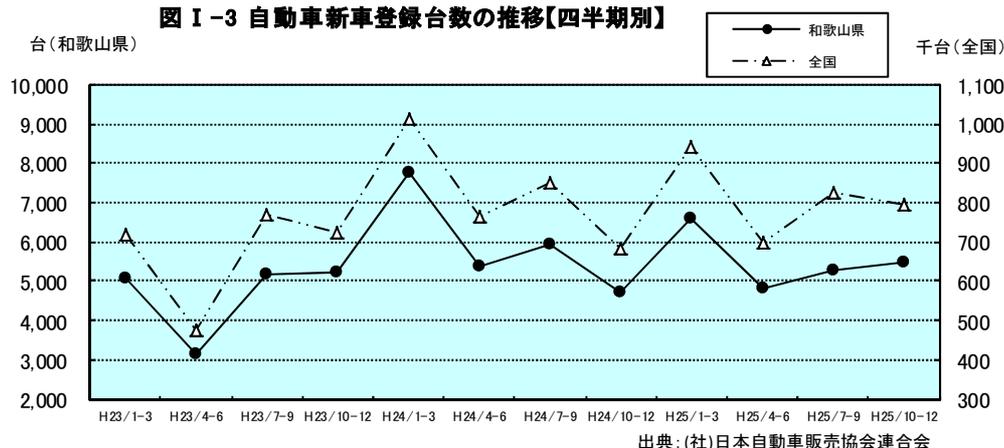
大型小売店販売額からみると、平成 25 年は全国では増加（前年比+0.9%）に転じたのに対し、県内では 3 年ぶりに減少（同▲2.6%）した。（図 I-2）

図 I-2 大型小売店販売額の推移【四半期別】



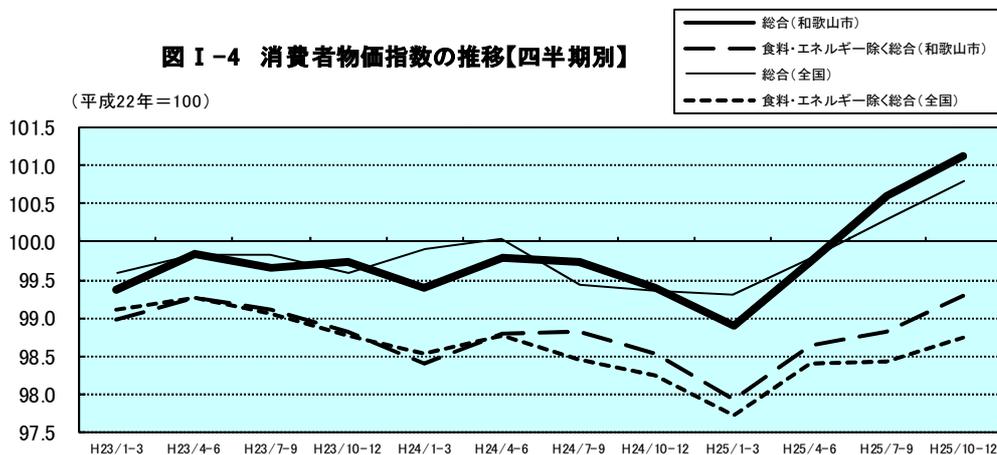
自動車の新車登録台数は、平成 25 年は 2 年ぶりの減少となった。四半期別にみると、1-3 月期から 7-9 月期は、前年 9 月まで実施されていたエコカー補助金制度の影響により前年同期比で減少した。しかし、10-12 月期は、前年同期のエコカー補助金終了による反動減や、翌年に実施される消費税率引き上げ前の駆け込みによる購入などにより、前年同期比+16.0%の大幅増加となった。通年では▲6.8%（全国▲1.4%）の減少となった。（図 I-3）

図 I-3 自動車新車登録台数の推移【四半期別】



物価の動向を、消費者物価指数(平成 22 年=100) からみると、春頃から夏頃にかけて低下していたが、その後年末にかけては上昇をみせた。暦年では、総合指数は 100.1（前年比+0.5%）と、平成 21 年以降の下落傾向から転じて 5 年ぶりの上昇となった。（図 I-4）

図 I-4 消費者物価指数の推移【四半期別】

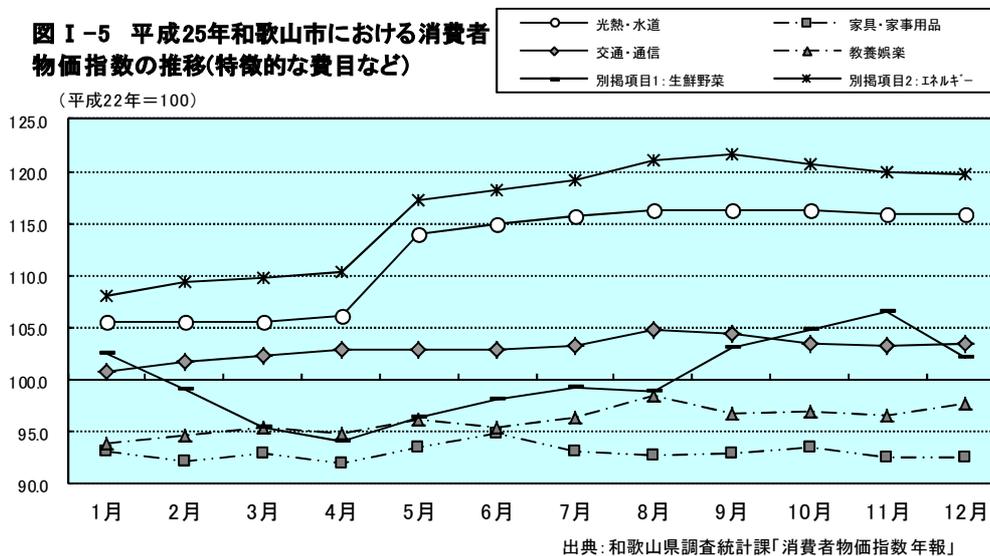


第1部 平成25年の和歌山県経済

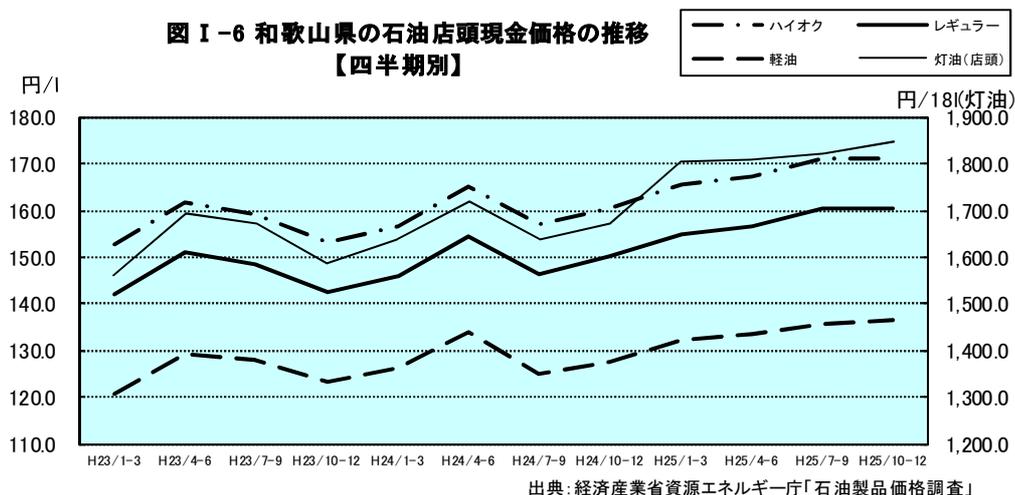
平成25年中の指数の動きを費目別にみると、電気料金の値上げ(※)により、【光熱・水道】が、ガソリン価格の上昇により【交通・通信】が、また【教育】【被服及び履物】【諸雑費】も上昇した一方で、【家事・家具用品】や【教養娯楽】【食料】【住居】【保険医療】は下落した。

(図 I-5)

(※)電気料金の値上げ：第3部「経済クローズアップ」参照



このうち、物価動向で上昇の大きな要因となったエネルギーのうち、石油製品価格について、本県の石油店頭現金価格(油種別)の推移を代表的なレギュラーガソリンについてみると、世界的な原油価格の高騰は落ち着いてきたものの、円安の進行により輸入価格が上昇したことから国内価格も上昇し、平成25年8月には161.9円/1と平成21年以降の最高値を更新した。その後も160円/L台の水準で推移した。暦年でみても、4年連続で上昇する結果となった。(図 I-6)



平成25年の本県経済を消費の観点から総括すると、家計消費支出の増加や物価上昇の動きがあり、デフレ脱却への動きが見られた。しかし、大型小売店販売額が低迷していること、また、電気料金やガソリン・灯油等のエネルギー関連の物価が上昇していることから、家計の消費行動が本格的に回復したとは言い難く、今後の消費動向に関して注意が必要な状況であった。

【投資関連】 ～企業投資・公共投資・住宅投資のいずれも昨年より増加～

ここでは、平成 25 年の和歌山県経済を投資の観点から振り返る。

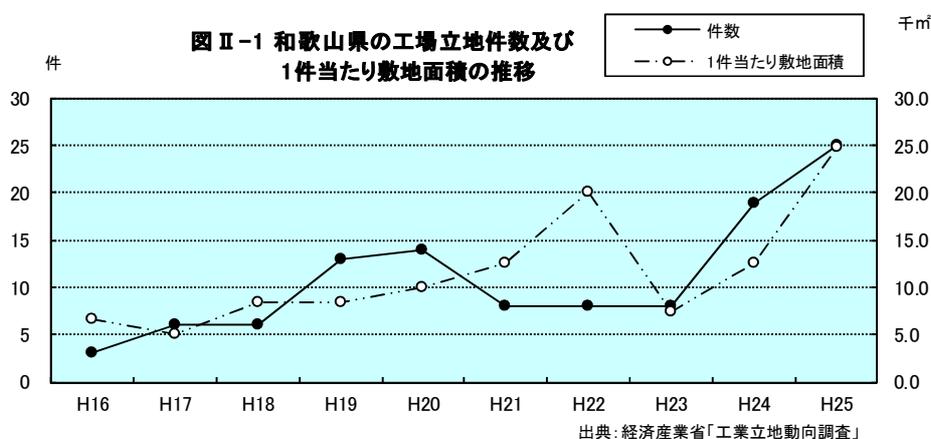
全国の動きをみると、企業の設備投資については、大企業を中心に海外進出と海外生産比率の上昇が続いており、近年ではそれに伴う中小事業者の海外進出も増加していた。しかし、円安の進行や地政学リスクなどにより、国内生産を再評価する動きや、大規模太陽光発電（メガソーラー）の立地が増加したことにより、工場立地や着工建築物等といった設備投資が大幅に増加した。

次に住宅投資については、翌年に控えた消費増税の駆け込み需要もあり、年間を通じて堅調に推移し、平成 25 年の新設住宅着工戸数は前年比+11.0%となり、4 年連続で増加した。

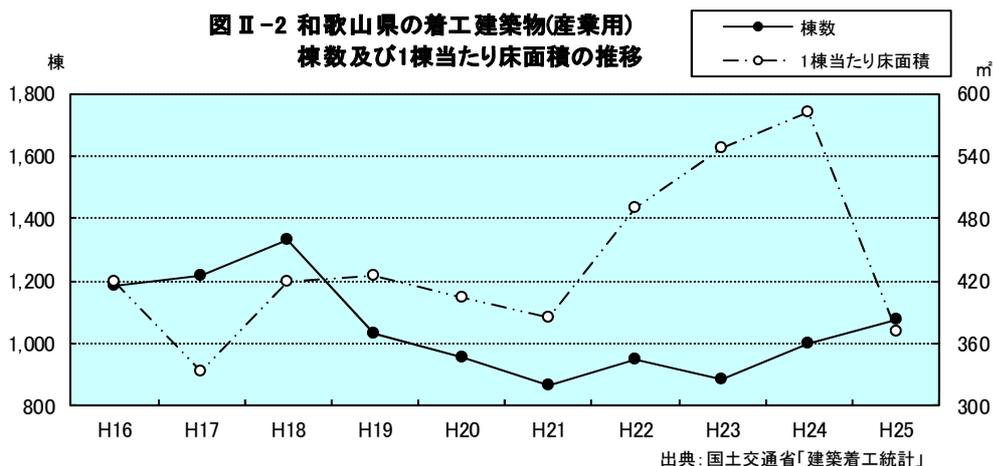
また、公共投資は、東日本大震災からの復旧・復興に向けた動きが続いているほか、1 月に閣議決定された「日本経済再生に向けた緊急経済対策」の執行が本格化したことを受けて、平成 25 年の公共工事請負受注額は前年比+12.9%と 2 年連続の増加となった。

次に、和歌山県内の動きについてみていく。

県内における企業の設備投資を、工場立地件数および 1 件当たりの敷地面積からみると、平成 25 年の立地件数(25 件)は平成 24 年(18 件)から大幅に増加し、1 件当たり敷地面積(24.8 千㎡)も増加(前年比+96.3%)し工場立地件数・1 件あたり敷地面積のいずれも過去 10 年間で最高を記録した(図Ⅱ-1)。これは、電気業における大規模太陽光発電(メガソーラー)の立地が大幅に増加したためである。なお、電気業を除く立地件数をみると、平成 25 年の立地件数は 13 件(対前年比▲2 件)、1 件あたり敷地面積は 14.6 千㎡(同+56.6%)となった。



着工建築物（産業用）の棟数および 1 棟当たり床面積からみると、平成 25 年における棟数は 2 年連続して増加(前年比+8.0%)したものの、1 棟あたり床面積では 4 年ぶりに減少(同▲36.1%)した。(図Ⅱ-2)

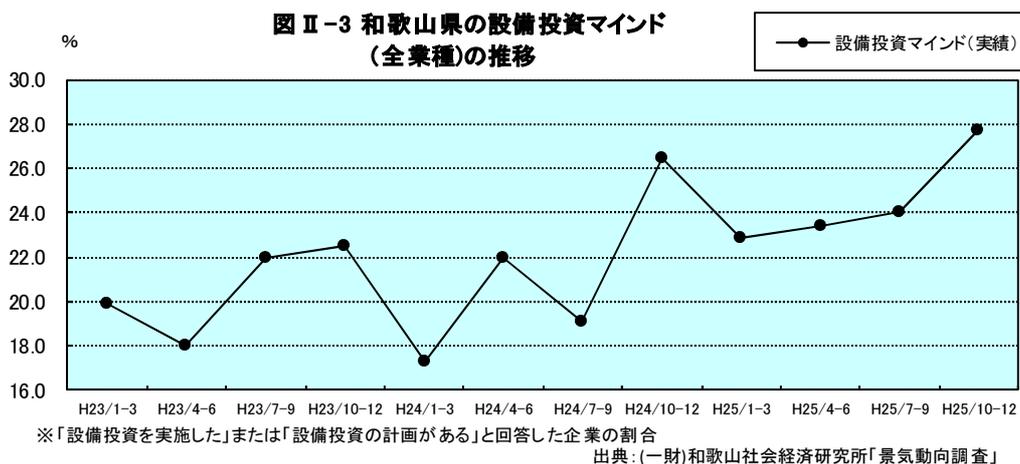


第1部 平成25年の和歌山県経済

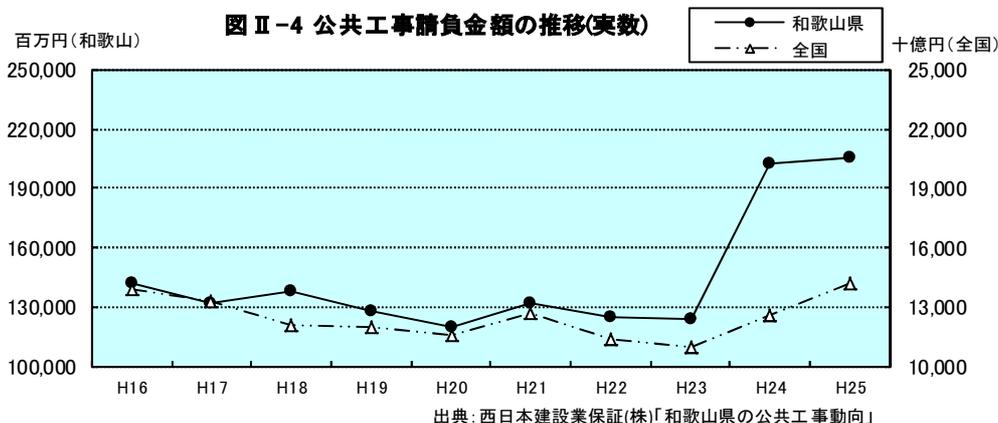
着工建築物（産業用）の1棟当たり床面積を用途別にみると、「店舗」、「工場及び作業場」、「倉庫」、「学校」については減少に転じ、「病院・診療所」については2年連続で減少している。

これは、着工建築物（産業用）に対する投資が前年に比べ減少したことが要因である。

また、企業のマインドを県内企業へのアンケート調査（（一財）和歌山社会経済研究所）の結果からみると、年間を通じて上昇を続け、過去3年間でもっとも高い水準を更新した。年平均でも、年々上昇しており、企業経営者の設備投資を実施への意欲が高まっている状況となっている。（図Ⅱ-3）

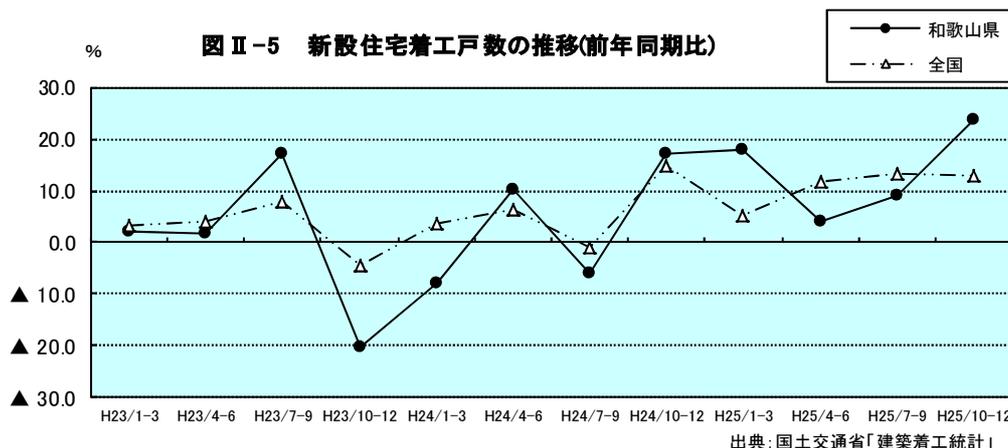


次に、公共投資について公共工事請負金額の推移からみると、平成25年は京奈和自動車道・近畿自動車道紀勢線・那智勝浦道路といった高規格道路の整備工事が続いていることから、前年比+1.7%と、前年の水準を上回った。（図Ⅱ-4）



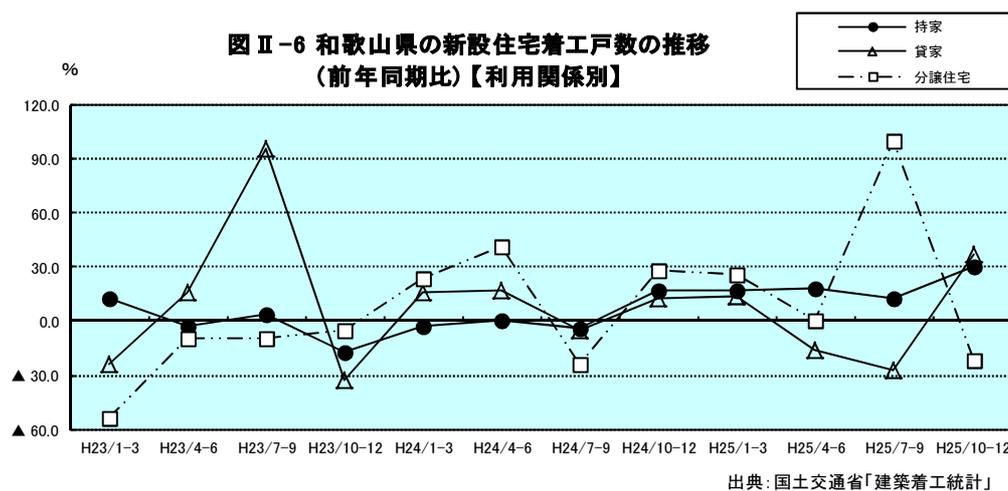
続いて、住宅投資について、新設住宅着工戸数の推移からみると、平成25年は、翌年に実施される消費増税を控え駆け込み購入の動きがみられた。特に経過措置（※）が9月末期限だったことにより、10-12月期は前年同期比+23.9%と大きな増加をみせた（図Ⅱ-5）。暦年でみても前年比13.6%と増加した。

（※）消費税率引き上げによる経過措置で、平成25年9月30日までに契約した請負工事等の場合、引き渡しが平成26年4月1日以降であっても5%の税率が適用される。



利用関係別にみると、持ち家は全ての四半期で増加し、通年では前年比+19.9%の増加となり、分譲住宅は1-3月期から7-9月期にかけて増加したが、10-12月期には減少に転じ、通年では前年比+17.8%の増加となった。一方、貸家は1-3月期及び10-12月期は増加したものの、4-6月期及び7-9月期は減少し、通年では前年比▲1.8%と3年ぶりの減少に転じた。(図II-6)

また、東日本震災以降、津波に対する警戒心から海岸沿いの地域から高台の物件を求める動きも続いている。



平成25年の本県経済を投資の観点から総括すると、全般的に堅調な動きであった。

企業投資については、設備投資マインドが引き続き上昇傾向は維持しており、工場立地件数及び着工建築物(産業用)が増加し、上向きの状況であった。ただし着工建築物の1棟あたり床面積が減少に転じたことは留意する必要がある。

公共投資については、高規格道路の整備工事が続いていることから、前年の水準を維持している。

また、民間の住宅投資についても、消費税率引き上げ前の動きもあり、活発な動きがみられた。

【企業関連】 ～ 生産活動は回復傾向がみられるものの、強い動きまで
至らず、消費の弱含みの影響もみられる ～

ここでは、平成25年の和歌山県経済を企業活動の観点から振り返る。

まず全国の動きをみると、リーマンショック後、円高の動きが進む中で、我が国の産業では海外生産の拡大が進んだ。

そういった中、企業の売上や収益は、平成24年末以降、円安方向の動きに伴い製造業・非製造業ともに増収・増益傾向で推移しており、平成25年は、日銀の「量的・質的金融緩和」による円安の定着や経済政策により、為替要因や国内要因はプラスに寄与したが、輸出要因は伸び悩んだ。

また、急激な円安による石油・LNG等のエネルギー価格の上昇や、電気料金の値上げ（※1）などによるコスト上昇要因も顕在化してきている。

内閣府『月例経済報告』によると、企業収益は、年初は「製造業を中心に弱含んでいる」から12月に「改善している」まで、年間を通じて改善の動きが報告された。

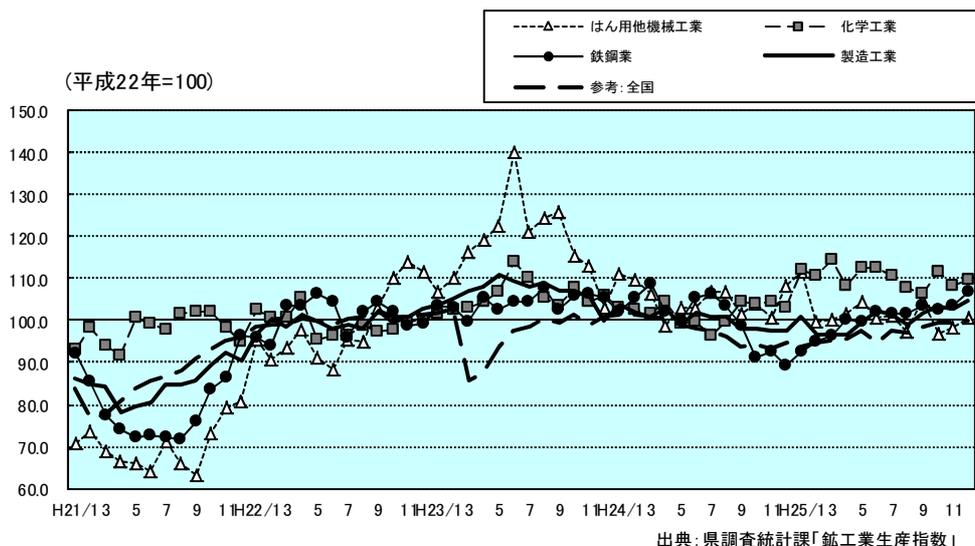
（※1）電気料金の値上げ：第3章『経済クローズアップ』を参照

製造業における生産動向を表す鉱工業生産指数（H22=100）をみると、全国では平成24年夏以降の景気減速から年明けには回復の動きを見せたが、暦年平均では97.0と2年ぶりの低下（前年比▲0.8%）となった。

和歌山県の動きをみると、基礎素材や設備投資に関連する機械等の輸出産業の割合が多い本県では、回復の動きは全国より遅れ4月以降となった。その結果、和歌山県の暦年の指数は99.8と2年連続で低下（前年比▲0.4%）した。

その中身を県内産業の中でウェイトの高い業種別にみると、最も高い【はん用・生産用・業務用機械工業】では前年に比べると若干低い水準で一進一退の動きをみせた。また2番目にウェイトの高い【化学工業】では、年初頭に上昇し、その後一進一退の動きをみせた。3番目に高い【鉄鋼業】は、年初は低い動きであったが4月以降上昇基調をみせた。（図Ⅲ-1）

図Ⅲ-1 和歌山県の鉱工業生産指数（主要業種別）の推移《季節調整済》



続いて、海外の動向に大きく左右される輸出入の状況を見ると、全国の貿易収支は▲11兆4,683億円となり、前年（▲6兆9,411億円）に引き続き3年連続で赤字幅が拡大した。輸出額は3年ぶりに増加に転じたものの、輸入額が4年連続増加し、貿易赤字が拡大することとなった。

(輸出額：+14.9%、輸入額：+9.5%、(いずれも前年比))

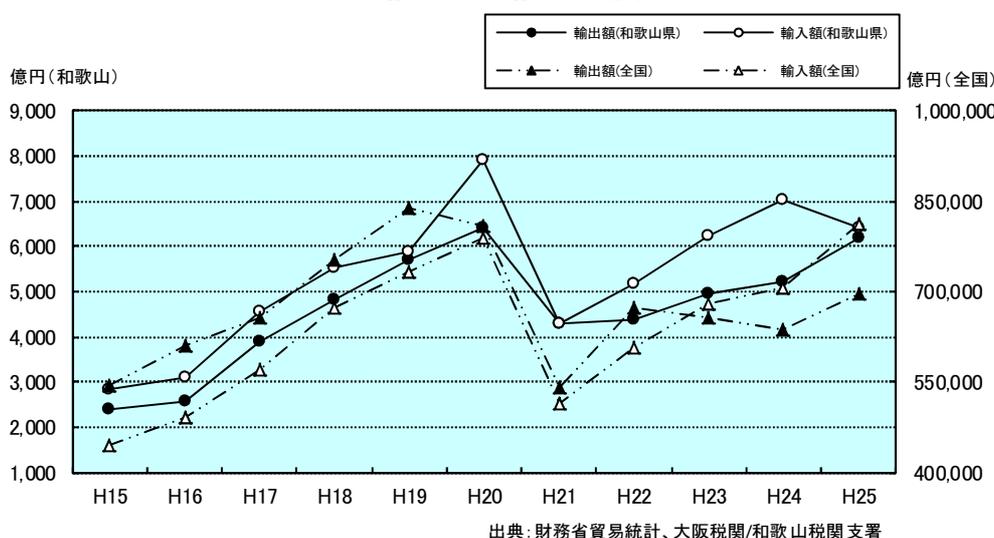
輸出額の増加は、輸送用機器、化学製品、科学光学機器等が増加したことが要因で、輸入額の増加は、円安の定着や鉱物性燃料の需要が依然として高いことに加え、電気機器、一般機械、輸送用機器が増加したことが要因となっている。

本県における輸出入額（純）は、平成 21 年を除き輸入超過の状況が続いているが、平成 25 年は、前年と比較して輸出額は増加（+18.7%）し、輸入額が減少（▲9.0%）したことにより、超過額は前年に比べて減少し、▲236 億円（平成 24 年：▲1,840 億円）となった。（図Ⅲ-2）

輸出額は品目別では鉄鋼が全体の約 5 割、石油製品が 3 割半ばを占めている。地域別では、アジア諸国が 5 割半ばを占めており、大洋州（オーストラリア等）、北米が続いている。

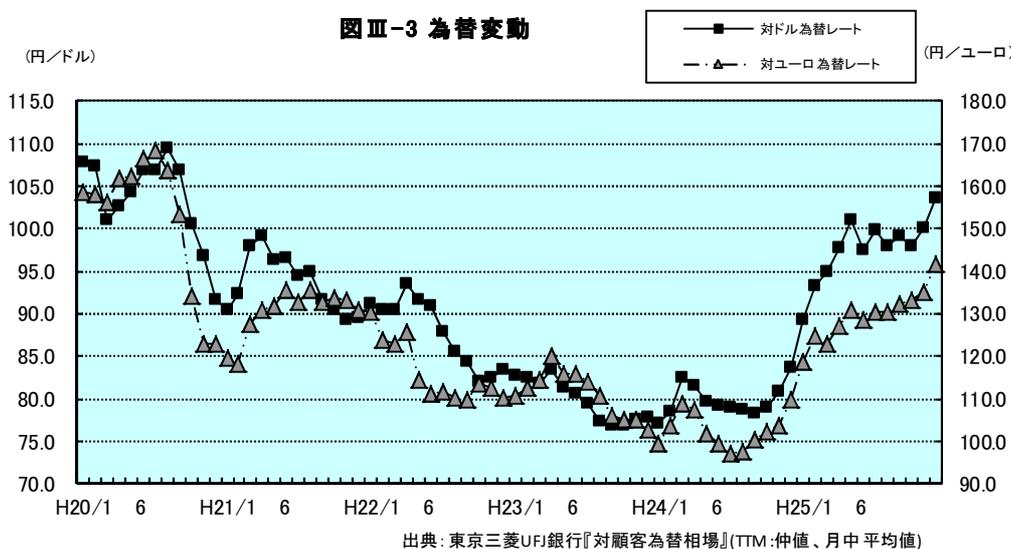
また輸入額では、原油および粗油が全体の 8 割強を占め、次いで割合の高い鉄鉱石、石油製品を合わせると約 9 割となっている。

図Ⅲ-2 輸出額及び輸入額の推移



また、為替の動向をみると、平成 24 年秋以降円安方向で推移している。4 月には日銀の「量的・質的金融緩和」が導入され、5 月下旬に 102 円台後半まで円安が進んだ。その後は 94 円台から 99 円台の水準で推移していたが、11 月下旬には 100 円台を突破し、年末終値は 105 円 39 銭となった。（図Ⅲ-3）

図Ⅲ-3 為替変動

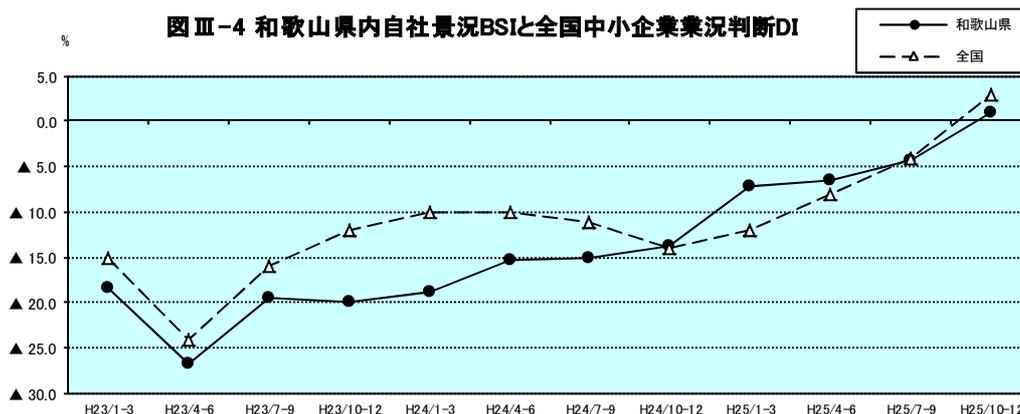


第1部 平成25年の和歌山県経済

次に、企業の景況感について、日銀短観の「業況判断DI(※2)」と(一財)和歌山社会経済研究所の「自社景況BSI(※3)」からみると、平成25年は、全国では個人消費の持ち直しや円安による輸出企業の採算改善などから上昇し、当県でも、旺盛な公共工事を背景に建設業等を中心に年間を通じて上昇した。(図Ⅲ-4)

(※2) 日本銀行が四半期毎に行うアンケート調査であり、自社景況判断や業況判断、その見通しについて、「良い」と回答した企業の割合から「悪い」と回答した企業の割合を引いたもの。(全国から約11,000社を抽出、うち中小企業は約5,500社)

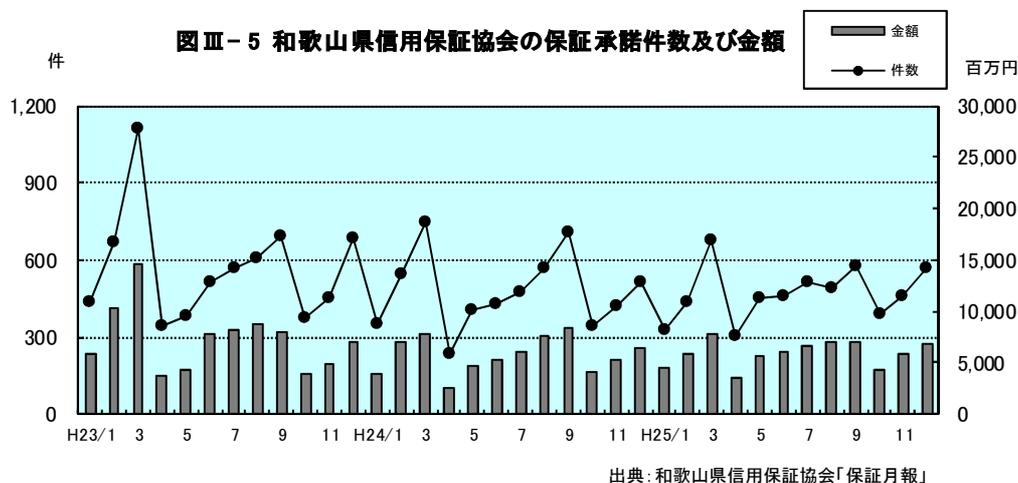
(※3) (一財)和歌山社会経済研究所が行うアンケート調査であり、日本銀行の業況判断DIと同様の基準を用いて県内企業の景況感を知るためのもの。(抽出企業数は約1,000社)



出典: (一財)和歌山社会経済研究所「景気動向調査」/日本銀行「日銀短観」

また、企業の資金繰りの状況を、和歌山県信用保証協会がまとめた保証承諾の件数及び金額の推移からみると、前年まで件数・金額ともに前年比で減少が続いてきたが、平成25年は、前年比で件数は減少(▲1.8%)したものの、金額が増加(+2.8%)し、減少の動きから下げ止まりの状況がみえてきた。

これは、企業の設備投資マインドが、過去3年間で最も高い水準となったことや、着工建築物(産業用)の着工棟数が2年連続して増加(前年比+8.0%)したこと、更には住宅投資が翌年に実施される消費増税を控え駆け込みの動き(同+13.6%)がみられたことによるものと考えられる。(図Ⅲ-5)



出典: 和歌山県信用保証協会「保証月報」

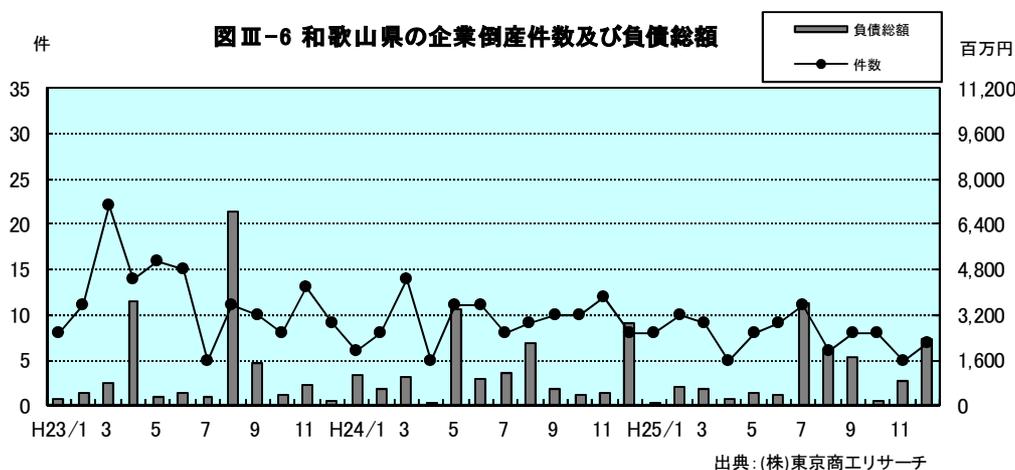
最後に、企業の倒産状況をみると、平成25年における企業倒産件数(負債総額1千万円以上)は94件と、3年連続して減少(前年比▲16.1%)した。

倒産した企業を業種別にみると、卸売・小売業（28件）、建設業（24件）、サービス業（24件）の順に多く、これらの業種で全体の約8割を占めている。これらの中には、業歴数十年の老舗企業の倒産もみられた。

負債総額についても、3年連続で減少（前年比▲11.1%）したが、1件当たりの負債総額は、2年連続して増加（前年比+5.9%）した。負債総額10億円以上の大規模な倒産件数は4件で前年と同数であったが、倒産一件あたりの負債総額が増加していることから、零細事業者のみならず中堅企業の倒産が増えてきたと考えられる。（図Ⅲ-6）

平成25年は、3月に中小企業金融円滑化法（※4）が終了したことから、倒産件数の増加が懸念されたが、倒産件数が大幅に増加することはなかった。

- （※4） 正式名称は「中小企業者等に対する金融の円滑化を図るための臨時措置に関する法律」
 中小企業や住宅ローンの借り手の申込みに対し、金融機関ができる限り貸付条件の変更等を行うよう努めることなどを定めたもので、平成25年3月末をもって終了したが、その後も金融機関の対応を変化させないようにする旨の要請を金融庁が各金融機関に行った。



平成25年の本県経済を企業活動の観点から総括すると、企業の生産活動は、前年末の低下から回復傾向がみられる年となった。

しかし、全国的には為替の円安が定着したにもかかわらず、生産活動は著しい回復がみられず、リーマンショック後の生産拠点を海外へ移転する動きの影響がみられ、本県の生産活動への影響も懸念される状況であった。

非製造業については、企業活動の回復や景況感の上昇がみられたが、消費の回復が弱いことから、厳しい経営環境が継続する状況であった。

【労働・雇用関連】 ～求人倍率、超過労働給与は上昇したが、現金給与総額・賞与の改善には至っていない～

ここでは、平成25年の和歌山県経済を労働・雇用関連の観点から振り返る。

まず全国の動きをみると、完全失業率(季節調整値)は、平成25年は4.0%で、平成24年の4.3%から0.3ポイント低下し、3年連続で改善した。(総務省『労働力調査』)

一方、有効求人倍率(季節調整値)は、平成21年の0.47倍を底に回復が続き、平成25年は0.93倍となり雇用環境の改善が進んだ。また、業種別にみると、平成24年に引き続きサービス業や医療・福祉、卸売・小売業といったサービス系産業の求人に加え、公共工事の増加を受けて建設業が平成25年の求人の牽引役となった。常用労働者に占めるパートタイム労働者の比率は、上昇傾向が継続しており、平成25年は29.4%に達した(厚生労働省『毎月勤労統計調査』)。

大学・高校新卒者の就職環境に関しては、引き続き改善の動きがみられた。大学卒業者の就職内定率は、平成22年に91.0%と過去最悪の水準を記録したあと、平成25年の94.4%まで3年連続で上昇した。また高校新卒者についても、98.2%と4年連続で上昇した。(いずれも翌年4月1日時点)。

また、労働者の賃金動向については、円安等による企業業績が回復してきたものの、賃金への反映が遅れる傾向がみられたことから、夏季・年末賞与や年間所得となる現金給与総額は前年の減少傾向から脱したものの、小幅な増加に留まった。

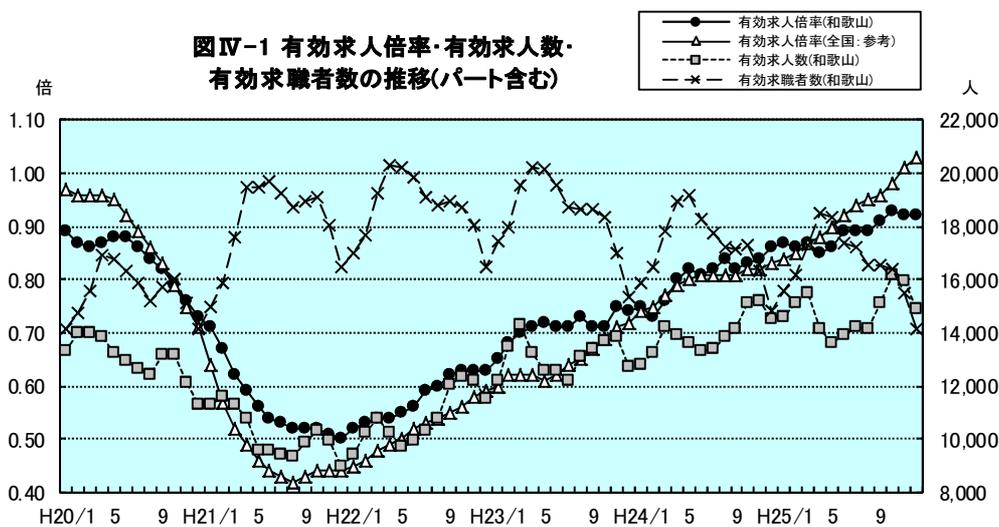
次に和歌山県の雇用環境の状況をみると、有効求人倍率は、平成21年12月の0.50倍を底に、平成22年以降上昇を続け平成25年10月には0.93倍まで回復した。(図IV-1)

求人の内容を業種別にみると、平成22年以降の新規求人数の増加に大きく寄与しているのは、サービス系の産業で、特に本県では、医療・福祉といった産業の求人が大きくなっている。また、平成24年頃からは災害復旧や高規格道路等の建設工事の増加に伴い建設業も増加している。

充足率(※)をみると、平成21年平均の35.7%から低下が続いており、平成25年は26.7%と前年比▲2.3ポイントの低下となっており、求人と求職者のミスマッチが続いている。

また、平成25年の完全失業率は、全国の傾向と同様に、年平均で3.4%と3年連続して低下した。(総務省『労働力調査』モデル推計値)

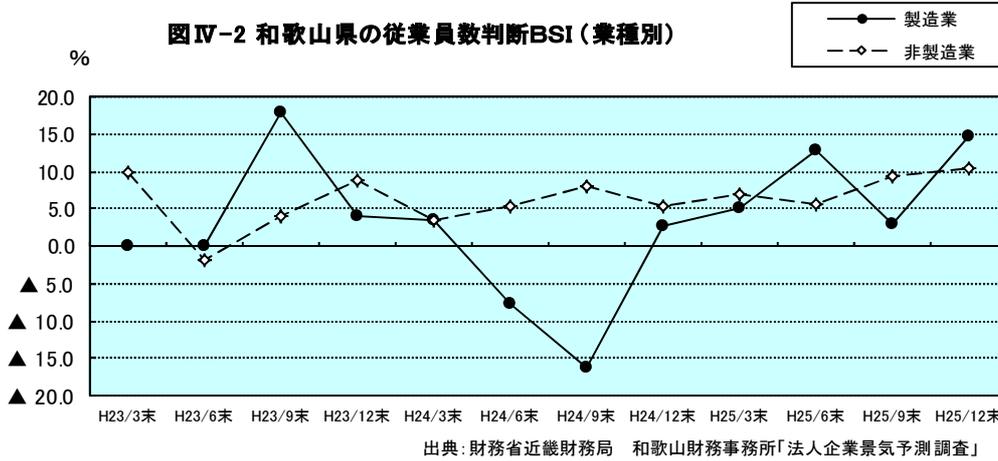
(※)充足率：有効求人が公共職業安定所の紹介により求職者と結合した割合



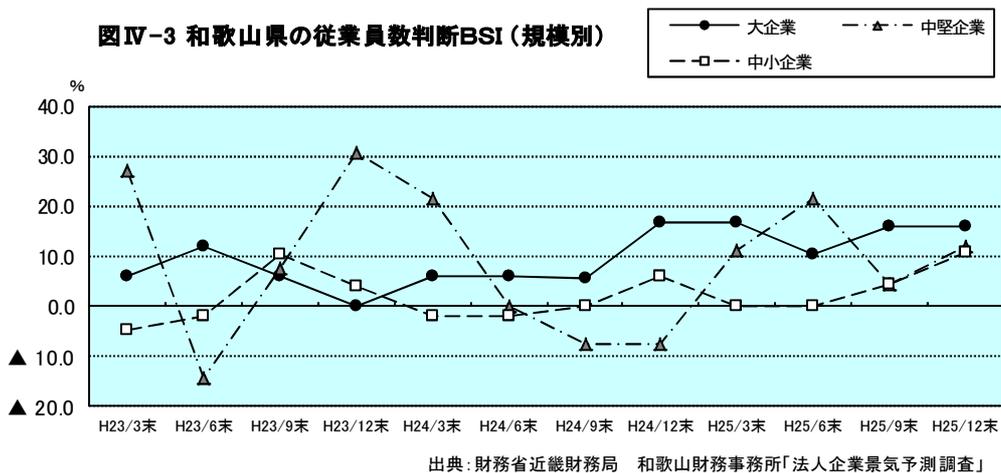
図IV-1 有効求人倍率・有効求人数・有効求職者数の推移(パート含む)
 ※有効求人倍率については、季節調整値。求人・求職者数は原数値
 出典：厚生労働省「職業安定業務統計」

次に、各企業における従業員数の適正状況について、財務省近畿財務局和歌山財務事務所の「従業員数判断BSI」からみる。

まず、業種別にみると、平成25年は、製造業・非製造業ともに人員の不足感が高まった。製造業では、円安の定着などによる生産活動の持ち直しにより通年の前年比で▲4.4%から+8.9%と大幅に上昇し、夏前と年末に特に人員不足の状態となった。また非製造業では、前年比+5.6%から+8.2%と上昇の動きが継続し、年間を通じて人員不足の状態が続いた。(図IV-2)

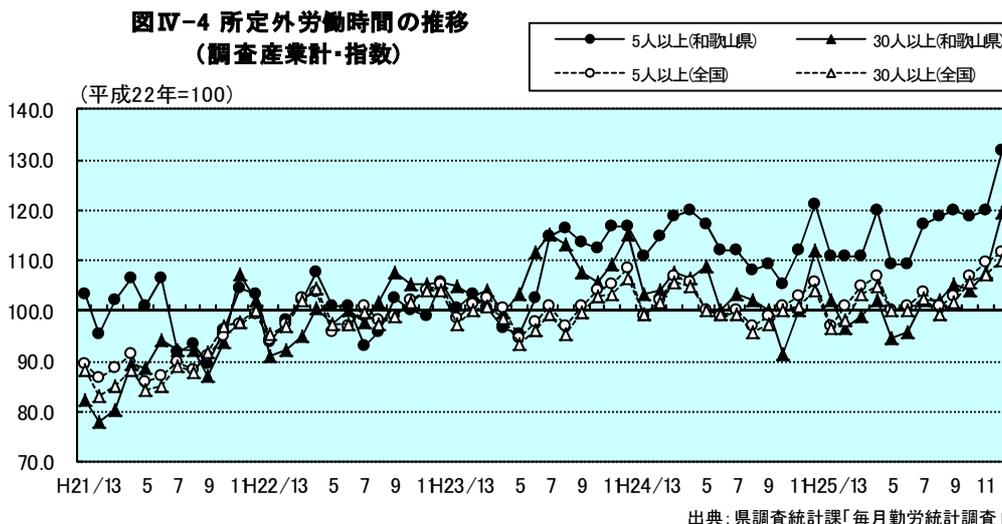


次に規模別にみると、通年の前期比で大企業が+8.5%から+14.7%、中堅企業は+1.7%から+12.3%、中小企業は+0.6%から+3.8%と全ての規模で上昇が継続し、全体的に人員の不足感が高まっていた。四半期別にみると、大企業及び中堅企業では年間を通じ人員不足の状態が続いていたのに対し、中小企業では年初から夏前まで人員に過剰感が残っていたが、夏以降、生産や消費の持ち直しの動きが波及するに伴い人員の過剰感は解消されていった。(図IV-3)

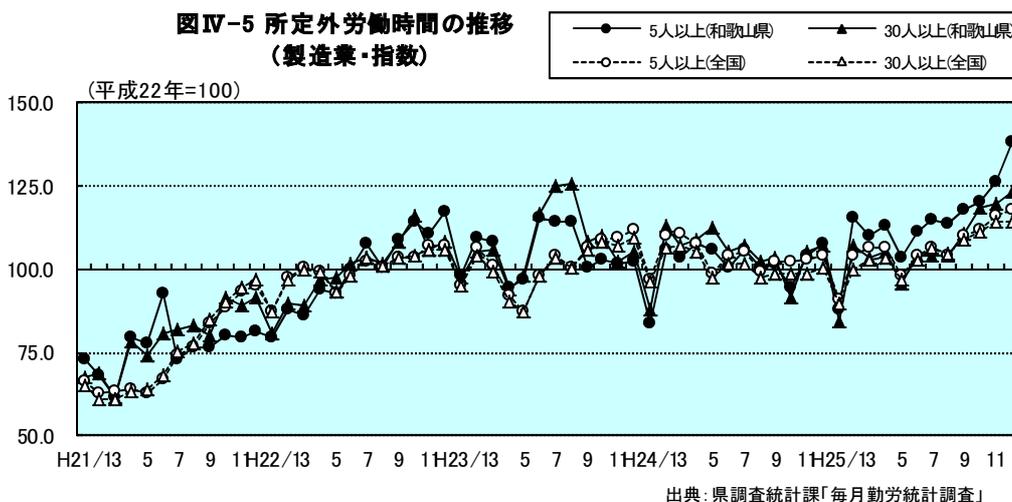


続いて、雇用者の労働時間や賃金といった労働環境の状態を、毎月勤労統計調査の各指数(平成22年=100)からみる。

まず、労働時間のうち、1人当たり平均の所定外労働時間について、事業所の規模別(「5人以上」と「30人以上」)でみると、全国では前年よりも事業所規模5人以上で+2.3%、同30人以上で+1.8%といずれも増加したが、本県では事業所規模5人以上では+2.7%増加したのに対し、同30人以上では▲0.7%と2年連続で減少した。年間の動きをみると、前半は低下していたが、後半は大きく上昇した。(図IV-4)



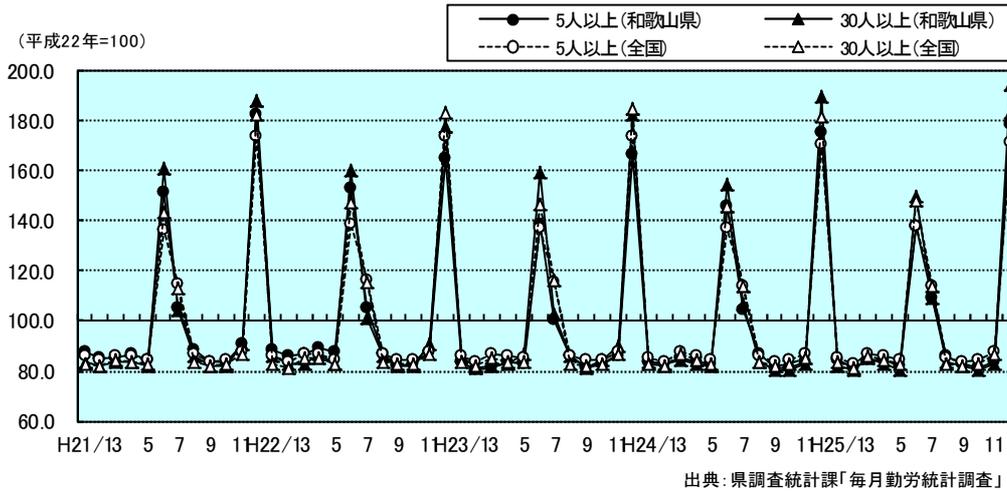
次に、生産活動の動きを示す製造業を事業所の規模別で見ると、前年比では、事業所規模 5 人以上で+12.5%、30 人以上で+2.4%といずれも 2 年ぶりに増加した。年間の動きをみると、年明けに一旦大きく落ち込んだものの、その後は年間を通じて上昇傾向が続き、年末には 5 人以上、30 人以上ともに平成 21 年以降で最も高い水準となった。(図IV-5)



続いて、雇用者の賃金の状態について、名目賃金指数からみる。

全国は、事業所規模 5 人以上で 99.1(前年比▲0.0%)で前年とほぼ同水準、同 30 人以上で 99.9(同+0.3%)と増加しているのに対し、本県では、事業所規模 5 人以上が 98.0(前年比+0.0%)でほぼ同水準であったが、同 30 人以上が 99.3(同▲0.2%)と 2 年連続で減少した。(図IV-6)

図IV-6 現金給与総額の推移(調査産業計・名目指数)



次に、就業形態（一般労働者・パートタイム労働者）別の賃金動向を、パートタイム労働者の雇用規模の大きい事業所規模30人以上の事業所の状況からみる。

一般労働者については、「超過労働給与」や賞与などの「特別に支払われた給与」が増加したことから、一人当たり現金給与総額は4年連続で増加した。

またパートタイム労働者については、「所定内給与」の減少により「きまって支給する給与」が減少したことから、一人当たり現金給与総額は3年ぶりに減少した。

一般労働者・パートタイム労働者を合わせた常用労働者の一人あたり現金給与総額をみると、超過労働給与、特別に支払われた給与が増加したものの、他の項目では減少した結果、▲0.2%と2年ぶりに減少した。

パートタイム労働者比率についてみると、平成25年平均で30.6%と前年比0.7%の増加となり、平成21年以降5年連続の増加となった。（表IV-1）

表IV-1 就業形態(一般・パート)別 現金給与総額等増加率、及びパートタイム労働者比率

| ①一般労働者 | | | | | | 前年比(%) | |
|--------|------------|-------|--------|-------|------------|------------|--|
| 現金給与総額 | きまって支給する給与 | | | | 特別に支払われた給与 | | |
| | 所定内給与 | | 超過労働給与 | | (賞与等) | | |
| | 現金給与総額 | 所定内給与 | 超過労働給与 | 賞与等 | 現金給与総額 | 特別に支払われた給与 | |
| H20年平均 | 0.2 | 0.1 | ▲0.1 | 2.2 | 0.8 | | |
| H21年平均 | ▲1.4 | ▲0.6 | 1.3 | ▲18.4 | ▲4.6 | | |
| H22年平均 | 0.4 | 0.7 | 0.3 | 6.3 | ▲0.9 | | |
| H23年平均 | 0.1 | 0.1 | ▲0.2 | 2.8 | 0.3 | | |
| H24年平均 | 0.3 | 0.2 | 0.2 | 0.0 | 0.9 | | |
| H25年平均 | 0.6 | 0.0 | ▲0.2 | 2.4 | 2.8 | | |

| ●パートタイム労働者比率及び前年比(%) | | |
|----------------------|------|-----|
| | 比率 | 前年比 |
| H20年平均 | 23.8 | - |
| H21年平均 | 27.8 | 4.0 |
| H22年平均 | 29.2 | 1.4 |
| H23年平均 | 29.5 | 0.3 |
| H24年平均 | 29.9 | 0.4 |
| H25年平均 | 30.6 | 0.7 |

| ②パートタイム労働者 | | | | | | 前年比(%) | |
|------------|------------|-------|--------|-------|------------|------------|--|
| 現金給与総額 | きまって支給する給与 | | | | 特別に支払われた給与 | | |
| | 所定内給与 | | 超過労働給与 | | (賞与等) | | |
| | 現金給与総額 | 所定内給与 | 超過労働給与 | 賞与等 | 現金給与総額 | 特別に支払われた給与 | |
| H20年平均 | 1.5 | 0.5 | 0.2 | 8.9 | 41.2 | | |
| H21年平均 | ▲4.4 | ▲2.8 | ▲1.5 | ▲42.7 | ▲45.4 | | |
| H22年平均 | ▲3.3 | ▲3.2 | ▲3.0 | ▲11.0 | ▲9.8 | | |
| H23年平均 | 1.0 | 0.9 | 0.8 | 4.6 | 6.4 | | |
| H24年平均 | 5.4 | 5.5 | 5.3 | 14.3 | 1.5 | | |
| H25年平均 | ▲1.3 | ▲1.7 | ▲1.8 | 5.9 | 19.9 | | |

| ③常用労働者 | | | | | | 前年比(%) | |
|--------|------------|-------|--------|-------|------------|------------|--|
| 現金給与総額 | きまって支給する給与 | | | | 特別に支払われた給与 | | |
| | 所定内給与 | | 超過労働給与 | | (賞与等) | | |
| | 現金給与総額 | 所定内給与 | 超過労働給与 | 賞与等 | 現金給与総額 | 特別に支払われた給与 | |
| H20年平均 | 0.7 | 0.4 | 0.2 | 2.8 | 1.7 | | |
| H21年平均 | ▲5.3 | ▲4.2 | ▲2.4 | ▲23.0 | ▲10.0 | | |
| H22年平均 | ▲1.3 | ▲1.0 | ▲1.3 | 3.9 | ▲2.9 | | |
| H23年平均 | ▲0.1 | ▲0.1 | ▲0.3 | 2.5 | ▲0.1 | | |
| H24年平均 | 0.4 | 0.3 | 0.4 | ▲0.3 | 0.4 | | |
| H25年平均 | ▲0.2 | ▲0.8 | ▲1.0 | 1.7 | 2.1 | | |

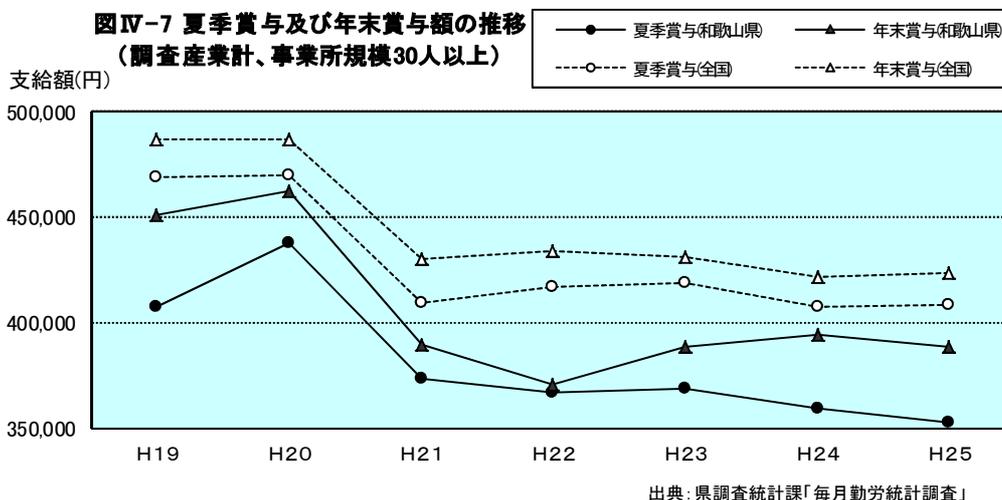
出典：県調査統計課「毎月勤労統計調査」

第1部 平成25年の和歌山県経済

最後に、賞与(1人支給平均額)の支給状況を30人以上規模の事業所からみる。

全国では、平成24年は夏季・年末ともに減少したものの、平成25年は夏季・年末ともに増加した。本県では、平成24年は夏季に減少したが年末は増加するという動きを見せたが、平成25年は夏季・年末ともに減少した。

金額ベースでみると、全国では、景気が悪化した平成21年以降も40万円を上回っているが、本県では、平成21年の夏季賞与以降40万円を下回り、平成25年も継続している。(図IV-7)



平成25年の夏季と年末の賞与を合計してみた場合、全国では前年比+0.6%と、3年ぶりに増加したのに対し、本県では夏季・年末はともに減少し、前年比▲1.6%と2年連続で減少した。(表IV-2)

給与総額をみている表IV-1③では、賞与を含む「特別に支払われた給与」は増加しているが、表IV-2の1人あたり賞与の平均支給額が減少に転じている状況が前年に引き続き生じている。これは、総額は増加したものの、賞与が少ないとみられるパートタイム労働者の比率が引き続き増加したことから、1人あたり平均でみると減少するという現象が生じていると考えられる。

表IV-2 支給労働者1人平均支給額(対前年比(%))、実数ベース)

(調査産業計、事業所規模30人以上)

| 和歌山県 | H20 | H21 | H22 | H23 | H24 | H25 |
|---------|-----|-------|------|-----|------|------|
| 夏季賞与 | 7.4 | ▲14.7 | ▲1.9 | 0.6 | ▲2.7 | ▲1.7 |
| 年末賞与 | 2.4 | ▲15.7 | ▲4.8 | 4.7 | 1.5 | ▲1.5 |
| 夏季+年末賞与 | 4.8 | ▲15.2 | ▲3.4 | 2.7 | ▲0.5 | ▲1.6 |

| 全国 | H20 | H21 | H22 | H23 | H24 | H25 |
|---------|-------|-------|-----|------|------|-----|
| 夏季賞与 | 0.2 | ▲12.9 | 1.7 | 0.5 | ▲2.7 | 0.3 |
| 年末賞与 | ▲0.03 | ▲11.7 | 0.9 | ▲0.7 | ▲2.2 | 0.6 |
| 夏季+年末賞与 | 0.1 | ▲12.3 | 1.3 | ▲0.1 | ▲2.4 | 0.4 |

出典：県調査統計課「毎月勤労統計調査」/厚生労働省「毎月勤労統計調査」

平成25年の本県経済を労働・雇用の観点から総括すると、労働環境については、景気回復から企業の生産水準が上昇したことにとともに、特に製造業において所定外労働時間が増加したが、これらの動きが現金給与総額といった賃金水準の改善までには至っていない状況であった。

一方雇用環境については、有効求人倍率の上昇など前年からの改善傾向が継続したが、その内

容をみると、サービス系や医療・福祉系、建設系の産業への偏りが見られることや、充足率の低下が続いていることから、求人と求職のミスマッチがみられる状況であった。

第2部

主要経済指標からみた

和歌山県経済

第2部は、各分野の主な経済指標を、平成25年も含めた近年の動きで捉えて解説し、どのように変化したのか、その方向性を判断し、まとめたものである。

和歌山県：経済動向の概要

平成25年の経済動向は、一部に持ち直しの動きがみられた(→)

和歌山県経済は、世界的金融危機の影響を受け悪化していた平成21年の夏頃から、平成23年夏頃まで持ち直しの傾向が続いたが、平成24年に入ってから強い動きはみられなかった。平成25年に入ってもその状況は継続していたが、一部で持ち直しの動きがみられる状況であった。

上向きの動きがみられるのは、「住宅建設」・「企業活動」・「その他(金融)」・「その他(貿易)」で、その他の指標は概ね横ばいであった。

総合的にみると、平成25年の和歌山県経済は、平成24年と比較すると一部で持ち直しの動きがみられた。

●個別指標の動き

(参考)

| 指 標 | | 指 標 の 動 き (変 化) | 平成25年 方 向 | 平成24年 方 向 |
|---|---------|-------------------|--------------|--------------|
| ① 景気動向指数 | | 一進一退の動きがみられる | ⇨ | ⇨ |
| 消費・ 投資の 動 向 | ② 個人消費 | 一進一退の動きがみられる | ⇨ | ⇨ |
| | ③ 設備投資 | 持ち直しに向けた動きがみられる | ⇨ | ⇨ |
| | ④ 住宅建設 | 緩やかな持ち直しの動きがみられる | ↑ | ⇨ |
| | ⑤ 公共投資 | 一進一退の動きがみられる | ⇨ | ↑ |
| 企 業 活 動 の 動 向 | ⑥ 生 産 | 持ち直しに向けた動きがみられる | ⇨ | ⇨ |
| | ⑦ 雇用情勢 | 一部に持ち直しの動きがみられる | ⇨ | ⇨ |
| | ⑧ 企業活動 | 持ち直しの動きがみられる | ↑ | ⇨ |
| 物 価 ・ そ の 他 の 動 向 | ⑨ 物 価 | 一部に持ち直しの動きがみられる | ⇨ | ⇨ |
| | ⑩ そ の 他 | 緩やかな持ち直しの動きがみられる | ↑ | ↑ |
| | (金融) | 持ち直しの動きがみられる | ↑ | ⇨ |
| | (貿易) | 緩やかな持ち直しの動きがみられる | ↑ | ↑ |

注) 矢印は、前年からみた変化の方向性を表しています。

●過去3ヶ年の主要経済指標(和歌山県)

| | 和歌山県 | | | | | |
|-----------------------------|---------|--------|---------|--------|---------|--------|
| | 平成23年 | 前年比 | 平成24年 | 前年比 | 平成25年 | 前年比 |
| 消費(個人消費) | (百万円) | % | (百万円) | % | (百万円) | % |
| 大型小売店販売額(総合・百貨店+スーパー、全店へース) | 127,390 | 1.5 | 128,211 | 0.6 | 124,867 | ▲ 2.6 |
| | (台) | | (台) | | (台) | |
| 自動車新車登録台数 | 18,572 | ▲ 20.1 | 23,763 | 28.0 | 22,144 | ▲ 6.8 |
| | (台) | | (台) | | (台) | |
| 軽自動車新車販売台数 | 16,951 | ▲ 14.7 | 21,695 | 28.0 | 22,516 | 3.8 |
| | (千円) | | (千円) | | (千円) | |
| 家計消費支出(2人以上の世帯のうち勤労者世帯) | 299.9 | 12.2 | 283.0 | ▲ 5.6 | 278.5 | ▲ 1.6 |
| 物価 | | | | | | |
| 消費者物価指数(和歌山市・H22=100) | | | | | | |
| 総合指数 | 99.7 | ▲ 0.4 | 99.6 | ▲ 0.1 | 100.1 | 0.5 |
| 生鮮食品を除く総合指数 | 99.6 | ▲ 0.4 | 99.5 | ▲ 0.4 | 100.1 | 0.6 |
| 設備投資 | (千㎡) | | (千㎡) | | (千㎡) | |
| 着工建築物床面積(全建築物) | 973 | 0.0 | 1,078 | 10.9 | 979 | ▲ 9.2 |
| 〃 (産業用・非居住専用) | 468 | 3.9 | 567 | 21.1 | 392 | ▲ 30.9 |
| 住宅建設 | (戸) | | (戸) | | (戸) | |
| 新設住宅着工戸数(実数) | 4,825 | ▲ 0.9 | 4,961 | 2.8 | 5,637 | 13.6 |
| 公共投資 | (百万円) | | (百万円) | | (百万円) | |
| 公共工事請負金額 | 124,250 | ▲ 0.6 | 202,116 | 62.7 | 205,533 | 1.7 |
| 生産 | | | | | | |
| 鉱工業生産指数(製造工業・原指数・H22=100) | 106.5 | 6.5 | 100.2 | ▲ 5.9 | 99.8 | ▲ 0.4 |
| 雇用情勢 | | | | | | |
| 現金給与総額(実質指数)【調査産業計・5人以上事業所】 | 96.2 | ▲ 3.8 | 98.2 | 2.1 | 97.6 | ▲ 0.6 |
| きまって支給する給与(実質指数)【〃】 | 96.4 | ▲ 3.6 | 97.9 | 1.6 | 97.0 | ▲ 0.9 |
| 総実労働時間指数【〃】 | 99.1 | ▲ 0.9 | 101.2 | 2.1 | 100.1 | ▲ 1.1 |
| 所定内労働時間指数【〃】 | 98.8 | ▲ 1.2 | 100.4 | 1.7 | 99.1 | ▲ 1.3 |
| 所定外労働時間指数【〃】 | 107.5 | 7.5 | 113.4 | 5.6 | 116.5 | 2.7 |
| 常用雇用指数【〃】 | 100.0 | ▲ 0.0 | 98.2 | ▲ 1.7 | 100.1 | 1.8 |
| 新規求人倍率(パートタイム労働者を含む。原数値) | 1.13 | — | 1.29 | — | 1.39 | — |
| 有効求人倍率(〃) | 0.71 | — | 0.81 | — | 0.89 | — |
| | (人・件) | | (人・件) | | (人・件) | |
| 雇用保険受給者数(実人員・月平均) | 4,515 | ▲ 4.0 | 4,373 | ▲ 3.2 | 4,294 | ▲ 1.8 |
| 新規求人数(月平均) | 5,236 | 14.4 | 5,523 | 5.5 | 5,681 | 2.9 |
| 有効求人数(月平均) | 13,110 | 21.3 | 13,947 | 6.4 | 14,784 | 6.0 |
| 新規求職申込件数(月平均) | 4,626 | ▲ 1.3 | 4,294 | ▲ 7.2 | 4,099 | ▲ 4.5 |
| 有効求職者数(月平均) | 18,465 | ▲ 1.2 | 17,274 | ▲ 6.5 | 15,363 | ▲ 11.1 |
| 企業活動 | (件) | | (件) | | (件) | |
| 企業倒産件数(負債総額1,000万円以上) | 142 | ▲ 4.1 | 112 | ▲ 21.1 | 94 | ▲ 16.1 |
| | (百万円) | | (百万円) | | (百万円) | |
| 企業倒産負債総額(〃) | 15,907 | ▲ 35.6 | 19,717 | 24.0 | 13,078 | ▲ 33.7 |
| その他 | (億円) | | (億円) | | (億円) | |
| 銀行勘定預金額 | 37,198 | 1.7 | 37,632 | 1.2 | 38,576 | 2.5 |
| 銀行勘定貸出金額 | 14,519 | 0.6 | 14,658 | 1.0 | 14,967 | 2.1 |
| | (億円) | | (億円) | | (億円) | |
| 貿易:輸出額 | 4,948 | 13.4 | 5,199 | 5.1 | 6,173 | 18.7 |
| 貿易:輸入額 | 6,226 | 20.4 | 7,046 | 13.2 | 6,409 | ▲ 9.0 |

- ・大型小売店販売額:「大型小売店販売状況」(近畿経済産業局)、「商業販売統計」(経済産業省)
- ・自動車新車登録台数:「経済季報」(株式会社 紀陽銀行 (社団法人 日本自動車販売協会連合会データより))
- ・軽自動車新車販売台数:「軽四輪車新車販売確報」(社団法人 全国軽自動車協会連合会)
- ・家計消費支出:「家計調査報告」(総務省統計局)
- ・消費者物価指数:「和歌山県消費者物価指数年報」(県調査統計課)、「消費者物価指数」(総務省統計局)
- ・建築物着工床面積、新設住宅着工戸数:「建築着工統計」(国土交通省)、「建設統計月報」(財団法人 建設物価調査会)
- ・公共工事請負金額:「公共工事動向」(西日本建設業保証株式会社)
- ・鉱工業生産指数:「和歌山県鉱工業生産指数」(県調査統計課)、「生産・出荷・在庫指数」(経済産業省)
- ・賃金指数、労働指数:「毎月勤労統計調査 地方調査」(県調査統計課)
- ・求人倍率、求人数、求職数、雇用保険受給者数:「職業安定統計年報」(和歌山労働局職業安定部)
- ・企業倒産件数、負債総額:「全国企業倒産状況」(株式会社 東京商工リサーチ)
- ・銀行勘定預金額、貸出金:「経済季報」(株式会社 紀陽銀行 (和歌山銀行協会データより))
- ・貿易(輸出、輸入):「和歌山県(和歌山税関支署管内)貿易概況」(大阪税関 和歌山税関支署)

●過去3ヶ年の主要経済指標(全国)

| | 全 国 | | | | | |
|-----------------------------|------------|--------|------------|-------|------------|--------|
| | 平成23年 | 前年比 | 平成24年 | 前年比 | 平成25年 | 前年比 |
| 消費(個人消費) | (百万円) | % | (百万円) | % | (百万円) | % |
| 大型小売店販売額(総合・百貨店+スーパー、全店ベース) | 19,593,279 | ▲ 0.9 | 19,591,626 | ▲ 0.0 | 19,777,407 | 0.9 |
| | (台) | | (台) | | (台) | |
| 自動車新車登録台数 | 2,689,074 | ▲ 16.7 | 3,390,274 | 26.1 | 3,262,522 | ▲ 3.8 |
| | (台) | | (台) | | (台) | |
| 軽自動車新車販売台数 | 1,521,145 | ▲ 11.9 | 1,979,446 | 30.1 | 2,112,991 | 6.7 |
| | (千円) | | (千円) | | (千円) | |
| 家計消費支出(2人以上の世帯のうち勤労者世帯) | 308.8 | ▲ 3.0 | 313.9 | 1.6 | 314.8 | 0.3 |
| 物価 | | | | | | |
| 消費者物価指数(全国・H22=100) | | | | | | |
| 総合指数 | 99.7 | ▲ 0.3 | 99.7 | 0.0 | 100.0 | 0.3 |
| 生鮮食品を除く総合指数 | 99.8 | ▲ 0.2 | 99.7 | ▲ 0.1 | 100.1 | 0.4 |
| 設備投資 | (千㎡) | | (千㎡) | | (千㎡) | |
| 着工建築物床面積(全建築物) | 126,509 | 4.2 | 132,609 | 4.8 | 147,673 | 11.4 |
| “ (産業用・非居住専用) | 50,854 | 5.1 | 54,083 | 6.3 | 60,281 | 11.5 |
| 住宅建設 | (戸) | | (戸) | | (戸) | |
| 新設住宅着工戸数(実数) | 834,117 | 2.6 | 882,797 | 5.8 | 980,025 | 11.0 |
| 公共投資 | (百万円) | | (百万円) | | (百万円) | |
| 公共工事請負金額 | 10,975,532 | ▲ 3.4 | 12,542,342 | 14.3 | 14,149,241 | 12.8 |
| 生産 | | | | | | |
| 鉱工業生産指数(製造工業・原指数・H22=100) | 97.2 | ▲ 2.8 | 97.8 | 0.6 | 97.0 | ▲ 0.8 |
| 雇用情勢 | | | | | | |
| 現金給与総額(実質指数)【調査産業計・5人以上事業所】 | 100.1 | 0.1 | 99.4 | ▲ 0.7 | 98.9 | ▲ 0.5 |
| きまって支給する給与(実質指数)【 “ ” 】 | 99.9 | ▲ 0.1 | 99.8 | ▲ 0.1 | 98.8 | ▲ 1.0 |
| 総実労働時間指数【 “ ” 】 | 99.8 | ▲ 0.2 | 100.3 | 0.5 | 99.3 | ▲ 1.0 |
| 所定内労働時間指数【 “ ” 】 | 99.7 | ▲ 0.3 | 100.2 | 0.5 | 98.9 | ▲ 1.3 |
| 所定外労働時間指数【 “ ” 】 | 101.0 | 1.0 | 101.6 | 0.6 | 103.9 | 2.3 |
| 常用雇用指数【 “ ” 】 | 100.6 | 0.7 | 101.3 | 0.7 | 102.1 | 0.8 |
| 新規求人倍率(パートタイム労働者を含む。原数値) | 1.05 | — | 1.28 | — | 1.46 | — |
| 有効求人倍率(“ ”) | 0.65 | — | 0.80 | — | 0.93 | — |
| | (人) | | (人) | | (人) | |
| 雇用保険受給者数(実人員・月平均) | 632,016 | ▲ 8.0 | 579,142 | ▲ 8.4 | 547,261 | ▲ 5.5 |
| 新規求人数(月平均) | 655,439 | 14.7 | 737,101 | 12.5 | 794,255 | 7.8 |
| 有効求人数(月平均) | 1,674,223 | 19.3 | 1,938,639 | 15.8 | 2,120,933 | 9.4 |
| 新規求職申込件数(月平均) | 626,331 | ▲ 2.9 | 576,666 | ▲ 7.9 | 542,473 | ▲ 5.9 |
| 有効求職者数(月平均) | 2,593,291 | ▲ 4.2 | 2,435,686 | ▲ 6.1 | 2,292,475 | ▲ 5.9 |
| 企業活動 | (件) | | (件) | | (件) | |
| 企業倒産件数(負債総額1,000万円以上) | 12,734 | ▲ 4.4 | 12,124 | ▲ 4.8 | 10,827 | ▲ 10.7 |
| | (百万円) | | (百万円) | | (百万円) | |
| 企業倒産負債総額(“ ”) | 3,592,920 | ▲ 49.8 | 3,834,563 | 6.7 | 2,777,251 | ▲ 27.6 |
| その他 | (億円) | | (億円) | | (億円) | |
| 銀行勘定預金額 | 5,986,681 | 3.5 | 6,136,909 | 2.5 | 6,406,333 | 4.4 |
| 銀行勘定貸出金額 | 4,258,582 | 1.3 | 4,338,238 | 1.9 | 4,491,346 | 3.5 |
| | (億円) | | (億円) | | (億円) | |
| 貿易:輸出額 | 655,465 | ▲ 2.7 | 637,476 | ▲ 2.7 | 697,742 | 9.5 |
| 貿易:輸入額 | 681,112 | 12.1 | 706,886 | 3.8 | 812,425 | 14.9 |

- ・大型小売店販売額:「商業販売統計」(経済産業省)
- ・自動車新車登録台数:「新車販売台数(登録車)」(社団法人 日本自動車販売協会連合会)
- ・軽自動車新車販売台数:「軽四輪車新車販売確報」(社団法人 全国軽自動車協会連合会)
- ・家計消費支出:「家計調査報告」(総務省統計局)
- ・消費者物価指数:「消費者物価指数」(総務省統計局)
- ・建築物着工床面積、新設住宅着工戸数:「建築着工統計」(国土交通省)、「建設統計月報」(財団法人 建設物価調査会)
- ・公共工事請負金額:「公共工事動向」(西日本建設業保証株式会社)
- ・鉱工業生産指数:「生産・出荷・在庫指数」(経済産業省)
- ・賃金指数、労働指数:「毎月勤労統計調査」(厚生労働省)
- ・求人倍率、求人数、求職数:「職業安定業務統計」(厚生労働省)
- ・雇用保険受給者数:「雇用保険事業年報」(厚生労働省)
- ・企業倒産件数、負債総額:「全国企業倒産状況」(株式会社 東京商工リサーチ)
- ・銀行勘定預金額、貸出金:「経済季報」(株式会社 紀陽銀行 (日本銀行データより))
- ・貿易(輸出、輸入):「財務省貿易統計」(財務省)

①景気動向指数

一進一退の動きがみられる(→)

●DI(ディフュージョン・インデックス)

本県のDIの動きをみると、平成20年11月に0.0と最低値を示したのち、平成21年12月には85.7まで持ち直したが、その後上昇と低下を繰り返していたが、平成25年に入り上昇傾向をみせている。

[年平均：平成24年(45.2)→平成25年(60.7)] (図①-1)

●CI(コンポジット・インデックス)

本県のCIの動きをみると、平成20年10月から平成21年5月にかけてリーマンショックの影響などにより急激に下降したが、平成23年3月には112.7まで持ち直した。その後平成25年の春頃まで低下傾向をたどったが、年末にかけて持ち直しの動きをみせた。

[年平均：平成24年(99.9)→平成25年(97.8)] (図①-2)

◎**景気動向指数**とは、生産・雇用・消費など、あらゆる経済活動の中でもより景気の動きを敏感に反映する、いくつかの指標を用いて総合的に判断した景気指標のことであり、ディフュージョン・インデックス(DI:Diffusion Index)とコンポジット・インデックス(CI:Composite Index)の2種類からなる。

◎**DI**とは、有効求人数や大口電力使用量など、景気に敏感な複数の指標の数値を、3ヶ月前と比較し、そのうち上昇(拡張)している指標の数を、全採用指標数で割ったものである。

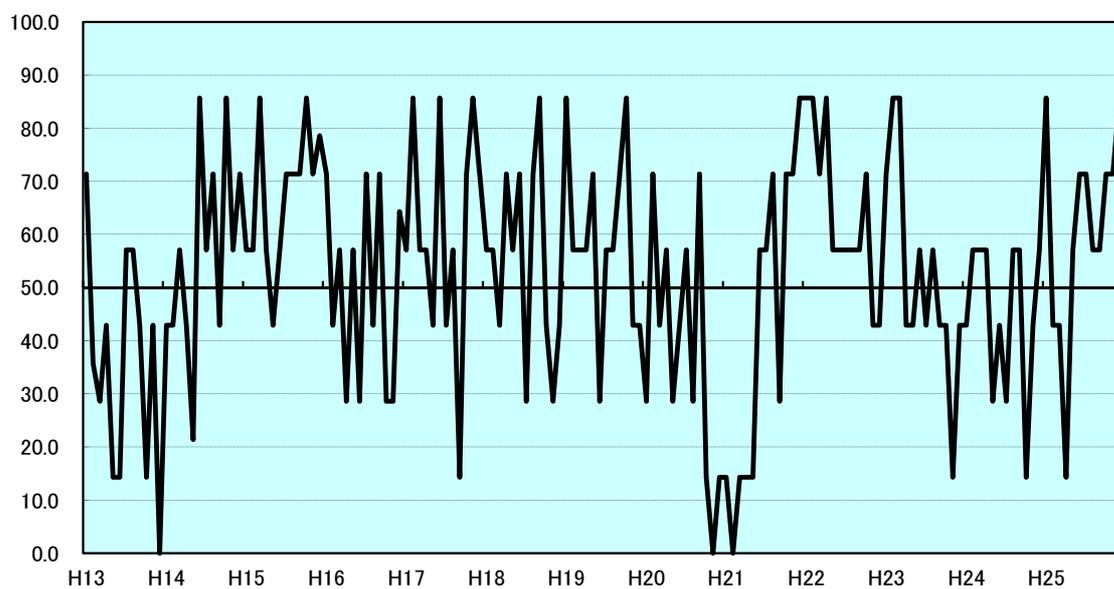
50%のラインを分岐点とし、景気局面の判断・予測・景気の転換点(景気の山・谷)の判定に用いる。3ヶ月前と比べて全ての指標が拡張すれば100%となり、逆に全て後退すれば0%となる。また、3ヶ月前の数値と比べて増減のない指標があれば、拡張している指標の数に0.5個分として加算する。

一般的に、DIの割合が3ヶ月以上連続して50%を上回っていれば景気回復局面、下回っていれば景気後退局面といわれている。

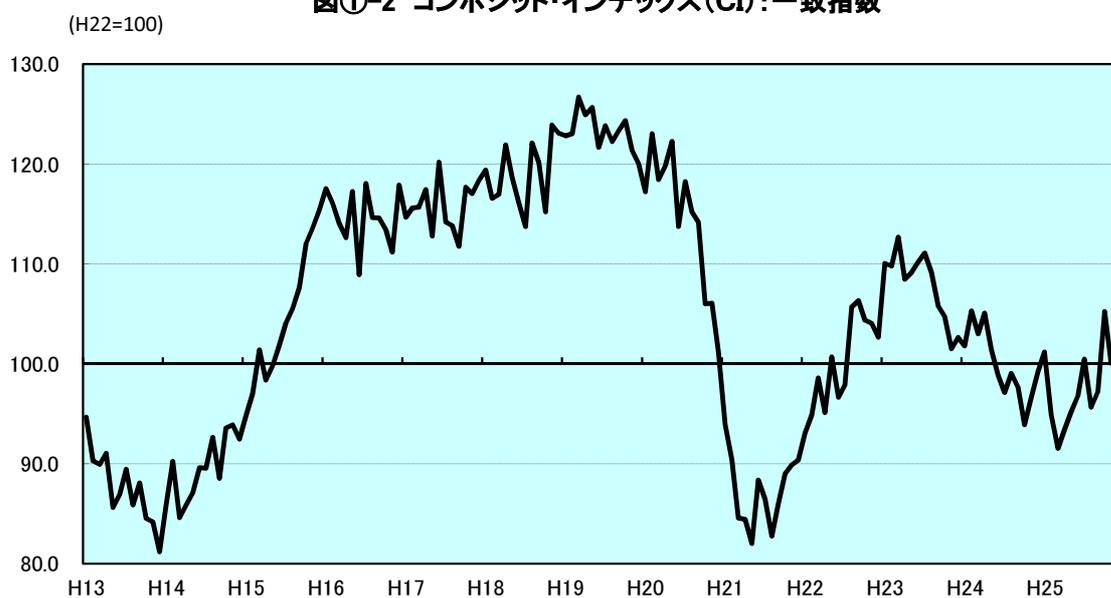
◎**CI**とは、景気に敏感な採用系列の変化率を合成した指標のことで、主として景気変動の大きさやテンポ(量感)を測定し、DIの景気判断を補完することを目的としている。DIは、変化率を合成したものではないので、いわゆる景気の良い・悪いはその50%ラインを目安に判断できるが、たとえばそれが60%から70%に増加したからといって、DIの水準変化自体は景気変動の大きさや加速度とは直接的には関係がない。そこでCIが用いられる。

一般的に、CIでは、一致指数が上昇している時が景気の拡張局面、低下している時が後退局面であり、一致指数の山・谷の近傍に景気の山・谷が存在すると考えられる。景気局面を2局面に分割するのではなく、変化の大きさが景気の拡張または後退のテンポ(量感)を現している。

図①-1 デフュージョン・インデックス(DI):一致指数



図①-2 コンポジット・インデックス(CI):一致指数



出典: 県調査統計課「景気動向指数(DI・CI)」

②消費

一進一退の動きがみられる(→)

●大型小売店販売額(百貨店+スーパー)

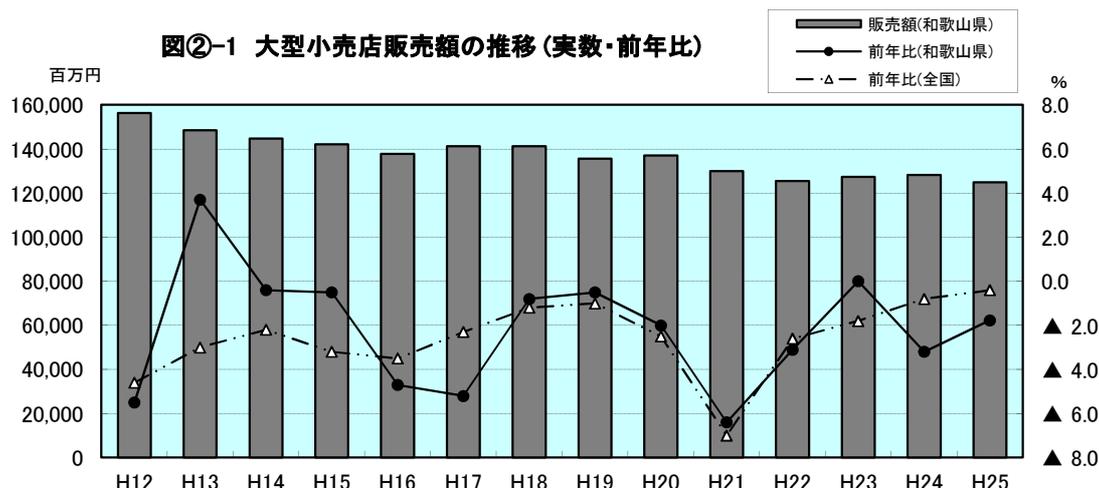
○一部に弱い動きがみられる(→)

本県の大型小売店販売額(全店ベース)の推移を暦年でみると、平成12年をピークに緩やかに減少しており、平成25年は前年比▲2.6%の減少となった。

また、大型小売店販売額(既存店ベース)の前年比の推移をみると、平成14年以降平成23年を除き前年比減が続いており、平成25年も前年比▲1.8%となった。

なお、全国及び近畿地方の推移をみると、全店ベースでは平成20年以降増減を繰り返しつつ緩やかに減少していたが、平成25年は2年ぶりに増加した。

また既存店ベースにおいては、全国では平成20年以降前年比減が続いており、近畿地方でも前年比減が続いていたが、平成25年は前年比+0.0%となった。(図②-1)



注:販売額は全店ベース、前年比は既存店ベース
出典:近畿経済産業局「大型小売店販売状況」

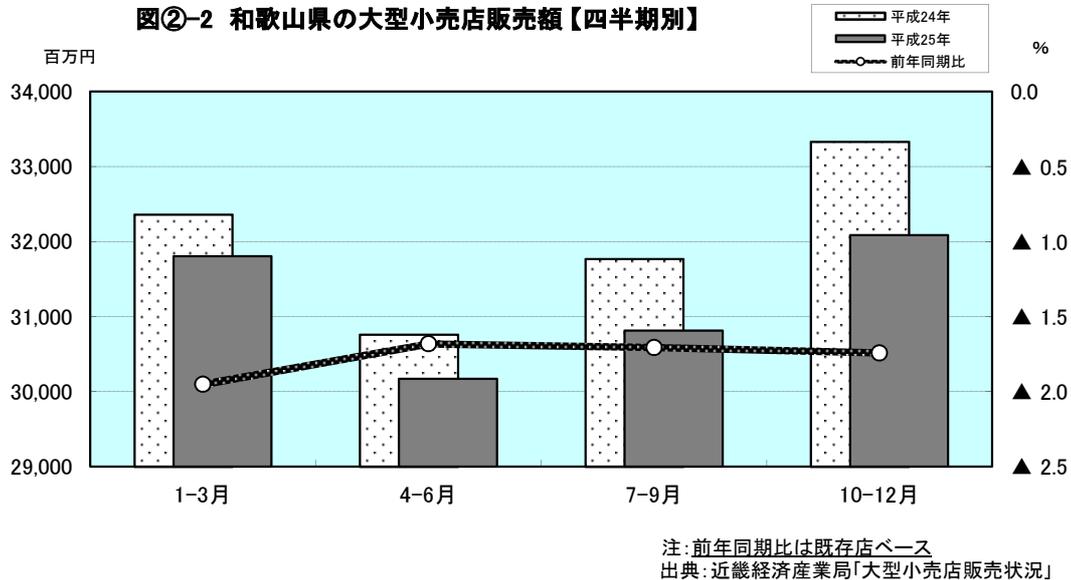
◎**大型小売店販売額**とは、商業販売統計の一つであり、百貨店(従業員50人以上で日本標準産業分類「百貨店」のうちスーパーに該当せず、かつ売場面積1,500㎡以上)とスーパー(従業員50人以上で売場面積1,500㎡以上、かつその50%以上でセルフサービス方式を採用)の売上高を集計したものである。

百貨店は衣料品、スーパーは飲食料品が主力商品であるため、百貨店の方が景気変動の影響を受けやすい。一般的に、景気にほぼ一致して動く指標といわれている。

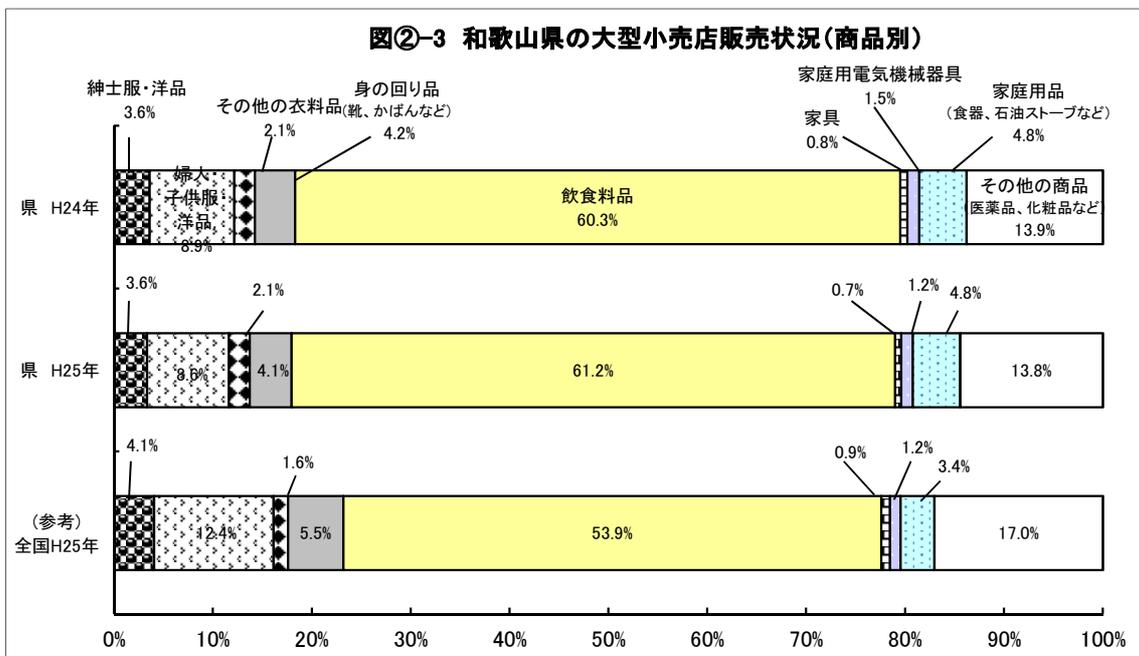
※ 前年比において既存店ベースを採用するのは、過去1年間に開業または廃業した店舗を除き、正確に前年の数値と比較するためである。

次に、本県の大型小売店販売額(既存店ベース)を四半期別に平成24年と比較すると、全ての四半期で減少となった。

(図②-2)



また、商品別に消費動向をみると、本県は全国に比べて飲食料品の割合が高く、衣料品の割合が低いことがわかる。さらに、平成25年と平成24年を比較すると、構成比にさほど大きな変化はないが、衣料品の構成比が減少し、その他の商品の構成比が増加した。(図②-3)



第2部 主要経済指標からみた和歌山県経済

●大型小売店販売額

(単位:百万円、%)

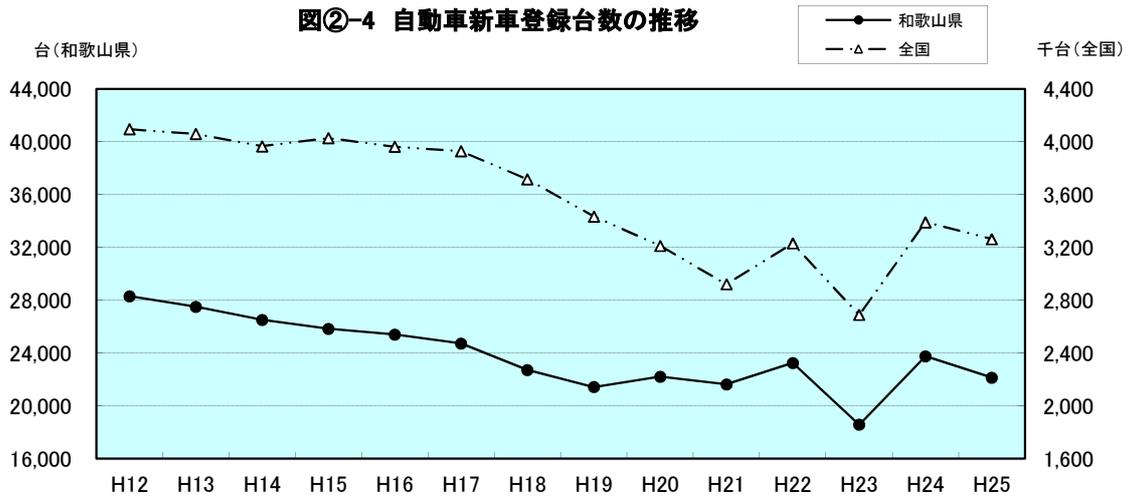
| | | 総合(百貨店+スーパー) | | | | | |
|------------------------------|--------|--------------|-----------|-----------|-----------|-------------------|-----------|
| | | 和歌山県 | | 近畿 | | 全国 | |
| | | 販売額 | 前年(同月・期)比 | 販売額 | 前年(同月・期)比 | 販売額 | 前年(同月・期)比 |
| 平成21年 | | 129,963 | ▲ 6.4 | 3,892,140 | ▲ 7.5 | 19,775,777 | ▲ 7.0 |
| 平成22年 | | 125,503 | ▲ 3.1 | 3,789,850 | ▲ 3.1 | 19,579,063 | ▲ 2.6 |
| 平成23年 | | 127,390 | 0.0 | 3,806,254 | ▲ 1.9 | 19,593,279 | ▲ 1.8 |
| 平成24年 | | 128,211 | ▲ 3.2 | 3,784,058 | ▲ 1.3 | 19,591,627 | ▲ 0.8 |
| 平成25年 | | 124,867 | ▲ 1.8 | 3,819,226 | 0.0 | 19,777,407 | ▲ 0.4 |
| 平成23年 | 1-3月 | 31,775 | 1.7 | 915,691 | ▲ 1.8 | 4,699,893 | ▲ 2.6 |
| | 4-6月 | 30,307 | 0.6 | 919,499 | ▲ 1.5 | 4,745,243 | ▲ 1.6 |
| | 7-9月 | 31,647 | 0.2 | 936,502 | ▲ 2.3 | 4,814,492 | ▲ 1.7 |
| | 10-12月 | 33,661 | ▲ 2.2 | 1,034,562 | ▲ 1.9 | 5,333,651 | ▲ 1.3 |
| 平成24年 | 1-3月 | 32,358 | ▲ 3.0 | 925,777 | ▲ 0.8 | 4,807,435 | 1.3 |
| | 4-6月 | 30,758 | ▲ 3.4 | 901,029 | ▲ 2.4 | 4,710,061 | ▲ 1.3 |
| | 7-9月 | 31,765 | ▲ 4.9 | 917,049 | ▲ 2.4 | 4,739,129 | ▲ 2.2 |
| | 10-12月 | 33,330 | ▲ 1.7 | 1,040,203 | 0.4 | 5,335,001 | ▲ 0.7 |
| 平成25年 | 1-3月 | 31,804 | ▲ 2.0 | 923,588 | ▲ 0.5 | 4,771,048 | ▲ 1.6 |
| | 4-6月 | 30,167 | ▲ 1.7 | 918,314 | 0.8 | 4,778,148 | 0.2 |
| | 7-9月 | 30,811 | ▲ 1.7 | 926,579 | ▲ 0.2 | 4,800,876 | ▲ 0.4 |
| | 10-12月 | 32,084 | ▲ 1.7 | 1,050,745 | ▲ 0.0 | 5,427,334 | 0.2 |
| 平成23年 | 1月 | 12,271 | 1.0 | 337,346 | ▲ 1.0 | 1,740,404 | ▲ 0.7 |
| | 2月 | 9,767 | 2.9 | 278,967 | ▲ 1.2 | 1,447,791 | 0.5 |
| | 3月 | 9,737 | 1.5 | 299,378 | ▲ 3.3 | 1,511,698 | ▲ 7.4 |
| | 4月 | 10,191 | 2.4 | 304,738 | ▲ 0.9 | 1,564,576 | ▲ 1.9 |
| | 5月 | 9,930 | ▲ 1.9 | 305,129 | ▲ 2.8 | 1,577,406 | ▲ 2.5 |
| | 6月 | 10,186 | 1.5 | 309,632 | ▲ 0.8 | 1,603,261 | ▲ 0.5 |
| | 7月 | 11,006 | 1.7 | 349,792 | 0.0 | 1,784,281 | 0.8 |
| | 8月 | 10,945 | 0.3 | 300,782 | ▲ 3.3 | 1,557,387 | ▲ 2.6 |
| | 9月 | 9,696 | ▲ 1.5 | 285,928 | ▲ 3.8 | 1,472,824 | ▲ 3.6 |
| | 10月 | 10,394 | 0.5 | 309,177 | ▲ 2.0 | 1,605,685 | ▲ 1.4 |
| | 11月 | 10,761 | ▲ 3.8 | 319,512 | ▲ 3.1 | 1,636,997 | ▲ 2.5 |
| | 12月 | 12,506 | ▲ 3.1 | 405,873 | ▲ 0.9 | 2,090,969 | ▲ 0.3 |
| 平成24年 | 1月 | 12,385 | ▲ 3.9 | 337,802 | ▲ 2.0 | 1,738,254 | ▲ 1.2 |
| | 2月 | 9,934 | ▲ 3.3 | 284,966 | 0.2 | 1,465,948 | 0.2 |
| | 3月 | 10,039 | ▲ 1.6 | 303,009 | ▲ 0.5 | 1,603,233 | 5.1 |
| | 4月 | 10,247 | ▲ 4.2 | 300,052 | ▲ 2.3 | 1,566,427 | ▲ 0.6 |
| | 5月 | 10,300 | ▲ 1.3 | 301,301 | ▲ 1.5 | 1,575,466 | ▲ 0.8 |
| | 6月 | 10,211 | ▲ 4.7 | 299,676 | ▲ 3.4 | 1,568,168 | ▲ 2.6 |
| | 7月 | 10,919 | ▲ 5.5 | 335,001 | ▲ 4.4 | 1,712,323 | ▲ 4.4 |
| | 8月 | 11,123 | ▲ 3.9 | 300,122 | ▲ 0.7 | 1,556,765 | ▲ 0.9 |
| | 9月 | 9,723 | ▲ 5.3 | 281,926 | ▲ 1.7 | 1,470,041 | ▲ 1.1 |
| | 10月 | 10,301 | ▲ 3.2 | 302,101 | ▲ 2.6 | 1,567,204 | ▲ 3.2 |
| | 11月 | 10,622 | ▲ 1.3 | 326,201 | 1.8 | 1,662,956 | 0.8 |
| | 12月 | 12,407 | ▲ 0.8 | 411,901 | 1.5 | 2,104,841 | 0.1 |
| 平成25年 | 1月 | 12,300 | ▲ 0.7 | 329,588 | ▲ 2.5 | 1,687,308 | ▲ 3.5 |
| | 2月 | 9,587 | ▲ 4.0 | 277,262 | ▲ 2.8 | 1,423,905 | ▲ 3.7 |
| | 3月 | 9,917 | ▲ 1.5 | 316,738 | 3.8 | 1,659,835 | 2.5 |
| | 4月 | 9,966 | ▲ 2.5 | 297,438 | ▲ 1.9 | 1,550,815 | ▲ 2.3 |
| | 5月 | 10,009 | ▲ 2.6 | 303,701 | ▲ 0.4 | 1,588,856 | ▲ 0.4 |
| | 6月 | 10,192 | 0.1 | 317,175 | 4.7 | 1,638,477 | 3.5 |
| | 7月 | 10,722 | ▲ 1.6 | 333,509 | ▲ 1.6 | 1,712,716 | ▲ 1.6 |
| | 8月 | 10,670 | ▲ 2.4 | 303,685 | ▲ 0.0 | 1,582,293 | ▲ 0.1 |
| | 9月 | 9,419 | ▲ 1.1 | 289,385 | 1.3 | 1,505,867 | 0.7 |
| | 10月 | 9,952 | ▲ 1.4 | 305,178 | 0.1 | 1,591,140 | ▲ 0.1 |
| | 11月 | 10,173 | ▲ 2.2 | 329,633 | 0.1 | 1,696,274 | 0.6 |
| | 12月 | 11,959 | ▲ 1.6 | 415,935 | ▲ 0.2 | 2,139,920 | 0.2 |
| 「大型小売店販売状況」 近畿経済産業局 | | | | | | 「商業販売統計」 経済産業省 | |
| 注:販売額は全店ベース、前年(同月・期)比は既存店ベース | | | | | | | |

●自動車新車登録台数・軽自動車新車販売台数

○下げ止まりつつある(→)(登録自動車)

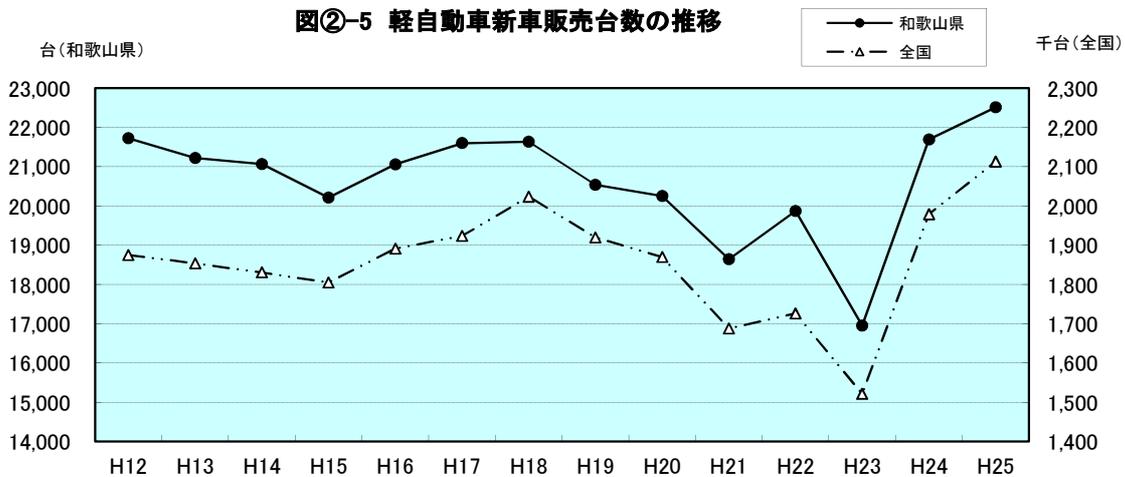
○一部に持ち直しの動きがみられる(→)(軽自動車)

自動車新車登録台数の推移を暦年でみると、近年は右肩下がりの基調で推移してきた。平成24年は、エコカー補助金が制度が実施されたことから大幅増となったが、平成25年は減少に転じた。(図②-4)



出典:(社)日本自動車販売協会連合会

軽自動車新車販売台数の推移を暦年でみると、平成18年をピークに減少していたが、平成24年は「エコカー補助金」が実施されたことで大幅に増加し、平成25年も堅調に推移した。(図②-5)

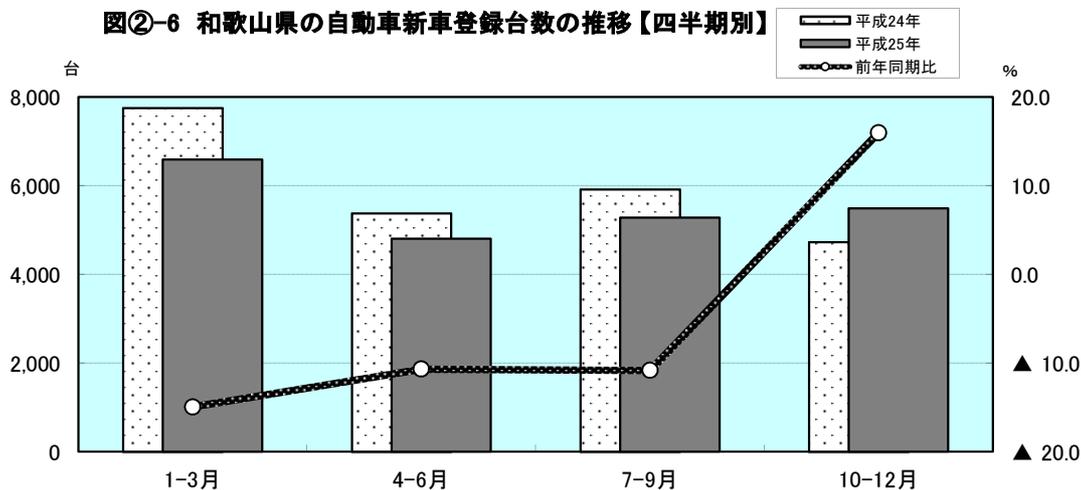


出典:(社)全国軽自動車協会連合会

第2部 主要経済指標からみた和歌山県経済

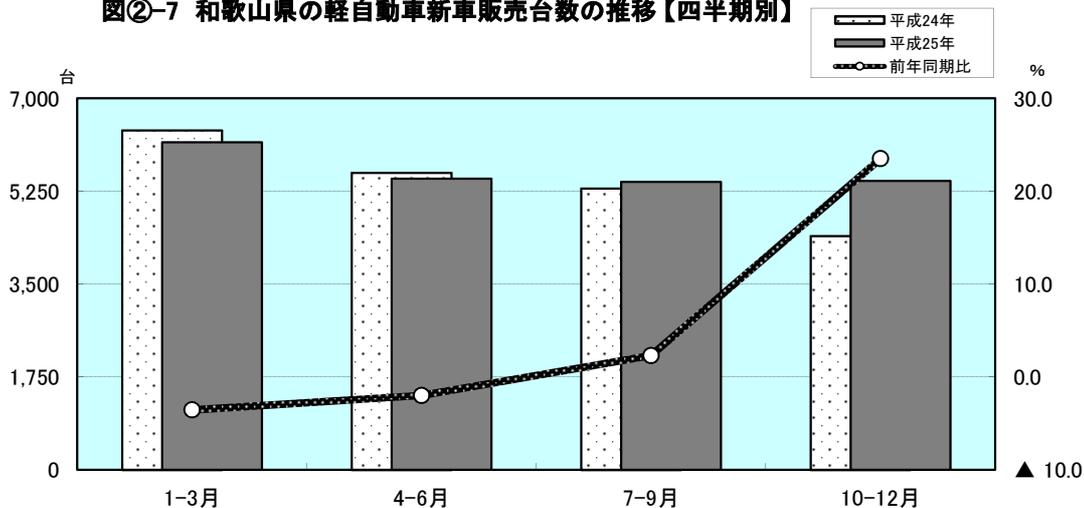
次に、自動車新車登録台数及び軽自動車新車販売台数を四半期別に平成24年と比較すると、自動車は1-3月期から7-9月期まで、軽自動車は1-3月期、4-6月期は減少となったが、その後は増加に転じた。(図②-6、②-7)

図②-6 和歌山県の自動車新車登録台数の推移【四半期別】



資料元:(社)日本自動車販売協会連合会

図②-7 和歌山県の軽自動車新車販売台数の推移【四半期別】



出典:(社)全国軽自動車協会連合会

◎**自動車新車登録台数** とは、各運輸支局に届出のあった、軽自動車を除く乗用車・貨物車・バスの新規登録台数であり、耐久財消費の動向をとらえる指標として重視されているほか、輸送・生産活動の状況も反映している。

●自動車新車登録台数

(単位:台、%)

| | | 和歌山県 | | 全 国 | |
|-------|--------|--------|-----------|-----------|-----------|
| | | 台 数 | 前年(同月・期)比 | 台 数 | 前年(同月・期)比 |
| 平成21年 | | 21,627 | ▲ 2.7 | 2,921,085 | ▲ 9.1 |
| 平成22年 | | 23,247 | 7.5 | 3,229,716 | 10.6 |
| 平成23年 | | 18,572 | ▲ 20.1 | 2,689,074 | ▲ 16.7 |
| 平成24年 | | 23,763 | 28.0 | 3,390,274 | 26.1 |
| 平成25年 | | 22,144 | ▲ 6.8 | 3,262,522 | ▲ 3.8 |
| 平成23年 | 1-3月 | 5,066 | ▲ 29.7 | 719,177 | ▲ 26.4 |
| | 4-6月 | 3,146 | ▲ 41.4 | 476,002 | ▲ 36.0 |
| | 7-9月 | 5,155 | ▲ 24.6 | 771,772 | ▲ 17.3 |
| | 10-12月 | 5,205 | 35.6 | 722,123 | 25.3 |
| 平成24年 | 1-3月 | 7,748 | 52.9 | 1,094,439 | 52.2 |
| | 4-6月 | 5,372 | 70.8 | 762,495 | 60.2 |
| | 7-9月 | 5,917 | 14.8 | 849,394 | 10.1 |
| | 10-12月 | 4,726 | ▲ 9.2 | 683,946 | ▲ 5.3 |
| 平成25年 | 1-3月 | 6,589 | ▲ 15.0 | 941,855 | ▲ 13.9 |
| | 4-6月 | 4,798 | ▲ 10.7 | 699,177 | ▲ 8.3 |
| | 7-9月 | 5,276 | ▲ 10.8 | 826,040 | ▲ 2.7 |
| | 10-12月 | 5,481 | 16.0 | 795,450 | 16.3 |
| 平成23年 | 1月 | 1,232 | ▲ 27.8 | 187,154 | ▲ 21.5 |
| | 2月 | 1,749 | ▲ 19.3 | 252,634 | ▲ 14.3 |
| | 3月 | 2,085 | ▲ 37.4 | 279,389 | ▲ 37.0 |
| | 4月 | 737 | ▲ 55.6 | 108,824 | ▲ 51.0 |
| | 5月 | 933 | ▲ 44.0 | 142,154 | ▲ 37.8 |
| | 6月 | 1,476 | ▲ 27.8 | 225,024 | ▲ 23.3 |
| | 7月 | 1,614 | ▲ 29.7 | 241,472 | ▲ 27.6 |
| | 8月 | 1,426 | ▲ 34.7 | 216,510 | ▲ 25.5 |
| | 9月 | 2,115 | ▲ 10.2 | 313,790 | 1.7 |
| | 10月 | 1,835 | 37.1 | 247,927 | 28.3 |
| | 11月 | 1,755 | 33.0 | 252,236 | 24.1 |
| | 12月 | 1,615 | 36.7 | 221,960 | 23.5 |
| 平成24年 | 1月 | 1,852 | 50.3 | 263,267 | 40.7 |
| | 2月 | 2,411 | 37.9 | 333,213 | 31.9 |
| | 3月 | 3,485 | 67.1 | 497,959 | 78.2 |
| | 4月 | 1,479 | 100.7 | 208,977 | 92.0 |
| | 5月 | 1,596 | 71.1 | 236,366 | 66.3 |
| | 6月 | 2,297 | 55.6 | 317,152 | 40.9 |
| | 7月 | 2,309 | 43.1 | 328,543 | 36.1 |
| | 8月 | 1,564 | 9.7 | 232,372 | 7.3 |
| | 9月 | 2,044 | ▲ 3.4 | 288,479 | ▲ 8.1 |
| | 10月 | 1,524 | ▲ 16.9 | 225,543 | ▲ 9.0 |
| | 11月 | 1,720 | ▲ 2.0 | 243,974 | ▲ 3.3 |
| | 12月 | 1,482 | ▲ 8.2 | 214,429 | ▲ 3.4 |
| 平成25年 | 1月 | 1,614 | ▲ 12.9 | 229,333 | ▲ 12.9 |
| | 2月 | 2,063 | ▲ 14.4 | 292,453 | ▲ 12.2 |
| | 3月 | 2,912 | ▲ 16.4 | 420,069 | ▲ 15.6 |
| | 4月 | 1,543 | 4.3 | 213,165 | 2.0 |
| | 5月 | 1,447 | ▲ 9.3 | 219,099 | ▲ 7.3 |
| | 6月 | 1,808 | ▲ 21.3 | 266,913 | ▲ 15.8 |
| | 7月 | 1,715 | ▲ 25.7 | 284,314 | ▲ 13.5 |
| | 8月 | 1,406 | ▲ 10.1 | 217,411 | ▲ 6.4 |
| | 9月 | 2,155 | 5.4 | 324,315 | 12.4 |
| | 10月 | 1,809 | 18.7 | 264,587 | 17.3 |
| | 11月 | 1,939 | 12.7 | 276,399 | 13.3 |
| | 12月 | 1,733 | 16.9 | 254,464 | 18.7 |

「経済季報」紀陽銀行
社団法人日本自動車販売協会連合会

第2部 主要経済指標からみた和歌山県経済

●軽自動車新車販売台数

(単位:台、%)

| | | 和歌山県 | | 全国 | |
|-------|--------|--------|-----------|-----------|-----------|
| | | 台数 | 前年(同月・期)比 | 台数 | 前年(同月・期)比 |
| 平成21年 | | 18,644 | ▲ 8.0 | 1,688,171 | ▲ 9.7 |
| 平成22年 | | 19,876 | 6.6 | 1,726,420 | 2.3 |
| 平成23年 | | 16,951 | ▲ 14.7 | 1,521,145 | ▲ 11.9 |
| 平成24年 | | 21,695 | 28.0 | 1,979,446 | 30.1 |
| 平成25年 | | 22,516 | 3.8 | 2,112,991 | 6.7 |
| 平成23年 | 1-3月 | 4,371 | ▲ 25.9 | 425,207 | ▲ 18.7 |
| | 4-6月 | 3,416 | ▲ 28.2 | 298,859 | ▲ 27.7 |
| | 7-9月 | 4,415 | ▲ 20.6 | 393,319 | ▲ 12.7 |
| | 10-12月 | 4,749 | 29.8 | 403,760 | 18.9 |
| 平成24年 | 1-3月 | 6,396 | 46.3 | 592,999 | 39.5 |
| | 4-6月 | 5,595 | 63.8 | 497,423 | 66.4 |
| | 7-9月 | 5,300 | 20.0 | 481,193 | 22.3 |
| | 10-12月 | 4,404 | ▲ 7.3 | 407,831 | 1.0 |
| 平成25年 | 1-3月 | 6,170 | ▲ 3.5 | 586,153 | ▲ 1.2 |
| | 4-6月 | 5,484 | ▲ 2.0 | 484,460 | ▲ 2.6 |
| | 7-9月 | 5,423 | 2.3 | 535,580 | 11.3 |
| | 10-12月 | 5,439 | 23.5 | 506,798 | 24.3 |
| 平成23年 | 1月 | 1,229 | ▲ 22.2 | 118,340 | ▲ 7.8 |
| | 2月 | 1,521 | ▲ 19.1 | 148,658 | ▲ 9.0 |
| | 3月 | 1,621 | ▲ 33.6 | 158,209 | ▲ 31.6 |
| | 4月 | 799 | ▲ 52.6 | 76,848 | ▲ 41.1 |
| | 5月 | 1,095 | ▲ 21.6 | 95,209 | ▲ 25.4 |
| | 6月 | 1,522 | ▲ 9.2 | 126,802 | ▲ 18.3 |
| | 7月 | 1,363 | ▲ 25.6 | 131,586 | ▲ 14.1 |
| | 8月 | 1,264 | ▲ 26.9 | 113,332 | ▲ 15.5 |
| | 9月 | 1,788 | ▲ 10.6 | 148,401 | ▲ 9.1 |
| | 10月 | 1,694 | 42.7 | 133,184 | 19.9 |
| | 11月 | 1,623 | 24.0 | 143,331 | 19.1 |
| | 12月 | 1,432 | 23.2 | 127,245 | 17.6 |
| 平成24年 | 1月 | 1,644 | 33.8 | 152,657 | 29.0 |
| | 2月 | 2,086 | 37.1 | 186,413 | 25.4 |
| | 3月 | 2,666 | 64.5 | 253,929 | 60.5 |
| | 4月 | 1,775 | 122.2 | 150,653 | 96.0 |
| | 5月 | 1,772 | 61.8 | 158,581 | 66.6 |
| | 6月 | 2,048 | 34.6 | 188,189 | 48.4 |
| | 7月 | 2,075 | 52.2 | 184,582 | 40.3 |
| | 8月 | 1,532 | 21.2 | 138,404 | 22.1 |
| | 9月 | 1,693 | ▲ 5.3 | 158,207 | 6.6 |
| | 10月 | 1,472 | ▲ 13.1 | 133,790 | 0.5 |
| | 11月 | 1,546 | ▲ 4.7 | 149,967 | 4.6 |
| | 12月 | 1,386 | ▲ 3.2 | 124,074 | ▲ 2.5 |
| 平成25年 | 1月 | 1,703 | 3.6 | 154,168 | 1.0 |
| | 2月 | 1,941 | ▲ 7.0 | 184,926 | ▲ 0.8 |
| | 3月 | 2,526 | ▲ 5.3 | 247,059 | ▲ 2.7 |
| | 4月 | 1,793 | 1.0 | 151,999 | 0.9 |
| | 5月 | 1,661 | ▲ 6.3 | 148,549 | ▲ 6.3 |
| | 6月 | 2,030 | ▲ 0.9 | 183,912 | ▲ 2.3 |
| | 7月 | 1,881 | ▲ 9.3 | 187,794 | 1.7 |
| | 8月 | 1,517 | ▲ 1.0 | 149,343 | 7.9 |
| | 9月 | 2,025 | 19.6 | 198,443 | 25.4 |
| | 10月 | 1,671 | 13.5 | 157,082 | 17.4 |
| | 11月 | 1,943 | 25.7 | 180,970 | 20.7 |
| | 12月 | 1,825 | 31.7 | 168,746 | 36.0 |

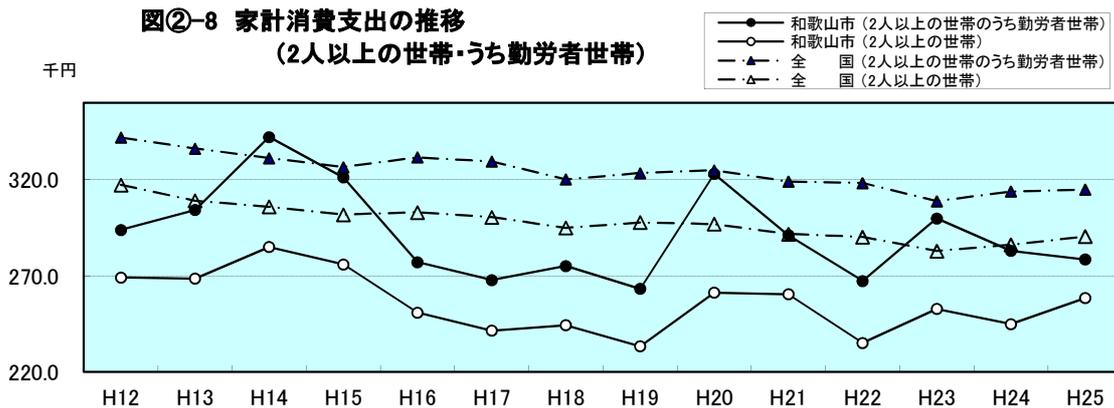
社団法人 全国軽自動車協会 連合会

●家計消費支出

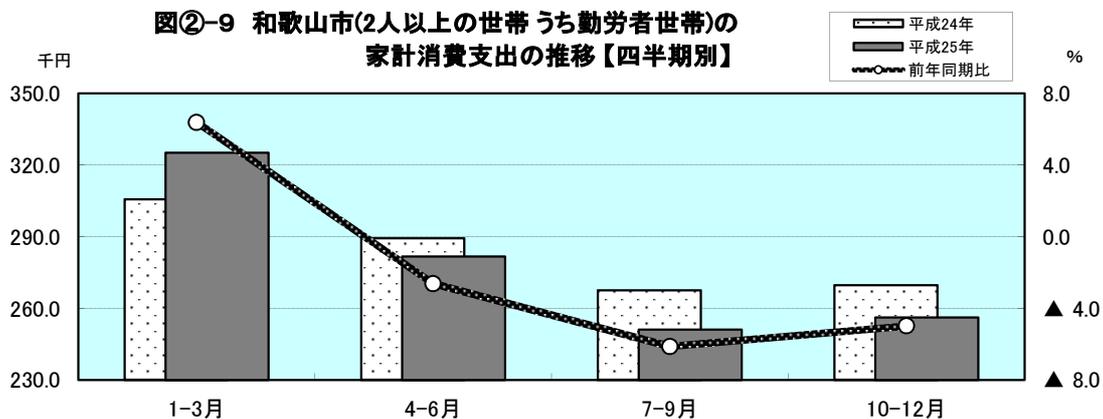
○緩やかな持ち直しの動きがみられる(1)(2人以上の世帯)

○足踏み状態(→)(2人以上の世帯のうち勤労者世帯)

本県人口の約4割を占める和歌山市(平成22年10月1日現在 36.96%〔平成22年国勢調査(県確報)より])の家計消費支出の推移をみると、平成25年は、「2人以上の世帯」は増加に転じたが、「2人以上の世帯のうち勤労者世帯」は前年に引き続き減少した。(図②-8)



また、和歌山市の家計消費支出(2人以上の世帯のうち勤労者世帯)について四半期別に平成24年と比較すると、1-3月期 では増加したものの、他の四半期では減少となった。(図②-9)



◎家計消費支出 (家計統計)とは、全国の世帯を対象に、毎月、世帯の収入と支出を調べるために総務省統計局が実施している統計であり、地域別や世帯の形態別・品目別など様々な特性に分けて分析されている。

各世帯の収入が何にどれだけ支出されたかを詳細に把握できるため、需要予測やマーケティング計画に利用されることも多い。また、景気動向の指標としても広く用いられ、一般的に景気が上向きになるとまず個人所得が増加し、その後緩やかに消費活動が活発となっていくことから、景気に遅行して動くとされている。

第2部 主要経済指標からみた和歌山県経済

●家計消費支出

(単位:千円、%)

| | | 和歌山市 | | | | 全 国 | |
|-------|--------|---------|-----------|-----------------|-----------|---------|-----------|
| | | 2人以上の世帯 | | 2人以上の世帯のうち勤労者世帯 | | 2人以上の世帯 | |
| | | 消費支出 | 前年(同月・期)比 | 消費支出 | 前年(同月・期)比 | 消費支出 | 前年(同月・期)比 |
| 平成21年 | | 260.5 | ▲ 0.3 | 291.1 | ▲ 9.9 | 291.7 | ▲ 1.7 |
| 平成22年 | | 235.1 | ▲ 9.7 | 267.3 | ▲ 8.2 | 290.2 | ▲ 0.5 |
| 平成23年 | | 252.8 | 7.5 | 299.9 | 12.2 | 283.0 | ▲ 2.5 |
| 平成24年 | | 244.9 | ▲ 3.1 | 283.0 | ▲ 5.6 | 286.2 | 1.1 |
| 平成25年 | | 258.5 | 5.5 | 278.5 | ▲ 1.6 | 290.5 | 1.5 |
| 平成23年 | 1-3月 | 255.8 | 1.6 | 285.4 | 3.8 | 280.6 | ▲ 3.6 |
| | 4-6月 | 230.6 | 2.7 | 273.7 | 21.4 | 278.2 | ▲ 2.6 |
| | 7-9月 | 259.5 | 15.4 | 302.6 | 11.8 | 277.4 | ▲ 2.6 |
| | 10-12月 | 265.5 | 10.9 | 337.8 | 13.4 | 295.7 | ▲ 1.3 |
| 平成24年 | 1-3月 | 246.4 | ▲ 3.7 | 305.7 | 7.1 | 284.9 | 1.5 |
| | 4-6月 | 247.3 | 7.3 | 289.2 | 5.7 | 286.6 | 3.0 |
| | 7-9月 | 233.5 | ▲ 10.0 | 267.5 | ▲ 11.6 | 278.7 | 0.5 |
| | 10-12月 | 252.5 | ▲ 4.9 | 269.6 | ▲ 20.2 | 294.5 | ▲ 0.4 |
| 平成25年 | 1-3月 | 283.0 | 14.9 | 325.1 | 6.4 | 291.1 | 2.2 |
| | 4-6月 | 257.0 | 3.9 | 281.7 | ▲ 2.6 | 285.4 | ▲ 0.4 |
| | 7-9月 | 250.1 | 7.1 | 251.1 | ▲ 6.1 | 283.8 | 1.8 |
| | 10-12月 | 243.7 | ▲ 3.5 | 256.2 | ▲ 5.0 | 301.6 | 2.4 |
| 平成23年 | 1月 | 259.2 | 7.3 | 300.3 | 1.1 | 289.2 | ▲ 0.9 |
| | 2月 | 241.1 | 3.0 | 225.8 | ▲ 9.1 | 260.8 | ▲ 0.1 |
| | 3月 | 267.0 | ▲ 4.4 | 330.1 | 18.1 | 291.9 | ▲ 8.8 |
| | 4月 | 235.9 | ▲ 6.9 | 291.4 | 13.4 | 292.6 | ▲ 2.5 |
| | 5月 | 225.7 | ▲ 4.1 | 250.9 | 11.3 | 276.2 | ▲ 1.6 |
| | 6月 | 230.0 | 24.6 | 278.7 | 43.7 | 265.8 | ▲ 3.9 |
| | 7月 | 231.8 | 4.2 | 301.5 | 20.7 | 280.0 | ▲ 1.8 |
| | 8月 | 297.4 | 29.9 | 287.3 | 9.6 | 282.0 | ▲ 3.9 |
| | 9月 | 249.3 | 11.8 | 319.1 | 6.3 | 270.0 | ▲ 1.9 |
| | 10月 | 274.7 | 20.9 | 349.5 | 23.4 | 285.6 | ▲ 0.6 |
| | 11月 | 237.3 | 1.8 | 290.2 | ▲ 2.5 | 273.4 | ▲ 3.8 |
| | 12月 | 284.5 | 10.2 | 373.8 | 19.4 | 327.9 | 0.3 |
| 平成24年 | 1月 | 245.5 | ▲ 5.3 | 311.5 | 3.7 | 283.1 | ▲ 2.1 |
| | 2月 | 234.1 | ▲ 2.9 | 283.8 | 25.7 | 267.9 | 2.7 |
| | 3月 | 259.5 | ▲ 2.8 | 321.6 | ▲ 2.6 | 303.8 | 4.1 |
| | 4月 | 253.8 | 7.6 | 321.1 | 10.2 | 301.9 | 3.2 |
| | 5月 | 238.5 | 5.7 | 262.3 | 4.5 | 287.9 | 4.3 |
| | 6月 | 249.7 | 8.6 | 284.4 | 2.0 | 269.8 | 1.5 |
| | 7月 | 257.9 | 11.3 | 326.3 | 8.2 | 283.3 | 1.2 |
| | 8月 | 235.3 | ▲ 20.9 | 250.2 | ▲ 12.9 | 286.0 | 1.4 |
| | 9月 | 207.3 | ▲ 16.9 | 226.0 | ▲ 29.2 | 266.7 | ▲ 1.2 |
| | 10月 | 224.3 | ▲ 18.4 | 257.6 | ▲ 26.3 | 284.2 | ▲ 0.5 |
| | 11月 | 253.0 | 6.6 | 264.7 | ▲ 8.8 | 273.8 | 0.1 |
| | 12月 | 280.1 | ▲ 1.5 | 286.5 | ▲ 23.4 | 325.5 | ▲ 0.7 |
| 平成25年 | 1月 | 283.3 | 15.4 | 304.1 | ▲ 2.4 | 288.9 | 2.1 |
| | 2月 | 258.8 | 10.5 | 342.4 | 20.7 | 268.1 | 0.1 |
| | 3月 | 307.0 | 18.3 | 328.9 | 2.3 | 316.2 | 4.1 |
| | 4月 | 254.8 | 0.4 | 260.7 | ▲ 18.8 | 304.4 | 0.8 |
| | 5月 | 236.2 | ▲ 0.9 | 252.9 | ▲ 3.6 | 282.4 | ▲ 1.9 |
| | 6月 | 280.0 | 12.2 | 331.4 | 16.5 | 269.4 | ▲ 0.1 |
| | 7月 | 269.9 | 4.6 | 240.0 | ▲ 26.5 | 286.1 | 1.0 |
| | 8月 | 237.6 | 1.0 | 254.4 | 1.7 | 284.6 | ▲ 0.5 |
| | 9月 | 242.9 | 17.2 | 259.0 | 14.6 | 280.7 | 5.2 |
| | 10月 | 227.3 | 1.3 | 240.4 | ▲ 6.7 | 290.7 | 2.3 |
| | 11月 | 232.0 | ▲ 8.3 | 248.1 | ▲ 6.3 | 279.5 | 2.1 |
| | 12月 | 271.7 | ▲ 3.0 | 280.0 | ▲ 2.3 | 334.4 | 2.7 |

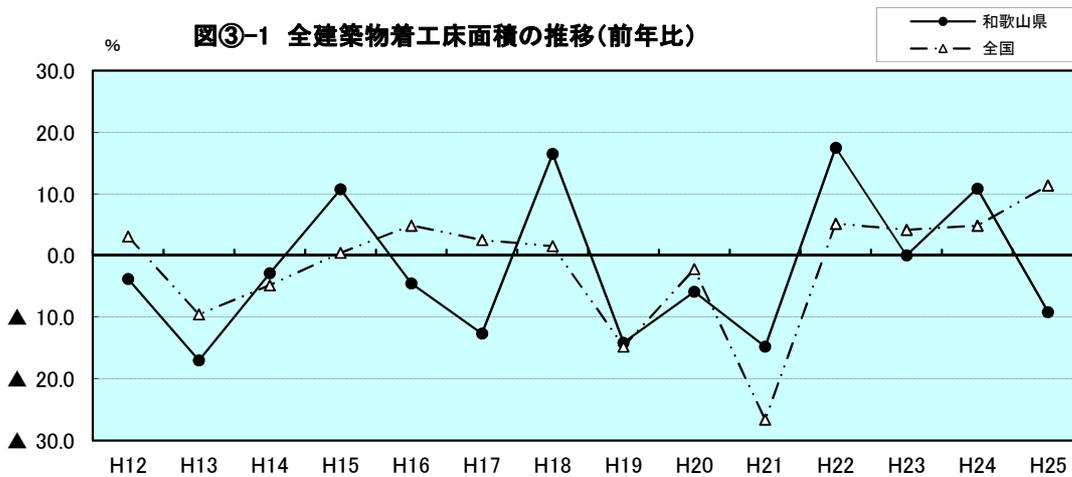
「家計調査・2人以上の世帯(農林漁家世帯を含む)」総務省統計局
注:各月の実数値は月平均、対前年(同月・期)比は名目値、年・四半期は平均値

③設備投資

持ち直しに向けた動きがみられる(→)

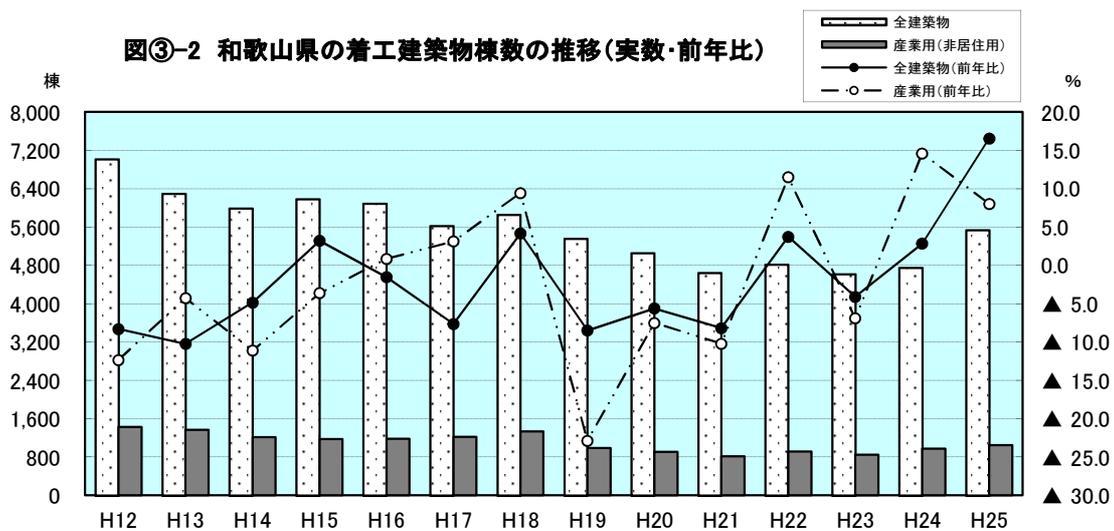
●着工建築物(床面積・工事費予定額・棟数)

全建築物着工床面積の推移を前年比で見ると、全国では平成22年以降4年連続して増加したが、本県は4年ぶりの減少(▲9.2%)となった。(図③-1)



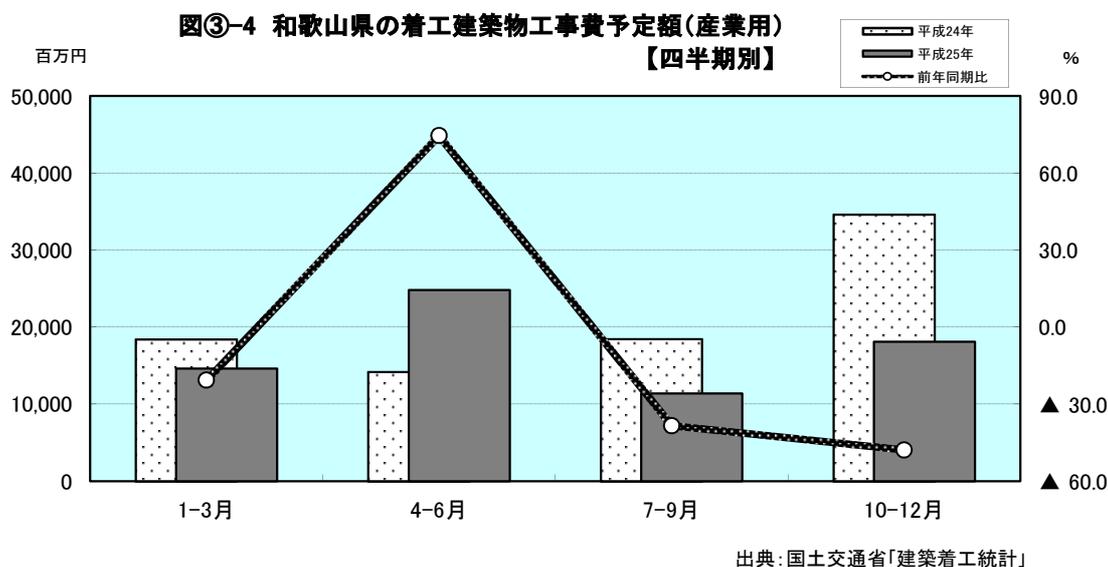
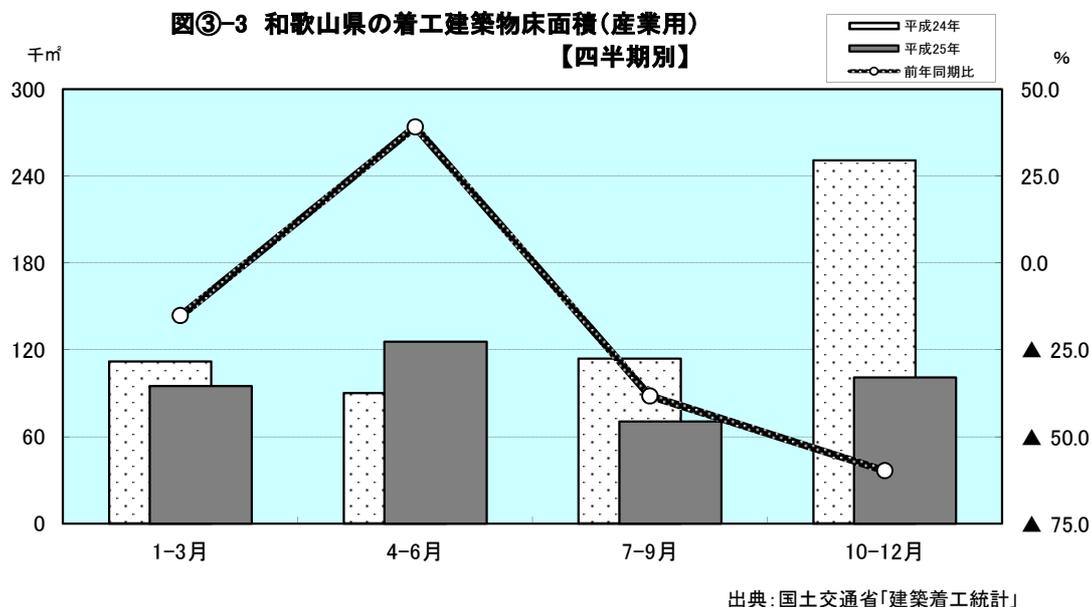
出典:国土交通省「建築着工統計」

また、本県の着工建築物棟数の推移をみると、平成25年は前年に続いて 全建築物・産業用とも増加した。(図③-2)



出典:国土交通省「建築着工統計」

また、平成25年の着工建築物床面積及び工事費予定額(いずれも産業用)を四半期別に平成24年と比較すると、床面積では4-6月期は増加したものの他の四半期では減少した。工事費予定額では全ての四半期で増加となった。(図③-3、③-4)。



◎着工建築物 とは、建物を建築しようとするとき、各都道府県知事あてに届け出た内容を床面積・工事費予定額・棟数などに分けて集計したものである。

文字どおり着工ベースの集計であるため、速報性があり、景気にほぼ一致して動くとされている。

また、全建築物・居住用(居住専用+居住産業併用)・非居住用に分けて集計しているが、この冊子では、非居住用+居住産業併用を産業用ととらえ、企業にとっての設備投資とみている。

●着工建築物(床面積)

(単位:千㎡、%)

| | | 和歌山県 | | | | | |
|-------|--------|-------|-----------|------|-----------|------------|-----------|
| | | 全建築物 | | 居住専用 | | 産業用(非居住専用) | |
| | | 床面積 | 前年(同月・期)比 | 床面積 | 前年(同月・期)比 | 床面積 | 前年(同月・期)比 |
| 平成21年 | | 828 | ▲ 14.8 | 513 | ▲ 14.5 | 315 | ▲ 15.3 |
| 平成22年 | | 972 | 17.5 | 522 | 1.7 | 451 | 43.2 |
| 平成23年 | | 973 | 0.0 | 504 | ▲ 3.4 | 468 | 3.9 |
| 平成24年 | | 1,078 | 10.9 | 511 | 1.3 | 567 | 21.1 |
| 平成25年 | | 979 | ▲ 9.2 | 587 | 15.0 | 392 | ▲ 30.9 |
| 平成23年 | 1-3月 | 245 | 6.5 | 123 | 6.8 | 122 | 6.2 |
| | 4-6月 | 248 | 8.1 | 123 | ▲ 0.8 | 125 | 18.6 |
| | 7-9月 | 244 | ▲ 8.6 | 143 | 6.2 | 101 | ▲ 23.6 |
| | 10-12月 | 235 | ▲ 4.3 | 115 | ▲ 22.1 | 120 | 22.6 |
| 平成24年 | 1-3月 | 224 | ▲ 8.7 | 112 | ▲ 9.0 | 112 | ▲ 8.4 |
| | 4-6月 | 220 | ▲ 11.2 | 130 | 5.5 | 90 | ▲ 27.6 |
| | 7-9月 | 246 | 0.7 | 132 | ▲ 7.9 | 114 | 12.9 |
| | 10-12月 | 388 | 65.0 | 137 | 19.3 | 251 | 108.8 |
| 平成25年 | 1-3月 | 232 | 3.4 | 137 | 22.0 | 95 | ▲ 15.1 |
| | 4-6月 | 263 | 19.5 | 137 | 5.8 | 126 | 39.2 |
| | 7-9月 | 216 | ▲ 11.9 | 146 | 10.9 | 70 | ▲ 38.3 |
| | 10-12月 | 268 | ▲ 30.9 | 167 | 21.9 | 101 | ▲ 59.8 |
| 平成23年 | 1月 | 71 | 20.7 | 38 | ▲ 7.4 | 32 | 88.1 |
| | 2月 | 75 | ▲ 6.2 | 38 | 2.3 | 37 | ▲ 13.6 |
| | 3月 | 100 | 8.4 | 47 | 27.1 | 53 | ▲ 4.1 |
| | 4月 | 121 | 106.7 | 51 | 39.2 | 70 | 217.5 |
| | 5月 | 48 | ▲ 44.1 | 34 | ▲ 12.3 | 14 | ▲ 70.0 |
| | 6月 | 79 | ▲ 7.0 | 39 | ▲ 21.3 | 40 | 12.7 |
| | 7月 | 71 | ▲ 21.7 | 43 | ▲ 1.2 | 28 | ▲ 40.8 |
| | 8月 | 122 | 18.0 | 67 | 32.4 | 54 | 3.9 |
| | 9月 | 52 | ▲ 29.7 | 33 | ▲ 19.0 | 19 | ▲ 42.6 |
| | 10月 | 84 | 7.9 | 35 | ▲ 27.0 | 49 | 61.9 |
| | 11月 | 73 | 0.1 | 42 | ▲ 9.5 | 30 | 17.1 |
| | 12月 | 79 | ▲ 17.6 | 39 | ▲ 28.8 | 40 | ▲ 2.8 |
| 平成24年 | 1月 | 99 | 40.8 | 39 | 1.4 | 61 | 87.4 |
| | 2月 | 67 | ▲ 9.9 | 32 | ▲ 15.8 | 35 | ▲ 3.7 |
| | 3月 | 57 | ▲ 42.8 | 41 | ▲ 12.0 | 16 | ▲ 70.2 |
| | 4月 | 79 | ▲ 34.5 | 44 | ▲ 13.4 | 35 | ▲ 49.8 |
| | 5月 | 62 | 28.4 | 35 | 2.6 | 27 | 89.7 |
| | 6月 | 79 | 0.6 | 51 | 32.8 | 28 | ▲ 30.4 |
| | 7月 | 83 | 18.1 | 47 | 8.6 | 37 | 33.0 |
| | 8月 | 59 | ▲ 51.6 | 48 | ▲ 29.1 | 11 | ▲ 79.4 |
| | 9月 | 103 | 99.9 | 37 | 14.4 | 66 | 245.6 |
| | 10月 | 79 | ▲ 5.9 | 42 | 20.7 | 37 | ▲ 24.5 |
| | 11月 | 88 | 21.2 | 50 | 19.6 | 38 | 23.5 |
| | 12月 | 221 | 181.0 | 45 | 17.6 | 176 | 337.6 |
| 平成25年 | 1月 | 63 | ▲ 36.3 | 38 | ▲ 2.1 | 25 | ▲ 58.1 |
| | 2月 | 100 | 48.5 | 52 | 61.5 | 48 | 36.7 |
| | 3月 | 68 | 19.3 | 47 | 13.9 | 21 | 33.3 |
| | 4月 | 121 | 52.9 | 45 | 3.2 | 76 | 114.5 |
| | 5月 | 65 | 5.6 | 44 | 26.1 | 21 | ▲ 20.8 |
| | 6月 | 77 | ▲ 3.1 | 48 | ▲ 5.8 | 28 | 1.8 |
| | 7月 | 69 | ▲ 17.6 | 50 | 6.9 | 19 | ▲ 48.8 |
| | 8月 | 83 | 41.0 | 43 | ▲ 9.5 | 40 | 256.8 |
| | 9月 | 65 | ▲ 37.5 | 53 | 41.8 | 12 | ▲ 82.3 |
| | 10月 | 85 | 7.9 | 60 | 43.7 | 25 | ▲ 32.0 |
| | 11月 | 101 | 15.0 | 53 | 5.7 | 48 | 27.4 |
| | 12月 | 82 | ▲ 63.0 | 54 | 19.8 | 28 | ▲ 84.4 |

「建築着工統計」国土交通省
「建設統計月報」財団法人建設物価調査会

第2部 主要経済指標からみた和歌山県経済

●着工建築物(工事費予定額)

(単位:百万円、%)

| | | 和歌山県 | | | | | |
|-------|--------|---------|-----------|--------|-----------|------------|-----------|
| | | 全建築物 | | 居住専用 | | 産業用(非居住専用) | |
| | | 工事費予定額 | 前年(同月・期)比 | 工事費予定額 | 前年(同月・期)比 | 工事費予定額 | 前年(同月・期)比 |
| 平成21年 | | 130,632 | ▲ 14.3 | 82,573 | ▲ 14.0 | 48,059 | ▲ 14.8 |
| 平成22年 | | 163,062 | 24.8 | 85,593 | 3.7 | 77,469 | 61.2 |
| 平成23年 | | 161,730 | ▲ 0.8 | 82,345 | ▲ 3.8 | 79,386 | 2.5 |
| 平成24年 | | 172,439 | 6.6 | 86,706 | 5.3 | 85,733 | 8.0 |
| 平成25年 | | 167,360 | ▲ 2.9 | 98,467 | 13.6 | 68,892 | ▲ 19.6 |
| 平成23年 | 1-3月 | 39,591 | 3.5 | 20,303 | 8.5 | 19,289 | ▲ 1.2 |
| | 4-6月 | 40,628 | ▲ 1.3 | 20,171 | ▲ 1.2 | 20,457 | ▲ 1.5 |
| | 7-9月 | 42,091 | ▲ 5.2 | 22,975 | 2.1 | 19,116 | ▲ 12.7 |
| | 10-12月 | 39,420 | 0.5 | 18,896 | ▲ 21.1 | 20,524 | 34.4 |
| 平成24年 | 1-3月 | 36,900 | ▲ 6.8 | 18,482 | ▲ 9.0 | 18,418 | ▲ 4.5 |
| | 4-6月 | 37,126 | ▲ 8.6 | 22,921 | 13.6 | 14,205 | ▲ 30.6 |
| | 7-9月 | 40,514 | ▲ 3.7 | 22,045 | ▲ 4.0 | 18,469 | ▲ 3.4 |
| | 10-12月 | 57,900 | 46.9 | 23,259 | 23.1 | 34,641 | 68.8 |
| 平成25年 | 1-3月 | 37,795 | 2.4 | 23,175 | 25.4 | 14,620 | ▲ 20.6 |
| | 4-6月 | 47,804 | 28.8 | 23,001 | 0.3 | 24,803 | 74.6 |
| | 7-9月 | 35,485 | ▲ 12.4 | 24,102 | 9.3 | 11,382 | ▲ 38.4 |
| | 10-12月 | 46,276 | ▲ 20.1 | 28,189 | 21.2 | 18,087 | ▲ 47.8 |
| 平成23年 | 1月 | 11,105 | 26.2 | 6,209 | ▲ 7.7 | 4,896 | 136.2 |
| | 2月 | 13,231 | 18.3 | 5,963 | ▲ 0.6 | 7,269 | 40.1 |
| | 3月 | 15,255 | ▲ 16.4 | 8,130 | 35.9 | 7,124 | ▲ 41.9 |
| | 4月 | 17,652 | 74.4 | 8,523 | 39.2 | 9,129 | 128.3 |
| | 5月 | 7,938 | ▲ 46.1 | 5,343 | ▲ 13.5 | 2,595 | ▲ 69.6 |
| | 6月 | 15,038 | ▲ 7.9 | 6,305 | ▲ 22.2 | 8,733 | 6.2 |
| | 7月 | 10,082 | ▲ 42.6 | 6,845 | ▲ 8.0 | 3,237 | ▲ 68.0 |
| | 8月 | 24,503 | 62.4 | 10,949 | 30.8 | 13,554 | 101.9 |
| | 9月 | 7,506 | ▲ 36.1 | 5,181 | ▲ 22.6 | 2,325 | ▲ 54.0 |
| | 10月 | 13,688 | 10.0 | 5,773 | ▲ 22.4 | 7,915 | 58.1 |
| | 11月 | 12,565 | 6.0 | 6,888 | ▲ 10.3 | 5,677 | 36.2 |
| | 12月 | 13,167 | ▲ 11.9 | 6,235 | ▲ 29.5 | 6,932 | 13.6 |
| 平成24年 | 1月 | 16,470 | 48.3 | 6,346 | 2.2 | 10,124 | 106.8 |
| | 2月 | 11,573 | ▲ 12.5 | 5,378 | ▲ 9.8 | 6,195 | ▲ 14.8 |
| | 3月 | 8,857 | ▲ 41.9 | 6,758 | ▲ 16.9 | 2,098 | ▲ 70.6 |
| | 4月 | 14,478 | ▲ 18.0 | 7,567 | ▲ 11.2 | 6,910 | ▲ 24.3 |
| | 5月 | 9,618 | 21.2 | 5,831 | 9.1 | 3,787 | 45.9 |
| | 6月 | 13,030 | ▲ 13.4 | 9,523 | 51.0 | 3,508 | ▲ 59.8 |
| | 7月 | 14,527 | 44.1 | 7,859 | 14.8 | 6,668 | 106.0 |
| | 8月 | 9,774 | ▲ 60.1 | 7,980 | ▲ 27.1 | 1,794 | ▲ 86.8 |
| | 9月 | 16,213 | 116.0 | 6,206 | 19.8 | 10,008 | 330.5 |
| | 10月 | 14,308 | 4.5 | 7,043 | 22.0 | 7,265 | ▲ 8.2 |
| | 11月 | 13,780 | 9.7 | 8,555 | 24.2 | 5,225 | ▲ 8.0 |
| | 12月 | 29,812 | 126.4 | 7,661 | 22.9 | 22,151 | 219.5 |
| 平成25年 | 1月 | 10,413 | ▲ 36.8 | 6,437 | 1.4 | 3,976 | ▲ 60.7 |
| | 2月 | 15,932 | 37.7 | 8,452 | 57.2 | 7,480 | 20.7 |
| | 3月 | 11,449 | 29.3 | 8,286 | 22.6 | 3,163 | 50.8 |
| | 4月 | 22,846 | 57.8 | 7,669 | 1.3 | 15,177 | 119.6 |
| | 5月 | 11,345 | 18.0 | 7,345 | 26.0 | 4,000 | 5.6 |
| | 6月 | 13,613 | 4.5 | 7,987 | ▲ 16.1 | 5,627 | 60.4 |
| | 7月 | 11,716 | ▲ 19.3 | 8,202 | 4.4 | 3,514 | ▲ 47.3 |
| | 8月 | 13,534 | 38.5 | 7,321 | ▲ 8.3 | 6,213 | 246.3 |
| | 9月 | 10,235 | ▲ 36.9 | 8,579 | 38.2 | 1,656 | ▲ 83.5 |
| | 10月 | 14,734 | 3.0 | 10,167 | 44.4 | 4,567 | ▲ 37.1 |
| | 11月 | 17,852 | 29.5 | 8,826 | 3.2 | 9,026 | 72.8 |
| | 12月 | 13,690 | ▲ 54.1 | 9,196 | 20.0 | 4,494 | ▲ 79.7 |

「建築着工統計」国土交通省
「建設統計月報」財団法人建設物価調査会

●着工建築物(棟数)

(単位:棟、%)

| | | 和歌山県 | | | | | |
|-------|--------|-------|-----------|-------|-----------|------------|-----------|
| | | 全建築物 | | 居住専用 | | 産業用(非居住専用) | |
| | | 棟数 | 前年(同月・期)比 | 棟数 | 前年(同月・期)比 | 棟数 | 前年(同月・期)比 |
| 平成21年 | | 4,646 | ▲ 8.2 | 3,828 | ▲ 7.7 | 818 | ▲ 10.2 |
| 平成22年 | | 4,819 | 3.7 | 3,907 | 2.1 | 912 | 11.5 |
| 平成23年 | | 4,622 | ▲ 4.1 | 3,773 | ▲ 3.4 | 849 | ▲ 6.9 |
| 平成24年 | | 4,753 | 2.8 | 3,780 | 0.2 | 973 | 14.6 |
| 平成25年 | | 5,540 | 16.6 | 4,489 | 18.8 | 1,051 | 8.0 |
| 平成23年 | 1-3月 | 1,124 | 4.9 | 905 | 4.6 | 219 | 5.8 |
| | 4-6月 | 1,082 | ▲ 2.3 | 887 | ▲ 1.8 | 195 | ▲ 4.9 |
| | 7-9月 | 1,267 | 0.6 | 1,081 | 5.2 | 186 | ▲ 19.8 |
| | 10-12月 | 1,149 | ▲ 16.7 | 900 | ▲ 19.0 | 249 | ▲ 7.1 |
| 平成24年 | 1-3月 | 1,109 | ▲ 1.3 | 869 | ▲ 4.0 | 240 | 9.6 |
| | 4-6月 | 1,088 | 0.6 | 858 | ▲ 3.3 | 230 | 17.9 |
| | 7-9月 | 1,248 | ▲ 1.5 | 1,010 | ▲ 6.6 | 238 | 28.0 |
| | 10-12月 | 1,308 | 13.8 | 1,043 | 15.9 | 265 | 6.4 |
| 平成25年 | 1-3月 | 1,231 | 11.0 | 1,016 | 16.9 | 215 | ▲ 10.4 |
| | 4-6月 | 1,286 | 18.2 | 1,014 | 18.2 | 272 | 18.3 |
| | 7-9月 | 1,335 | 7.0 | 1,131 | 12.0 | 204 | ▲ 14.3 |
| | 10-12月 | 1,688 | 29.1 | 1,328 | 27.3 | 360 | 35.8 |
| 平成23年 | 1月 | 349 | ▲ 0.3 | 283 | ▲ 3.1 | 66 | 13.8 |
| | 2月 | 386 | 6.0 | 317 | 10.8 | 69 | ▲ 11.5 |
| | 3月 | 389 | 8.7 | 305 | 6.3 | 84 | 18.3 |
| | 4月 | 410 | 37.1 | 336 | 37.1 | 74 | 37.0 |
| | 5月 | 293 | ▲ 20.8 | 253 | ▲ 13.9 | 40 | ▲ 47.4 |
| | 6月 | 379 | ▲ 13.7 | 298 | ▲ 18.1 | 81 | 8.0 |
| | 7月 | 389 | ▲ 7.4 | 321 | ▲ 5.3 | 68 | ▲ 16.0 |
| | 8月 | 558 | 19.5 | 500 | 28.5 | 58 | ▲ 25.6 |
| | 9月 | 320 | ▲ 14.2 | 260 | ▲ 13.3 | 60 | ▲ 17.8 |
| | 10月 | 349 | ▲ 23.1 | 268 | ▲ 26.6 | 81 | ▲ 9.0 |
| | 11月 | 421 | ▲ 5.6 | 335 | ▲ 2.3 | 86 | ▲ 16.5 |
| | 12月 | 379 | ▲ 20.9 | 297 | ▲ 26.3 | 82 | 7.9 |
| 平成24年 | 1月 | 414 | 18.6 | 313 | 10.6 | 101 | 53.0 |
| | 2月 | 296 | ▲ 23.3 | 241 | ▲ 24.0 | 55 | ▲ 20.3 |
| | 3月 | 399 | 2.6 | 315 | 3.3 | 84 | 0.0 |
| | 4月 | 377 | ▲ 8.0 | 304 | ▲ 9.5 | 73 | ▲ 1.4 |
| | 5月 | 332 | 13.3 | 250 | ▲ 1.2 | 82 | 105.0 |
| | 6月 | 379 | 0.0 | 304 | 2.0 | 75 | ▲ 7.4 |
| | 7月 | 439 | 12.9 | 356 | 10.9 | 83 | 22.1 |
| | 8月 | 418 | ▲ 25.1 | 354 | ▲ 29.2 | 64 | 10.3 |
| | 9月 | 391 | 22.2 | 300 | 15.4 | 91 | 51.7 |
| | 10月 | 387 | 10.9 | 298 | 11.2 | 89 | 9.9 |
| | 11月 | 483 | 14.7 | 393 | 17.3 | 90 | 4.7 |
| | 12月 | 438 | 15.6 | 352 | 18.5 | 86 | 4.9 |
| 平成25年 | 1月 | 352 | ▲ 15.0 | 289 | ▲ 7.7 | 63 | ▲ 37.6 |
| | 2月 | 462 | 56.1 | 384 | 59.3 | 78 | 41.8 |
| | 3月 | 417 | 4.5 | 343 | 8.9 | 74 | ▲ 11.9 |
| | 4月 | 480 | 27.3 | 360 | 18.4 | 120 | 64.4 |
| | 5月 | 368 | 10.8 | 287 | 14.8 | 81 | ▲ 1.2 |
| | 6月 | 438 | 15.6 | 367 | 20.7 | 71 | ▲ 5.3 |
| | 7月 | 457 | 4.1 | 377 | 5.9 | 80 | ▲ 3.6 |
| | 8月 | 427 | 2.2 | 347 | ▲ 2.0 | 80 | 25.0 |
| | 9月 | 451 | 15.3 | 407 | 35.7 | 44 | ▲ 51.6 |
| | 10月 | 600 | 55.0 | 451 | 51.3 | 149 | 67.4 |
| | 11月 | 530 | 9.7 | 433 | 10.2 | 97 | 7.8 |
| | 12月 | 558 | 27.4 | 444 | 26.1 | 114 | 32.6 |

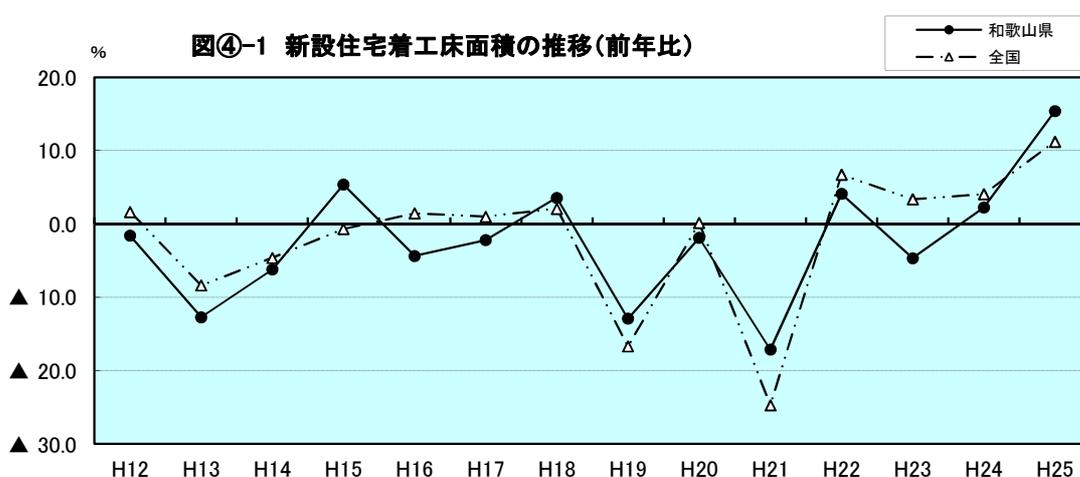
「建築着工統計」国土交通省
「建設統計月報」財団法人建設物価調査会

④住宅建設

緩やかな持ち直しの動きがみられる(↑)

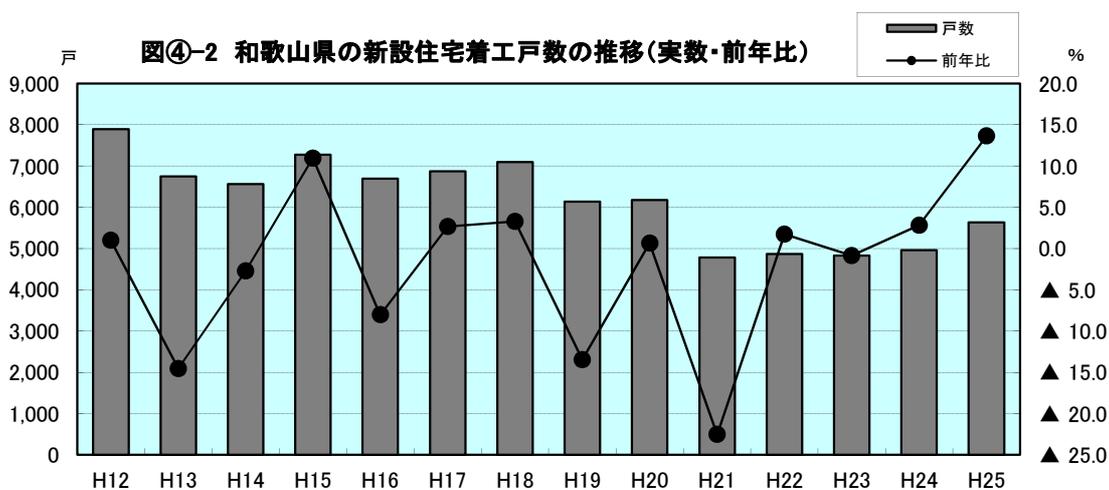
●新設住宅着工戸数・床面積

まず、新設住宅着工床面積の推移をみると、平成21年以降、平成23年を除き増加傾向が継続している。平成25年は、前年に引き続き増加となり、持ち直しの動きがみられた。(図④-1)



出典:国土交通省「建築着工統計」

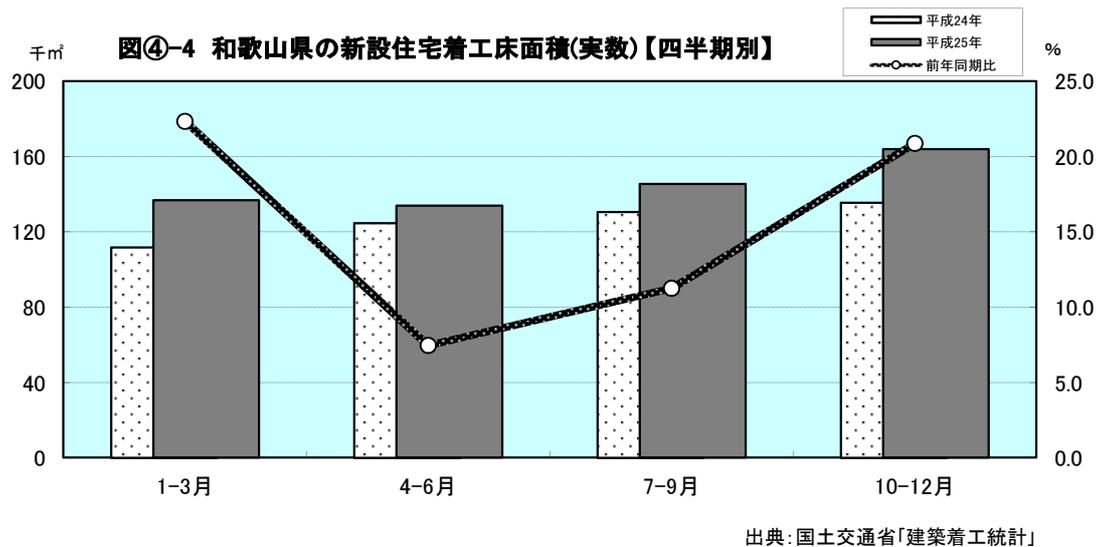
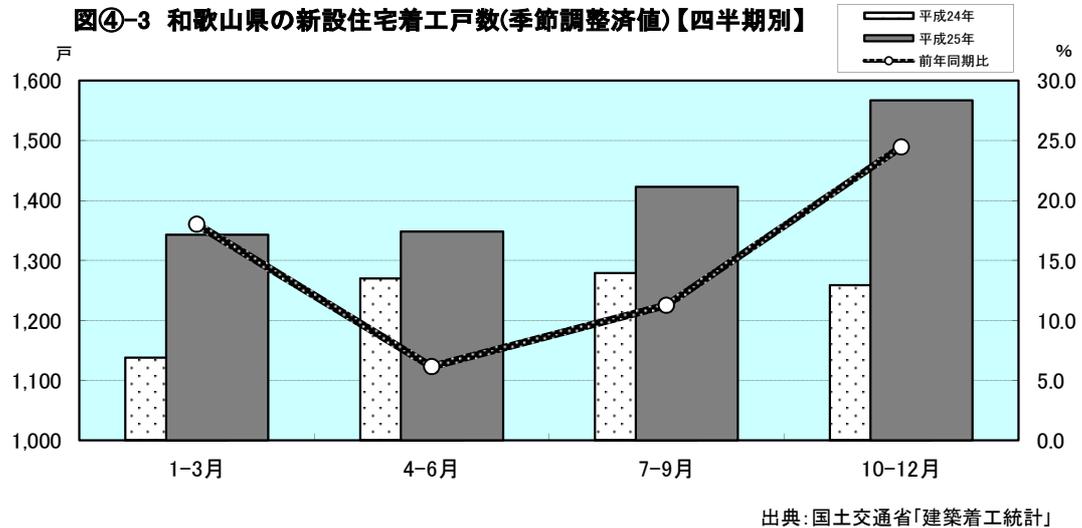
また、新設住宅着工戸数についても2年連続した増加となり、平成20年以来5年ぶりに5,000戸を上回った。平成25年の内訳をみると、持家(前年比19.9%)分譲住宅(前年比17.8%)の増加が大きかった。(図④-2)



出典:国土交通省「建築着工統計」

次に、新設住宅着工戸数(季節調整済値)及び床面積(実数)を四半期別に平成24年と比較すると、戸数・床面積ともに全ての四半期で増加となった。

(図④-3・図④-4)



◎新設住宅着工戸数とは、住宅の新築・増築又は改築によって新たに造られた住宅の戸数であり、戸数及びその床面積を、各都道府県知事あての届出をもとに、国土交通省が集計した『建築動態統計調査』のうち、「建築着工統計調査」の1つ(住宅着工統計)により表されるものである。

住宅を建てる際に、金融機関等の住宅ローンを利用する人が多いため、住宅ローン減税などの政策措置や金利動向の影響を受けやすい指標といえる。また、建築関係の需要に対する波及効果があるため、重要な景気の先行指標とされている。

調査対象の翌月末には集計結果が公表されることから、全数調査としては極めて高い速報性をもつ調査である。

第2部 主要経済指標からみた和歌山県経済

●新設住宅着工戸数・床面積

(単位:戸、千㎡、%)

| | | 和歌山県 | | | | | |
|-------|--------|-------|-----------|--------|----------|-----|-----------|
| | | 戸数 | | | | 床面積 | |
| | | 実数 | 前年(同月・期)比 | 季節調整済値 | 前年(月・期)比 | 実数 | 前年(同月・期)比 |
| 平成21年 | | 4,784 | ▲ 22.5 | 4,960 | ▲ 20.1 | 495 | ▲ 17.1 |
| 平成22年 | | 4,867 | 1.7 | 4,871 | ▲ 1.8 | 516 | 4.1 |
| 平成23年 | | 4,825 | ▲ 0.9 | 4,562 | ▲ 6.3 | 492 | ▲ 4.7 |
| 平成24年 | | 4,961 | 2.8 | 4,946 | 8.4 | 494 | 0.4 |
| 平成25年 | | 5,637 | 13.6 | 5,681 | 14.9 | 489 | ▲ 0.9 |
| 平成23年 | 1-3月 | 1,199 | 2.0 | 1,230 | 0.7 | 118 | 0.3 |
| | 4-6月 | 1,173 | 1.6 | 1,167 | 1.6 | 119 | ▲ 2.2 |
| | 7-9月 | 1,351 | 17.0 | 1,094 | ▲ 5.4 | 140 | 7.2 |
| | 10-12月 | 1,102 | ▲ 20.2 | 1,071 | ▲ 20.3 | 115 | ▲ 21.3 |
| 平成24年 | 1-3月 | 1,104 | ▲ 7.9 | 1,138 | ▲ 7.5 | 112 | ▲ 5.5 |
| | 4-6月 | 1,294 | 10.3 | 1,270 | 8.8 | 125 | 4.6 |
| | 7-9月 | 1,270 | ▲ 6.0 | 1,279 | 16.9 | 131 | ▲ 6.4 |
| | 10-12月 | 1,293 | 17.3 | 1,259 | 17.6 | 136 | 18.2 |
| 平成25年 | 1-3月 | 1,302 | 17.9 | 1,343 | 18.0 | 137 | 22.3 |
| | 4-6月 | 1,346 | 4.0 | 1,348 | 6.1 | 134 | 7.5 |
| | 7-9月 | 1,387 | 9.2 | 1,423 | 11.3 | 145 | 11.3 |
| | 10-12月 | 1,602 | 23.9 | 1,567 | 24.5 | 164 | 20.9 |
| 平成23年 | 1月 | 360 | ▲ 10.2 | 386 | ▲ 9.8 | 36 | ▲ 8.3 |
| | 2月 | 355 | 1.7 | 389 | 1.0 | 37 | ▲ 0.2 |
| | 3月 | 484 | 13.6 | 455 | 11.5 | 46 | 8.7 |
| | 4月 | 491 | 45.7 | 473 | 40.4 | 47 | 33.6 |
| | 5月 | 314 | ▲ 14.9 | 359 | ▲ 12.0 | 33 | ▲ 11.6 |
| | 6月 | 368 | ▲ 18.0 | 335 | ▲ 17.1 | 38 | ▲ 21.2 |
| | 7月 | 433 | 22.7 | 428 | 21.2 | 43 | ▲ 0.6 |
| | 8月 | 654 | 43.1 | 370 | ▲ 12.1 | 66 | 33.9 |
| | 9月 | 264 | ▲ 23.5 | 296 | ▲ 22.7 | 31 | ▲ 18.6 |
| | 10月 | 321 | ▲ 24.5 | 339 | ▲ 25.2 | 35 | ▲ 24.0 |
| | 11月 | 388 | ▲ 15.8 | 356 | ▲ 14.6 | 41 | ▲ 11.0 |
| | 12月 | 393 | ▲ 20.6 | 376 | ▲ 20.7 | 39 | ▲ 27.9 |
| 平成24年 | 1月 | 367 | 1.9 | 403 | 4.4 | 37 | 5.2 |
| | 2月 | 326 | ▲ 8.2 | 355 | ▲ 8.7 | 33 | ▲ 11.7 |
| | 3月 | 411 | ▲ 15.1 | 380 | ▲ 16.5 | 42 | ▲ 8.7 |
| | 4月 | 473 | ▲ 3.7 | 442 | ▲ 6.6 | 43 | ▲ 9.5 |
| | 5月 | 317 | 1.0 | 364 | 1.4 | 35 | 4.5 |
| | 6月 | 504 | 37.0 | 464 | 38.5 | 47 | 22.0 |
| | 7月 | 456 | 5.3 | 447 | 4.4 | 45 | 4.5 |
| | 8月 | 466 | ▲ 28.7 | 435 | 17.6 | 49 | ▲ 26.1 |
| | 9月 | 348 | 31.8 | 397 | 34.1 | 37 | 20.5 |
| | 10月 | 404 | 25.9 | 418 | 23.3 | 42 | 20.7 |
| | 11月 | 475 | 22.4 | 443 | 24.4 | 50 | 21.6 |
| | 12月 | 414 | 5.3 | 398 | 5.9 | 43 | 12.3 |
| 平成25年 | 1月 | 366 | ▲ 0.3 | 400 | ▲ 0.7 | 38 | 0.3 |
| | 2月 | 481 | 47.5 | 525 | 47.9 | 53 | 61.5 |
| | 3月 | 455 | 10.7 | 418 | 10.0 | 47 | 11.6 |
| | 4月 | 450 | ▲ 4.9 | 411 | ▲ 7.0 | 45 | 3.6 |
| | 5月 | 438 | 38.2 | 509 | 39.8 | 43 | 22.7 |
| | 6月 | 458 | ▲ 9.1 | 428 | ▲ 7.8 | 47 | ▲ 0.3 |
| | 7月 | 461 | 1.1 | 443 | ▲ 0.9 | 50 | 9.9 |
| | 8月 | 412 | ▲ 11.6 | 385 | ▲ 11.5 | 43 | ▲ 10.9 |
| | 9月 | 514 | 47.7 | 595 | 49.9 | 53 | 41.9 |
| | 10月 | 556 | 37.6 | 568 | 35.9 | 57 | 36.0 |
| | 11月 | 505 | 6.3 | 479 | 8.1 | 53 | 5.2 |
| | 12月 | 541 | 30.7 | 520 | 30.7 | 54 | 24.4 |

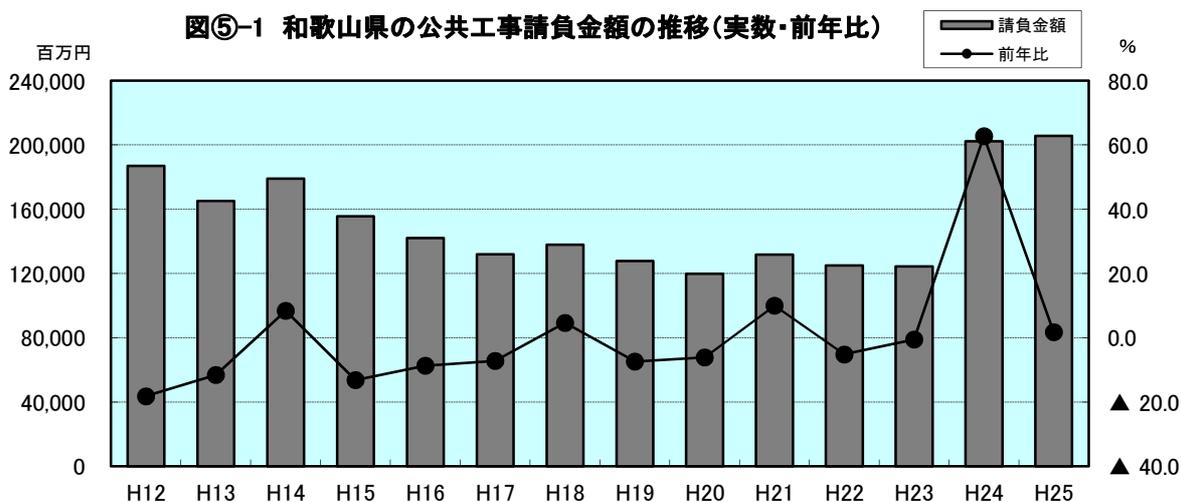
「建築着工統計」国土交通省
「建設統計月報」財団法人建設物価調査会

⑤公共投資

一進一退の動きがみられる (→)

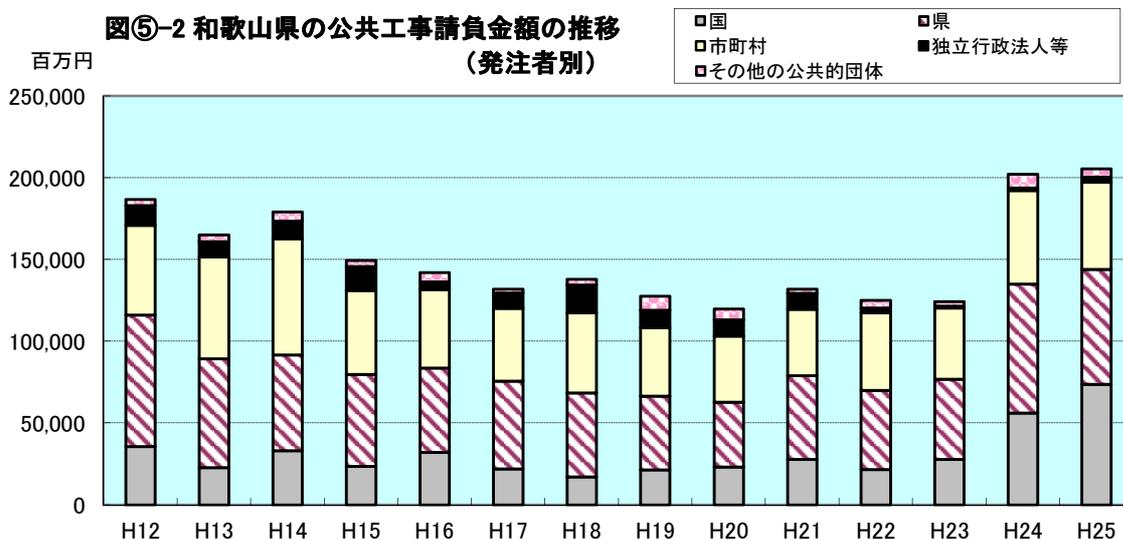
●公共工事請負金額

本県の公共工事動向を請負金額の推移で見ると、減少傾向が続いていたが、平成25年は、前年に続き2年連続で増加となった。金額ベースでも2,055億円となり、平成12年以降で最高となった。(図⑤-1)



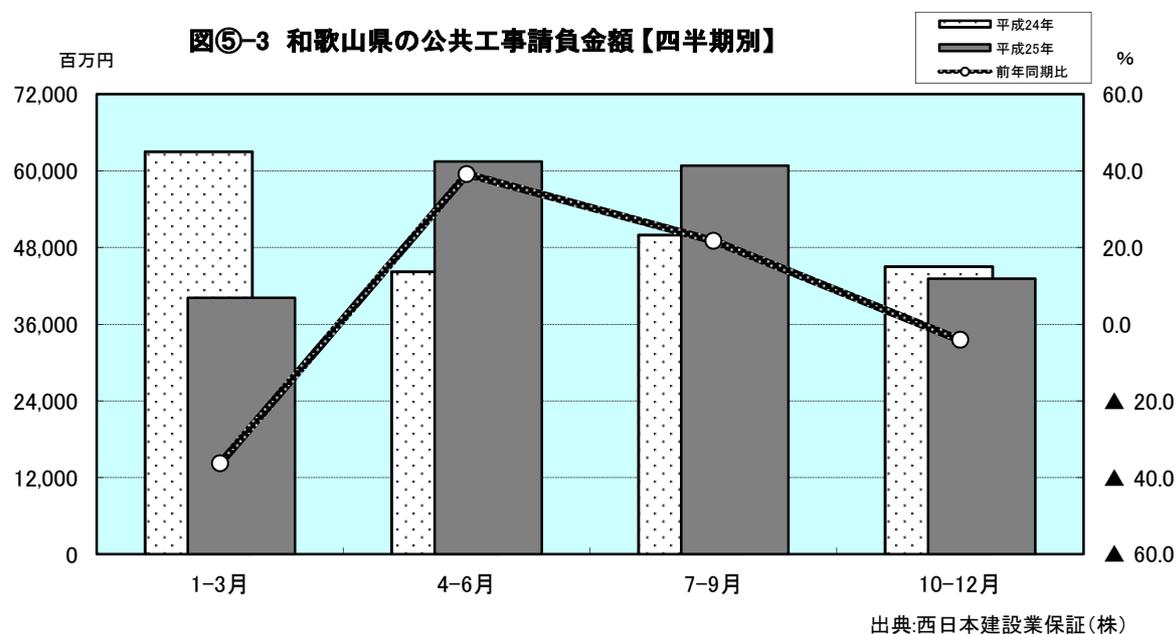
出典:西日本建設業保証(株)

次に、発注者別にみると、平成25年は国・独立行政法人等では増加となったものの、県・市町村・その他の公共的団体では減少となった。(図⑤-2)



出典:西日本建設業保証(株)

次に、公共工事請負金額を四半期別に平成24年と比較すると、4-6月期及び7-9月期で増加となった。(図⑤-3)



◎公共工事請負金額 とは、公共機関が発注した公共工事のうち、保証事業会社が前払金の保証契約をした金額を指す。保証の対象外となる少額の工事などは含まれていないが、官公庁の建設投資額の70～75%程度を網羅している。

具体的には、国、独立行政法人等、地方公共団体、その他の地方公共団体の発注する土木建築に関する工事又は測量。

ただし、保証契約締結日における集計のため、請負契約締結日とは約半月ほどの時間差がある。

●公共工事請負金額

(単位:百万円、%)

| | | 和歌山県 | | | | | |
|-------|--------|---------|-----------|--------|-----------|--------|-----------|
| | | 合 計 | | 国 | | 県 | |
| | | 実 数 | 前年(同月・期)比 | 実 数 | 前年(同月・期)比 | 実 数 | 前年(同月・期)比 |
| 平成21年 | | 131,786 | 10.0 | 27,814 | 19.9 | 51,221 | 29.8 |
| 平成22年 | | 124,955 | ▲ 5.2 | 21,585 | ▲ 22.4 | 48,501 | ▲ 5.3 |
| 平成23年 | | 124,250 | ▲ 0.6 | 27,912 | 29.3 | 48,854 | 0.7 |
| 平成24年 | | 202,116 | 62.7 | 56,178 | 101.3 | 78,896 | 61.5 |
| 平成25年 | | 205,533 | 1.7 | 73,615 | 31.0 | 70,347 | ▲ 10.8 |
| 平成23年 | 1-3月 | 30,958 | 10.2 | 10,107 | 55.1 | 9,825 | 30.8 |
| | 4-6月 | 30,013 | ▲ 0.0 | 5,958 | 49.7 | 9,469 | ▲ 16.0 |
| | 7-9月 | 37,409 | ▲ 2.6 | 7,261 | 15.3 | 18,119 | ▲ 3.5 |
| | 10-12月 | 25,870 | ▲ 8.9 | 4,586 | ▲ 4.3 | 11,441 | 4.5 |
| 平成24年 | 1-3月 | 62,987 | 103.5 | 29,972 | 196.5 | 16,904 | 72.1 |
| | 4-6月 | 44,181 | 47.2 | 5,732 | ▲ 3.8 | 23,543 | 148.6 |
| | 7-9月 | 49,960 | 33.6 | 11,625 | 60.1 | 20,832 | 15.0 |
| | 10-12月 | 44,988 | 73.9 | 8,849 | 93.0 | 17,617 | 54.0 |
| 平成25年 | 1-3月 | 40,103 | ▲ 36.3 | 17,563 | ▲ 41.4 | 15,524 | ▲ 8.2 |
| | 4-6月 | 61,468 | 39.1 | 24,826 | 333.1 | 16,122 | ▲ 31.5 |
| | 7-9月 | 60,821 | 21.7 | 19,191 | 65.1 | 21,960 | 5.4 |
| | 10-12月 | 43,141 | ▲ 4.1 | 12,035 | 36.0 | 16,741 | ▲ 5.0 |
| 平成23年 | 1月 | 5,625 | 5.0 | 289 | ▲ 54.6 | 2,788 | 22.7 |
| | 2月 | 6,392 | 23.5 | 1,168 | ▲ 7.8 | 3,312 | 114.5 |
| | 3月 | 18,941 | 7.8 | 8,650 | 87.5 | 3,725 | 0.8 |
| | 4月 | 6,990 | ▲ 52.8 | 486 | ▲ 70.2 | 3,537 | ▲ 42.3 |
| | 5月 | 8,442 | 50.3 | 2,017 | 54.4 | 2,285 | 53.9 |
| | 6月 | 14,581 | 51.8 | 3,455 | 230.6 | 3,647 | ▲ 0.2 |
| | 7月 | 11,290 | ▲ 10.5 | 1,715 | ▲ 11.2 | 5,657 | 3.2 |
| | 8月 | 12,517 | 11.1 | 2,923 | 42.7 | 4,914 | 8.6 |
| | 9月 | 13,602 | ▲ 6.4 | 2,623 | 13.3 | 7,548 | ▲ 13.9 |
| | 10月 | 7,996 | ▲ 27.7 | 1,676 | ▲ 26.6 | 3,291 | ▲ 10.3 |
| | 11月 | 9,814 | 15.1 | 1,184 | ▲ 16.5 | 4,903 | 26.7 |
| | 12月 | 8,060 | ▲ 8.6 | 1,726 | 58.2 | 3,247 | ▲ 4.8 |
| 平成24年 | 1月 | 10,510 | 86.8 | 4,043 | 1299.0 | 4,013 | 43.9 |
| | 2月 | 21,160 | 231.0 | 8,327 | 612.9 | 5,904 | 78.3 |
| | 3月 | 31,317 | 65.3 | 17,602 | 103.5 | 6,987 | 87.6 |
| | 4月 | 21,764 | 211.4 | 1,834 | 277.4 | 15,227 | 330.5 |
| | 5月 | 10,553 | 25.0 | 2,284 | 13.2 | 3,994 | 74.8 |
| | 6月 | 11,864 | ▲ 18.6 | 1,614 | ▲ 53.3 | 4,322 | 18.5 |
| | 7月 | 13,074 | 15.8 | 3,163 | 84.4 | 4,919 | ▲ 13.0 |
| | 8月 | 16,435 | 31.3 | 3,516 | 20.3 | 7,685 | 56.4 |
| | 9月 | 20,451 | 50.4 | 4,946 | 88.6 | 8,228 | 9.0 |
| | 10月 | 17,329 | 116.7 | 4,745 | 183.1 | 6,500 | 97.5 |
| | 11月 | 15,366 | 56.6 | 3,172 | 167.9 | 5,957 | 21.5 |
| | 12月 | 12,293 | 52.5 | 932 | ▲ 46.0 | 5,160 | 58.9 |
| 平成25年 | 1月 | 11,077 | 5.4 | 5,771 | 42.7 | 3,175 | ▲ 20.9 |
| | 2月 | 12,160 | ▲ 42.5 | 7,148 | ▲ 14.2 | 2,698 | ▲ 54.3 |
| | 3月 | 16,866 | ▲ 46.1 | 4,644 | ▲ 73.6 | 9,651 | 38.1 |
| | 4月 | 16,050 | ▲ 26.3 | 2,054 | 12.0 | 8,154 | ▲ 46.5 |
| | 5月 | 15,841 | 50.1 | 6,423 | 181.2 | 2,943 | ▲ 26.3 |
| | 6月 | 29,577 | 149.3 | 16,349 | 912.9 | 5,025 | 16.3 |
| | 7月 | 18,294 | 39.9 | 6,300 | 99.2 | 5,797 | 17.8 |
| | 8月 | 17,870 | 8.7 | 7,750 | 120.4 | 5,493 | ▲ 28.5 |
| | 9月 | 24,657 | 20.6 | 5,141 | 3.9 | 10,670 | 29.7 |
| | 10月 | 18,369 | 6.0 | 5,044 | 6.3 | 5,676 | ▲ 12.7 |
| | 11月 | 11,999 | ▲ 21.9 | 2,955 | ▲ 6.8 | 4,792 | ▲ 19.6 |
| | 12月 | 12,773 | 3.9 | 4,036 | 333.0 | 6,273 | 21.6 |

「和歌山県内の公共工事動向」
西日本建設業保証株式会社

第2部 主要経済指標からみた和歌山県経済

●公共工事請負金額(続き)

(単位:百万円、%)

| | | 和歌山県 | | | | | |
|-------|--------|--------|-----------|---------|-----------|-----------|-----------|
| | | 市 町 村 | | 独立行政法人等 | | その他の公共的団体 | |
| | | 実 数 | 前年(同月・期)比 | 実 数 | 前年(同月・期)比 | 実 数 | 前年(同月・期)比 |
| 平成21年 | | 40,589 | 0.5 | 9,711 | ▲ 2.6 | 2,428 | ▲ 64.2 |
| 平成22年 | | 47,237 | 16.4 | 3,093 | ▲ 68.1 | 4,517 | 86.0 |
| 平成23年 | | 43,569 | ▲ 7.8 | 1,143 | ▲ 63.0 | 2,748 | ▲ 39.2 |
| 平成24年 | | 57,100 | 31.1 | 1,603 | 40.2 | 8,314 | 202.5 |
| 平成25年 | | 53,243 | ▲ 6.8 | 3,229 | 101.4 | 5,074 | ▲ 39.0 |
| 平成23年 | 1-3月 | 10,751 | ▲ 17.3 | 138 | ▲ 72.4 | 132 | ▲ 76.6 |
| | 4-6月 | 12,920 | 16.3 | 24 | ▲ 97.4 | 1,638 | ▲ 39.8 |
| | 7-9月 | 10,806 | ▲ 5.5 | 738 | ▲ 30.8 | 478 | ▲ 43.6 |
| | 10-12月 | 9,092 | ▲ 22.2 | 243 | ▲ 59.2 | 500 | 29.9 |
| 平成24年 | 1-3月 | 13,152 | 22.3 | 1,121 | 712.3 | 1,832 | 1,287.9 |
| | 4-6月 | 14,549 | 12.6 | 35 | 45.8 | 316 | ▲ 80.7 |
| | 7-9月 | 16,213 | 50.0 | 374 | ▲ 49.3 | 909 | 90.2 |
| | 10-12月 | 13,186 | 45.0 | 73 | ▲ 70.0 | 5,257 | 951.4 |
| 平成25年 | 1-3月 | 5,903 | ▲ 55.1 | 81 | ▲ 92.8 | 1,026 | ▲ 44.0 |
| | 4-6月 | 15,985 | 9.9 | 1,173 | 3,251.4 | 3,356 | 962.0 |
| | 7-9月 | 17,965 | 10.8 | 1,216 | 225.1 | 484 | ▲ 46.8 |
| | 10-12月 | 13,390 | 1.5 | 759 | 939.7 | 208 | ▲ 96.0 |
| 平成23年 | 1月 | 2,321 | 0.3 | 128 | ▲ 1.5 | 98 | 3,166.7 |
| | 2月 | 1,896 | ▲ 6.9 | 2 | ▲ 98.9 | 12 | ▲ 91.9 |
| | 3月 | 6,534 | ▲ 24.5 | 8 | ▲ 95.8 | 22 | ▲ 94.6 |
| | 4月 | 2,888 | ▲ 26.4 | 0 | ▲ 100.0 | 78 | ▲ 96.9 |
| | 5月 | 2,894 | 17.0 | 24 | ▲ 87.6 | 1,221 | 677.7 |
| | 6月 | 7,138 | 51.4 | 0 | ▲ 100.0 | 339 | 1,069.0 |
| | 7月 | 3,633 | ▲ 27.1 | 18 | ▲ 60.0 | 264 | 56.2 |
| | 8月 | 4,026 | 16.3 | 458 | ▲ 41.1 | 193 | ▲ 57.7 |
| | 9月 | 3,147 | 5.2 | 262 | 7.8 | 21 | ▲ 90.6 |
| | 10月 | 2,707 | ▲ 43.5 | 121 | 0.8 | 199 | 4.7 |
| | 11月 | 3,476 | 17.7 | 52 | ▲ 59.4 | 196 | 21.7 |
| | 12月 | 2,909 | ▲ 26.1 | 70 | ▲ 79.9 | 105 | 208.8 |
| 平成24年 | 1月 | 2,306 | ▲ 0.6 | 71 | ▲ 44.5 | 76 | ▲ 22.4 |
| | 2月 | 4,244 | 123.8 | 988 | 49300.0 | 1,694 | 14016.7 |
| | 3月 | 6,602 | 1.0 | 62 | 675.0 | 62 | 181.8 |
| | 4月 | 4,639 | 60.6 | 35 | — | 27 | ▲ 65.4 |
| | 5月 | 4,236 | 46.4 | 0 | ▲ 100.0 | 37 | ▲ 97.0 |
| | 6月 | 5,674 | ▲ 20.5 | 0 | — | 252 | ▲ 25.7 |
| | 7月 | 4,897 | 34.8 | 57 | 216.7 | 36 | ▲ 86.4 |
| | 8月 | 4,207 | 4.5 | 223 | ▲ 51.3 | 802 | 315.5 |
| | 9月 | 7,109 | 125.9 | 94 | ▲ 64.1 | 71 | 238.1 |
| | 10月 | 4,858 | 79.5 | 57 | ▲ 52.9 | 1,168 | 486.9 |
| | 11月 | 3,486 | 0.3 | 16 | ▲ 69.2 | 2,732 | 1293.9 |
| | 12月 | 4,842 | 66.4 | 0 | ▲ 100.0 | 1,357 | 1192.4 |
| 平成25年 | 1月 | 1,470 | ▲ 36.3 | 19 | ▲ 73.2 | 639 | 740.8 |
| | 2月 | 2,313 | ▲ 45.5 | 0 | ▲ 100.0 | 0 | ▲ 100.0 |
| | 3月 | 2,120 | ▲ 67.9 | 62 | 0.0 | 387 | 524.2 |
| | 4月 | 3,390 | ▲ 26.9 | 865 | 2371.4 | 1,585 | 5770.4 |
| | 5月 | 5,589 | 31.9 | 0 | — | 884 | 2289.2 |
| | 6月 | 7,006 | 23.5 | 308 | — | 887 | 252.0 |
| | 7月 | 5,547 | 13.3 | 405 | 610.5 | 243 | 575.0 |
| | 8月 | 4,218 | 0.3 | 355 | 59.2 | 53 | ▲ 93.4 |
| | 9月 | 8,200 | 15.3 | 456 | 385.1 | 188 | 164.8 |
| | 10月 | 7,183 | 47.9 | 429 | 652.6 | 35 | ▲ 97.0 |
| | 11月 | 3,827 | 9.8 | 314 | 1862.5 | 108 | ▲ 96.0 |
| | 12月 | 2,380 | ▲ 50.8 | 16 | — | 65 | ▲ 95.2 |

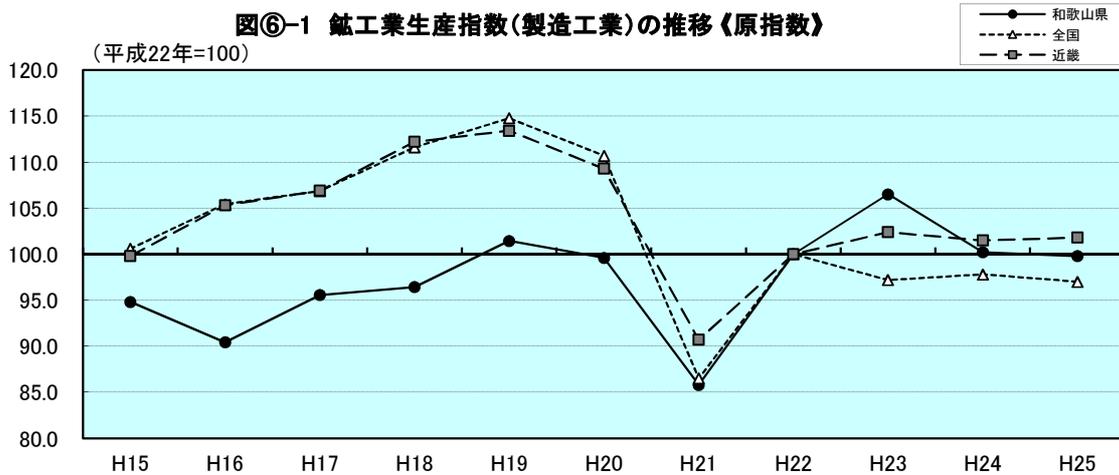
「和歌山県内の公共工事動向」
西日本建設業保証株式会社

⑥生産

持ち直しに向けた動きがみられる(→)

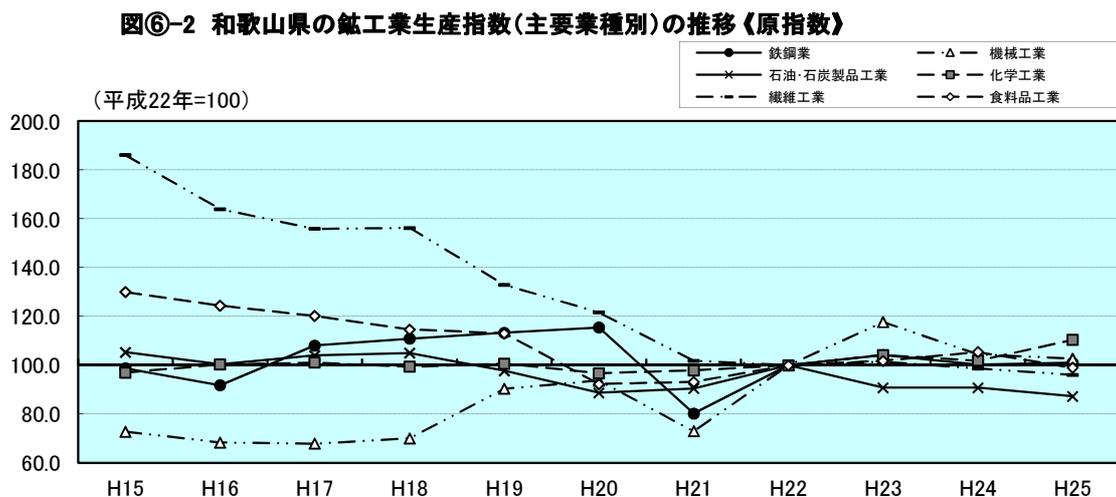
● 鉱工業生産指数

本県の鉱工業生産指数(平成22年=100)の推移をみると、平成24年以降2年連続で低下した。(図⑥-1)



出典:県調査統計課「鉱工業生産指数」

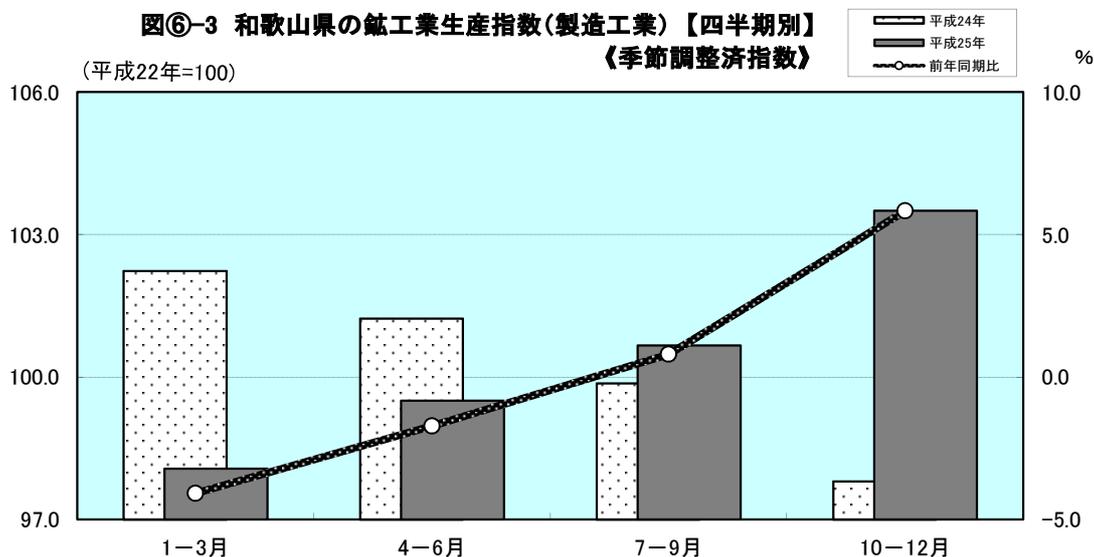
また、本県の生産の動向を主要業種別にみると、平成25年は、前年と比べて、【鉄鋼業】 【化学工業】では上昇したものの、【機械工業】、【石油・石炭製品工業】 【繊維工業】 及び【食料品工業】では低下した。(図⑥-2)



出典:県調査統計課「鉱工業生産指数」

第2部 主要経済指標からみた和歌山県経済

次に、鉱工業生産指数を四半期別に前年と比較すると、1-3月期、4-6月期は低下したが、7-9月期、10-12月期には上昇に転じた。(図⑥-3)



出典:県調査統計課「鉱工業生産指数」

◎鉱工業生産指数 とは、鉱工業製品の毎月の生産量を、基準年=100として指数で表したものである。

好況時には需要が増えるため企業は生産量を増やし、逆に景気が停滞すると消費が衰え在庫がだぶつき始めるため、生産量を抑えようとする。近年、サービス業の増加により、鉱工業が経済に与える影響の比重は減少しつつあるといわれているが、今なお国内総生産に占める割合は高く、統計自体は速報性があり、第三次産業よりも景気に敏感に反応する。

● 鉱工業生産指数

(平成22年=100、単位：%)

| | | 製 造 工 業 全 国 | | | | | |
|--|--------|---------------------|----------|----------------------|----------|-------------------|----------|
| | | 和 歌 山 県 | | 近 畿 | | 全 国 | |
| | | 季節調整済(※注) | 前年(月・期)比 | 季節調整済(※注) | 前年(月・期)比 | 季節調整済(※注) | 前年(月・期)比 |
| 平成21年 | | 85.8 | ▲ 13.9 | 90.7 | ▲ 17.0 | 86.5 | ▲ 21.9 |
| 平成22年 | | 100.0 | 16.6 | 100.0 | 10.3 | 100.0 | 15.6 |
| 平成23年 | | 106.5 | 6.5 | 102.4 | 2.4 | 97.2 | ▲ 2.8 |
| 平成24年 | | 100.2 | ▲ 5.9 | 101.5 | ▲ 0.9 | 97.8 | 0.6 |
| 平成25年 | | 99.8 | ▲ 0.4 | 101.8 | 0.3 | 97.0 | ▲ 0.8 |
| 平成23年 | 1-3月 | 105.4 | 3.6 | 104.3 | 2.6 | 96.8 | ▲ 3.8 |
| | 4-6月 | 109.6 | 4.0 | 102.5 | ▲ 1.7 | 92.9 | ▲ 4.1 |
| | 7-9月 | 108.0 | ▲ 1.4 | 102.4 | ▲ 0.1 | 99.6 | 7.2 |
| | 10-12月 | 104.2 | ▲ 3.5 | 101.5 | ▲ 0.9 | 100.5 | 0.9 |
| 平成24年 | 1-3月 | 102.2 | ▲ 1.9 | 102.0 | 0.5 | 101.3 | 0.9 |
| | 4-6月 | 101.2 | ▲ 1.0 | 101.2 | ▲ 0.8 | 99.2 | ▲ 2.1 |
| | 7-9月 | 99.9 | ▲ 1.4 | 99.8 | ▲ 1.4 | 95.9 | ▲ 3.3 |
| | 10-12月 | 97.8 | ▲ 2.1 | 100.4 | 0.6 | 94.1 | ▲ 1.8 |
| 平成25年 | 1-3月 | 98.1 | 0.3 | 100.5 | 0.1 | 94.6 | 0.6 |
| | 4-6月 | 99.5 | 1.5 | 101.0 | 0.5 | 96.1 | 1.5 |
| | 7-9月 | 100.7 | 1.2 | 102.6 | 1.6 | 97.8 | 1.7 |
| | 10-12月 | 103.5 | 2.8 | 103.6 | 1.0 | 99.6 | 1.9 |
| 平成23年 | 1月 | 103.7 | 0.9 | 102.6 | 0.3 | 102.0 | 0.4 |
| | 2月 | 105.2 | 1.4 | 108.2 | 5.5 | 102.7 | 0.7 |
| | 3月 | 107.2 | 1.9 | 102.1 | ▲ 5.6 | 85.8 | ▲ 16.5 |
| | 4月 | 108.1 | 0.8 | 99.9 | ▲ 2.2 | 87.6 | 2.1 |
| | 5月 | 111.0 | 2.7 | 103.2 | 3.3 | 93.6 | 6.8 |
| | 6月 | 109.6 | ▲ 1.3 | 104.5 | 1.3 | 97.5 | 4.2 |
| | 7月 | 108.2 | ▲ 1.3 | 103.7 | ▲ 0.8 | 98.7 | 1.2 |
| | 8月 | 108.8 | 0.6 | 103.6 | ▲ 0.1 | 100.4 | 1.7 |
| | 9月 | 107.1 | ▲ 1.6 | 99.9 | ▲ 3.6 | 99.6 | ▲ 0.8 |
| | 10月 | 107.1 | 0.0 | 101.3 | 1.4 | 101.3 | 1.7 |
| | 11月 | 105.5 | ▲ 1.5 | 102.0 | 0.7 | 99.0 | ▲ 2.3 |
| | 12月 | 100.1 | ▲ 5.1 | 101.1 | ▲ 0.9 | 101.1 | 2.1 |
| 平成24年 | 1月 | 103.7 | 3.6 | 102.6 | 1.5 | 101.6 | 0.5 |
| | 2月 | 101.9 | ▲ 1.7 | 101.5 | ▲ 1.1 | 101.3 | ▲ 0.3 |
| | 3月 | 101.1 | ▲ 0.8 | 101.8 | 0.3 | 101.1 | ▲ 0.2 |
| | 4月 | 102.6 | 1.5 | 102.3 | 0.5 | 100.6 | ▲ 0.5 |
| | 5月 | 99.0 | ▲ 3.5 | 100.6 | ▲ 1.7 | 98.8 | ▲ 1.8 |
| | 6月 | 102.1 | 3.1 | 100.7 | 0.1 | 98.1 | ▲ 0.7 |
| | 7月 | 100.7 | ▲ 1.4 | 99.9 | ▲ 0.8 | 97.5 | ▲ 0.6 |
| | 8月 | 100.8 | 0.1 | 100.4 | 0.5 | 96.1 | ▲ 1.4 |
| | 9月 | 98.1 | ▲ 2.7 | 99.2 | ▲ 1.2 | 94.0 | ▲ 2.2 |
| | 10月 | 98.1 | 0.0 | 101.2 | 2.0 | 94.3 | 0.3 |
| | 11月 | 97.6 | ▲ 0.5 | 100.3 | ▲ 0.9 | 93.4 | ▲ 1.0 |
| | 12月 | 97.7 | 0.1 | 99.7 | ▲ 0.6 | 94.6 | 1.3 |
| 平成25年 | 1月 | 100.8 | 3.2 | 100.7 | 1.0 | 94.0 | ▲ 0.6 |
| | 2月 | 96.8 | ▲ 4.0 | 99.5 | ▲ 1.2 | 94.8 | 0.9 |
| | 3月 | 96.6 | ▲ 0.2 | 101.3 | 1.8 | 95.1 | 0.3 |
| | 4月 | 96.6 | 0.0 | 100.5 | ▲ 0.8 | 95.7 | 0.6 |
| | 5月 | 99.7 | 3.2 | 103.0 | 2.5 | 97.7 | 2.1 |
| | 6月 | 102.2 | 2.5 | 99.5 | ▲ 3.4 | 94.9 | ▲ 2.9 |
| | 7月 | 101.2 | ▲ 1.0 | 102.2 | 2.7 | 97.6 | 2.8 |
| | 8月 | 99.0 | ▲ 2.2 | 102.6 | 0.4 | 97.1 | ▲ 0.5 |
| | 9月 | 101.8 | 2.8 | 102.9 | 0.3 | 98.6 | 1.5 |
| | 10月 | 103.1 | 1.3 | 104.1 | 1.2 | 99.3 | 0.7 |
| | 11月 | 102.8 | ▲ 0.3 | 102.7 | ▲ 1.3 | 99.5 | 0.2 |
| | 12月 | 104.6 | 1.8 | 103.9 | 1.2 | 100.0 | 0.5 |
| | | [和歌山県鉱工業生産指数]県調査統計課 | | [近畿地域鉱工業生産動向]近畿経済産業局 | | [生産・出荷・在庫指数]経済産業省 | |
| ※注：年値のみ原指数の平均値。四半期値は季節調整済指数の3ヶ月平均、月値は季節調整済指数 | | | | | | | |

第2部 主要経済指標からみた和歌山県経済

● 鉱工業生産指数(続き)

(平成22年=100、単位：%)

| | | 和歌山県 | | | | | |
|-------|--------|-----------|----------|-----------|----------|-----------|----------|
| | | 鉄鋼業 | | 機械工業 | | 化学工業 | |
| | | 季節調整済(※注) | 前年(月・期)比 | 季節調整済(※注) | 前年(月・期)比 | 季節調整済(※注) | 前年(月・期)比 |
| 平成21年 | | 80.2 | ▲ 30.6 | 73.0 | ▲ 22.1 | 97.9 | 1.2 |
| 平成22年 | | 100.0 | 24.7 | 100.0 | 37.0 | 100.0 | 2.1 |
| 平成23年 | | 104.2 | 4.2 | 117.7 | 17.7 | 104.2 | 4.2 |
| 平成24年 | | 100.3 | ▲ 3.7 | 104.4 | ▲ 11.3 | 101.9 | ▲ 2.2 |
| 平成25年 | | 101.0 | 0.7 | 102.7 | ▲ 1.6 | 110.4 | 8.3 |
| 平成23年 | 1-3月 | 102.0 | 2.1 | 112.5 | 2.2 | 102.4 | 3.0 |
| | 4-6月 | 104.3 | 2.2 | 127.5 | 13.4 | 108.6 | 6.1 |
| | 7-9月 | 104.9 | 0.6 | 121.0 | ▲ 5.1 | 106.5 | ▲ 1.9 |
| | 10-12月 | 105.8 | 0.8 | 110.4 | ▲ 8.8 | 106.0 | ▲ 0.5 |
| 平成24年 | 1-3月 | 105.3 | ▲ 0.5 | 111.1 | 0.6 | 102.3 | ▲ 3.5 |
| | 4-6月 | 102.4 | ▲ 2.7 | 102.7 | ▲ 7.6 | 101.1 | ▲ 1.2 |
| | 7-9月 | 102.9 | 0.5 | 102.0 | ▲ 0.7 | 100.2 | ▲ 0.9 |
| | 10-12月 | 90.9 | ▲ 11.7 | 102.2 | 0.2 | 103.9 | 3.7 |
| 平成25年 | 1-3月 | 94.6 | 4.1 | 101.5 | ▲ 0.7 | 112.4 | 8.2 |
| | 4-6月 | 100.6 | 6.4 | 100.6 | ▲ 0.9 | 111.1 | ▲ 1.1 |
| | 7-9月 | 102.3 | 1.7 | 102.0 | 1.4 | 108.3 | ▲ 2.6 |
| | 10-12月 | 104.5 | 2.1 | 107.4 | 5.3 | 110.0 | 1.6 |
| 平成23年 | 1月 | 103.3 | 4.0 | 110.1 | 0.2 | 101.4 | 1.1 |
| | 2月 | 102.9 | ▲ 0.4 | 111.0 | 0.8 | 102.6 | 1.2 |
| | 3月 | 99.9 | ▲ 2.9 | 116.3 | 4.8 | 103.1 | 0.5 |
| | 4月 | 105.6 | 5.7 | 119.4 | 2.7 | 104.6 | 1.5 |
| | 5月 | 102.7 | ▲ 2.7 | 123.2 | 3.2 | 107.0 | 2.3 |
| | 6月 | 104.6 | 1.9 | 139.9 | 13.6 | 114.1 | 6.6 |
| | 7月 | 104.3 | ▲ 0.3 | 119.5 | ▲ 14.6 | 110.4 | ▲ 3.2 |
| | 8月 | 108.0 | 3.5 | 121.8 | 1.9 | 105.5 | ▲ 4.4 |
| | 9月 | 102.5 | ▲ 5.1 | 121.8 | 0.0 | 103.7 | ▲ 1.7 |
| | 10月 | 105.8 | 3.2 | 113.9 | ▲ 6.5 | 107.6 | 3.8 |
| | 11月 | 106.2 | 0.4 | 111.6 | ▲ 2.0 | 104.6 | ▲ 2.8 |
| | 12月 | 105.4 | ▲ 0.8 | 105.8 | ▲ 5.2 | 105.7 | 1.1 |
| 平成24年 | 1月 | 102.0 | ▲ 3.2 | 112.2 | 6.0 | 103.0 | ▲ 2.6 |
| | 2月 | 105.3 | 3.2 | 112.9 | 0.6 | 102.4 | ▲ 0.6 |
| | 3月 | 108.6 | 3.1 | 108.2 | ▲ 4.2 | 101.5 | ▲ 0.9 |
| | 4月 | 101.9 | ▲ 6.2 | 101.3 | ▲ 6.4 | 104.5 | 3.0 |
| | 5月 | 100.0 | ▲ 1.9 | 102.7 | 1.4 | 99.1 | ▲ 5.2 |
| | 6月 | 105.4 | 5.4 | 104.1 | 1.4 | 99.7 | 0.6 |
| | 7月 | 106.4 | 0.9 | 104.2 | 0.1 | 96.6 | ▲ 3.1 |
| | 8月 | 103.3 | ▲ 2.9 | 102.9 | ▲ 1.2 | 99.6 | 3.1 |
| | 9月 | 99.0 | ▲ 4.2 | 98.9 | ▲ 3.9 | 104.3 | 4.7 |
| | 10月 | 91.1 | ▲ 8.0 | 100.5 | 1.6 | 104.2 | ▲ 0.1 |
| | 11月 | 92.4 | 1.4 | 100.3 | ▲ 0.2 | 104.6 | 0.4 |
| | 12月 | 89.1 | ▲ 3.6 | 105.7 | 5.4 | 102.9 | ▲ 1.6 |
| 平成25年 | 1月 | 92.5 | 3.8 | 108.5 | 2.6 | 112.2 | 9.0 |
| | 2月 | 94.8 | 2.5 | 98.0 | ▲ 9.7 | 110.6 | ▲ 1.4 |
| | 3月 | 96.4 | 1.7 | 98.0 | 0.0 | 114.4 | 3.4 |
| | 4月 | 100.1 | 3.8 | 100.4 | 2.4 | 108.3 | ▲ 5.3 |
| | 5月 | 99.6 | ▲ 0.5 | 101.8 | 1.4 | 112.6 | 4.0 |
| | 6月 | 102.1 | 2.5 | 99.5 | ▲ 2.3 | 112.5 | ▲ 0.1 |
| | 7月 | 101.7 | ▲ 0.4 | 99.7 | 0.2 | 110.9 | ▲ 1.4 |
| | 8月 | 101.8 | 0.1 | 97.8 | ▲ 1.9 | 107.7 | ▲ 2.9 |
| | 9月 | 103.5 | 1.7 | 108.4 | 10.8 | 106.2 | ▲ 1.4 |
| | 10月 | 102.8 | ▲ 0.7 | 106.7 | ▲ 1.6 | 111.8 | 5.3 |
| | 11月 | 103.6 | 0.8 | 98.8 | ▲ 7.4 | 108.4 | ▲ 3.0 |
| | 12月 | 107.0 | 3.3 | 116.6 | 18.0 | 109.9 | 1.4 |

「和歌山県鉱工業生産指数」県調査統計課
 ※注：年値のみ原指数の平均値。四半期値は季節調整済指数の3ヶ月平均値、月値は季節調整済指数

● 鉱工業生産指数(続き)

(平成22年=100、単位：%)

| | | 和歌山県 | | | | | |
|-------|--------|-----------|----------|-----------|----------|-----------|----------|
| | | 石油・石炭製品工業 | | 繊維工業 | | 食料品工業 | |
| | | 季節調整済(※注) | 前年(月・期)比 | 季節調整済(※注) | 前年(月・期)比 | 季節調整済(※注) | 前年(月・期)比 |
| 平成21年 | | 90.5 | 2.0 | 101.8 | ▲ 16.3 | 93.2 | 1.0 |
| 平成22年 | | 100.0 | 10.5 | 100.0 | ▲ 1.8 | 100.0 | 7.3 |
| 平成23年 | | 90.8 | ▲ 9.2 | 101.4 | 1.4 | 101.8 | 1.8 |
| 平成24年 | | 90.8 | 0.0 | 98.7 | ▲ 2.7 | 105.4 | 3.5 |
| 平成25年 | | 87.3 | ▲ 3.9 | 96.1 | ▲ 2.6 | 99.0 | ▲ 6.1 |
| 平成23年 | 1-3月 | 91.1 | ▲ 4.1 | 103.4 | 3.0 | 96.8 | ▲ 0.1 |
| | 4-6月 | 84.7 | ▲ 7.0 | 103.5 | 0.1 | 109.3 | 13.0 |
| | 7-9月 | 86.2 | 1.7 | 102.0 | ▲ 1.4 | 104.1 | ▲ 4.8 |
| | 10-12月 | 91.1 | 5.7 | 99.7 | ▲ 2.3 | 101.0 | ▲ 3.0 |
| 平成24年 | 1-3月 | 92.5 | 1.5 | 98.5 | ▲ 1.2 | 109.9 | 8.8 |
| | 4-6月 | 92.7 | 0.1 | 99.2 | 0.7 | 103.6 | ▲ 5.7 |
| | 7-9月 | 89.5 | ▲ 3.4 | 95.9 | ▲ 3.3 | 104.1 | 0.5 |
| | 10-12月 | 87.6 | ▲ 2.1 | 98.7 | 2.9 | 109.3 | 5.0 |
| 平成25年 | 1-3月 | 86.9 | ▲ 0.8 | 95.6 | ▲ 3.2 | 101.3 | ▲ 7.3 |
| | 4-6月 | 89.3 | 2.8 | 96.3 | 0.7 | 96.5 | ▲ 4.7 |
| | 7-9月 | 83.3 | ▲ 6.8 | 98.2 | 2.0 | 96.8 | 0.3 |
| | 10-12月 | 92.4 | 10.9 | 100.0 | 1.8 | 99.0 | 2.3 |
| 平成23年 | 1月 | 93.6 | ▲ 5.3 | 102.3 | 1.7 | 95.6 | ▲ 1.9 |
| | 2月 | 90.6 | ▲ 3.2 | 104.3 | 2.0 | 97.7 | 2.2 |
| | 3月 | 89.0 | ▲ 1.8 | 103.6 | ▲ 0.7 | 97.0 | ▲ 0.7 |
| | 4月 | 87.1 | ▲ 2.1 | 103.9 | 0.3 | 108.3 | 11.6 |
| | 5月 | 85.4 | ▲ 2.0 | 103.4 | ▲ 0.5 | 111.6 | 3.0 |
| | 6月 | 81.7 | ▲ 4.3 | 103.1 | ▲ 0.3 | 108.1 | ▲ 3.1 |
| | 7月 | 86.6 | 6.0 | 102.0 | ▲ 1.1 | 108.7 | 0.6 |
| | 8月 | 86.9 | 0.3 | 103.1 | 1.1 | 105.9 | ▲ 2.6 |
| | 9月 | 85.1 | ▲ 2.1 | 100.9 | ▲ 2.1 | 97.7 | ▲ 7.7 |
| | 10月 | 87.7 | 3.1 | 100.6 | ▲ 0.3 | 102.1 | 4.5 |
| | 11月 | 105.2 | 20.0 | 99.0 | ▲ 1.6 | 99.1 | ▲ 2.9 |
| | 12月 | 80.5 | ▲ 23.5 | 99.5 | 0.5 | 101.7 | 2.6 |
| 平成24年 | 1月 | 85.5 | 6.2 | 97.7 | ▲ 1.8 | 100.4 | ▲ 1.3 |
| | 2月 | 103.0 | 20.5 | 100.5 | 2.9 | 113.9 | 13.4 |
| | 3月 | 89.1 | ▲ 13.5 | 97.3 | ▲ 3.2 | 115.4 | 1.3 |
| | 4月 | 83.8 | ▲ 5.9 | 99.4 | 2.2 | 104.3 | ▲ 9.6 |
| | 5月 | 97.9 | 16.8 | 98.5 | ▲ 0.9 | 101.7 | ▲ 2.5 |
| | 6月 | 96.3 | ▲ 1.6 | 99.7 | 1.2 | 104.8 | 3.0 |
| | 7月 | 92.5 | ▲ 3.9 | 97.8 | ▲ 1.9 | 100.9 | ▲ 3.7 |
| | 8月 | 92.5 | 0.0 | 95.2 | ▲ 2.7 | 101.3 | 0.4 |
| | 9月 | 83.6 | ▲ 9.6 | 94.8 | ▲ 0.4 | 110.1 | 8.7 |
| | 10月 | 90.8 | 8.6 | 98.8 | 4.2 | 108.1 | ▲ 1.8 |
| | 11月 | 81.9 | ▲ 9.8 | 99.1 | 0.3 | 109.2 | 1.0 |
| | 12月 | 90.2 | 10.1 | 98.2 | ▲ 0.9 | 110.5 | 1.2 |
| 平成25年 | 1月 | 87.2 | ▲ 3.3 | 96.4 | ▲ 1.8 | 95.8 | ▲ 13.3 |
| | 2月 | 90.3 | 3.6 | 93.6 | ▲ 2.9 | 100.6 | 5.0 |
| | 3月 | 83.3 | ▲ 7.8 | 96.7 | 3.3 | 107.4 | 6.8 |
| | 4月 | 92.1 | 10.6 | 96.8 | 0.1 | 98.2 | ▲ 8.6 |
| | 5月 | 87.5 | ▲ 5.0 | 96.1 | ▲ 0.7 | 95.9 | ▲ 2.3 |
| | 6月 | 88.4 | 1.0 | 95.9 | ▲ 0.2 | 95.4 | ▲ 0.5 |
| | 7月 | 82.4 | ▲ 6.8 | 101.1 | 5.4 | 99.1 | 3.9 |
| | 8月 | 77.7 | ▲ 5.7 | 97.2 | ▲ 3.9 | 91.8 | ▲ 7.4 |
| | 9月 | 89.8 | 15.6 | 96.4 | ▲ 0.8 | 99.4 | 8.3 |
| | 10月 | 100.9 | 12.4 | 100.5 | 4.3 | 98.9 | ▲ 0.5 |
| | 11月 | 90.4 | ▲ 10.4 | 98.7 | ▲ 1.8 | 102.4 | 3.5 |
| | 12月 | 85.8 | ▲ 5.1 | 100.9 | 2.2 | 95.7 | ▲ 6.5 |

「和歌山県鉱工業生産指数」県調査統計課
 ※注：年値のみ原指数の平均値。四半期値は季節調整済指数の3ヶ月平均値、月値は季節調整済指数

第2部 主要経済指標からみた和歌山県経済

● 鉱工業生産指数(続き)

(平成22年=100、単位：%)

| | | 和歌山県 | | | | | |
|-------|--------|-----------|----------|-----------------|----------|-----------|----------|
| | | 金属製品工業 | | はん用・生産用・業務用機械工業 | | 電気機械工業 | |
| | | 季節調整済(※注) | 前年(月・期)比 | 季節調整済(※注) | 前年(月・期)比 | 季節調整済(※注) | 前年(月・期)比 |
| 平成21年 | | 103.9 | 52.3 | 72.1 | ▲ 25.4 | 80.0 | 13.6 |
| 平成22年 | | 100.0 | ▲ 3.8 | 100.0 | 38.7 | 100.0 | 25.0 |
| 平成23年 | | 91.3 | ▲ 8.7 | 117.6 | 17.6 | 117.9 | 17.9 |
| 平成24年 | | 81.6 | ▲ 10.6 | 104.9 | ▲ 10.8 | 100.5 | ▲ 14.8 |
| 平成25年 | | 51.3 | ▲ 37.1 | 103.1 | ▲ 1.7 | 99.9 | ▲ 0.6 |
| 平成23年 | 1-3月 | 71.5 | 9.9 | 111.2 | ▲ 0.5 | 122.4 | 23.1 |
| | 4-6月 | 115.1 | 61.1 | 127.3 | 14.5 | 126.5 | 3.3 |
| | 7-9月 | 104.5 | ▲ 9.2 | 123.9 | ▲ 2.6 | 113.4 | ▲ 10.3 |
| | 10-12月 | 75.8 | ▲ 27.5 | 110.4 | ▲ 10.9 | 112.6 | ▲ 0.7 |
| 平成24年 | 1-3月 | 67.1 | ▲ 11.5 | 109.1 | ▲ 1.2 | 127.4 | 13.1 |
| | 4-6月 | 60.7 | ▲ 9.5 | 101.6 | ▲ 6.8 | 105.3 | ▲ 17.4 |
| | 7-9月 | 82.4 | 35.9 | 105.1 | 3.4 | 85.1 | ▲ 19.2 |
| | 10-12月 | 80.8 | ▲ 1.9 | 104.4 | ▲ 0.7 | 88.3 | 3.8 |
| 平成25年 | 1-3月 | 40.4 | ▲ 50.0 | 103.8 | ▲ 0.5 | 79.5 | ▲ 10.0 |
| | 4-6月 | 46.9 | 15.9 | 102.3 | ▲ 1.4 | 84.1 | 5.8 |
| | 7-9月 | 71.3 | 52.1 | 101.2 | ▲ 1.1 | 104.4 | 24.1 |
| | 10-12月 | 39.9 | ▲ 44.0 | 98.6 | ▲ 2.5 | 115.6 | 10.7 |
| 平成23年 | 1月 | 54.0 | ▲ 26.7 | 107.0 | ▲ 3.9 | 142.1 | 41.3 |
| | 2月 | 54.1 | 0.2 | 110.2 | 3.0 | 113.7 | ▲ 20.0 |
| | 3月 | 106.3 | 96.5 | 116.3 | 5.5 | 111.5 | ▲ 1.9 |
| | 4月 | 137.1 | 29.0 | 119.1 | 2.4 | 131.0 | 17.5 |
| | 5月 | 115.8 | ▲ 15.5 | 122.6 | 2.9 | 125.2 | ▲ 4.4 |
| | 6月 | 92.4 | ▲ 20.2 | 140.1 | 14.3 | 123.2 | ▲ 1.6 |
| | 7月 | 93.6 | 1.3 | 121.2 | ▲ 13.5 | 114.2 | ▲ 7.3 |
| | 8月 | 116.8 | 24.8 | 124.5 | 2.7 | 121.5 | 6.4 |
| | 9月 | 103.2 | ▲ 11.6 | 126.1 | 1.3 | 104.6 | ▲ 13.9 |
| | 10月 | 70.9 | ▲ 31.3 | 115.2 | ▲ 8.6 | 103.3 | ▲ 1.2 |
| | 11月 | 86.7 | 22.3 | 113.0 | ▲ 1.9 | 107.2 | 3.8 |
| | 12月 | 69.8 | ▲ 19.5 | 103.1 | ▲ 8.8 | 127.4 | 18.8 |
| 平成24年 | 1月 | 92.5 | 32.5 | 111.0 | 7.7 | 126.3 | ▲ 0.9 |
| | 2月 | 58.0 | ▲ 37.3 | 109.8 | ▲ 1.1 | 137.0 | 8.5 |
| | 3月 | 50.7 | ▲ 12.6 | 106.4 | ▲ 3.1 | 118.9 | ▲ 13.2 |
| | 4月 | 59.7 | 17.8 | 98.8 | ▲ 7.1 | 115.3 | ▲ 3.0 |
| | 5月 | 56.0 | ▲ 6.2 | 102.9 | 4.1 | 98.3 | ▲ 14.7 |
| | 6月 | 66.3 | 18.4 | 103.1 | 0.2 | 102.2 | 4.0 |
| | 7月 | 77.5 | 16.9 | 106.8 | 3.6 | 90.2 | ▲ 11.7 |
| | 8月 | 84.2 | 8.6 | 106.9 | 0.1 | 74.8 | ▲ 17.1 |
| | 9月 | 85.6 | 1.7 | 101.5 | ▲ 5.1 | 90.3 | 20.7 |
| | 10月 | 66.7 | ▲ 22.1 | 104.1 | 2.6 | 73.1 | ▲ 19.0 |
| | 11月 | 80.1 | 20.1 | 100.6 | ▲ 3.4 | 103.2 | 41.2 |
| | 12月 | 95.7 | 19.5 | 108.4 | 7.8 | 88.7 | ▲ 14.1 |
| 平成25年 | 1月 | 65.4 | ▲ 31.7 | 111.5 | 2.9 | 78.7 | ▲ 11.3 |
| | 2月 | 27.3 | ▲ 58.3 | 99.6 | ▲ 10.7 | 82.8 | 5.2 |
| | 3月 | 28.6 | 4.8 | 100.3 | 0.7 | 76.9 | ▲ 7.1 |
| | 4月 | 31.9 | 11.5 | 101.8 | 1.5 | 85.2 | 10.8 |
| | 5月 | 47.0 | 47.3 | 104.5 | 2.7 | 79.1 | ▲ 7.2 |
| | 6月 | 61.7 | 31.3 | 100.7 | ▲ 3.6 | 87.9 | 11.1 |
| | 7月 | 83.2 | 34.8 | 101.0 | 0.3 | 89.5 | 1.8 |
| | 8月 | 83.8 | 0.7 | 97.3 | ▲ 3.7 | 97.5 | 8.9 |
| | 9月 | 46.9 | ▲ 44.0 | 105.2 | 8.1 | 126.1 | 29.3 |
| | 10月 | 50.8 | 8.3 | 96.8 | ▲ 8.0 | 118.0 | ▲ 6.4 |
| | 11月 | 32.6 | ▲ 35.8 | 98.3 | 1.5 | 102.6 | ▲ 13.1 |
| | 12月 | 36.3 | 11.3 | 100.7 | 2.4 | 126.1 | 22.9 |

「和歌山県鉱工業生産指数」県調査統計課
 ※注：年値のみ原指数の平均値。四半期値は季節調整済指数の3ヶ月平均値、月値は季節調整済指数

● 鉱工業生産指数(続き)

(平成22年=100、単位：%)

| | | 和歌山県 | | | | | |
|-------|--------|--------------|----------|------------|----------|-----------|----------|
| | | パルプ・紙・紙加工品工業 | | プラスチック製品工業 | | ゴム製品工業 | |
| | | 季節調整済(※注) | 前年(月・期)比 | 季節調整済(※注) | 前年(月・期)比 | 季節調整済(※注) | 前年(月・期)比 |
| 平成21年 | | 97.3 | ▲ 2.5 | 96.0 | ▲ 4.0 | 70.8 | ▲ 38.7 |
| 平成22年 | | 100.0 | 2.8 | 100.0 | 4.2 | 100.0 | 41.2 |
| 平成23年 | | 107.0 | 7.0 | 101.3 | 1.3 | 114.1 | 14.1 |
| 平成24年 | | 103.0 | ▲ 3.7 | 103.0 | 1.7 | 91.0 | ▲ 20.2 |
| 平成25年 | | 102.1 | ▲ 0.9 | 103.7 | 0.7 | 78.8 | ▲ 13.4 |
| 平成23年 | 1-3月 | 104.4 | 5.8 | 101.5 | 0.2 | 120.7 | 6.5 |
| | 4-6月 | 109.8 | 5.1 | 101.6 | 0.1 | 110.0 | ▲ 8.9 |
| | 7-9月 | 109.2 | ▲ 0.5 | 101.7 | 0.1 | 114.4 | 4.0 |
| | 10-12月 | 108.5 | ▲ 0.6 | 101.4 | ▲ 0.4 | 103.7 | ▲ 9.4 |
| 平成24年 | 1-3月 | 107.5 | ▲ 1.0 | 100.8 | ▲ 0.6 | 110.6 | 6.6 |
| | 4-6月 | 102.7 | ▲ 4.4 | 103.1 | 2.3 | 103.5 | ▲ 6.4 |
| | 7-9月 | 103.3 | 0.6 | 104.8 | 1.6 | 83.1 | ▲ 19.7 |
| | 10-12月 | 103.9 | 0.6 | 103.2 | ▲ 1.5 | 70.5 | ▲ 15.2 |
| 平成25年 | 1-3月 | 102.4 | ▲ 1.5 | 104.1 | 0.9 | 81.3 | 15.3 |
| | 4-6月 | 100.5 | ▲ 1.8 | 104.2 | 0.1 | 80.4 | ▲ 1.1 |
| | 7-9月 | 102.3 | 1.8 | 103.0 | ▲ 1.2 | 77.7 | ▲ 3.4 |
| | 10-12月 | 103.1 | 0.7 | 102.9 | ▲ 0.1 | 80.3 | 3.4 |
| 平成23年 | 1月 | 104.1 | 0.6 | 102.1 | 0.6 | 131.5 | 10.7 |
| | 2月 | 101.4 | ▲ 2.6 | 100.9 | ▲ 1.2 | 113.8 | ▲ 13.5 |
| | 3月 | 107.8 | 6.3 | 101.5 | 0.6 | 116.9 | 2.7 |
| | 4月 | 107.0 | ▲ 0.7 | 101.7 | 0.2 | 107.9 | ▲ 7.7 |
| | 5月 | 108.5 | 1.4 | 101.2 | ▲ 0.5 | 110.8 | 2.7 |
| | 6月 | 113.8 | 4.9 | 101.9 | 0.7 | 111.3 | 0.5 |
| | 7月 | 107.1 | ▲ 5.9 | 102.0 | 0.1 | 107.4 | ▲ 3.5 |
| | 8月 | 110.9 | 3.5 | 100.8 | ▲ 1.2 | 111.7 | 4.0 |
| | 9月 | 109.6 | ▲ 1.2 | 102.4 | 1.6 | 124.2 | 11.2 |
| | 10月 | 106.0 | ▲ 3.3 | 102.4 | 0.0 | 114.2 | ▲ 8.1 |
| | 11月 | 108.4 | 2.3 | 101.2 | ▲ 1.2 | 98.6 | ▲ 13.7 |
| | 12月 | 111.2 | 2.6 | 100.5 | ▲ 0.7 | 98.4 | ▲ 0.2 |
| 平成24年 | 1月 | 106.9 | ▲ 3.9 | 100.7 | 0.2 | 96.9 | ▲ 1.5 |
| | 2月 | 109.8 | 2.7 | 100.2 | ▲ 0.5 | 119.6 | 23.4 |
| | 3月 | 105.7 | ▲ 3.7 | 101.5 | 1.3 | 115.3 | ▲ 3.6 |
| | 4月 | 105.0 | ▲ 0.7 | 102.0 | 0.5 | 113.4 | ▲ 1.6 |
| | 5月 | 102.5 | ▲ 2.4 | 103.5 | 1.5 | 93.5 | ▲ 17.5 |
| | 6月 | 100.6 | ▲ 1.9 | 103.8 | 0.3 | 103.6 | 10.8 |
| | 7月 | 102.4 | 1.8 | 105.7 | 1.8 | 91.9 | ▲ 11.3 |
| | 8月 | 104.7 | 2.2 | 104.6 | ▲ 1.0 | 80.6 | ▲ 12.3 |
| | 9月 | 102.7 | ▲ 1.9 | 104.0 | ▲ 0.6 | 76.9 | ▲ 4.6 |
| | 10月 | 110.2 | 7.3 | 103.5 | ▲ 0.5 | 68.1 | ▲ 11.4 |
| | 11月 | 104.2 | ▲ 5.4 | 103.7 | 0.2 | 70.3 | 3.2 |
| | 12月 | 97.4 | ▲ 6.5 | 102.3 | ▲ 1.4 | 73.1 | 4.0 |
| 平成25年 | 1月 | 99.8 | 2.5 | 104.6 | 2.2 | 84.4 | 15.5 |
| | 2月 | 107.0 | 7.2 | 103.5 | ▲ 1.1 | 79.2 | ▲ 6.2 |
| | 3月 | 100.4 | ▲ 6.2 | 104.3 | 0.8 | 80.3 | 1.4 |
| | 4月 | 99.5 | ▲ 0.9 | 103.8 | ▲ 0.5 | 77.8 | ▲ 3.1 |
| | 5月 | 104.7 | 5.2 | 104.1 | 0.3 | 88.0 | 13.1 |
| | 6月 | 97.4 | ▲ 7.0 | 104.8 | 0.7 | 75.5 | ▲ 14.2 |
| | 7月 | 104.8 | 7.6 | 103.7 | ▲ 1.0 | 81.9 | 8.5 |
| | 8月 | 100.3 | ▲ 4.3 | 102.7 | ▲ 1.0 | 72.2 | ▲ 11.8 |
| | 9月 | 101.9 | 1.6 | 102.6 | ▲ 0.1 | 78.9 | 9.3 |
| | 10月 | 106.0 | 4.0 | 103.1 | 0.5 | 77.3 | ▲ 2.0 |
| | 11月 | 101.7 | ▲ 4.1 | 102.8 | ▲ 0.3 | 76.5 | ▲ 1.0 |
| | 12月 | 101.5 | ▲ 0.2 | 102.9 | 0.1 | 87.1 | 13.9 |

「和歌山県鉱工業生産指数」県調査統計課
 ※注：年値のみ原指数の平均値。四半期値は季節調整済指数の3ヶ月平均値、月値は季節調整済指数

第2部 主要経済指標からみた和歌山県経済

● 鉱工業生産指数(続き)

(平成22年=100、単位：%)

| | | 和歌山県 | | | | | |
|-------|--------|-----------|----------|-----------|----------|-----------|----------|
| | | 家具工業 | | 木材・木製品工業 | | 産業総合 | |
| | | 季節調整済(※注) | 前年(月・期)比 | 季節調整済(※注) | 前年(月・期)比 | 季節調整済(※注) | 前年(月・期)比 |
| 平成21年 | | 98.3 | ▲ 18.2 | 105.4 | ▲ 5.7 | 86.3 | ▲ 14.4 |
| 平成22年 | | 100.0 | 1.7 | 100.0 | ▲ 5.1 | 100.0 | 15.9 |
| 平成23年 | | 109.2 | 9.2 | 96.8 | ▲ 3.2 | 106.8 | 6.8 |
| 平成24年 | | 107.7 | ▲ 1.4 | 94.6 | ▲ 2.3 | 101.6 | ▲ 4.9 |
| 平成25年 | | 112.4 | 4.4 | 79.6 | ▲ 15.9 | 100.8 | ▲ 0.8 |
| 平成23年 | 1-3月 | 110.9 | 19.0 | 100.5 | 1.1 | 105.2 | 3.7 |
| | 4-6月 | 99.6 | ▲ 10.2 | 96.2 | ▲ 4.2 | 109.3 | 3.9 |
| | 7-9月 | 103.9 | 4.3 | 94.6 | ▲ 1.7 | 108.4 | ▲ 0.8 |
| | 10-12月 | 122.0 | 17.4 | 95.6 | 1.0 | 105.4 | ▲ 2.8 |
| 平成24年 | 1-3月 | 95.8 | ▲ 21.4 | 96.0 | 0.5 | 103.8 | ▲ 1.5 |
| | 4-6月 | 105.6 | 10.2 | 99.0 | 3.1 | 102.7 | ▲ 1.1 |
| | 7-9月 | 120.3 | 13.9 | 95.2 | ▲ 3.9 | 100.8 | ▲ 1.8 |
| | 10-12月 | 110.8 | ▲ 7.9 | 89.4 | ▲ 6.1 | 99.5 | ▲ 1.4 |
| 平成25年 | 1-3月 | 112.2 | 1.3 | 83.5 | ▲ 6.6 | 97.9 | ▲ 1.5 |
| | 4-6月 | 98.8 | ▲ 12.0 | 75.7 | ▲ 9.3 | 100.6 | 2.7 |
| | 7-9月 | 116.8 | 18.3 | 78.5 | 3.7 | 101.8 | 1.2 |
| | 10-12月 | 110.1 | ▲ 5.8 | 80.8 | 2.9 | 103.2 | 1.4 |
| 平成23年 | 1月 | 99.6 | 1.5 | 95.3 | ▲ 5.6 | 103.5 | 0.5 |
| | 2月 | 116.8 | 17.3 | 103.5 | 8.6 | 105.0 | 1.4 |
| | 3月 | 116.4 | ▲ 0.3 | 102.7 | ▲ 0.8 | 107.1 | 2.0 |
| | 4月 | 97.9 | ▲ 15.9 | 99.6 | ▲ 3.0 | 107.8 | 0.7 |
| | 5月 | 94.9 | ▲ 3.1 | 97.4 | ▲ 2.2 | 110.5 | 2.5 |
| | 6月 | 106.0 | 11.7 | 91.7 | ▲ 5.9 | 109.5 | ▲ 0.9 |
| | 7月 | 100.3 | ▲ 5.4 | 92.5 | 0.9 | 108.3 | ▲ 1.1 |
| | 8月 | 105.5 | 5.2 | 96.5 | 4.3 | 109.1 | 0.7 |
| | 9月 | 105.9 | 0.4 | 94.9 | ▲ 1.7 | 107.8 | ▲ 1.2 |
| | 10月 | 130.2 | 22.9 | 97.0 | 2.2 | 107.8 | 0.0 |
| | 11月 | 128.3 | ▲ 1.5 | 94.9 | ▲ 2.2 | 106.3 | ▲ 1.4 |
| | 12月 | 107.4 | ▲ 16.3 | 94.8 | ▲ 0.1 | 102.1 | ▲ 4.0 |
| 平成24年 | 1月 | 94.1 | ▲ 12.4 | 95.1 | 0.3 | 105.0 | 2.8 |
| | 2月 | 97.9 | 4.0 | 96.7 | 1.7 | 103.8 | ▲ 1.1 |
| | 3月 | 95.5 | ▲ 2.5 | 96.2 | ▲ 0.5 | 102.7 | ▲ 1.1 |
| | 4月 | 100.0 | 4.7 | 99.3 | 3.2 | 104.1 | 1.4 |
| | 5月 | 102.5 | 2.5 | 99.2 | ▲ 0.1 | 100.7 | ▲ 3.3 |
| | 6月 | 114.4 | 11.6 | 98.5 | ▲ 0.7 | 103.3 | 2.6 |
| | 7月 | 110.3 | ▲ 3.6 | 96.9 | ▲ 1.6 | 101.5 | ▲ 1.7 |
| | 8月 | 129.9 | 17.8 | 95.2 | ▲ 1.8 | 101.1 | ▲ 0.4 |
| | 9月 | 120.7 | ▲ 7.1 | 93.4 | ▲ 1.9 | 99.9 | ▲ 1.2 |
| | 10月 | 124.7 | 3.3 | 91.2 | ▲ 2.4 | 99.4 | ▲ 0.5 |
| | 11月 | 105.1 | ▲ 15.7 | 88.7 | ▲ 2.7 | 99.0 | ▲ 0.4 |
| | 12月 | 102.6 | ▲ 2.4 | 88.3 | ▲ 0.5 | 100.0 | 1.0 |
| 平成25年 | 1月 | 112.3 | 9.5 | 87.2 | ▲ 1.2 | 98.4 | ▲ 1.6 |
| | 2月 | 114.6 | 2.0 | 83.4 | ▲ 4.4 | 97.9 | ▲ 0.5 |
| | 3月 | 109.8 | ▲ 4.2 | 79.8 | ▲ 4.3 | 97.5 | ▲ 0.4 |
| | 4月 | 103.8 | ▲ 5.5 | 76.1 | ▲ 4.6 | 97.5 | 0.0 |
| | 5月 | 100.5 | ▲ 3.2 | 76.5 | 0.5 | 101.1 | 3.7 |
| | 6月 | 92.0 | ▲ 8.5 | 74.6 | ▲ 2.5 | 103.2 | 2.1 |
| | 7月 | 108.2 | 17.6 | 79.2 | 6.2 | 102.1 | ▲ 1.1 |
| | 8月 | 127.1 | 17.5 | 76.6 | ▲ 3.3 | 100.9 | ▲ 1.2 |
| | 9月 | 115.2 | ▲ 9.4 | 79.8 | 4.2 | 102.4 | 1.5 |
| | 10月 | 102.1 | ▲ 11.4 | 79.0 | ▲ 1.0 | 105.0 | 2.5 |
| | 11月 | 119.4 | 16.9 | 81.8 | 3.5 | 98.9 | ▲ 5.8 |
| | 12月 | 108.8 | ▲ 8.9 | 81.6 | ▲ 0.2 | 105.8 | 7.0 |

「和歌山県鉱工業生産指数」県調査統計課
 ※注：年値のみ原指数の平均値。四半期値は季節調整済指数の3ヶ月平均値、月値は季節調整済指数

⑦雇用情勢

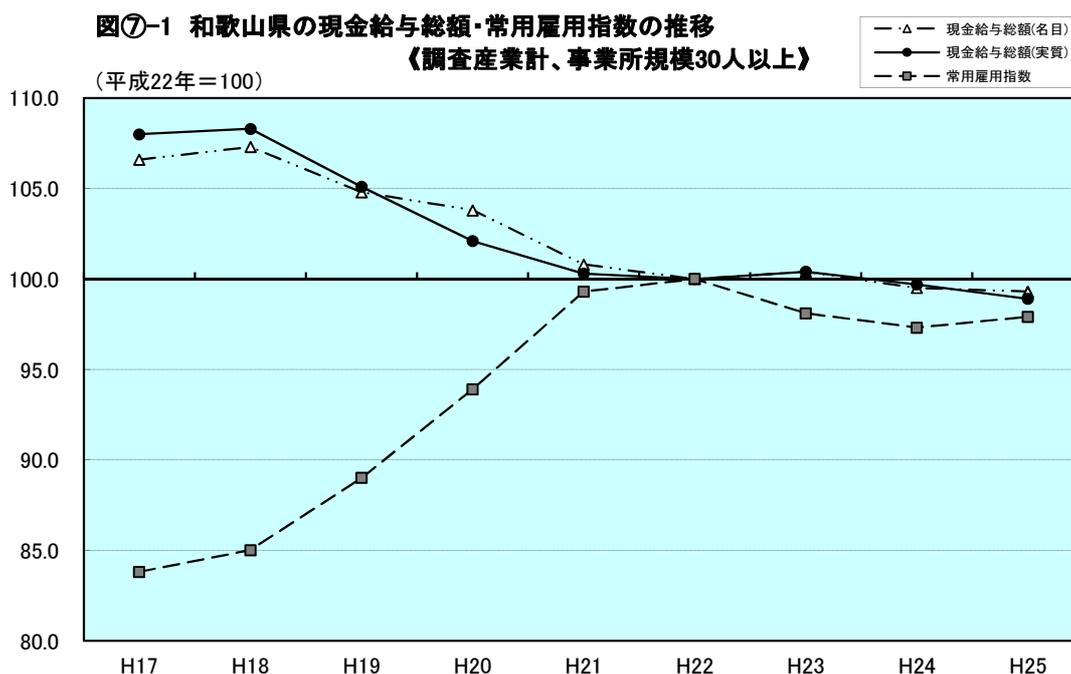
一部に持ち直しの動きがみられる(→)

●賃金指数、常用雇用指数

○一部に弱い動きがみられる(→)(賃金指数)

○緩やかな持ち直しの動きがみられる(↑)(常用雇用指数)

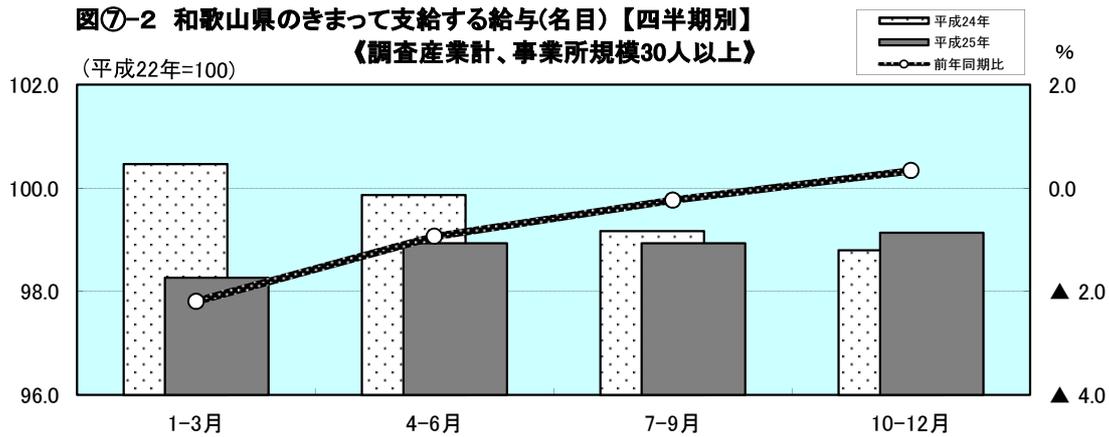
本県の賃金及び常用雇用者数の推移について、指数(平成22年=100、調査産業計、事業所規模30人以上)でみると、現金給与総額は名目・実質ともに平成18年以降減少傾向が続いており、平成23年は名目・実質が上昇したものの、平成24年に再び低下し、平成25年もその傾向が継続した。常用雇用指数については、平成18年から平成22年にかけては上昇傾向にあり、平成23年・24年は低下したが、平成25年は上昇に転じた。(図⑦-1)



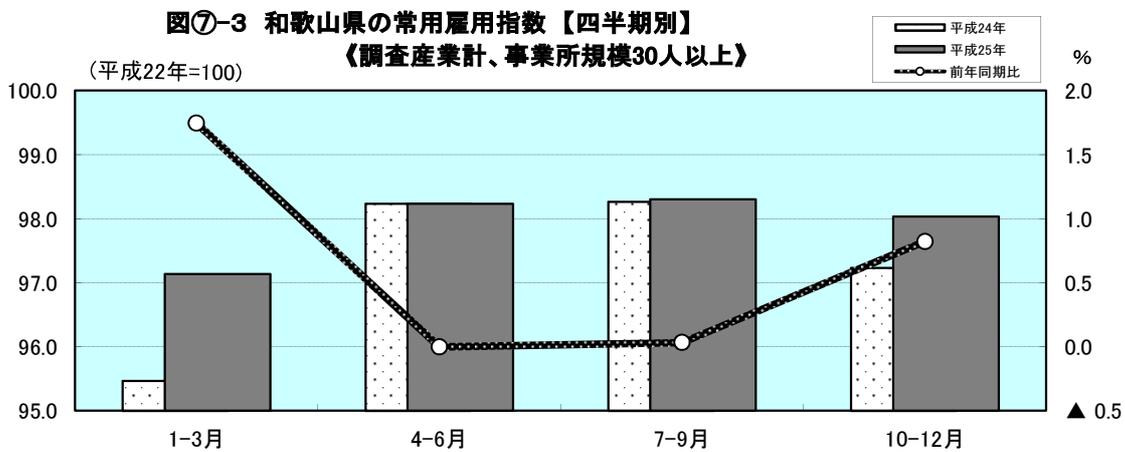
出典:県調査統計課「毎月労務統計調査」

次に、きまって支給する給与(平成22年=100、調査産業計、事業所規模30人以上、名目)を四半期別に平成24年と比較すると、10-12月期を除く四半期で前年を下回った。(図⑦-2)

また、常用雇用指数(平成22年=100、調査産業計、事業所規模30人以上)は、1-3月期と10-12月期で前年を上回った。(図⑦-3)



出典:県調査統計課「毎月勤労統計調査」



出典:県調査統計課「毎月勤労統計調査」

◎現金給与総額 とは、給与の他、各種手当やボーナス等、支払われた全ての金額を含み、かつ社会保険料や税が差し引かれる前のものを指す。

毎月勤労統計調査により集計されるが、ボーナス支給月など毎月の変動が激しいため、前年比でその動きをよむ。

◎きまって支給する給与 とは、基本給をはじめ各種手当など、労働契約や給与規則等で決められて支給するものをいう。

◎所定内給与 とは、きまって支給する給与から所定外労働時間に勤務した手当(超過勤務や休日勤務、宿日直など)を差し引いたものをいう。

◎賃金指数 とは、1人当たりの現金給与総額、きまって支給する給与及び所定内給与を、基準年=100として指数化したものである。

◎常用雇用指数 とは、事業所で雇用された人員(常用労働者)数を、基準年=100として指数化したものである。なお、常用労働者とは、

- ・期間を決めずに、または1ヶ月を超える期間を定めて雇用されている者
- ・日々または1ヶ月以内の期間を限って雇用されている者のうち、前2ヶ月で各月18日以上雇用されていた者

を指す。

※ 一般的に、賃金指数・常用雇用指数ともに景気に遅行して動くといわれている。

●賃金指数(事業所規模5人以上)

(平成22年=100、単位：%)

| | | 和歌山県 | | | | | |
|-------|--------|--------|-----------|-------|-----------|-------|-----------|
| | | 現金給与総額 | | | | 所定内給与 | |
| | | 名目指数 | 前年(同月・期)比 | 実質指数 | 前年(同月・期)比 | 名目指数 | 前年(同月・期)比 |
| 平成21年 | | 101.3 | ▲ 1.2 | 100.8 | 0.0 | 100.5 | 1.3 |
| 平成22年 | | 100.0 | ▲ 1.3 | 100.0 | ▲ 0.8 | 100.0 | ▲ 0.5 |
| 平成23年 | | 96.3 | ▲ 3.7 | 96.2 | ▲ 3.8 | 95.8 | ▲ 4.2 |
| 平成24年 | | 98.0 | 1.8 | 98.2 | 2.1 | 96.7 | 0.9 |
| 平成25年 | | 98.0 | 0.0 | 97.6 | ▲ 0.6 | 96.5 | ▲ 0.2 |
| 平成23年 | 1-3月 | 81.8 | ▲ 6.2 | 82.1 | ▲ 5.7 | 94.8 | ▲ 7.0 |
| | 4-6月 | 101.5 | ▲ 7.5 | 101.4 | ▲ 7.5 | 95.8 | ▲ 7.0 |
| | 7-9月 | 89.3 | ▲ 2.3 | 89.3 | ▲ 2.4 | 95.8 | ▲ 1.6 |
| | 10-12月 | 112.0 | 0.4 | 112.1 | 0.4 | 96.7 | ▲ 1.2 |
| 平成24年 | 1-3月 | 83.9 | 2.5 | 84.2 | 2.5 | 96.5 | 1.9 |
| | 4-6月 | 103.8 | 2.3 | 103.8 | 2.3 | 96.5 | 0.8 |
| | 7-9月 | 90.9 | 1.8 | 91.0 | 1.8 | 97.0 | 1.2 |
| | 10-12月 | 113.5 | 1.3 | 114.3 | 2.0 | 96.7 | 0.1 |
| 平成25年 | 1-3月 | 83.6 | ▲ 0.4 | 84.5 | 0.4 | 95.9 | ▲ 0.7 |
| | 4-6月 | 101.6 | ▲ 2.2 | 101.5 | ▲ 2.2 | 97.1 | 0.6 |
| | 7-9月 | 92.5 | 1.8 | 91.5 | 0.6 | 96.8 | ▲ 0.2 |
| | 10-12月 | 114.4 | 0.9 | 112.5 | ▲ 1.5 | 96.2 | ▲ 0.6 |
| 平成23年 | 1月 | 83.4 | ▲ 5.4 | 83.8 | ▲ 5.0 | 94.3 | ▲ 6.5 |
| | 2月 | 80.4 | ▲ 6.9 | 81.0 | ▲ 6.1 | 95.3 | ▲ 7.5 |
| | 3月 | 81.6 | ▲ 6.2 | 81.5 | ▲ 6.0 | 94.7 | ▲ 7.0 |
| | 4月 | 83.4 | ▲ 6.5 | 83.0 | ▲ 6.8 | 97.0 | ▲ 6.0 |
| | 5月 | 82.7 | ▲ 5.4 | 82.5 | ▲ 5.7 | 94.3 | ▲ 8.2 |
| | 6月 | 138.5 | ▲ 9.3 | 138.8 | ▲ 9.0 | 96.0 | ▲ 6.7 |
| | 7月 | 100.5 | ▲ 4.6 | 100.7 | ▲ 4.5 | 96.0 | ▲ 0.6 |
| | 8月 | 86.3 | ▲ 0.2 | 86.3 | ▲ 0.2 | 95.9 | ▲ 1.6 |
| | 9月 | 81.1 | ▲ 1.5 | 81.0 | ▲ 2.2 | 95.5 | ▲ 2.7 |
| | 10月 | 83.1 | 0.4 | 82.9 | 0.4 | 97.5 | ▲ 0.8 |
| | 11月 | 86.2 | ▲ 1.3 | 86.3 | ▲ 1.5 | 96.3 | ▲ 1.0 |
| | 12月 | 166.8 | 1.2 | 167.0 | 1.3 | 96.2 | ▲ 1.6 |
| 平成24年 | 1月 | 83.7 | 0.4 | 84.2 | 0.5 | 96.6 | 2.4 |
| | 2月 | 82.9 | 3.1 | 83.3 | 2.8 | 97.2 | 2.0 |
| | 3月 | 85.0 | 4.2 | 85.0 | 4.3 | 95.8 | 1.2 |
| | 4月 | 83.4 | 0.0 | 83.2 | 0.2 | 96.5 | ▲ 0.5 |
| | 5月 | 82.6 | ▲ 0.1 | 82.4 | ▲ 0.1 | 95.9 | 1.7 |
| | 6月 | 145.5 | 5.1 | 145.8 | 5.0 | 97.2 | 1.3 |
| | 7月 | 104.6 | 4.1 | 105.2 | 4.5 | 97.4 | 1.5 |
| | 8月 | 86.5 | 0.2 | 86.3 | 0.0 | 97.1 | 1.3 |
| | 9月 | 81.5 | 0.5 | 81.4 | 0.5 | 96.4 | 0.9 |
| | 10月 | 81.4 | ▲ 2.0 | 81.3 | ▲ 1.9 | 96.1 | ▲ 1.4 |
| | 11月 | 83.8 | ▲ 2.8 | 84.2 | ▲ 2.4 | 96.9 | 0.6 |
| | 12月 | 175.2 | 5.0 | 177.3 | 6.2 | 97.2 | 1.0 |
| 平成25年 | 1月 | 84.7 | 1.2 | 85.6 | 1.7 | 95.9 | ▲ 0.7 |
| | 2月 | 81.3 | ▲ 1.9 | 82.3 | ▲ 1.2 | 96.0 | ▲ 1.2 |
| | 3月 | 84.7 | ▲ 0.4 | 85.6 | 0.7 | 95.8 | 0.0 |
| | 4月 | 84.3 | 1.1 | 85.0 | 2.2 | 97.3 | 0.8 |
| | 5月 | 82.3 | ▲ 0.4 | 82.0 | ▲ 0.5 | 96.9 | 1.0 |
| | 6月 | 138.1 | ▲ 5.1 | 137.4 | ▲ 5.8 | 97.2 | 0.0 |
| | 7月 | 108.9 | 4.1 | 108.4 | 3.0 | 96.6 | ▲ 0.8 |
| | 8月 | 85.8 | ▲ 0.8 | 84.9 | ▲ 1.6 | 97.0 | ▲ 0.1 |
| | 9月 | 82.7 | 1.5 | 81.3 | ▲ 0.1 | 96.7 | 0.3 |
| | 10月 | 81.4 | 0.0 | 79.8 | ▲ 1.8 | 95.5 | ▲ 0.6 |
| | 11月 | 83.6 | ▲ 0.2 | 82.3 | ▲ 2.3 | 96.1 | ▲ 0.8 |
| | 12月 | 178.3 | 1.8 | 175.5 | ▲ 1.0 | 96.9 | ▲ 0.3 |

「毎月勤労統計調査 地方調査」県調査統計課
注：いずれも調査産業計、年値・四半期値は平均値

第2部 主要経済指標からみた和歌山県経済

●賃金指数(事業所規模30人以上)

(平成22年=100、単位：%)

| | | 和歌山県 | | | | | |
|-------|--------|--------|-----------|-------|-----------|-------|-----------|
| | | 現金給与総額 | | | | 所定内給与 | |
| | | 名目指数 | 前年(同月・期)比 | 実質指数 | 前年(同月・期)比 | 名目指数 | 前年(同月・期)比 |
| 平成21年 | | 100.8 | ▲ 2.9 | 100.3 | ▲ 1.8 | 100.9 | 0.1 |
| 平成22年 | | 100.0 | ▲ 0.8 | 100.0 | ▲ 0.3 | 100.0 | ▲ 0.9 |
| 平成23年 | | 100.4 | 0.4 | 100.4 | 0.4 | 100.2 | 0.2 |
| 平成24年 | | 99.5 | ▲ 0.9 | 99.7 | ▲ 0.7 | 99.4 | ▲ 0.8 |
| 平成25年 | | 99.3 | ▲ 0.2 | 98.9 | ▲ 0.8 | 98.4 | ▲ 1.0 |
| 平成23年 | 1-3月 | 83.0 | ▲ 0.9 | 83.4 | ▲ 0.3 | 98.9 | ▲ 1.4 |
| | 4-6月 | 109.5 | ▲ 0.3 | 109.4 | ▲ 0.3 | 100.2 | 0.0 |
| | 7-9月 | 90.1 | 0.6 | 90.1 | 0.5 | 99.6 | ▲ 0.1 |
| | 10-12月 | 118.8 | 1.7 | 118.8 | 1.7 | 101.9 | 2.2 |
| 平成24年 | 1-3月 | 83.7 | 0.8 | 84.0 | 0.7 | 99.9 | 0.9 |
| | 4-6月 | 106.4 | ▲ 2.9 | 106.4 | ▲ 2.8 | 99.6 | ▲ 0.6 |
| | 7-9月 | 90.4 | 0.4 | 90.5 | 0.4 | 99.2 | ▲ 0.4 |
| | 10-12月 | 117.5 | ▲ 1.2 | 118.3 | ▲ 0.4 | 98.9 | ▲ 2.9 |
| 平成25年 | 1-3月 | 82.3 | ▲ 1.6 | 83.3 | ▲ 0.8 | 97.8 | ▲ 2.1 |
| | 4-6月 | 104.3 | ▲ 1.9 | 104.2 | ▲ 2.0 | 98.8 | ▲ 0.8 |
| | 7-9月 | 91.4 | 1.0 | 90.4 | ▲ 0.1 | 98.8 | ▲ 0.4 |
| | 10-12月 | 119.1 | 1.4 | 117.1 | ▲ 1.0 | 98.3 | ▲ 0.6 |
| 平成23年 | 1月 | 85.7 | ▲ 0.3 | 86.1 | 0.1 | 98.7 | ▲ 0.8 |
| | 2月 | 81.6 | ▲ 1.1 | 82.3 | ▲ 0.1 | 99.8 | ▲ 1.7 |
| | 3月 | 81.8 | ▲ 1.2 | 81.7 | ▲ 1.0 | 98.3 | ▲ 1.6 |
| | 4月 | 82.6 | ▲ 4.5 | 82.2 | ▲ 4.9 | 100.8 | ▲ 0.7 |
| | 5月 | 86.6 | 4.3 | 86.3 | 3.9 | 99.0 | ▲ 0.3 |
| | 6月 | 159.4 | ▲ 0.4 | 159.7 | ▲ 0.1 | 100.9 | 1.0 |
| | 7月 | 102.9 | 1.8 | 103.1 | 2.0 | 99.9 | 0.9 |
| | 8月 | 86.1 | 0.5 | 86.1 | 0.5 | 99.6 | ▲ 0.1 |
| | 9月 | 81.3 | ▲ 0.6 | 81.2 | ▲ 1.3 | 99.2 | ▲ 1.1 |
| | 10月 | 84.5 | 2.5 | 84.2 | 2.4 | 102.6 | 2.3 |
| | 11月 | 89.8 | ▲ 1.1 | 89.9 | ▲ 1.3 | 101.5 | 2.1 |
| | 12月 | 182.2 | 2.7 | 182.4 | 2.8 | 101.6 | 2.1 |
| 平成24年 | 1月 | 83.9 | ▲ 2.1 | 84.4 | ▲ 2.0 | 100.6 | 1.9 |
| | 2月 | 82.8 | 1.5 | 83.2 | 1.1 | 100.6 | 0.8 |
| | 3月 | 84.3 | 3.1 | 84.3 | 3.2 | 98.4 | 0.1 |
| | 4月 | 82.8 | 0.2 | 82.6 | 0.5 | 99.9 | ▲ 0.9 |
| | 5月 | 81.8 | ▲ 5.5 | 81.6 | ▲ 5.4 | 99.1 | 0.1 |
| | 6月 | 154.6 | ▲ 3.0 | 154.9 | ▲ 3.0 | 99.9 | ▲ 1.0 |
| | 7月 | 107.1 | 4.1 | 107.7 | 4.5 | 99.4 | ▲ 0.5 |
| | 8月 | 83.7 | ▲ 2.8 | 83.5 | ▲ 3.0 | 99.5 | ▲ 0.1 |
| | 9月 | 80.5 | ▲ 1.0 | 80.4 | ▲ 1.0 | 98.7 | ▲ 0.5 |
| | 10月 | 80.2 | ▲ 5.1 | 80.1 | ▲ 4.9 | 98.4 | ▲ 4.1 |
| | 11月 | 82.6 | ▲ 8.0 | 83.0 | ▲ 7.7 | 99.2 | ▲ 2.3 |
| | 12月 | 189.6 | 4.1 | 191.9 | 5.2 | 99.1 | ▲ 2.5 |
| 平成25年 | 1月 | 81.7 | ▲ 2.6 | 82.6 | ▲ 2.1 | 97.7 | ▲ 2.9 |
| | 2月 | 80.2 | ▲ 3.1 | 81.2 | ▲ 2.4 | 97.8 | ▲ 2.8 |
| | 3月 | 85.1 | 0.9 | 86.0 | 2.0 | 97.9 | ▲ 0.5 |
| | 4月 | 82.8 | 0.0 | 83.5 | 1.1 | 99.3 | ▲ 0.6 |
| | 5月 | 80.2 | ▲ 2.0 | 79.9 | ▲ 2.1 | 98.2 | ▲ 0.9 |
| | 6月 | 150.0 | ▲ 3.0 | 149.3 | ▲ 3.6 | 99.0 | ▲ 0.9 |
| | 7月 | 108.8 | 1.6 | 108.3 | 0.6 | 98.1 | ▲ 1.3 |
| | 8月 | 83.5 | ▲ 0.2 | 82.6 | ▲ 1.1 | 99.4 | ▲ 0.1 |
| | 9月 | 81.8 | 1.6 | 80.4 | 0.0 | 98.9 | 0.2 |
| | 10月 | 80.6 | 0.5 | 79.0 | ▲ 1.4 | 97.8 | ▲ 0.6 |
| | 11月 | 82.6 | 0.0 | 81.3 | ▲ 2.0 | 98.3 | ▲ 0.9 |
| | 12月 | 194.2 | 2.4 | 191.1 | ▲ 0.4 | 98.9 | ▲ 0.2 |

「毎月勤労統計調査 地方調査」県調査統計課
注：いずれも調査産業計、年値・四半期値は平均値

●賃金指数、常用雇用指数(事業所規模5人以上)

(平成22年=100、単位：%)

| | | 和歌山県 | | | | | |
|-------|--------|------------|-----------|-------|-----------|-------|-----------|
| | | きまって支給する給与 | | | | 常用雇用 | |
| | | 名目指数 | 前年(同月・期)比 | 実質指数 | 前年(同月・期)比 | 指数 | 前年(同月・期)比 |
| 平成21年 | | 100.4 | ▲ 0.3 | 99.9 | 0.9 | 100.5 | 5.3 |
| 平成22年 | | 100.0 | ▲ 0.4 | 100.0 | 0.1 | 100.0 | ▲ 0.5 |
| 平成23年 | | 96.3 | ▲ 3.7 | 96.3 | ▲ 3.7 | 100.0 | 0.0 |
| 平成24年 | | 97.7 | 1.5 | 97.9 | 1.7 | 98.2 | ▲ 1.8 |
| 平成25年 | | 97.4 | ▲ 0.3 | 97.0 | ▲ 0.9 | 100.1 | 1.9 |
| 平成23年 | 1-3月 | 95.2 | ▲ 6.6 | 95.6 | ▲ 6.1 | 99.1 | ▲ 0.9 |
| | 4-6月 | 95.8 | ▲ 7.1 | 95.6 | ▲ 7.2 | 100.5 | ▲ 0.2 |
| | 7-9月 | 96.6 | ▲ 0.6 | 96.6 | ▲ 0.8 | 100.6 | 1.0 |
| | 10-12月 | 97.7 | ▲ 0.1 | 97.6 | ▲ 0.2 | 99.8 | ▲ 0.1 |
| 平成24年 | 1-3月 | 97.9 | 2.8 | 98.2 | 2.8 | 97.4 | ▲ 1.6 |
| | 4-6月 | 97.6 | 1.9 | 97.6 | 2.1 | 98.9 | ▲ 1.6 |
| | 7-9月 | 97.6 | 1.1 | 97.7 | 1.2 | 98.7 | ▲ 1.9 |
| | 10-12月 | 97.5 | ▲ 0.2 | 98.0 | 0.4 | 98.0 | ▲ 1.8 |
| 平成25年 | 1-3月 | 96.8 | ▲ 1.1 | 97.9 | ▲ 0.3 | 98.8 | 1.4 |
| | 4-6月 | 97.8 | 0.1 | 97.7 | 0.2 | 100.2 | 1.3 |
| | 7-9月 | 97.7 | 0.0 | 96.6 | ▲ 1.2 | 100.5 | 1.9 |
| | 10-12月 | 97.4 | ▲ 0.1 | 95.8 | ▲ 2.3 | 100.7 | 2.8 |
| 平成23年 | 1月 | 94.5 | ▲ 6.3 | 95.0 | ▲ 5.8 | 98.4 | ▲ 1.7 |
| | 2月 | 95.8 | ▲ 6.8 | 96.6 | ▲ 5.9 | 98.7 | ▲ 1.0 |
| | 3月 | 95.2 | ▲ 6.8 | 95.1 | ▲ 6.5 | 100.1 | 0.1 |
| | 4月 | 97.1 | ▲ 6.2 | 96.6 | ▲ 6.6 | 100.6 | ▲ 0.2 |
| | 5月 | 94.3 | ▲ 8.3 | 94.0 | ▲ 8.6 | 100.6 | ▲ 0.1 |
| | 6月 | 96.0 | ▲ 6.8 | 96.2 | ▲ 6.5 | 100.2 | ▲ 0.3 |
| | 7月 | 96.7 | 0.2 | 96.9 | 0.4 | 100.7 | 0.6 |
| | 8月 | 96.9 | ▲ 0.4 | 96.9 | ▲ 0.4 | 100.7 | 1.5 |
| | 9月 | 96.1 | ▲ 1.6 | 96.0 | ▲ 2.3 | 100.4 | 1.0 |
| | 10月 | 98.5 | 0.3 | 98.2 | 0.2 | 99.5 | 0.0 |
| | 11月 | 97.2 | 0.1 | 97.3 | ▲ 0.1 | 100.2 | 0.3 |
| | 12月 | 97.3 | ▲ 0.7 | 97.4 | ▲ 0.6 | 99.6 | ▲ 0.5 |
| 平成24年 | 1月 | 98.0 | 3.7 | 98.6 | 3.8 | 97.0 | ▲ 1.4 |
| | 2月 | 98.6 | 2.9 | 99.1 | 2.6 | 97.0 | ▲ 1.7 |
| | 3月 | 97.0 | 1.9 | 97.0 | 2.0 | 98.3 | ▲ 1.8 |
| | 4月 | 98.0 | 0.9 | 97.8 | 1.2 | 98.7 | ▲ 1.9 |
| | 5月 | 97.0 | 2.9 | 96.8 | 3.0 | 99.0 | ▲ 1.6 |
| | 6月 | 97.9 | 2.0 | 98.1 | 2.0 | 99.0 | ▲ 1.2 |
| | 7月 | 98.1 | 1.4 | 98.7 | 1.9 | 99.2 | ▲ 1.5 |
| | 8月 | 98.0 | 1.1 | 97.8 | 0.9 | 98.6 | ▲ 2.1 |
| | 9月 | 96.8 | 0.7 | 96.7 | 0.7 | 98.2 | ▲ 2.2 |
| | 10月 | 96.8 | ▲ 1.7 | 96.7 | ▲ 1.5 | 97.9 | ▲ 1.6 |
| | 11月 | 97.6 | 0.4 | 98.1 | 0.8 | 97.9 | ▲ 2.3 |
| | 12月 | 98.1 | 0.8 | 99.3 | 2.0 | 98.1 | ▲ 1.5 |
| 平成25年 | 1月 | 97.1 | ▲ 0.9 | 98.2 | ▲ 0.4 | 98.9 | 2.0 |
| | 2月 | 96.8 | ▲ 1.8 | 98.0 | ▲ 1.1 | 98.9 | 2.0 |
| | 3月 | 96.5 | ▲ 0.5 | 97.5 | 0.5 | 98.6 | 0.3 |
| | 4月 | 98.3 | 0.3 | 99.1 | 1.3 | 99.6 | 0.9 |
| | 5月 | 97.3 | 0.3 | 96.9 | 0.1 | 100.1 | 1.1 |
| | 6月 | 97.7 | ▲ 0.2 | 97.2 | ▲ 0.9 | 100.9 | 1.9 |
| | 7月 | 97.3 | ▲ 0.8 | 96.8 | ▲ 1.9 | 100.5 | 1.3 |
| | 8月 | 98.1 | 0.1 | 97.0 | ▲ 0.8 | 100.5 | 1.9 |
| | 9月 | 97.6 | 0.8 | 96.0 | ▲ 0.7 | 100.5 | 2.3 |
| | 10月 | 96.7 | ▲ 0.1 | 94.8 | ▲ 2.0 | 100.7 | 2.9 |
| | 11月 | 97.2 | ▲ 0.4 | 95.7 | ▲ 2.4 | 100.9 | 3.1 |
| | 12月 | 98.3 | 0.2 | 96.8 | ▲ 2.5 | 100.5 | 2.4 |

「毎月勤労統計調査 地方調査」県調査統計課
注：いずれも調査産業計、年値・四半期値は平均値

第2部 主要経済指標からみた和歌山県経済

●賃金指数、常用雇用指数(事業所規模30人以上)

(平成22年=100、単位：%)

| | | 和歌山県 | | | | | |
|-------|--------|------------|-----------|-------|-----------|-------|-----------|
| | | きまって支給する給与 | | | | 常用雇用 | |
| | | 名目指数 | 前年(同月・期)比 | 実質指数 | 前年(同月・期)比 | 指数 | 前年(同月・期)比 |
| 平成21年 | | 100.5 | ▲ 1.9 | 100.0 | ▲ 0.7 | 99.3 | 5.8 |
| 平成22年 | | 100.0 | ▲ 0.5 | 100.0 | 0.0 | 100.0 | 0.7 |
| 平成23年 | | 100.4 | 0.4 | 100.4 | 0.4 | 98.1 | ▲ 1.9 |
| 平成24年 | | 99.6 | ▲ 0.8 | 99.8 | ▲ 0.6 | 97.3 | ▲ 0.8 |
| 平成25年 | | 98.8 | ▲ 0.8 | 98.4 | ▲ 1.4 | 97.9 | 0.6 |
| 平成23年 | 1-3月 | 99.3 | ▲ 0.8 | 99.7 | ▲ 0.3 | 96.8 | ▲ 2.8 |
| | 4-6月 | 100.3 | ▲ 0.1 | 100.1 | ▲ 0.3 | 99.1 | ▲ 1.9 |
| | 7-9月 | 99.8 | 0.3 | 99.9 | 0.1 | 99.2 | ▲ 0.5 |
| | 10-12月 | 102.2 | 2.1 | 102.1 | 2.1 | 97.5 | ▲ 2.2 |
| 平成24年 | 1-3月 | 100.5 | 1.2 | 100.8 | 1.2 | 95.5 | ▲ 1.4 |
| | 4-6月 | 99.9 | ▲ 0.4 | 99.8 | ▲ 0.3 | 98.2 | ▲ 0.8 |
| | 7-9月 | 99.2 | ▲ 0.7 | 99.3 | ▲ 0.6 | 98.3 | ▲ 0.9 |
| | 10-12月 | 98.8 | ▲ 3.3 | 99.3 | ▲ 2.7 | 97.2 | ▲ 0.3 |
| 平成25年 | 1-3月 | 98.3 | ▲ 2.2 | 99.4 | ▲ 1.5 | 97.1 | 1.7 |
| | 4-6月 | 98.9 | ▲ 0.9 | 98.9 | ▲ 0.9 | 98.2 | 0.0 |
| | 7-9月 | 98.9 | ▲ 0.2 | 97.8 | ▲ 1.4 | 98.3 | 0.0 |
| | 10-12月 | 99.1 | 0.3 | 97.4 | ▲ 1.9 | 98.0 | 0.8 |
| 平成23年 | 1月 | 98.9 | ▲ 0.6 | 99.4 | ▲ 0.1 | 96.1 | ▲ 3.7 |
| | 2月 | 100.1 | ▲ 0.9 | 100.9 | 0.0 | 95.9 | ▲ 3.5 |
| | 3月 | 98.8 | ▲ 1.0 | 98.7 | ▲ 0.7 | 98.5 | ▲ 1.3 |
| | 4月 | 100.7 | ▲ 0.7 | 100.2 | ▲ 1.1 | 99.5 | ▲ 2.0 |
| | 5月 | 99.0 | ▲ 0.5 | 98.7 | ▲ 0.9 | 98.9 | ▲ 2.2 |
| | 6月 | 101.1 | 0.9 | 101.3 | 1.2 | 98.8 | ▲ 1.6 |
| | 7月 | 100.2 | 1.2 | 100.4 | 1.4 | 99.2 | ▲ 0.8 |
| | 8月 | 100.1 | 0.3 | 100.1 | 0.3 | 99.4 | 0.0 |
| | 9月 | 99.2 | ▲ 0.6 | 99.1 | ▲ 1.3 | 98.9 | ▲ 0.7 |
| | 10月 | 103.2 | 2.8 | 102.9 | 2.7 | 97.1 | ▲ 2.2 |
| | 11月 | 101.6 | 1.9 | 101.7 | 1.7 | 97.8 | ▲ 2.2 |
| | 12月 | 101.7 | 1.7 | 101.8 | 1.8 | 97.6 | ▲ 2.2 |
| 平成24年 | 1月 | 101.3 | 2.4 | 101.9 | 2.5 | 94.6 | ▲ 1.6 |
| | 2月 | 101.3 | 1.2 | 101.8 | 0.9 | 94.4 | ▲ 1.6 |
| | 3月 | 98.8 | 0.0 | 98.8 | 0.1 | 97.4 | ▲ 1.1 |
| | 4月 | 100.5 | ▲ 0.2 | 100.3 | 0.1 | 97.9 | ▲ 1.6 |
| | 5月 | 99.4 | 0.4 | 99.2 | 0.5 | 98.4 | ▲ 0.5 |
| | 6月 | 99.7 | ▲ 1.4 | 99.9 | ▲ 1.4 | 98.4 | ▲ 0.4 |
| | 7月 | 99.2 | ▲ 1.0 | 99.8 | ▲ 0.6 | 99.0 | ▲ 0.2 |
| | 8月 | 99.8 | ▲ 0.3 | 99.6 | ▲ 0.5 | 98.4 | ▲ 1.0 |
| | 9月 | 98.5 | ▲ 0.7 | 98.4 | ▲ 0.7 | 97.4 | ▲ 1.5 |
| | 10月 | 98.2 | ▲ 4.8 | 98.1 | ▲ 4.7 | 97.1 | 0.0 |
| | 11月 | 99.0 | ▲ 2.6 | 99.5 | ▲ 2.2 | 97.2 | ▲ 0.6 |
| | 12月 | 99.2 | ▲ 2.5 | 100.4 | ▲ 1.4 | 97.4 | ▲ 0.2 |
| 平成25年 | 1月 | 98.6 | ▲ 2.7 | 99.7 | ▲ 2.2 | 97.5 | 3.1 |
| | 2月 | 98.2 | ▲ 3.1 | 99.4 | ▲ 2.4 | 97.3 | 3.1 |
| | 3月 | 98.0 | ▲ 0.8 | 99.0 | 0.2 | 96.6 | ▲ 0.8 |
| | 4月 | 99.6 | ▲ 0.9 | 100.4 | 0.1 | 97.8 | ▲ 0.1 |
| | 5月 | 98.1 | ▲ 1.3 | 97.7 | ▲ 1.5 | 98.2 | ▲ 0.2 |
| | 6月 | 99.1 | ▲ 0.6 | 98.6 | ▲ 1.3 | 98.7 | 0.3 |
| | 7月 | 98.0 | ▲ 1.2 | 97.5 | ▲ 2.3 | 98.6 | ▲ 0.4 |
| | 8月 | 99.7 | ▲ 0.1 | 98.6 | ▲ 1.0 | 98.2 | ▲ 0.2 |
| | 9月 | 99.1 | 0.6 | 97.4 | ▲ 1.0 | 98.1 | 0.7 |
| | 10月 | 98.6 | 0.4 | 96.7 | ▲ 1.4 | 98.2 | 1.1 |
| | 11月 | 98.9 | ▲ 0.1 | 97.3 | ▲ 2.2 | 98.1 | 0.9 |
| | 12月 | 99.9 | 0.7 | 98.3 | ▲ 2.1 | 97.8 | 0.4 |

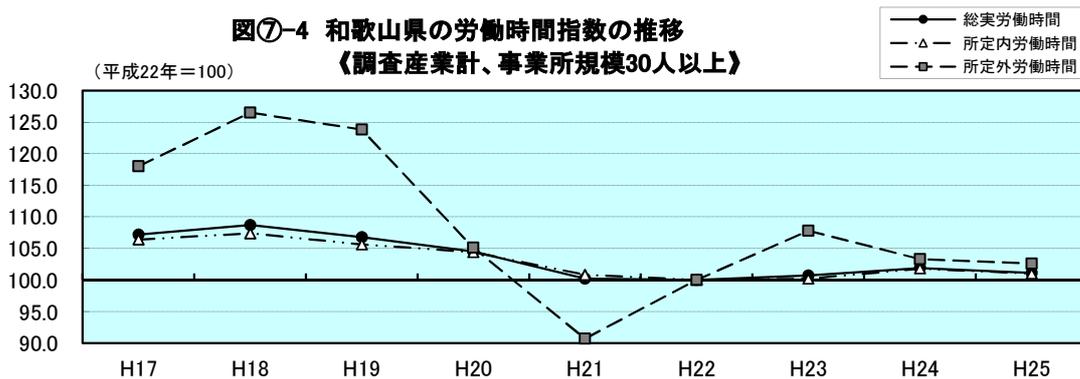
「毎月勤労統計調査 地方調査」県調査統計課
注：いずれも調査産業計、年値・四半期値は平均値

●労働時間指数

○一進一退の動きがみられる(→)

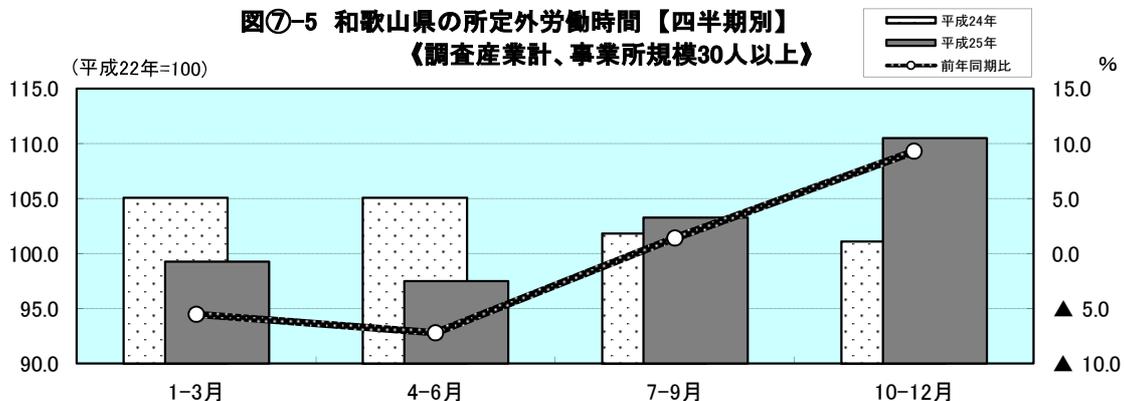
本県の労働時間の推移について、指数(平成22年=100、調査産業計、事業所規模30人以上)でみると、総実労働時間と所定内労働時間については、いずれも平成19年以降緩やかな低下傾向にあり、平成23年・24年とやや上昇したが、平成25年は再び低下した。

所定外労働時間については、平成25年は前年に引き続き低下した。(図⑦-4)



出典:県調査統計課「毎月勤労統計調査」

次に、所定外労働時間(平成22年=100、調査産業計、事業所規模30人以上)を四半期別に平成24年と比較すると、7-9月期及び10-12月期で前年を上回った。(図⑦-5)



出典:県調査統計課「毎月勤労統計調査」

◎**総実労働時間** とは、所定内労働時間と所定外労働時間を合わせたものである。

◎**所定外労働時間** とは、就業規則で定められた所定内労働時間(正規の労働時間)を超過して勤務した、いわゆる「残業時間」のことである。

一般に、景気が上向きになり、生産活動が活発になってくると、企業はまず新規雇用や設備投資を増やすよりも、既存の従業員の残業(所定外労働)でしばらくは対応すると考えられているため、景気に一致して動く指標として重要視されている。

◎**労働時間指数** とは、総実労働時間、所定内労働時間及び所定外労働時間を、基準年=100として指数化したものである。

第2部 主要経済指標からみた和歌山県経済

●労働時間指数(事業所規模5人以上)

(平成22年=100、単位：%)

| | | 和歌山県 | | | | | |
|-------|--------|--------|-----------|---------|-----------|---------|-----------|
| | | 総実労働時間 | | 所定内労働時間 | | 所定外労働時間 | |
| | | 指数 | 前年(同月・期)比 | 指数 | 前年(同月・期)比 | 指数 | 前年(同月・期)比 |
| 平成21年 | | 100.0 | ▲ 5.1 | 100.0 | ▲ 4.6 | 99.5 | ▲ 16.1 |
| 平成22年 | | 100.0 | 0.0 | 100.0 | 0.0 | 100.0 | 0.5 |
| 平成23年 | | 99.1 | ▲ 0.9 | 98.8 | ▲ 1.2 | 107.5 | 7.5 |
| 平成24年 | | 101.2 | 2.1 | 100.4 | 1.6 | 113.4 | 5.5 |
| 平成25年 | | 100.1 | ▲ 1.1 | 99.1 | ▲ 1.3 | 116.5 | 2.7 |
| 平成23年 | 1-3月 | 96.2 | ▲ 2.0 | 95.9 | ▲ 2.2 | 101.4 | 3.5 |
| | 4-6月 | 99.5 | ▲ 2.3 | 99.7 | ▲ 2.1 | 98.1 | ▲ 4.9 |
| | 7-9月 | 100.1 | 0.2 | 99.4 | ▲ 0.6 | 115.0 | 18.3 |
| | 10-12月 | 100.7 | 0.5 | 100.0 | ▲ 0.1 | 115.4 | 13.5 |
| 平成24年 | 1-3月 | 99.3 | 3.3 | 98.4 | 2.6 | 114.7 | 13.1 |
| | 4-6月 | 102.6 | 3.1 | 101.8 | 2.1 | 116.4 | 18.6 |
| | 7-9月 | 100.9 | 0.8 | 100.3 | 0.9 | 109.8 | ▲ 4.6 |
| | 10-12月 | 101.8 | 1.1 | 101.2 | 1.2 | 112.9 | ▲ 2.2 |
| 平成25年 | 1-3月 | 95.9 | ▲ 3.5 | 95.0 | ▲ 3.5 | 110.7 | ▲ 3.5 |
| | 4-6月 | 101.7 | ▲ 0.9 | 101.0 | ▲ 0.8 | 112.9 | ▲ 3.1 |
| | 7-9月 | 101.1 | 0.3 | 100.1 | ▲ 0.2 | 118.7 | 8.1 |
| | 10-12月 | 101.7 | ▲ 0.1 | 100.4 | ▲ 0.7 | 123.6 | 9.5 |
| 平成23年 | 1月 | 92.1 | ▲ 1.5 | 91.7 | ▲ 1.9 | 100.4 | 7.0 |
| | 2月 | 97.6 | ▲ 2.6 | 97.4 | ▲ 2.9 | 103.2 | 5.3 |
| | 3月 | 98.8 | ▲ 1.8 | 98.7 | ▲ 1.8 | 100.6 | ▲ 1.6 |
| | 4月 | 101.9 | ▲ 2.5 | 102.2 | ▲ 2.1 | 96.7 | ▲ 10.1 |
| | 5月 | 94.0 | ▲ 2.0 | 94.1 | ▲ 1.8 | 95.3 | ▲ 5.6 |
| | 6月 | 102.7 | ▲ 2.3 | 102.8 | ▲ 2.5 | 102.4 | 1.3 |
| | 7月 | 100.7 | 0.3 | 100.0 | ▲ 0.7 | 114.9 | 23.4 |
| | 8月 | 99.2 | 1.0 | 98.4 | 0.1 | 116.4 | 21.4 |
| | 9月 | 100.4 | ▲ 0.6 | 99.7 | ▲ 1.1 | 113.7 | 10.7 |
| | 10月 | 100.0 | 1.1 | 99.4 | 0.6 | 112.4 | 12.3 |
| | 11月 | 101.4 | 0.7 | 100.7 | 0.0 | 116.8 | 18.1 |
| | 12月 | 100.7 | ▲ 0.3 | 99.9 | ▲ 0.8 | 116.9 | 10.5 |
| 平成24年 | 1月 | 94.0 | 2.1 | 93.0 | 1.4 | 110.7 | 10.3 |
| | 2月 | 103.0 | 5.5 | 102.3 | 5.0 | 114.7 | 11.1 |
| | 3月 | 101.0 | 2.2 | 100.0 | 1.3 | 118.7 | 18.0 |
| | 4月 | 104.0 | 2.1 | 103.0 | 0.8 | 120.0 | 24.1 |
| | 5月 | 99.3 | 5.6 | 98.2 | 4.4 | 117.3 | 23.1 |
| | 6月 | 104.6 | 1.9 | 104.1 | 1.3 | 112.0 | 9.4 |
| | 7月 | 102.2 | 1.5 | 101.6 | 1.6 | 112.0 | ▲ 2.5 |
| | 8月 | 100.1 | 0.9 | 99.6 | 1.2 | 108.0 | ▲ 7.2 |
| | 9月 | 100.3 | ▲ 0.1 | 99.7 | 0.0 | 109.3 | ▲ 3.9 |
| | 10月 | 100.7 | 0.7 | 100.4 | 1.0 | 105.3 | ▲ 6.3 |
| | 11月 | 103.3 | 1.9 | 102.7 | 2.0 | 112.0 | ▲ 4.1 |
| | 12月 | 101.5 | 0.8 | 100.4 | 0.5 | 121.3 | 3.8 |
| 平成25年 | 1月 | 92.9 | ▲ 1.2 | 91.8 | ▲ 1.3 | 110.7 | 0.0 |
| | 2月 | 98.4 | ▲ 4.5 | 97.7 | ▲ 4.5 | 110.7 | ▲ 3.5 |
| | 3月 | 96.3 | ▲ 4.7 | 95.4 | ▲ 4.6 | 110.7 | ▲ 6.7 |
| | 4月 | 104.0 | 0.0 | 103.0 | 0.0 | 120.0 | 0.0 |
| | 5月 | 98.5 | ▲ 0.8 | 97.8 | ▲ 0.4 | 109.3 | ▲ 6.8 |
| | 6月 | 102.6 | ▲ 1.9 | 102.2 | ▲ 1.8 | 109.3 | ▲ 2.4 |
| | 7月 | 102.7 | 0.5 | 101.8 | 0.2 | 117.3 | 4.7 |
| | 8月 | 99.8 | ▲ 0.3 | 98.7 | ▲ 0.9 | 118.7 | 9.9 |
| | 9月 | 100.9 | 0.6 | 99.8 | 0.1 | 120.0 | 9.8 |
| | 10月 | 100.4 | ▲ 0.3 | 99.3 | ▲ 1.1 | 118.7 | 12.7 |
| | 11月 | 102.8 | ▲ 0.5 | 101.8 | ▲ 0.9 | 120.0 | 7.1 |
| | 12月 | 101.9 | 0.4 | 100.2 | ▲ 0.2 | 132.0 | 8.8 |

「毎月勤労統計調査 地方調査」県調査統計課
注：いずれも調査産業計、年値・四半期値は平均値

●労働時間指数(事業所規模30人以上)

(平成22年=100、単位：%)

| | | 和歌山県 | | | | | |
|-------|--------|--------|-----------|---------|-----------|---------|-----------|
| | | 総実労働時間 | | 所定内労働時間 | | 所定外労働時間 | |
| | | 指数 | 前年(同月・期)比 | 指数 | 前年(同月・期)比 | 指数 | 前年(同月・期)比 |
| 平成21年 | | 100.2 | ▲ 4.1 | 100.8 | ▲ 3.4 | 90.7 | ▲ 13.9 |
| 平成22年 | | 100.0 | ▲ 0.2 | 100.0 | ▲ 0.8 | 100.0 | 10.3 |
| 平成23年 | | 100.7 | 0.7 | 100.2 | 0.2 | 107.8 | 7.8 |
| 平成24年 | | 101.9 | 1.2 | 101.8 | 1.6 | 103.3 | ▲ 4.2 |
| 平成25年 | | 101.1 | ▲ 0.8 | 101.0 | ▲ 0.8 | 102.6 | ▲ 0.7 |
| 平成23年 | 1-3月 | 97.7 | ▲ 0.1 | 97.2 | ▲ 1.0 | 104.0 | 12.1 |
| | 4-6月 | 101.5 | 0.7 | 101.3 | 0.3 | 105.0 | 5.7 |
| | 7-9月 | 101.8 | 0.4 | 101.1 | ▲ 0.1 | 112.2 | 9.6 |
| | 10-12月 | 101.7 | 1.7 | 101.1 | 1.4 | 110.2 | 4.4 |
| 平成24年 | 1-3月 | 100.0 | 2.4 | 99.6 | 2.5 | 105.1 | 1.0 |
| | 4-6月 | 103.1 | 1.6 | 103.0 | 1.7 | 105.1 | 0.1 |
| | 7-9月 | 102.2 | 0.4 | 102.2 | 1.1 | 101.8 | ▲ 9.2 |
| | 10-12月 | 102.2 | 0.5 | 102.4 | 1.3 | 101.1 | ▲ 8.2 |
| 平成25年 | 1-3月 | 96.8 | ▲ 3.2 | 96.6 | ▲ 3.0 | 99.3 | ▲ 5.5 |
| | 4-6月 | 102.7 | ▲ 0.4 | 103.1 | 0.1 | 97.5 | ▲ 7.2 |
| | 7-9月 | 102.0 | ▲ 0.2 | 101.9 | ▲ 0.3 | 103.3 | 1.4 |
| | 10-12月 | 102.9 | 0.7 | 102.4 | 0.0 | 110.5 | 9.3 |
| 平成23年 | 1月 | 94.6 | ▲ 0.3 | 93.9 | ▲ 1.3 | 104.9 | 15.1 |
| | 2月 | 98.8 | ▲ 0.3 | 98.5 | ▲ 1.0 | 102.9 | 11.4 |
| | 3月 | 99.6 | 0.2 | 99.2 | ▲ 0.6 | 104.2 | 9.8 |
| | 4月 | 102.5 | ▲ 1.0 | 102.7 | ▲ 1.0 | 99.8 | ▲ 0.8 |
| | 5月 | 96.4 | 1.7 | 95.9 | 1.3 | 103.5 | 6.2 |
| | 6月 | 105.6 | 1.5 | 105.2 | 0.8 | 111.7 | 11.7 |
| | 7月 | 102.6 | 1.0 | 101.8 | 0.0 | 115.4 | 17.9 |
| | 8月 | 100.9 | 1.1 | 100.2 | 0.4 | 113.4 | 11.6 |
| | 9月 | 101.8 | ▲ 0.8 | 101.4 | ▲ 0.8 | 107.7 | 0.2 |
| | 10月 | 101.0 | 1.6 | 100.6 | 1.7 | 105.7 | 0.3 |
| | 11月 | 102.3 | 1.3 | 101.8 | 1.1 | 109.4 | 3.7 |
| | 12月 | 101.9 | 2.1 | 100.9 | 1.4 | 115.4 | 9.2 |
| 平成24年 | 1月 | 95.2 | 0.6 | 94.7 | 0.9 | 103.3 | ▲ 1.5 |
| | 2月 | 103.1 | 4.4 | 103.0 | 4.6 | 104.3 | 1.4 |
| | 3月 | 101.6 | 2.0 | 101.2 | 2.0 | 107.6 | 3.3 |
| | 4月 | 104.1 | 1.6 | 103.9 | 1.2 | 106.5 | 6.7 |
| | 5月 | 100.8 | 4.6 | 100.3 | 4.6 | 108.7 | 5.0 |
| | 6月 | 104.4 | ▲ 1.1 | 104.7 | ▲ 0.5 | 100.0 | ▲ 10.5 |
| | 7月 | 102.8 | 0.2 | 102.8 | 1.0 | 103.3 | ▲ 10.5 |
| | 8月 | 102.8 | 1.9 | 102.8 | 2.6 | 102.2 | ▲ 9.9 |
| | 9月 | 100.9 | ▲ 0.9 | 101.0 | ▲ 0.4 | 100.0 | ▲ 7.1 |
| | 10月 | 100.8 | ▲ 0.2 | 101.5 | 0.9 | 91.3 | ▲ 13.6 |
| | 11月 | 103.7 | 1.4 | 104.0 | 2.2 | 100.0 | ▲ 8.6 |
| | 12月 | 102.2 | 0.3 | 101.6 | 0.7 | 112.0 | ▲ 2.9 |
| 平成25年 | 1月 | 94.5 | ▲ 0.7 | 94.0 | ▲ 0.7 | 102.2 | ▲ 1.1 |
| | 2月 | 98.8 | ▲ 4.2 | 98.9 | ▲ 4.0 | 96.7 | ▲ 7.3 |
| | 3月 | 97.1 | ▲ 4.4 | 97.0 | ▲ 4.2 | 98.9 | ▲ 8.1 |
| | 4月 | 104.8 | 0.7 | 105.0 | 1.1 | 102.2 | ▲ 4.0 |
| | 5月 | 99.5 | ▲ 1.3 | 99.9 | ▲ 0.4 | 94.6 | ▲ 13.0 |
| | 6月 | 103.8 | ▲ 0.6 | 104.4 | ▲ 0.3 | 95.7 | ▲ 4.3 |
| | 7月 | 103.3 | 0.5 | 103.4 | 0.6 | 102.2 | ▲ 1.1 |
| | 8月 | 101.7 | ▲ 1.1 | 101.7 | ▲ 1.1 | 102.2 | 0.0 |
| | 9月 | 101.0 | 0.1 | 100.7 | ▲ 0.3 | 105.4 | 5.4 |
| | 10月 | 102.4 | 1.6 | 102.2 | 0.7 | 104.3 | 14.2 |
| | 11月 | 103.7 | 0.0 | 103.4 | ▲ 0.6 | 107.6 | 7.6 |
| | 12月 | 102.7 | 0.5 | 101.6 | 0.0 | 119.6 | 6.8 |

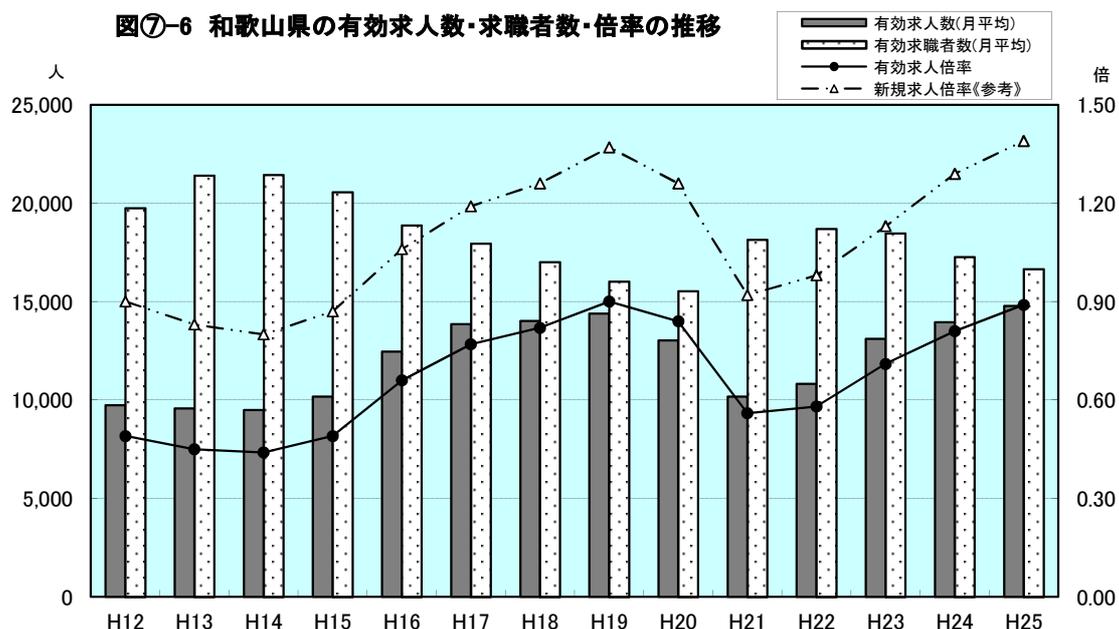
「毎月勤労統計調査 地方調査」県調査統計課
注：いずれも調査産業計、年値・四半期値は平均値

●求人・求職

○緩やかな改善の動きがみられる(↑)

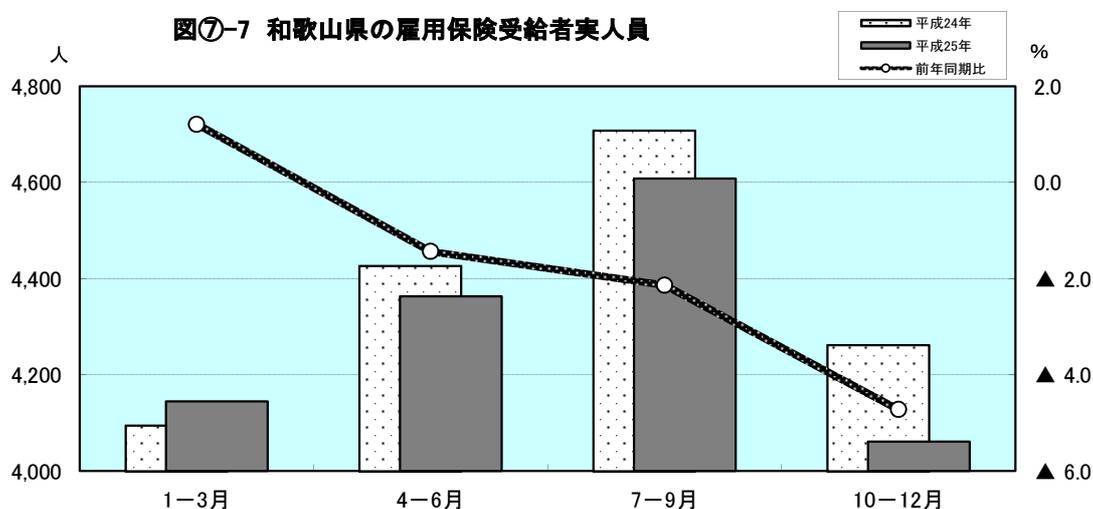
本県の求人・求職動向の推移をみると、有効求人数(月平均)は、平成19年をピークに減少していたが、平成22年以降上昇し、平成25年には15,000人近くにまで達した。

一方、有効求職者数(月平均)は、平成23年より3年連続して減少した。(図⑦-6)



出典:和歌山労働局職業安定部「職業安定統計年報」

次に、平成25年における雇用保険受給者実人員を四半期別に平成24年と比較すると、1-3月期は増加したが、他の四半期は前年を下回った。(図⑦-7)



出典:和歌山労働局職業安定部「職業安定統計年報」

◎**新規求人** とは、その月に受け付けた求人である。

◎**有効求人** とは、前月から未充足(未採用)のまま繰り越された求人と新規求人の合計である。

◎**新規求職** とは、その月に受け付けた求職申し込みである。

◎**有効求職** とは、前月から未就職のまま繰り越された求職者と新規求職者の合計である。

◎**求人倍率** とは、公共職業安定所(ハローワーク)で扱う求職者1人に対し、何人の求人があるかを表しており、「新規」と「有効」の2種類がある。

新規求人倍率＝新規求人数÷新規求職者数

有効求人倍率＝有効求人数÷有効求職者数

新規求人・新規求職と、有効求人・有効求職は、フローとストックの関係にあり、新規求人倍率は、有効求人倍率より景気に敏感である。しかし、変動が大きいという性質がある。

※ 求人倍率は、労働力需給を反映し、景気と一致して動く指標である。

◎**充足数** ＝公共職業安定所の紹介により採用された人数
(新規学卒を除き、他府県安定所紹介分を含む)

◎**就職件数** ＝公共職業安定所の紹介により就職した件数
(新規学卒を除き、他府県安定所紹介分を含む)

◎**雇用保険受給者(実人員)** とは、雇用保険の失業給付を受けている失業者のことであるが、受給期間が終了した者は含まないため、失業者全員とは異なる。

※ 一般的に、景気に遅れて逆サイクルで動く指標である。

第2部 主要経済指標からみた和歌山県経済

●求人・求職

(単位:倍、人、%)

| | | 和歌山県 | | | | 全国 | |
|-------|--------|------------|------------|----------|-----------|------------|------------|
| | | 新規求人倍率(※注) | 有効求人倍率(※注) | 雇用保険受給者 | | 新規求人倍率(※注) | 有効求人倍率(※注) |
| | | | | 実人員(月平均) | 前年(同月・期)比 | | |
| 平成21年 | | 0.92 | 0.56 | 5,226 | 14.2 | 0.79 | 0.47 |
| 平成22年 | | 0.98 | 0.58 | 4,706 | ▲ 10.0 | 0.89 | 0.52 |
| 平成23年 | | 1.13 | 0.71 | 4,515 | ▲ 4.0 | 1.05 | 0.65 |
| 平成24年 | | 1.29 | 0.81 | 4,373 | ▲ 3.2 | 1.28 | 0.80 |
| 平成25年 | | 1.39 | 0.89 | 4,294 | ▲ 1.8 | 1.46 | 0.93 |
| 平成23年 | 1-3月 | 1.12 | 0.68 | 4,286 | ▲ 8.7 | 0.99 | 0.61 |
| | 4-6月 | 1.13 | 0.71 | 4,454 | ▲ 3.4 | 0.98 | 0.62 |
| | 7-9月 | 1.12 | 0.72 | 4,817 | ▲ 3.9 | 1.09 | 0.65 |
| | 10-12月 | 1.20 | 0.73 | 4,504 | ▲ 0.0 | 1.17 | 0.71 |
| 平成24年 | 1-3月 | 1.21 | 0.75 | 4,095 | ▲ 4.5 | 1.23 | 0.75 |
| | 4-6月 | 1.27 | 0.81 | 4,427 | ▲ 0.6 | 1.27 | 0.80 |
| | 7-9月 | 1.33 | 0.83 | 4,708 | ▲ 2.3 | 1.30 | 0.81 |
| | 10-12月 | 1.36 | 0.84 | 4,262 | ▲ 5.4 | 1.32 | 0.82 |
| 平成25年 | 1-3月 | 1.34 | 0.87 | 4,145 | 1.2 | 1.37 | 0.85 |
| | 4-6月 | 1.36 | 0.87 | 4,363 | ▲ 1.4 | 1.43 | 0.90 |
| | 7-9月 | 1.39 | 0.90 | 4,608 | ▲ 2.1 | 1.48 | 0.95 |
| | 10-12月 | 1.43 | 0.92 | 4,061 | ▲ 4.7 | 1.58 | 1.01 |
| 平成23年 | 1月 | 1.09 | 0.65 | 4,442 | ▲ 8.8 | 1.01 | 0.60 |
| | 2月 | 1.12 | 0.68 | 4,213 | ▲ 10.2 | 0.99 | 0.62 |
| | 3月 | 1.14 | 0.70 | 4,204 | ▲ 6.8 | 0.98 | 0.62 |
| | 4月 | 1.13 | 0.71 | 4,222 | ▲ 5.4 | 0.94 | 0.62 |
| | 5月 | 1.13 | 0.72 | 4,482 | ▲ 0.5 | 0.98 | 0.61 |
| | 6月 | 1.12 | 0.71 | 4,658 | ▲ 4.3 | 1.01 | 0.62 |
| | 7月 | 1.08 | 0.71 | 4,733 | ▲ 5.8 | 1.07 | 0.64 |
| | 8月 | 1.12 | 0.73 | 4,946 | ▲ 3.6 | 1.05 | 0.65 |
| | 9月 | 1.17 | 0.71 | 4,773 | ▲ 2.3 | 1.14 | 0.67 |
| | 10月 | 1.18 | 0.71 | 4,686 | 0.7 | 1.15 | 0.69 |
| | 11月 | 1.24 | 0.75 | 4,532 | ▲ 1.1 | 1.17 | 0.71 |
| | 12月 | 1.17 | 0.74 | 4,294 | 0.2 | 1.19 | 0.72 |
| 平成24年 | 1月 | 1.24 | 0.75 | 4,291 | ▲ 3.4 | 1.22 | 0.74 |
| | 2月 | 1.17 | 0.73 | 4,051 | ▲ 3.8 | 1.24 | 0.75 |
| | 3月 | 1.21 | 0.76 | 3,944 | ▲ 6.2 | 1.24 | 0.77 |
| | 4月 | 1.29 | 0.80 | 4,101 | ▲ 2.9 | 1.25 | 0.79 |
| | 5月 | 1.30 | 0.82 | 4,633 | 3.4 | 1.28 | 0.80 |
| | 6月 | 1.22 | 0.81 | 4,546 | ▲ 2.4 | 1.29 | 0.81 |
| | 7月 | 1.42 | 0.82 | 4,846 | 2.4 | 1.29 | 0.81 |
| | 8月 | 1.29 | 0.84 | 4,753 | ▲ 3.9 | 1.31 | 0.81 |
| | 9月 | 1.27 | 0.82 | 4,526 | ▲ 5.2 | 1.30 | 0.81 |
| | 10月 | 1.35 | 0.83 | 4,570 | ▲ 2.5 | 1.30 | 0.82 |
| | 11月 | 1.40 | 0.84 | 4,290 | ▲ 5.3 | 1.32 | 0.82 |
| | 12月 | 1.34 | 0.86 | 3,927 | ▲ 8.5 | 1.33 | 0.83 |
| 平成25年 | 1月 | 1.35 | 0.87 | 4,276 | ▲ 0.3 | 1.35 | 0.84 |
| | 2月 | 1.33 | 0.86 | 4,110 | 1.5 | 1.36 | 0.85 |
| | 3月 | 1.35 | 0.87 | 4,049 | 2.7 | 1.39 | 0.87 |
| | 4月 | 1.29 | 0.85 | 4,110 | 0.2 | 1.39 | 0.88 |
| | 5月 | 1.33 | 0.86 | 4,554 | ▲ 1.7 | 1.42 | 0.90 |
| | 6月 | 1.46 | 0.89 | 4,426 | ▲ 2.6 | 1.48 | 0.92 |
| | 7月 | 1.32 | 0.89 | 4,733 | ▲ 2.3 | 1.46 | 0.94 |
| | 8月 | 1.41 | 0.89 | 4,618 | ▲ 2.8 | 1.48 | 0.95 |
| | 9月 | 1.44 | 0.91 | 4,473 | ▲ 1.2 | 1.51 | 0.96 |
| | 10月 | 1.45 | 0.93 | 4,381 | ▲ 4.1 | 1.57 | 0.98 |
| | 11月 | 1.46 | 0.92 | 3,960 | ▲ 7.7 | 1.55 | 1.01 |
| | 12月 | 1.39 | 0.92 | 3,843 | ▲ 2.1 | 1.61 | 1.03 |

「職業安定統計年報」和歌山労働局職業安定部

注：求人倍率は、パートタイム労働者を含み、年値のみ原数値。

四半期値は季節調整済値の3ヶ月平均、月値は季節調整済値

●求人・求職(続き)

(単位:人、件、%)

| | | 和歌山県 | | | | | |
|-------|--------|-------|-----------|--------|-----------|-------|-----------|
| | | 新規求人数 | | 有効求人数 | | 充足数 | |
| | | 月平均人数 | 前年(同月・期)比 | 月平均人数 | 前年(同月・期)比 | 月平均人数 | 前年(同月・期)比 |
| 平成21年 | | 4,149 | ▲ 17.3 | 10,169 | ▲ 21.9 | 1,482 | 11.1 |
| 平成22年 | | 4,578 | 10.3 | 10,811 | 6.3 | 1,595 | 7.6 |
| 平成23年 | | 5,236 | 14.4 | 13,110 | 21.3 | 1,618 | 1.4 |
| 平成24年 | | 5,523 | 5.5 | 13,947 | 6.4 | 1,600 | ▲ 1.1 |
| 平成25年 | | 5,681 | 2.9 | 14,784 | 6.0 | 1,517 | ▲ 5.1 |
| 平成23年 | 1-3月 | 5,609 | 25.4 | 13,314 | 31.1 | 1,636 | 6.8 |
| | 4-6月 | 5,024 | 18.7 | 12,813 | 28.4 | 1,708 | 3.3 |
| | 7-9月 | 5,235 | 7.3 | 12,905 | 16.6 | 1,573 | ▲ 3.9 |
| | 10-12月 | 5,076 | 7.4 | 13,409 | 11.4 | 1,553 | ▲ 0.1 |
| 平成24年 | 1-3月 | 5,523 | ▲ 1.5 | 13,407 | 0.7 | 1,605 | ▲ 1.9 |
| | 4-6月 | 5,328 | 6.0 | 13,607 | 6.2 | 1,788 | 4.6 |
| | 7-9月 | 5,514 | 5.3 | 13,824 | 7.1 | 1,551 | ▲ 1.4 |
| | 10-12月 | 5,728 | 12.8 | 14,948 | 11.5 | 1,455 | ▲ 6.4 |
| 平成25年 | 1-3月 | 5,870 | 6.3 | 15,076 | 12.4 | 1,499 | ▲ 6.6 |
| | 4-6月 | 5,394 | 1.2 | 13,890 | 2.1 | 1,685 | ▲ 5.7 |
| | 7-9月 | 5,709 | 3.5 | 14,503 | 4.9 | 1,482 | ▲ 4.4 |
| | 10-12月 | 5,750 | 0.4 | 15,668 | 4.8 | 1,403 | ▲ 3.6 |
| 平成23年 | 1月 | 5,291 | 18.7 | 12,193 | 29.0 | 1,319 | 1.6 |
| | 2月 | 5,701 | 26.2 | 13,461 | 31.4 | 1,490 | 4.1 |
| | 3月 | 5,836 | 31.2 | 14,289 | 32.7 | 2,099 | 12.4 |
| | 4月 | 5,028 | 16.7 | 13,280 | 29.4 | 1,673 | ▲ 1.8 |
| | 5月 | 5,022 | 24.3 | 12,586 | 29.5 | 1,700 | 8.8 |
| | 6月 | 5,022 | 15.5 | 12,572 | 26.2 | 1,752 | 3.3 |
| | 7月 | 4,795 | 3.9 | 12,188 | 17.7 | 1,605 | ▲ 0.9 |
| | 8月 | 5,601 | 22.1 | 13,089 | 21.1 | 1,516 | 0.1 |
| | 9月 | 5,308 | ▲ 2.4 | 13,437 | 11.6 | 1,597 | ▲ 10.1 |
| | 10月 | 5,619 | 12.9 | 13,682 | 10.7 | 1,756 | 0.2 |
| | 11月 | 5,405 | 15.9 | 13,818 | 13.1 | 1,609 | ▲ 0.4 |
| | 12月 | 4,204 | ▲ 7.5 | 12,728 | 10.3 | 1,295 | ▲ 0.2 |
| 平成24年 | 1月 | 5,312 | 0.4 | 12,774 | 4.8 | 1,341 | 1.7 |
| | 2月 | 5,690 | ▲ 0.2 | 13,234 | ▲ 1.7 | 1,469 | ▲ 1.4 |
| | 3月 | 5,566 | ▲ 4.6 | 14,212 | ▲ 0.5 | 2,005 | ▲ 4.5 |
| | 4月 | 5,460 | 8.6 | 13,896 | 4.6 | 1,831 | 9.4 |
| | 5月 | 5,565 | 10.8 | 13,631 | 8.3 | 1,879 | 10.5 |
| | 6月 | 4,958 | ▲ 1.3 | 13,295 | 5.8 | 1,653 | ▲ 5.7 |
| | 7月 | 5,597 | 16.7 | 13,405 | 10.0 | 1,537 | ▲ 4.2 |
| | 8月 | 5,610 | 0.2 | 13,887 | 6.1 | 1,482 | ▲ 2.2 |
| | 9月 | 5,334 | 0.5 | 14,180 | 5.5 | 1,633 | 2.3 |
| | 10月 | 6,512 | 15.9 | 15,106 | 10.4 | 1,740 | ▲ 0.9 |
| | 11月 | 5,792 | 7.2 | 15,189 | 9.9 | 1,478 | ▲ 8.1 |
| | 12月 | 4,880 | 16.1 | 14,550 | 14.3 | 1,146 | ▲ 11.5 |
| 平成25年 | 1月 | 5,988 | 12.7 | 14,565 | 14.0 | 1,344 | 0.2 |
| | 2月 | 6,108 | 7.3 | 15,137 | 14.4 | 1,313 | ▲ 10.6 |
| | 3月 | 5,514 | ▲ 0.9 | 15,525 | 9.2 | 1,841 | ▲ 8.2 |
| | 4月 | 5,257 | ▲ 3.7 | 14,169 | 2.0 | 1,807 | ▲ 1.3 |
| | 5月 | 5,466 | ▲ 1.8 | 13,604 | ▲ 0.2 | 1,736 | ▲ 7.6 |
| | 6月 | 5,459 | 10.1 | 13,898 | 4.5 | 1,512 | ▲ 8.5 |
| | 7月 | 5,521 | ▲ 1.4 | 14,231 | 6.2 | 1,586 | 3.2 |
| | 8月 | 5,627 | 0.3 | 14,130 | 1.7 | 1,313 | ▲ 11.4 |
| | 9月 | 5,978 | 12.1 | 15,147 | 6.8 | 1,548 | ▲ 5.2 |
| | 10月 | 6,630 | 1.8 | 16,142 | 6.9 | 1,644 | ▲ 5.5 |
| | 11月 | 5,823 | 0.5 | 15,936 | 4.9 | 1,398 | ▲ 5.4 |
| | 12月 | 4,798 | ▲ 1.7 | 14,927 | 2.6 | 1,167 | 1.8 |

「職業安定統計年報」和歌山労働局職業安定部

注: 求人数は、パートタイム労働者を含む。年値・四半期値は平均値

●求人・求職(続き)

(単位:人、件、%)

| | | 和歌山県 | | | | | |
|-------|--------|----------|-----------|--------|-----------|-------|-----------|
| | | 新規求職申込件数 | | 有効求職者数 | | 就職件数 | |
| | | 月平均人数 | 前年(同月・期)比 | 月平均人数 | 前年(同月・期)比 | 月平均件数 | 前年(同月・期)比 |
| 平成21年 | | 4,502 | 12.9 | 18,145 | 16.8 | 1,562 | 8.4 |
| 平成22年 | | 4,686 | 4.1 | 18,697 | 3.0 | 1,670 | 6.9 |
| 平成23年 | | 4,626 | ▲ 1.3 | 18,465 | ▲ 1.2 | 1,699 | 1.7 |
| 平成24年 | | 4,294 | ▲ 7.2 | 17,274 | ▲ 6.5 | 1,672 | ▲ 1.6 |
| 平成25年 | | 4,099 | ▲ 4.5 | 16,646 | ▲ 3.6 | 1,611 | ▲ 3.7 |
| 平成23年 | 1-3月 | 5,129 | 5.3 | 18,305 | 1.9 | 1,730 | 7.9 |
| | 4-6月 | 5,212 | ▲ 0.9 | 19,983 | ▲ 0.7 | 1,803 | 3.1 |
| | 7-9月 | 4,474 | ▲ 3.0 | 18,662 | ▲ 1.5 | 1,649 | ▲ 3.5 |
| | 10-12月 | 3,687 | ▲ 7.7 | 16,912 | ▲ 4.7 | 1,613 | ▲ 0.5 |
| 平成24年 | 1-3月 | 4,627 | ▲ 9.8 | 16,738 | ▲ 8.6 | 1,669 | ▲ 3.5 |
| | 4-6月 | 4,926 | ▲ 5.5 | 18,814 | ▲ 5.9 | 1,841 | 2.1 |
| | 7-9月 | 4,012 | ▲ 10.3 | 17,377 | ▲ 6.9 | 1,614 | ▲ 2.1 |
| | 10-12月 | 3,610 | ▲ 2.1 | 16,168 | ▲ 4.4 | 1,563 | ▲ 3.1 |
| 平成25年 | 1-3月 | 4,435 | ▲ 4.2 | 16,367 | ▲ 2.2 | 1,607 | ▲ 3.7 |
| | 4-6月 | 4,652 | ▲ 5.5 | 18,080 | ▲ 3.9 | 1,779 | ▲ 3.4 |
| | 7-9月 | 3,954 | ▲ 1.4 | 16,773 | ▲ 3.5 | 1,583 | ▲ 2.0 |
| | 10-12月 | 3,353 | ▲ 7.1 | 15,363 | ▲ 5.0 | 1,474 | ▲ 5.7 |
| 平成23年 | 1月 | 5,119 | 4.9 | 17,428 | 2.7 | 1,432 | 6.8 |
| | 2月 | 4,716 | 6.7 | 17,944 | 1.4 | 1,555 | 3.7 |
| | 3月 | 5,553 | 4.5 | 19,542 | 1.6 | 2,202 | 11.8 |
| | 4月 | 6,133 | ▲ 1.4 | 20,219 | ▲ 0.5 | 1,758 | ▲ 3.4 |
| | 5月 | 4,982 | 0.9 | 20,182 | ▲ 0.4 | 1,792 | 9.8 |
| | 6月 | 4,520 | ▲ 2.3 | 19,549 | ▲ 1.3 | 1,860 | 3.7 |
| | 7月 | 4,223 | ▲ 4.2 | 18,689 | ▲ 2.1 | 1,666 | ▲ 0.8 |
| | 8月 | 4,777 | 6.3 | 18,669 | ▲ 0.7 | 1,617 | 1.9 |
| | 9月 | 4,423 | ▲ 10.5 | 18,628 | ▲ 1.9 | 1,664 | ▲ 10.5 |
| | 10月 | 4,384 | ▲ 3.3 | 18,361 | ▲ 1.8 | 1,812 | ▲ 0.5 |
| | 11月 | 3,795 | ▲ 9.5 | 16,989 | ▲ 5.9 | 1,698 | 1.4 |
| | 12月 | 2,883 | ▲ 11.6 | 15,385 | ▲ 6.5 | 1,329 | ▲ 2.8 |
| 平成24年 | 1月 | 4,439 | ▲ 13.3 | 15,878 | ▲ 8.9 | 1,394 | ▲ 2.7 |
| | 2月 | 4,504 | ▲ 4.5 | 16,499 | ▲ 8.1 | 1,550 | ▲ 0.3 |
| | 3月 | 4,939 | ▲ 11.1 | 17,836 | ▲ 8.7 | 2,063 | ▲ 6.3 |
| | 4月 | 5,804 | ▲ 5.4 | 18,955 | ▲ 6.3 | 1,856 | 5.6 |
| | 5月 | 4,838 | ▲ 2.9 | 19,196 | ▲ 4.9 | 1,954 | 9.0 |
| | 6月 | 4,135 | ▲ 8.5 | 18,291 | ▲ 6.4 | 1,712 | ▲ 8.0 |
| | 7月 | 3,938 | ▲ 6.7 | 17,756 | ▲ 5.0 | 1,610 | ▲ 3.4 |
| | 8月 | 3,951 | ▲ 17.3 | 17,206 | ▲ 7.8 | 1,558 | ▲ 3.6 |
| | 9月 | 4,146 | ▲ 6.3 | 17,170 | ▲ 7.8 | 1,675 | 0.7 |
| | 10月 | 4,438 | 1.2 | 17,332 | ▲ 5.6 | 1,836 | 1.3 |
| | 11月 | 3,564 | ▲ 6.1 | 16,357 | ▲ 3.7 | 1,643 | ▲ 3.2 |
| | 12月 | 2,828 | ▲ 1.9 | 14,814 | ▲ 3.7 | 1,210 | ▲ 9.0 |
| 平成25年 | 1月 | 4,625 | 4.2 | 15,609 | ▲ 1.7 | 1,436 | 3.0 |
| | 2月 | 4,202 | ▲ 6.7 | 16,197 | ▲ 1.8 | 1,453 | ▲ 6.3 |
| | 3月 | 4,477 | ▲ 9.4 | 17,296 | ▲ 3.0 | 1,932 | ▲ 6.3 |
| | 4月 | 5,752 | ▲ 0.9 | 18,502 | ▲ 2.4 | 1,890 | 1.8 |
| | 5月 | 4,422 | ▲ 8.6 | 18,336 | ▲ 4.5 | 1,855 | ▲ 5.1 |
| | 6月 | 3,783 | ▲ 8.5 | 17,401 | ▲ 4.9 | 1,591 | ▲ 7.1 |
| | 7月 | 4,161 | 5.7 | 17,219 | ▲ 3.0 | 1,709 | 6.1 |
| | 8月 | 3,691 | ▲ 6.6 | 16,559 | ▲ 3.8 | 1,384 | ▲ 11.2 |
| | 9月 | 4,010 | ▲ 3.3 | 16,542 | ▲ 3.7 | 1,655 | ▲ 1.2 |
| | 10月 | 4,131 | ▲ 6.9 | 16,438 | ▲ 5.2 | 1,738 | ▲ 5.3 |
| | 11月 | 3,302 | ▲ 7.4 | 15,491 | ▲ 5.3 | 1,473 | ▲ 10.3 |
| | 12月 | 2,627 | ▲ 7.1 | 14,161 | ▲ 4.4 | 1,212 | 0.2 |

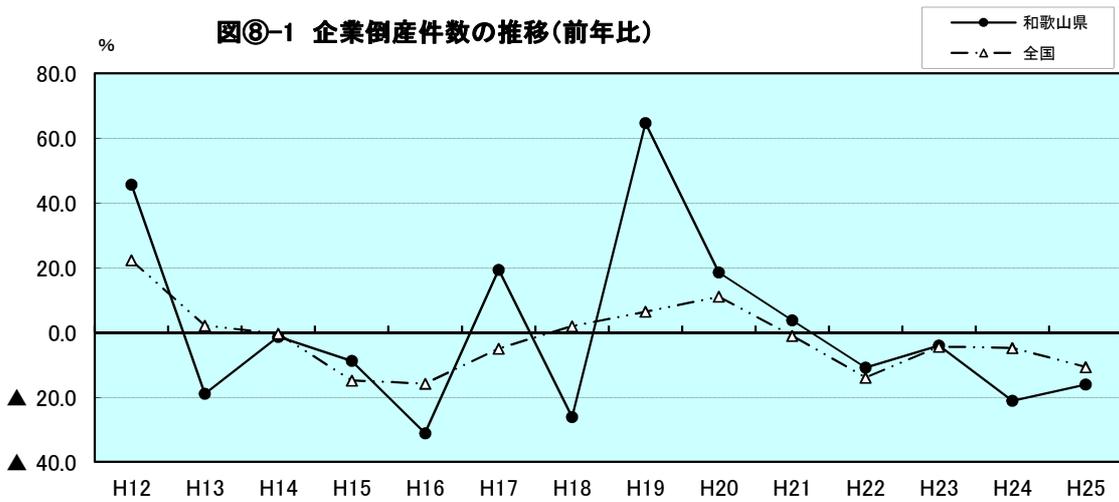
「職業安定統計年報」和歌山労働局職業安定部
注: 求人数は、パートタイム労働者を含む。年値・四半期値は平均値

⑧ 企業活動

持ち直しの動きがみられる(↑)

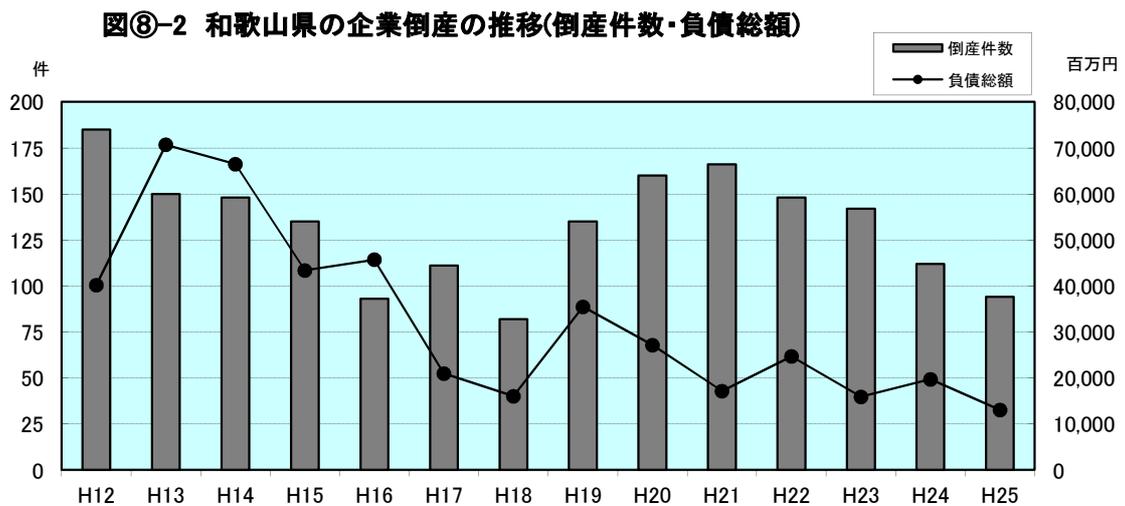
●企業倒産

本県の倒産件数の推移を前年比で見ると、平成25年は、平成22年以降4年連続して減少となり、全国でも平成21年以降5年連続して減少となった。(図⑧-1)



出典：(株)東京商工リサーチ

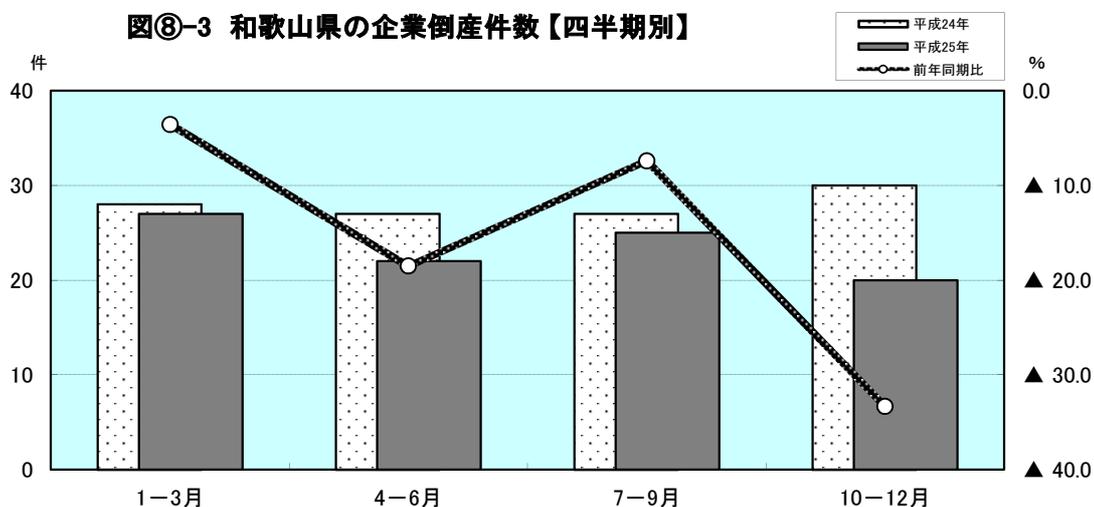
また、本県の企業倒産件数と負債総額の推移をみると、倒産件数は4年連続して減少し、負債総額も2年ぶりに減少した。(図⑧-2)



出典：(株)東京商工リサーチ

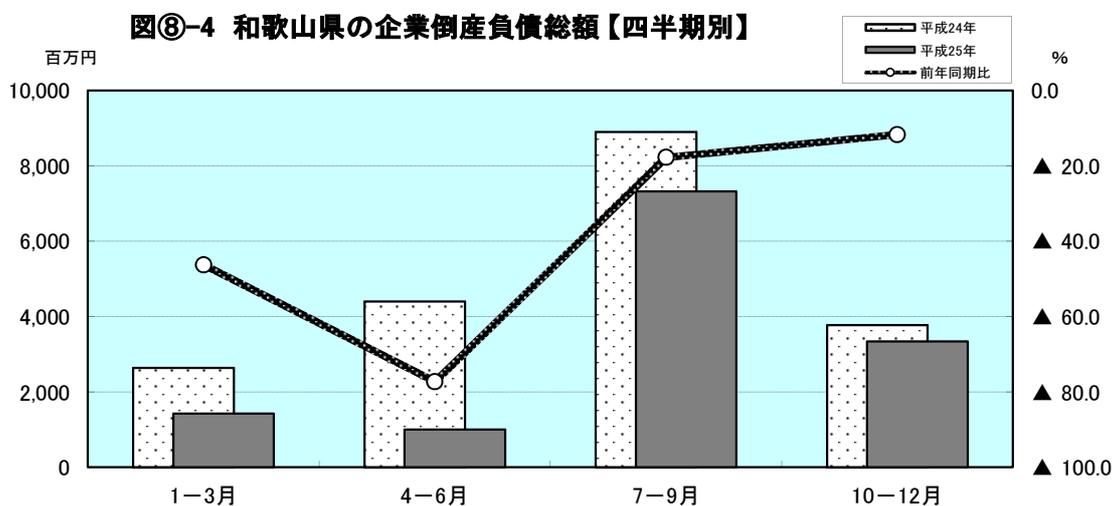
第2部 主要経済指標からみた和歌山県経済

次に、企業倒産件数を四半期別に平成24年と比較すると、全ての四半期で減少となった。(図⑧-3)



出典: (株)東京商工リサーチ

さらに、負債総額を四半期別に平成24年と比較すると、全ての四半期で減額となった。7-9月期の負債総額が他に比べて高額なのは、昨年に続き今年も10億円を超える倒産が複数あったためである。(図⑧-4)



出典: (株)東京商工リサーチ

◎**倒産**とは、法令上は定義のない言葉であるが、一般的に企業の資金繰りが悪化し、経営が続行できなくなった状態を指す。振り出した手形が不渡りとなり、銀行取引停止処分を受けたり、裁判所に会社更生を申請したりするのがその典型である。

(資料元となる株式会社東京商工リサーチのデータでは、負債総額が1,000万円

●企業倒産(件数)

(単位:件数、%)

| | | 倒産件数 | | | | | |
|-------|--------|------|-----------|-------|-----------|--------|-----------|
| | | 和歌山県 | | 近畿 | | 全国 | |
| | | 件数 | 前年(同月・期)比 | 件数 | 前年(同月・期)比 | 件数 | 前年(同月・期)比 |
| 平成21年 | | 166 | 3.8 | 4,186 | 6.6 | 15,480 | ▲ 1.1 |
| 平成22年 | | 148 | ▲ 10.8 | 3,706 | ▲ 11.5 | 13,321 | ▲ 13.9 |
| 平成23年 | | 142 | ▲ 4.1 | 3,456 | ▲ 6.7 | 12,734 | ▲ 4.4 |
| 平成24年 | | 112 | ▲ 21.1 | 3,075 | ▲ 11.0 | 12,124 | ▲ 4.8 |
| 平成25年 | | 94 | ▲ 16.1 | 2,694 | ▲ 12.4 | 10,827 | ▲ 10.7 |
| 平成23年 | 1-3月 | 41 | 28.1 | 857 | ▲ 9.3 | 3,211 | ▲ 7.4 |
| | 4-6月 | 45 | 4.7 | 902 | ▲ 3.6 | 3,312 | ▲ 0.3 |
| | 7-9月 | 26 | ▲ 18.8 | 839 | ▲ 2.6 | 3,108 | ▲ 3.8 |
| | 10-12月 | 30 | ▲ 26.8 | 858 | ▲ 11.0 | 3,103 | ▲ 5.9 |
| 平成24年 | 1-3月 | 28 | ▲ 31.7 | 788 | ▲ 8.1 | 3,184 | ▲ 0.8 |
| | 4-6月 | 27 | ▲ 40.0 | 799 | ▲ 11.4 | 3,127 | ▲ 5.6 |
| | 7-9月 | 27 | 3.8 | 728 | ▲ 13.2 | 2,924 | ▲ 5.9 |
| | 10-12月 | 30 | 0.0 | 760 | ▲ 11.4 | 2,889 | ▲ 6.9 |
| 平成25年 | 1-3月 | 27 | ▲ 3.6 | 679 | ▲ 13.8 | 2,751 | ▲ 13.6 |
| | 4-6月 | 22 | ▲ 18.5 | 715 | ▲ 10.5 | 2,841 | ▲ 9.1 |
| | 7-9月 | 25 | ▲ 7.4 | 649 | ▲ 10.9 | 2,664 | ▲ 8.9 |
| | 10-12月 | 20 | ▲ 33.3 | 651 | ▲ 14.3 | 2,571 | ▲ 11.0 |
| 平成23年 | 1月 | 8 | ▲ 20.0 | 280 | ▲ 0.7 | 1,041 | ▲ 2.1 |
| | 2月 | 11 | 22.2 | 269 | ▲ 10.3 | 987 | ▲ 9.4 |
| | 3月 | 22 | 69.2 | 308 | ▲ 15.2 | 1,183 | ▲ 10.0 |
| | 4月 | 14 | 7.7 | 297 | ▲ 10.8 | 1,076 | ▲ 6.8 |
| | 5月 | 16 | 6.7 | 279 | 3.0 | 1,071 | 4.9 |
| | 6月 | 15 | 0.0 | 326 | ▲ 1.8 | 1,165 | 1.5 |
| | 7月 | 5 | ▲ 54.5 | 285 | 4.8 | 1,081 | 1.4 |
| | 8月 | 11 | 10.0 | 275 | ▲ 3.8 | 1,026 | ▲ 3.6 |
| | 9月 | 10 | ▲ 9.1 | 279 | ▲ 7.9 | 1,001 | ▲ 9.2 |
| | 10月 | 8 | ▲ 38.5 | 288 | ▲ 17.9 | 976 | ▲ 14.1 |
| | 11月 | 13 | ▲ 13.3 | 294 | ▲ 2.6 | 1,095 | 3.2 |
| | 12月 | 9 | ▲ 30.8 | 276 | ▲ 11.3 | 1,032 | ▲ 6.4 |
| 平成24年 | 1月 | 6 | ▲ 25.0 | 244 | ▲ 12.9 | 985 | ▲ 5.4 |
| | 2月 | 8 | ▲ 27.3 | 261 | ▲ 3.0 | 1,038 | 5.2 |
| | 3月 | 14 | ▲ 36.4 | 283 | ▲ 8.1 | 1,161 | ▲ 1.9 |
| | 4月 | 5 | ▲ 64.3 | 248 | ▲ 16.5 | 1,004 | ▲ 6.7 |
| | 5月 | 11 | ▲ 31.3 | 284 | 1.8 | 1,148 | 7.2 |
| | 6月 | 11 | ▲ 26.7 | 267 | ▲ 18.1 | 975 | ▲ 16.3 |
| | 7月 | 8 | 60.0 | 288 | 1.1 | 1,026 | ▲ 5.1 |
| | 8月 | 9 | ▲ 18.2 | 241 | ▲ 12.4 | 967 | ▲ 5.8 |
| | 9月 | 10 | 0.0 | 199 | ▲ 28.7 | 931 | ▲ 7.0 |
| | 10月 | 10 | 25.0 | 252 | ▲ 12.5 | 1,035 | 6.0 |
| | 11月 | 12 | ▲ 7.7 | 267 | ▲ 9.2 | 964 | ▲ 12.0 |
| | 12月 | 8 | ▲ 11.1 | 241 | ▲ 12.7 | 890 | ▲ 13.8 |
| 平成25年 | 1月 | 8 | 33.3 | 222 | ▲ 9.0 | 906 | ▲ 8.0 |
| | 2月 | 10 | 25.0 | 224 | ▲ 14.2 | 916 | ▲ 11.8 |
| | 3月 | 9 | ▲ 35.7 | 233 | ▲ 17.7 | 929 | ▲ 20.0 |
| | 4月 | 5 | 0.0 | 235 | ▲ 5.2 | 899 | ▲ 10.5 |
| | 5月 | 8 | ▲ 27.3 | 264 | ▲ 7.0 | 1,045 | ▲ 9.0 |
| | 6月 | 9 | ▲ 18.2 | 216 | ▲ 19.1 | 897 | ▲ 8.0 |
| | 7月 | 11 | 37.5 | 219 | ▲ 24.0 | 1,025 | ▲ 0.1 |
| | 8月 | 6 | ▲ 33.3 | 199 | ▲ 17.4 | 819 | ▲ 15.3 |
| | 9月 | 8 | ▲ 20.0 | 231 | 16.1 | 820 | ▲ 11.9 |
| | 10月 | 8 | ▲ 20.0 | 239 | ▲ 5.2 | 959 | ▲ 7.3 |
| | 11月 | 5 | ▲ 58.3 | 214 | ▲ 19.9 | 862 | ▲ 10.6 |
| | 12月 | 7 | ▲ 12.5 | 198 | ▲ 17.8 | 750 | ▲ 15.7 |

株式会社 東京商工リサーチ
注:負債総額1,000万円以上

第2部 主要経済指標からみた和歌山県経済

●企業倒産(負債総額)

(単位:百万円、%)

| | | 負債総額 | | | | | |
|-------|--------|--------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| | | 和歌山県 | | 近畿 | | 全国 | |
| | | 総額 | 前年(同月・期)比 | 総額 | 前年(同月・期)比 | 総額 | 前年(同月・期)比 |
| 平成21年 | | 17,172 | ▲ 36.8 | 1,238,860 | 10.9 | 6,930,074 | ▲ 43.6 |
| 平成22年 | | 24,684 | 43.7 | 923,776 | ▲ 25.4 | 7,160,773 | 3.3 |
| 平成23年 | | 15,907 | ▲ 35.6 | 492,215 | ▲ 46.7 | 3,592,920 | ▲ 49.8 |
| 平成24年 | | 19,717 | 24.0 | 839,974 | 70.7 | 3,834,563 | 6.7 |
| 平成25年 | | 13,078 | ▲ 33.7 | 397,825 | ▲ 52.6 | 2,777,251 | ▲ 27.6 |
| 平成23年 | 1-3月 | 1,454 | ▲ 67.0 | 144,521 | ▲ 28.5 | 916,829 | ▲ 72.7 |
| | 4-6月 | 4,403 | ▲ 70.4 | 102,683 | ▲ 38.3 | 748,594 | ▲ 15.4 |
| | 7-9月 | 8,713 | 264.0 | 112,063 | ▲ 18.4 | 1,227,269 | ▲ 34.8 |
| | 10-12月 | 1,337 | ▲ 55.4 | 132,948 | ▲ 68.2 | 700,228 | ▲ 32.7 |
| 平成24年 | 1-3月 | 2,641 | 81.6 | 101,927 | ▲ 29.5 | 1,314,549 | 43.4 |
| | 4-6月 | 4,398 | ▲ 0.1 | 156,460 | 52.4 | 693,118 | ▲ 7.4 |
| | 7-9月 | 8,899 | 2.1 | 466,797 | 316.5 | 1,115,360 | ▲ 9.1 |
| | 10-12月 | 3,779 | 182.6 | 114,790 | ▲ 13.7 | 711,536 | 1.6 |
| 平成25年 | 1-3月 | 1,420 | ▲ 46.2 | 70,602 | ▲ 30.7 | 550,600 | ▲ 58.1 |
| | 4-6月 | 1,000 | ▲ 77.3 | 104,542 | ▲ 33.2 | 1,243,021 | 79.3 |
| | 7-9月 | 7,320 | ▲ 17.7 | 132,134 | ▲ 71.7 | 556,024 | ▲ 50.1 |
| | 10-12月 | 3,338 | ▲ 11.7 | 90,547 | ▲ 21.1 | 427,606 | ▲ 39.9 |
| 平成23年 | 1月 | 267 | ▲ 91.7 | 54,630 | ▲ 18.9 | 236,397 | ▲ 90.9 |
| | 2月 | 416 | ▲ 20.8 | 52,649 | 71.8 | 410,188 | ▲ 6.5 |
| | 3月 | 771 | 14.2 | 37,242 | ▲ 64.2 | 270,244 | ▲ 13.1 |
| | 4月 | 3,680 | ▲ 64.9 | 50,698 | ▲ 12.8 | 279,567 | 3.5 |
| | 5月 | 301 | ▲ 72.3 | 26,145 | ▲ 51.8 | 252,674 | ▲ 23.7 |
| | 6月 | 422 | ▲ 87.3 | 25,840 | ▲ 52.2 | 216,353 | ▲ 23.8 |
| | 7月 | 343 | 11.4 | 28,313 | ▲ 28.0 | 220,912 | ▲ 19.8 |
| | 8月 | 6,854 | 343.9 | 35,359 | ▲ 30.8 | 794,045 | 320.3 |
| | 9月 | 1,516 | 179.7 | 48,391 | 3.2 | 212,312 | ▲ 85.0 |
| | 10月 | 407 | ▲ 48.7 | 29,928 | ▲ 89.3 | 155,883 | ▲ 70.0 |
| | 11月 | 735 | ▲ 63.3 | 40,145 | ▲ 56.9 | 187,675 | ▲ 31.5 |
| | 12月 | 195 | ▲ 4.9 | 62,875 | 37.4 | 356,670 | 44.7 |
| 平成24年 | 1月 | 1,080 | 304.5 | 37,471 | ▲ 31.4 | 349,355 | 47.8 |
| | 2月 | 581 | 39.7 | 34,987 | ▲ 33.5 | 631,263 | 53.9 |
| | 3月 | 980 | 27.1 | 29,469 | ▲ 20.9 | 333,931 | 23.6 |
| | 4月 | 95 | ▲ 97.4 | 40,026 | ▲ 21.1 | 228,959 | ▲ 18.1 |
| | 5月 | 3,373 | 1020.6 | 88,043 | 236.7 | 282,558 | 11.8 |
| | 6月 | 930 | 120.4 | 28,391 | 9.9 | 181,601 | ▲ 16.1 |
| | 7月 | 1,120 | 226.5 | 416,627 | 1371.5 | 724,100 | 227.8 |
| | 8月 | 2,209 | ▲ 67.8 | 23,378 | ▲ 33.9 | 216,634 | ▲ 72.7 |
| | 9月 | 5,570 | 267.4 | 26,792 | ▲ 44.6 | 174,626 | ▲ 17.8 |
| | 10月 | 389 | ▲ 4.4 | 35,112 | 17.3 | 239,354 | 53.5 |
| | 11月 | 460 | ▲ 37.4 | 42,948 | 7.0 | 263,836 | 40.6 |
| | 12月 | 2,930 | 1402.6 | 36,730 | ▲ 41.6 | 208,346 | ▲ 41.6 |
| 平成25年 | 1月 | 120 | ▲ 88.9 | 28,199 | ▲ 24.7 | 219,519 | ▲ 37.2 |
| | 2月 | 690 | 18.8 | 21,436 | ▲ 38.7 | 171,971 | ▲ 72.8 |
| | 3月 | 610 | ▲ 37.8 | 20,967 | ▲ 28.9 | 159,110 | ▲ 52.4 |
| | 4月 | 230 | 142.1 | 33,035 | ▲ 17.5 | 685,987 | 199.6 |
| | 5月 | 423 | ▲ 87.5 | 21,391 | ▲ 75.7 | 173,330 | ▲ 38.7 |
| | 6月 | 347 | ▲ 62.7 | 50,116 | 76.5 | 383,704 | 111.3 |
| | 7月 | 3,596 | 221.1 | 28,254 | ▲ 93.2 | 199,563 | ▲ 72.4 |
| | 8月 | 2,015 | ▲ 8.8 | 54,168 | 131.7 | 166,259 | ▲ 23.3 |
| | 9月 | 1,709 | ▲ 69.3 | 49,712 | 85.5 | 190,202 | 8.9 |
| | 10月 | 152 | ▲ 60.9 | 29,561 | ▲ 15.8 | 155,345 | ▲ 35.1 |
| | 11月 | 850 | 84.8 | 32,055 | ▲ 25.4 | 137,884 | ▲ 47.7 |
| | 12月 | 2,336 | ▲ 20.3 | 28,931 | ▲ 21.2 | 134,377 | ▲ 35.5 |

株式会社 東京商工リサーチ
注:負債総額1,000万円以上

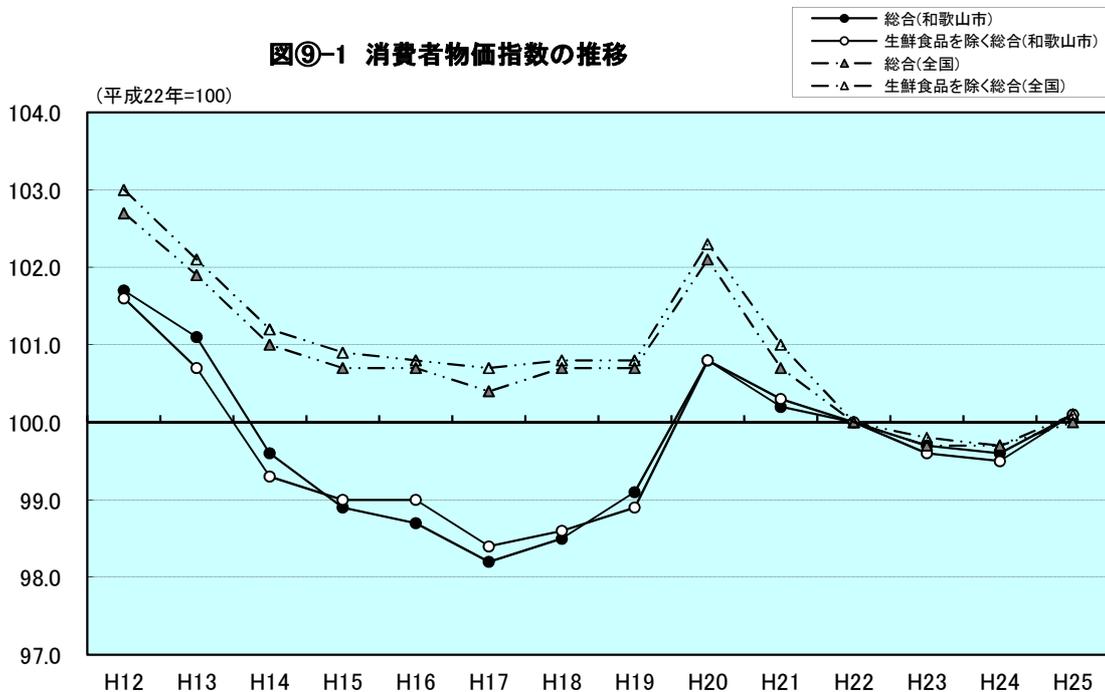
⑨物 価

一部に持ち直しの動きがみられる (→)

●消費者物価指数

消費者物価指数(平成22年=100)の推移をみると、平成20年以降下落傾向にあったが、平成25年は5年ぶりに上昇に転じた。

平成25年における和歌山市の消費者物価指数が上昇した主な要因は、光熱・水道(の価格上昇によるもの等)、交通・通信 等であった。(図⑨-1)



出典:総務省統計局「消費者物価指数」

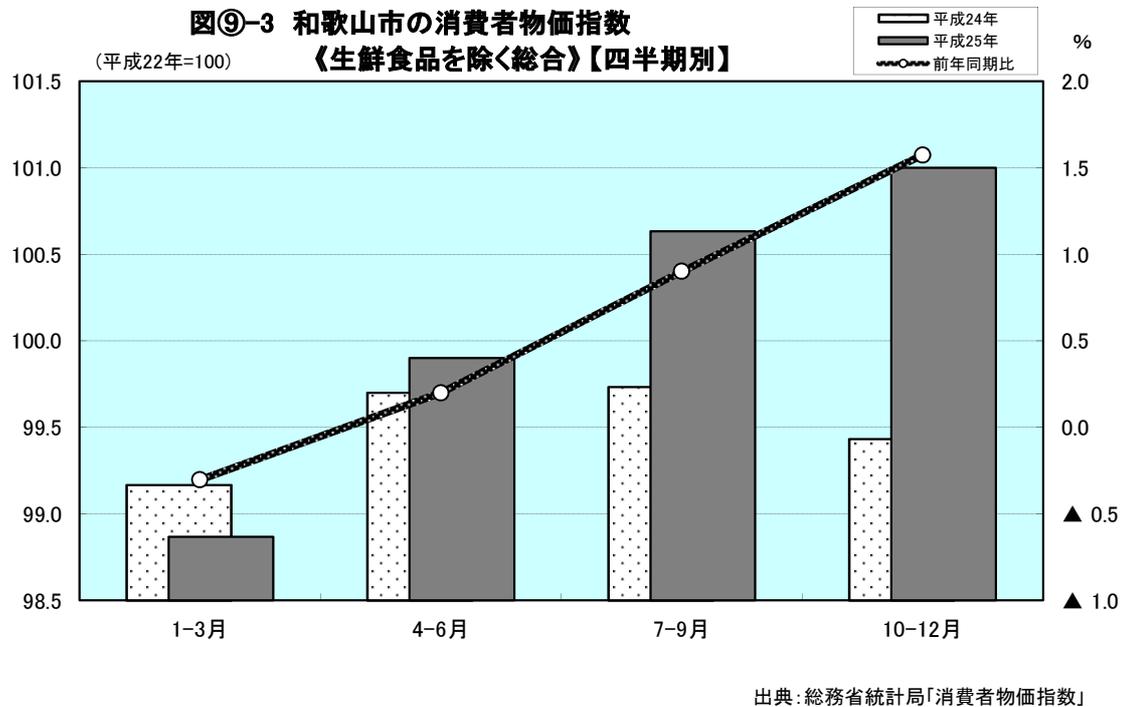
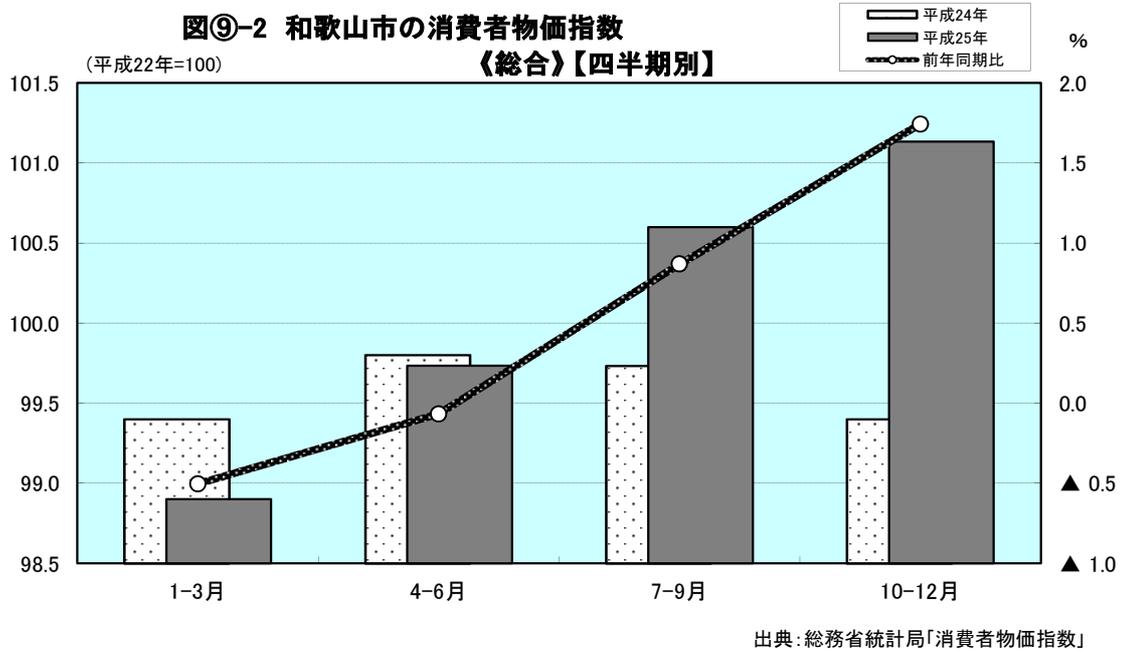
◎**消費者物価指数**とは、物価統計の中でも消費者が日常的に購入する品目の価格がどのように変化しているかを、基準年=100として指数化したものである。

物価全体の動きを示す総合指数だけでなく、個々の財・サービスの価格変動についても網羅しており、景気の現況判断にも用いられ、しばしば「経済の体温計」などとも呼ばれている。

一般的に、価格変動の激しい生鮮食品を除いた「生鮮食品を除く総合指数」を用いることが多い。

第2部 主要経済指標からみた和歌山県経済

次に、消費者物価指数を《総合》と《生鮮食品を除く総合》に分けて四半期別に平成24年と比較すると、総合では7-9月期及び10-12月期で上昇となり(図⑨-2)、生鮮食品を除く総合では、1-3月期を除く全ての四半期で上昇となった。(図⑨-3)



●消費者物価指数

(平成22年=100、単位：%)

| | | 和 歌 山 市 | | | | 全 国 | |
|-------|--------|---------|-----------|-----------------------|-----------|---------|-----------------------|
| | | 総 合 指 数 | | 生 鮮 食 品 を 除 く 総 合 指 数 | | 総 合 指 数 | 生 鮮 食 品 を 除 く 総 合 指 数 |
| | | 指 数 | 前年(同月・期)比 | 指 数 | 前年(同月・期)比 | | |
| 平成21年 | | 100.2 | ▲ 0.6 | 100.3 | ▲ 0.5 | 100.7 | 101.0 |
| 平成22年 | | 100.0 | ▲ 0.2 | 100.0 | ▲ 0.3 | 100.0 | 100.0 |
| 平成23年 | | 99.7 | ▲ 0.4 | 99.6 | ▲ 0.4 | 99.7 | 99.8 |
| 平成24年 | | 99.6 | ▲ 0.1 | 99.5 | ▲ 0.4 | 99.7 | 99.7 |
| 平成25年 | | 100.1 | 0.5 | 100.1 | 0.6 | 100.0 | 100.1 |
| 平成23年 | 1-3月 | 99.4 | ▲ 0.9 | 99.3 | ▲ 1.1 | 99.6 | 99.5 |
| | 4-6月 | 99.8 | ▲ 0.2 | 100.0 | ▲ 0.1 | 99.8 | 100.0 |
| | 7-9月 | 99.7 | ▲ 0.2 | 99.8 | ▲ 0.1 | 99.8 | 99.9 |
| | 10-12月 | 99.7 | ▲ 0.2 | 99.5 | ▲ 0.3 | 99.6 | 99.7 |
| 平成24年 | 1-3月 | 99.4 | 0.0 | 99.2 | ▲ 0.1 | 99.9 | 99.6 |
| | 4-6月 | 99.8 | ▲ 0.0 | 99.7 | ▲ 0.3 | 100.0 | 99.9 |
| | 7-9月 | 99.7 | 0.1 | 99.7 | ▲ 0.1 | 99.4 | 99.6 |
| | 10-12月 | 99.4 | ▲ 0.3 | 99.4 | ▲ 0.1 | 99.4 | 99.6 |
| 平成25年 | 1-3月 | 98.9 | ▲ 0.5 | 98.9 | ▲ 0.3 | 99.3 | 99.7 |
| | 4-6月 | 99.7 | ▲ 0.1 | 99.9 | 0.2 | 99.8 | 99.7 |
| | 7-9月 | 100.6 | 0.9 | 100.6 | 0.9 | 100.3 | 99.3 |
| | 10-12月 | 101.1 | 1.7 | 101.0 | 1.6 | 100.8 | 99.5 |
| 平成23年 | 1月 | 99.3 | ▲ 0.8 | 99.1 | ▲ 1.1 | 99.5 | 99.4 |
| | 2月 | 99.1 | ▲ 1.1 | 99.0 | ▲ 1.3 | 99.5 | 99.4 |
| | 3月 | 99.7 | ▲ 0.7 | 99.7 | ▲ 0.8 | 99.8 | 99.7 |
| | 4月 | 100.1 | 0.0 | 100.1 | 0.0 | 99.9 | 100.0 |
| | 5月 | 99.9 | 0.0 | 100.1 | 0.2 | 99.9 | 100.1 |
| | 6月 | 99.5 | ▲ 0.6 | 99.7 | ▲ 0.4 | 99.7 | 99.8 |
| | 7月 | 99.5 | ▲ 0.5 | 99.7 | ▲ 0.4 | 99.7 | 99.8 |
| | 8月 | 99.7 | ▲ 0.3 | 99.9 | ▲ 0.1 | 99.9 | 99.9 |
| | 9月 | 99.8 | 0.3 | 99.8 | 0.3 | 99.9 | 99.9 |
| | 10月 | 99.9 | ▲ 0.2 | 99.7 | ▲ 0.3 | 100.0 | 99.8 |
| | 11月 | 99.6 | ▲ 0.1 | 99.4 | ▲ 0.1 | 99.4 | 99.6 |
| | 12月 | 99.7 | ▲ 0.3 | 99.4 | ▲ 0.5 | 99.4 | 99.6 |
| 平成24年 | 1月 | 99.2 | ▲ 0.1 | 99.0 | ▲ 0.1 | 99.6 | 99.3 |
| | 2月 | 99.3 | 0.2 | 99.0 | 0.0 | 99.8 | 99.5 |
| | 3月 | 99.7 | 0.0 | 99.5 | ▲ 0.2 | 100.3 | 100.0 |
| | 4月 | 99.9 | ▲ 0.2 | 99.8 | ▲ 0.3 | 100.4 | 100.2 |
| | 5月 | 99.9 | 0.0 | 99.8 | ▲ 0.3 | 100.1 | 100.0 |
| | 6月 | 99.6 | 0.1 | 99.5 | ▲ 0.2 | 99.6 | 99.6 |
| | 7月 | 99.3 | ▲ 0.2 | 99.3 | ▲ 0.4 | 99.3 | 99.5 |
| | 8月 | 100.0 | 0.3 | 99.9 | 0.0 | 99.4 | 99.6 |
| | 9月 | 99.9 | 0.1 | 100.0 | 0.2 | 99.6 | 99.8 |
| | 10月 | 99.9 | 0.0 | 99.8 | 0.1 | 99.6 | 99.8 |
| | 11月 | 99.4 | ▲ 0.2 | 99.5 | 0.1 | 99.2 | 99.5 |
| | 12月 | 98.9 | ▲ 0.8 | 99.0 | ▲ 0.4 | 99.3 | 99.4 |
| 平成25年 | 1月 | 98.9 | ▲ 0.3 | 98.7 | ▲ 0.3 | 99.3 | 99.1 |
| | 2月 | 98.9 | ▲ 0.4 | 98.9 | ▲ 0.1 | 99.2 | 99.2 |
| | 3月 | 98.9 | ▲ 0.8 | 99.0 | ▲ 0.5 | 99.4 | 99.5 |
| | 4月 | 99.1 | ▲ 0.8 | 99.3 | ▲ 0.5 | 99.7 | 99.8 |
| | 5月 | 100.0 | 0.1 | 100.2 | 0.4 | 99.8 | 100.0 |
| | 6月 | 100.1 | 0.5 | 100.2 | 0.7 | 99.8 | 100.0 |
| | 7月 | 100.1 | 0.8 | 100.2 | 0.9 | 100.0 | 100.1 |
| | 8月 | 100.6 | 0.6 | 100.7 | 0.8 | 100.3 | 100.4 |
| | 9月 | 101.1 | 1.2 | 101.0 | 1.0 | 100.6 | 100.5 |
| | 10月 | 101.4 | 1.5 | 101.2 | 1.4 | 100.7 | 100.7 |
| | 11月 | 101.0 | 1.6 | 100.8 | 1.3 | 100.8 | 100.7 |
| | 12月 | 101.0 | 2.1 | 101.0 | 2.0 | 100.9 | 100.6 |

「和歌山県消費者物価指数年報」県調査統計課
「消費者物価指数」総務省統計局

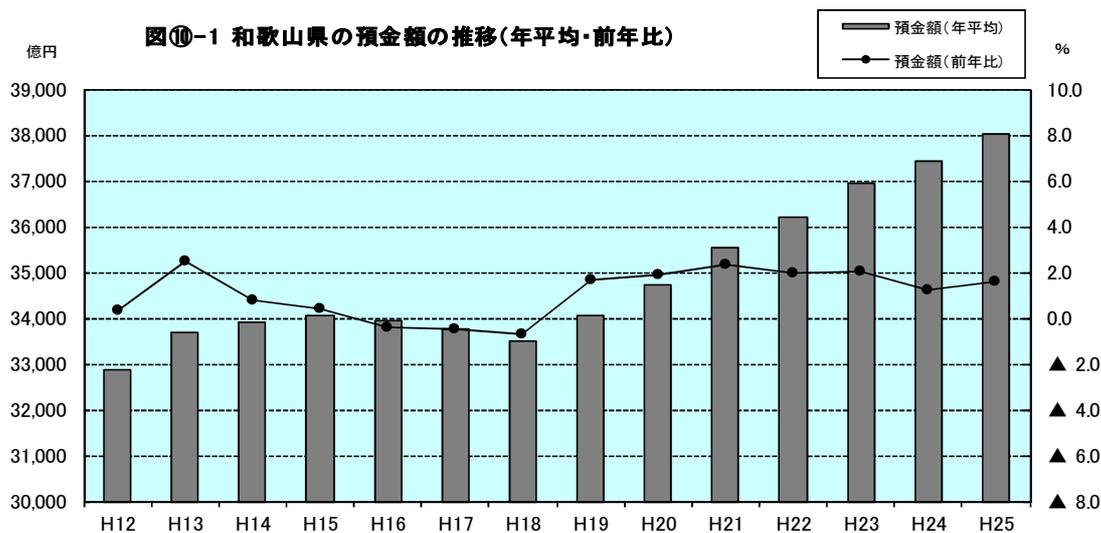
⑩その他

●金融

持ち直しの動きがみられる(↑)

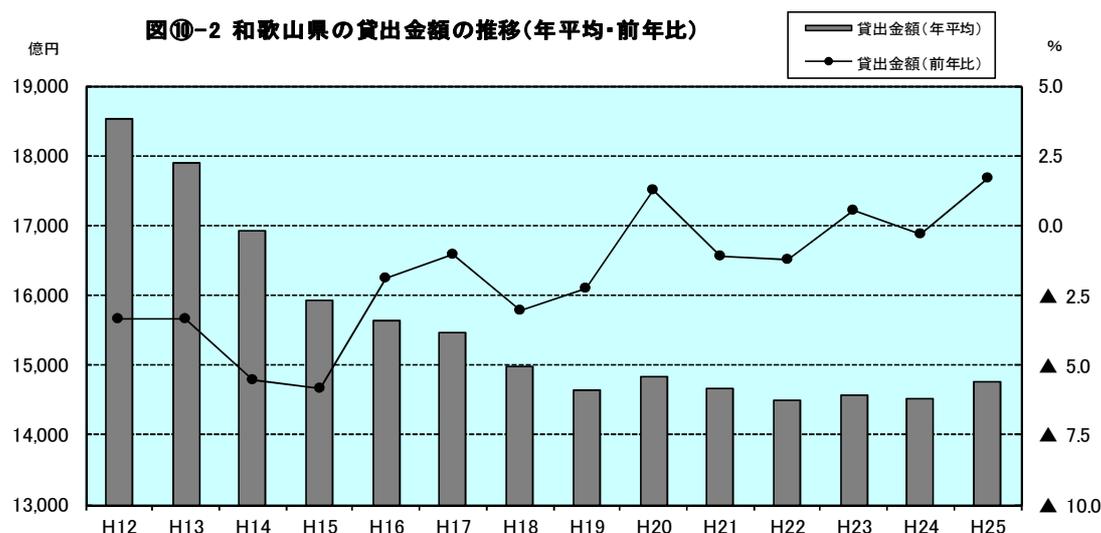
金融では、銀行勘定預金額と貸出金額を指標として扱う。

まず、本県の預金額の推移をみると、平成25年は、平成19年以降、7年連続して増加した。(図⑩-1)



出典: ㈱紀陽銀行「経済季報」

一方、本県の貸出金額の推移をみると、平成18年まで減少が続き、その後増減を繰り返しており、平成25年は昨年から転じて増加となった。(図⑩-2)



出典: ㈱紀陽銀行「経済季報」

●金融

(単位:億円、%)

| | | 和歌山県 | | | |
|-------|--------|--------|-----------|--------|-----------|
| | | 預金額 | | 貸出金額 | |
| | | 実数(※注) | 前年(同月・期)比 | 実数(※注) | 前年(同月・期)比 |
| 平成21年 | | 35,519 | 2.3 | 14,665 | ▲ 1.1 |
| 平成22年 | | 36,215 | 2.0 | 14,486 | ▲ 1.2 |
| 平成23年 | | 36,948 | 2.0 | 14,566 | 0.6 |
| 平成24年 | | 37,413 | 1.3 | 14,521 | ▲ 0.3 |
| 平成25年 | | 38,002 | 1.6 | 14,763 | 1.7 |
| 平成23年 | 1-3月 | 36,559 | 1.8 | 14,707 | ▲ 0.0 |
| | 4-6月 | 37,188 | 2.5 | 14,528 | 1.1 |
| | 7-9月 | 37,086 | 2.1 | 14,572 | 1.1 |
| | 10-12月 | 36,959 | 1.8 | 14,459 | 0.1 |
| 平成24年 | 1-3月 | 37,057 | 1.4 | 14,605 | ▲ 0.7 |
| | 4-6月 | 37,620 | 1.2 | 14,440 | ▲ 0.6 |
| | 7-9月 | 37,585 | 1.3 | 14,552 | ▲ 0.1 |
| | 10-12月 | 37,388 | 1.2 | 14,485 | 0.2 |
| 平成25年 | 1-3月 | 37,466 | 1.1 | 14,670 | 0.4 |
| | 4-6月 | 38,058 | 1.2 | 14,650 | 1.5 |
| | 7-9月 | 38,221 | 1.7 | 14,816 | 1.8 |
| | 10-12月 | 38,263 | 2.3 | 14,914 | 3.0 |
| 平成23年 | 1月 | 36,324 | 1.3 | 14,385 | ▲ 1.9 |
| | 2月 | 36,493 | 1.6 | 14,554 | ▲ 0.5 |
| | 3月 | 36,860 | 2.4 | 15,181 | 2.2 |
| | 4月 | 37,173 | 2.5 | 14,609 | ▲ 0.0 |
| | 5月 | 36,994 | 2.4 | 14,547 | 1.9 |
| | 6月 | 37,396 | 2.4 | 14,428 | 1.5 |
| | 7月 | 37,210 | 2.2 | 14,510 | 1.3 |
| | 8月 | 37,013 | 1.9 | 14,532 | 1.3 |
| | 9月 | 37,035 | 2.2 | 14,673 | 0.7 |
| | 10月 | 36,881 | 1.8 | 14,406 | ▲ 1.1 |
| | 11月 | 36,799 | 1.8 | 14,452 | 0.8 |
| | 12月 | 37,198 | 1.7 | 14,519 | 0.6 |
| 平成24年 | 1月 | 36,867 | 1.5 | 14,390 | 0.0 |
| | 2月 | 36,980 | 1.3 | 14,559 | 0.0 |
| | 3月 | 37,324 | 1.3 | 14,866 | ▲ 2.1 |
| | 4月 | 37,609 | 1.2 | 14,532 | ▲ 0.0 |
| | 5月 | 37,356 | 1.0 | 14,497 | ▲ 0.3 |
| | 6月 | 37,895 | 1.3 | 14,291 | ▲ 0.9 |
| | 7月 | 37,394 | 0.5 | 14,335 | ▲ 1.2 |
| | 8月 | 37,584 | 1.5 | 14,459 | ▲ 0.5 |
| | 9月 | 37,778 | 2.0 | 14,863 | 1.3 |
| | 10月 | 37,297 | 1.1 | 14,541 | 0.9 |
| | 11月 | 37,235 | 1.2 | 14,255 | ▲ 1.4 |
| | 12月 | 37,632 | 1.2 | 14,658 | 1.0 |
| 平成25年 | 1月 | 37,279 | 1.1 | 14,499 | 0.8 |
| | 2月 | 37,316 | 0.9 | 14,522 | ▲ 0.3 |
| | 3月 | 37,803 | 1.3 | 14,990 | 0.8 |
| | 4月 | 37,829 | 0.6 | 14,602 | 0.5 |
| | 5月 | 37,853 | 1.3 | 14,738 | 1.7 |
| | 6月 | 38,491 | 1.6 | 14,611 | 2.2 |
| | 7月 | 38,132 | 2.0 | 14,669 | 2.3 |
| | 8月 | 38,317 | 2.0 | 14,789 | 2.3 |
| | 9月 | 38,214 | 1.2 | 14,989 | 0.8 |
| | 10月 | 38,021 | 1.9 | 14,958 | 2.9 |
| | 11月 | 38,193 | 2.6 | 14,818 | 3.9 |
| | 12月 | 38,576 | 2.5 | 14,967 | 2.1 |

「経済季報」(株)紀陽銀行
 ※注：年値及び四半期値は、それぞれ平均値

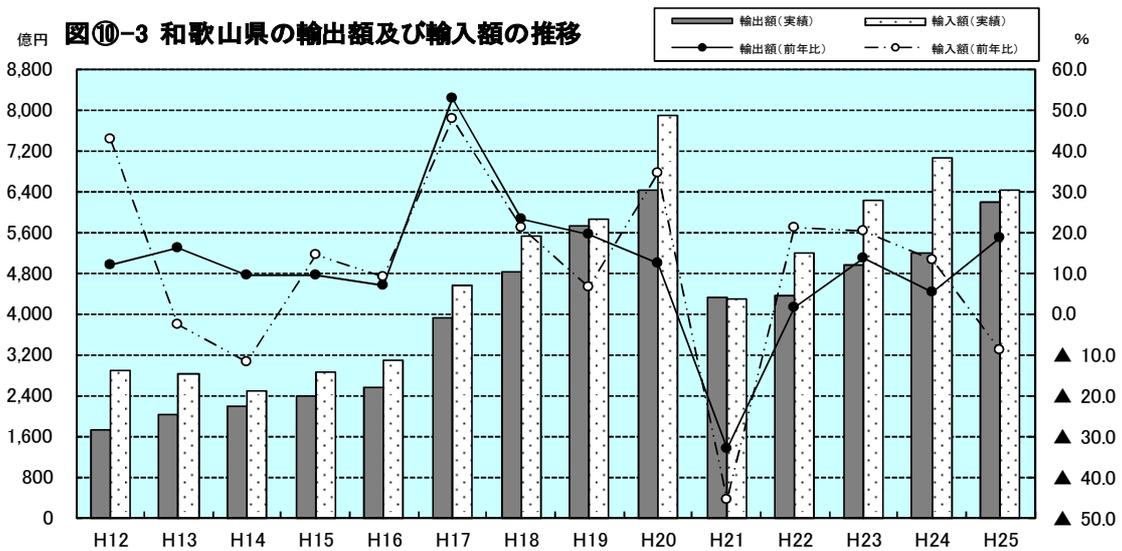
●貿易

緩やかな持ち直しの動きがみられる(1)

貿易では、輸出額と輸入額を指標として扱う。

本県の輸出入額の推移をみると、輸出額・輸入額ともに、平成20年に平成12年以降で最高額を記録した後、平成21年は世界的な不況の影響等により輸出額・輸入額ともに大幅に減少した。その後、平成22年からはこちらも増加に転じたが、平成25年は、輸出は4年連続の増加となった一方で、輸入は減少に転じた。

(図10-3)

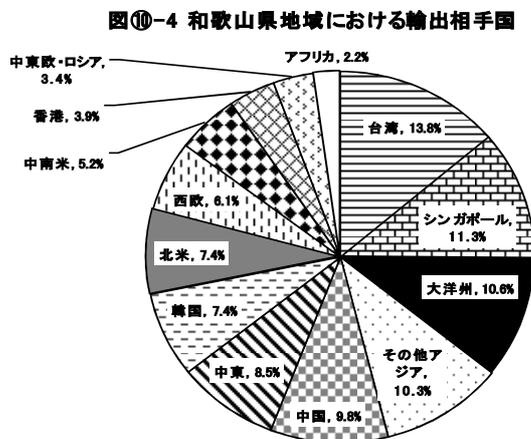


出典: 和歌山税関支署

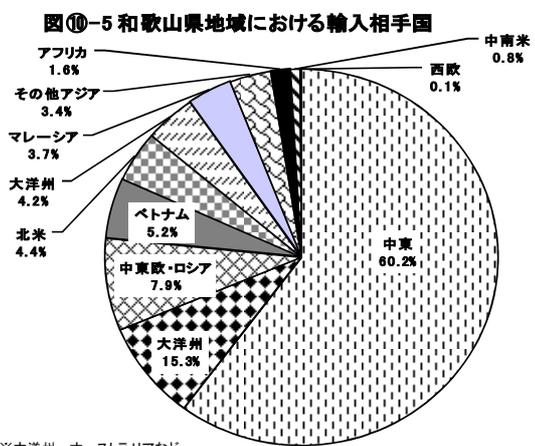
輸出額については、石油製品と鉄鋼が増加に大きく寄与した。輸出相手国では、台湾・シンガポール・大洋州等の上位5カ国・地域で全体の5割超を占めた。

(図10-4)

輸入額については、鉄鉱石と石炭が減少に大きく寄与した。輸入相手国では、中東諸国が約6割を占めた。(図10-5)



出典: 和歌山税関支署



※大洋州…オーストラリアなど

出典: 和歌山税関支署

●貿易

(単位:億円、%)

| | | 通 関 実 績 | | | | | |
|-------|--------|--------------------|-----------|-------|-----------|---------|---------|
| | | 和 歌 山 県(和歌山税関支署管内) | | | | 全 国 | |
| | | 輸 出 額 | 前年(同月・期)比 | 輸 入 額 | 前年(同月・期)比 | 輸 出 額 | 輸 入 額 |
| 平成21年 | | 4,307 | ▲ 33.0 | 4,278 | ▲ 45.8 | 541,706 | 514,994 |
| 平成22年 | | 4,362 | 1.3 | 5,173 | 20.9 | 673,996 | 607,650 |
| 平成23年 | | 4,948 | 13.4 | 6,226 | 20.4 | 655,465 | 681,112 |
| 平成24年 | | 5,200 | 5.1 | 7,040 | 13.1 | 637,476 | 706,886 |
| 平成25年 | | 6,173 | 18.7 | 6,409 | ▲ 9.0 | 697,742 | 812,425 |
| 平成23年 | 1-3月 | 1,207 | 11.8 | 1,363 | 22.8 | 164,177 | 161,069 |
| | 4-6月 | 1,259 | 5.7 | 1,802 | 19.7 | 156,906 | 169,645 |
| | 7-9月 | 1,275 | 16.5 | 1,495 | 11.8 | 171,113 | 175,302 |
| | 10-12月 | 1,207 | 21.1 | 1,566 | 28.4 | 163,270 | 175,095 |
| 平成24年 | 1-3月 | 1,283 | 6.3 | 1,942 | 42.5 | 161,597 | 177,063 |
| | 4-6月 | 1,355 | 7.6 | 2,177 | 20.8 | 164,436 | 178,139 |
| | 7-9月 | 1,334 | 4.6 | 1,573 | 5.2 | 157,145 | 175,797 |
| | 10-12月 | 1,227 | 1.7 | 1,354 | ▲ 13.5 | 154,297 | 175,887 |
| 平成25年 | 1-3月 | 1,451 | 13.1 | 1,648 | ▲ 15.1 | 163,521 | 191,154 |
| | 4-6月 | 1,588 | 17.2 | 1,743 | ▲ 19.9 | 175,996 | 196,488 |
| | 7-9月 | 1,583 | 18.7 | 1,590 | 1.1 | 177,116 | 206,587 |
| | 10-12月 | 1,549 | 26.2 | 1,428 | 5.5 | 181,110 | 218,196 |
| 平成23年 | 1月 | 403 | 16.5 | 468 | 23.2 | 49,701 | 54,673 |
| | 2月 | 323 | 7.3 | 444 | 26.9 | 55,890 | 49,520 |
| | 3月 | 481 | 11.1 | 451 | 18.7 | 58,585 | 56,876 |
| | 4月 | 392 | 4.8 | 695 | 32.6 | 51,566 | 56,344 |
| | 5月 | 445 | 12.4 | 548 | 16.3 | 47,593 | 56,200 |
| | 6月 | 422 | 0.2 | 559 | 9.4 | 57,746 | 57,102 |
| | 7月 | 418 | 30.2 | 575 | 16.9 | 57,818 | 57,120 |
| | 8月 | 441 | 11.1 | 457 | ▲ 8.2 | 53,557 | 61,331 |
| | 9月 | 416 | 10.6 | 463 | 33.4 | 59,738 | 56,850 |
| | 10月 | 415 | 42.6 | 485 | 40.2 | 55,069 | 57,899 |
| | 11月 | 379 | 11.5 | 581 | 22.6 | 51,962 | 58,874 |
| | 12月 | 413 | 12.8 | 500 | 25.0 | 56,239 | 58,322 |
| 平成24年 | 1月 | 431 | 6.9 | 578 | 23.5 | 45,137 | 60,043 |
| | 2月 | 379 | 17.3 | 684 | 54.1 | 54,426 | 54,167 |
| | 3月 | 473 | ▲ 1.7 | 680 | 50.8 | 62,034 | 62,852 |
| | 4月 | 391 | ▲ 0.3 | 846 | 21.7 | 55,649 | 60,833 |
| | 5月 | 514 | 15.5 | 780 | 42.3 | 52,369 | 61,448 |
| | 6月 | 450 | 6.6 | 551 | ▲ 1.4 | 56,418 | 55,858 |
| | 7月 | 518 | 23.9 | 575 | 0.0 | 53,122 | 58,408 |
| | 8月 | 400 | ▲ 9.3 | 560 | 22.5 | 50,444 | 58,128 |
| | 9月 | 416 | 0.0 | 438 | ▲ 5.4 | 53,579 | 59,261 |
| | 10月 | 384 | ▲ 7.5 | 234 | ▲ 51.8 | 51,480 | 57,042 |
| | 11月 | 369 | ▲ 2.6 | 523 | ▲ 10.0 | 49,832 | 59,402 |
| | 12月 | 474 | 14.8 | 597 | 19.4 | 52,985 | 59,443 |
| 平成25年 | 1月 | 451 | 4.6 | 419 | ▲ 27.5 | 47,986 | 64,317 |
| | 2月 | 454 | 19.8 | 522 | ▲ 23.7 | 52,833 | 60,566 |
| | 3月 | 546 | 15.4 | 707 | 4.0 | 62,702 | 66,271 |
| | 4月 | 511 | 30.7 | 744 | ▲ 12.1 | 57,758 | 66,531 |
| | 5月 | 555 | 8.0 | 689 | ▲ 11.7 | 57,652 | 67,565 |
| | 6月 | 522 | 16.0 | 310 | ▲ 43.7 | 60,586 | 62,391 |
| | 7月 | 597 | 15.3 | 614 | 6.8 | 59,585 | 69,910 |
| | 8月 | 529 | 32.3 | 552 | ▲ 1.4 | 57,821 | 67,535 |
| | 9月 | 457 | 9.9 | 424 | ▲ 3.2 | 59,710 | 69,142 |
| | 10月 | 490 | 27.6 | 584 | 149.6 | 61,030 | 72,034 |
| | 11月 | 570 | 54.5 | 460 | ▲ 12.0 | 58,988 | 71,999 |
| | 12月 | 489 | 3.2 | 384 | ▲ 35.7 | 61,092 | 74,163 |

「経済季報」(株)紀陽銀行
大阪税関 和歌山税関支署

「貿易統計」
財務省

第3部

平成 25 年

その他の経済関連

●和歌山県 経済関連主要事項年表

| 月 | 事 項 |
|-----|--|
| 1月 | ・台風12号水害で被災した田辺市本宮町の「世界遺産 熊野本宮館」が復旧工事を終えてリニューアルオープン |
| 2月 | ・和歌山市のノーリツ鋼機(株)本社敷地内に、県内最大級の大規模太陽光発電所(メガソーラー)が完成 |
| 3月 | ・橋本市特産の「紀州へら竿」が国の伝統的工芸品に指定 ・和歌山県は、和歌山市森小手穂(もりおてぼ)に整備する阪和自動車道(仮称)和歌山南スマートインターチェンジの計画概要を発表。 ・平成23年から耐震化工事により休館していた和歌山県民文化会館がリニューアルオープン ・田辺市本宮町と奈良県境を結ぶ一般国道168号「本宮道路」が供用開始 |
| 4月 | ・和歌山県の観光客動態調査によると、2012年に県内を訪問した観光客は約2916万1千人で、紀伊半島大水害や東日本大震災の影響で落ち込んだ前年よりも5.6%増加した。うち外国人観光客は約5割増の11万7359人 ・和歌山県は、4月1日現在での本県の推計人口が98万2,510人と、17年連続して減少したと発表 ・(株)河鶴がみなべ町に新工場を建設 ・藤本食品(株)が岩出市に新本社工場を竣工 ・セイカ(株)が海南市に新工場を竣工 ・理工協産(株)が橋本市「紀北橋本エコヒルズ紀ノ光台」に新工場を竣工 ・平成27年開催の「紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会」に向けて改修工事が進められていた紀三井寺公園陸上競技場(和歌山市毛見)が完成 |
| 6月 | ・わかやま電鉄貴志川線に紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会のマスコット「きいちゃん」をデザインした「きいちゃん電車」が登場 ・和歌山県は湯浅御坊道路・阪和自動車道の有田～南紀田辺インターチェンジの4車線化事業に着手 ・(株)エムジェイテックが橋本市「紀北橋本エコヒルズ紀ノ光台」に進出を決定。 |
| 7月 | ・和歌山県は、夏の節電対策として「わかやま夏の節電アクションプラン」を策定。電気使用量を平成22年比で消費電力9%減を目安に前年並みの節電の着実な実施を呼びかける ・2013年分(1月1日現在)の路線価が発表され、県内の標準住宅地の増減率は平均4.4%の減少となった |
| 8月 | ・中部抵抗器(株)が紀の川市「北勢田第2工業団地」に新工場を竣工 ・(株)恋野マッシュルームが橋本市内に県内初のマッシュルーム栽培施設を竣工 ・中辻産業(株)が橋本市「紀北橋本エコヒルズ紀ノ光台」へ進出を決定。 |
| 9月 | ・平成26年9月から実施される「和歌山デスティネーションキャンペーン」に先駆け、プレキャンペーンが実施(～12月13日) ・建て替えが進められていた秋葉山公園県民水泳場(和歌山市)の屋内プールが完成 ・和歌山県地価調査(7月1日現在)によると、県全体の平均価格は前年比▲4.3%となり、23年連続の下落となった。(住宅地の県平均価格は36,200円/㎡(同▲4.2%)、商業地では同81,400円/㎡(同▲4.6%)) |
| 10月 | ・海南市は「海南市地酒で乾杯を推進する条例」を施行。県内初の「乾杯条例」 ・中部電力の子会社「シーエナジー」(名古屋市)は、上富田町内に16メガワットの大規模太陽光発電所(メガソーラー)を建設すると発表。本年11月に着工、来年10月から一部稼働予定 ・和歌山市深山(みやま)にある関西空港関連の土砂採取事業跡地に、同市で最大となる大規模太陽光発電所(メガソーラー)が設置されることが決定。来年6月着工予定 |
| 11月 | ・真和テック(株)が紀北橋本エコヒルズ紀ノ光台へ進出を決定 ・関西国際空港への高速交通アクセスや紀淡海峡ルート、四国新幹線などの実現を目指し、和歌山県を含む近畿・四国・九州の10府県が参加する「関空・紀淡・四国高速交通インフラ期成協議会」が発足 |
| 12月 | ・和歌山県庁本館が国の登録有形文化財に登録される ・和歌山県は冬の節電対策として「わかやま冬の節電アクションプラン」を策定。来年3月31日までの平日が対象。節電目標は平成22年度比6%削減を目安 ・田辺市は、地元の梅を使った梅酒や梅干しの積極的な普及を促す「梅酒で乾杯」条例を制定 ・イオンモール(株)は、和歌山市北部に建設中のショッピングセンター「イオンモール和歌山」を来年3月16日に開業すると発表 ・JR和歌山駅前の県JAビルの改築工事が完了 ・(株)ニュートン・フィナンシャル・コンサルティングが和歌山市へ進出 |

●全国・国際 経済関連主要事項年表

| 月 | 事 項 |
|-----|--|
| 1月 | <ul style="list-style-type: none"> ・2012年の貿易収支は、8兆1,699億円の赤字となり、過去最大の貿易赤字となった【財務省発表】 ・2012年の全国消費者物価指数(年間平均、2005年=100)は、生鮮食品を除く総合で100.1(前年比0.4%)で、4年連続して低下【総務省発表】 ・「景気は、弱い動きとなっているが、一部に下げ止まりの兆しもみられる」【内閣府 月例経済報告】 |
| 2月 | <ul style="list-style-type: none"> ・2012年の新設住宅着工戸数は、88万2,797戸(前年比5.8%)で、3年連続プラスとなった。【国土交通省発表】 ・2012年の労働者1人あたりの現金給与総額は31万4,127円と、前年比0.7%の減少となった。【厚生労働省発表】 ・2012年の有効求人倍率(平均)は0.80倍となり、2011年の0.65倍から大幅に上昇【厚生労働省】 ・「景気は、一部に弱さが残るものの、下げ止まっている」【内閣府 月例経済報告】 ・日本銀行の白川方明総裁が辞意表明。4月8日の任期満了を待たず、3月19日で辞任の意向 |
| 3月 | <ul style="list-style-type: none"> ・「景気は、一部に弱さが残るものの、このところ持ち直しの動きがみられる」【内閣府 月例経済報告】 ・(株)シャープが韓国サムスン電子と資本提携 ・安倍総理大臣が環太平洋パートナーシップ協定(TPP)の交渉参加を正式表明 ・日本銀行総裁に黒田東彦(はるひこ)氏が就任 ・JR各社や私鉄などの交通系ICカード10種類の相互利用が開始 |
| 4月 | <ul style="list-style-type: none"> ・日本銀行は過去最大の量的緩和を開始。金融決定会合で市場に流すお金を2年で2倍に増やすと決定 ・淡路島で震度6弱の地震が発生。30人以上の重軽傷者が発生し、8千棟以上の建物が被害を受ける。 ・JR大阪駅北側の再開発地域に「グランフロント大阪」が開業。 |
| 5月 | <ul style="list-style-type: none"> ・「景気は、緩やかに持ち直している」【内閣府 月例経済報告】 ・関西電力は、5月1日から家庭向け電気料金を平均9.75%値上げ |
| 6月 | <ul style="list-style-type: none"> ・2011年の人口動態統計(概数)によると、合計特殊出生率は、前年と同水準の1.39となった【厚生労働省発表】 ・「景気は、着実に持ち直している」【内閣府 月例経済報告】 ・近鉄百貨店が、日本一の超高層ビル「あべのハルカス」(大阪市阿倍野区)に入る新店を先行開業 ・ユネスコ世界遺産委員会が「富士山－信仰の対象と芸術の源泉」を世界文化遺産に決定 |
| 7月 | <ul style="list-style-type: none"> ・「景気は、着実に持ち直しており、自律的回復に向けた動きもみられる」【内閣府 月例経済報告】 ・第23回参議院議員通常選挙が21日に投票・開票。自民党・公明党の連立与党が圧勝 ・山口・島根両県で記録的な豪雨が発生し、土砂崩れや家屋浸水などが発生。2人死亡、2人行方不明。 ・米国デトロイト市が連邦破産法第9条の適用を申請し、財政破綻。負債総額は180億ドル(約1兆8千億円)超で米国の自治体としては過去最大。 |
| 8月 | <ul style="list-style-type: none"> ・12日に高知県四万十市で41.0度の国内史上最高気温を観測。また、気象庁のまとめによると12日までに106地点で日最高気温の最も高い記録を更新した。 |
| 9月 | <ul style="list-style-type: none"> ・「景気は、緩やかに回復しつつある」【内閣府 月例経済報告】 ・2020年の第32回夏季五輪を東京で開くことが7日(日本時間8日)、アルゼンチンのブエノスアイレスで開かれた国際オリンピック委員会(IOC)総会で決定 ・関西電力大飯原子力発電所4号機が15日までに定期検査のため運転停止し、国内の稼働原発は1年2ヶ月ぶりにゼロとなった ・台風18号による大雨が発生し、気象庁は今年8月30日に運用を開始した「特別警報」を京都、滋賀、福井の各府県に初めて発表 ・JR東海は、2027年の開業を目指し、リニア中央新幹線の東京(品川)－名古屋の詳細なルートと駅の位置を公表 |
| 10月 | <ul style="list-style-type: none"> ・安倍総理大臣は、消費税率を平成26年4月から現行の5%から8%に引き上げることを発表 ・台風26号の被害による大雨の影響で、伊豆大島で土砂災害が発生。36名死亡、4名行方不明 ・JR九州の豪華寝台列車「ななつ星in九州」が運行開始 ・関西空港を拠点とする格安航空会社(LCC)のピーチ・アビエーションが、関西－成田に就航。 ・米国連邦議会で2014会計年度の予算案が成立しなかったことを受けて、連邦政府機関は10月1日より政府閉鎖に入った(～16日) |
| 12月 | <ul style="list-style-type: none"> ・「和食;日本人の伝統的な食文化」がユネスコ無形文化遺産に登録 |

経済クローズアップ '13

ここでは、その年に重要かつ話題となったと思われる経済及び社会事象等についてのトピックをいくつか取り上げ、わかりやすく解説しています。

～電気料金値上げ～

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災による東京電力福島第一原子力発電所の事故以降、国内の原子力発電所は定期検査に入ったものから順次運転を停止していった。これにより、発電電力量における火力発電の比率が高まり、火力燃料費(原油・LNG)が増大し、各電力会社の経営を圧迫してきたとして、平成 24 年 5 月に東京電力が、平成 24 年 11 月以降関西・九州・東北・四国・中国の各電力会社が電気料金の値上げを申請した(※1)。

本県を供給区域とする関西電力(株)の場合、規制分野(主に家庭用)で 11.88%・自由化分野(主に大口需用者)で 19.23%の値上げを申請したが、経済産業省の査定の結果、規制分野 9.75%・自由化分野 17.26%の値上げとなり、平成 25 年 5 月 1 日から値上げを実施することとなった。(値上げ率は各分野での平均)

関西電力(株)における本格的な電気料金値上げは、昭和 55 年以来 33 年ぶりとなった。(※2)

(※1)北陸・沖縄の両電力会社は値上げを実施しなかった。

(※2)この他、電気料金の変更については、火力発電の燃料単価における直近の変動を料金に反映する「燃料費調整制度」がある。

～社会保障と税の一体改革・消費税率引き上げ～

平成 24 年 8 月に当時の野田内閣において成立した「社会保障と税の一体改革」関連法(※)では、社会保障の充実・安定化と、そのための安定財源確保と財政健全化の同時達成を目指している。

具体的には、消費税率の引き上げを柱にする税制抜本改革を行うとともに、消費税率引き上げによる増収分を社会保障の充実・安定化のための財源とすることにより、持続可能性を高める社会保障制度の構築を目指している。

この改革により、消費税率が従前の 5%から平成 26 年 4 月までに 8%、平成 27 年 10 月までに 10%への引き上げが行われることが定められているが、実際の消費税率の引き上げに際しては経済状況等を総合的に勘案した上で判断することとなっている。

平成 25 年 10 月 1 日に安倍晋三内閣総理大臣は、消費税率の 5%から 8%への引き上げを閣議決定し、平成 26 年 4 月 1 日からの消費税率引き上げが正式決定した。(税率は全て消費税と地方消費税の合計)また、消費税率の引き上げによる景気の下振れリスクを緩和するとともに、その後の経済成長力の底上げをはかり持続的な経済成長につなげ、経済成長の両立を目指すための「経済成長パッケージ」を策定した。

(※)「社会保障制度改革推進法」、「子ども・子育て支援法」、「社会保障の安定財源の確保等を図る税制の抜本的な改革を行うための消費税法等の一部を改正する等の法律」他の関連 8 法

～アベノミクス～

平成 24 年 12 月に発足した第 2 次安倍内閣が推進する経済財政政策の総称で、「大胆な金融政策」「機動的な財政政策」「民間投資を喚起する成長戦略」の「三本の矢」を基本方針として経済再生を進めることとしている。

・ 第一の矢：大胆な金融政策：

「デフレ脱却と持続的な経済成長の実現のための政府・日本銀行の政策連携について(共同声明)」(平成 25 年 1 月 22 日)

デフレからの早期脱却と物価安定の下での持続的な経済成長の実現に向けた声明で、この中で日銀は消費者物価の対前年上昇率 2%を「物価安定目標」とすることを明確にした。

・ 第二の矢：機動的な財政政策

「日本経済再生に向けた緊急経済対策」(平成 25 年 1 月 11 日閣議決定)に基づく、13 兆円規模の平成 24 年度補正予算を決定。

・ 第三の矢：民間投資を喚起する成長戦略

成長戦略「日本再興戦略－JAPAN is BACK－」(平成 25 年 6 月 14 日閣議決定)では、民間投資の喚起や労働生産性の向上、規制改革や新たな成長分野の開拓、そして世界の経済成長を日本に取り込むことを基本方針としている。

安倍内閣では、これらアベノミクスの各政策を踏まえて、デフレからの早期脱却と経済再生の 10 年に向けた処方箋を提示し、取り組むべき道筋を明らかにした「経済財政運営と改革の基本方針」を平成 25 年 6 月に取りまとめた。

平成27年1月印刷
平成27年1月発行

**平成25年の
和歌山県経済**

発行 和歌山県企画部企画政策局調査統計課
住所 〒640-8585
和歌山市小松原通一丁目1番地
電話 : 073-441-2389 (直通)
FAX : 073-441-2386
